

令和5年度
「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」
結果報告書

2024（令和6）年3月

松山市

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象・方法・期間	1
3 回収結果	1
4 圏域区分	2
5 報告書内のデータ記述について	2
II 就学前児童 調査結果	3
1 住まいの地域と家族の状況について	3
2 子どもの育ちをめぐる環境について	5
3 保護者の就労状況について	8
(1) 母親・父親の就労の状況	8
(2) フルタイムへの転換希望など	12
4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	15
(1) 現在の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況	15
(2) 利用したい「平日の教育・保育の事業」	21
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	24
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向	24
(2) 現在の利用回数と希望する利用回数	31
(3) 充実を図ってほしい子育て支援策	35
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	36
(1) 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	36
(2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	38
7 病気の際の対応について	41
(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所	41
(2) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用できなかった状況	42
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	46
(1) 不定期で利用している事業	46
(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の事業を利用する意向	47
(3) 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったこと	50
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について	52
(1) 放課後に過ごさせたい場所について	52
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望	55

(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望	56
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	57
<u>10 育児休業や短時間勤務制など家庭と職場の両立支援制度について</u>	58
(1) 育児休業の取得状況	58
(2) 育児休業給付の仕組みや育児休業期間中の年金保険料の免除の仕組みなどの知識	60
(3) 職場復帰	61
(4) 職場復帰の実際の時期が希望と異なることについて	65
(5) 短時間勤務制度の利用	68
<u>11 自由意見（就学前児童）</u>	70
Ⅲ 小学生 調査結果	77
<u>1 住まいの地域と家族の状況について</u>	77
<u>2 子どもの育ちをめぐる環境について</u>	79
<u>3 保護者の就労状況について</u>	82
(1) 母親・父親の就労の状況	82
(2) フルタイムへの転換希望など	86
<u>4 地域の子育て支援事業の利用状況について</u>	89
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向	89
(2) 現在の利用回数と希望する利用回数	96
(3) 充実を図ってほしい子育て支援策	99
<u>5 病気の際の対応について</u>	100
(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所	100
(2) 病気やケガの際の対処方法と病児・病後児保育事業の利用状況	101
<u>6 放課後の過ごし方について</u>	105
(1) 放課後に過ごさせたい場所	105
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望	108
(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望	109
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望	110
(5) 放課後児童クラブに望むこと	111
<u>7 自由意見（小学生）</u>	112
<u>8 放課後の過ごし方（小学生本人による回答）</u>	118
<u>付表</u>	120
<u>1 就学前児童の調査票</u>	120
<u>2 小学生の調査票</u>	136
<u>3 子育て支援サービス一覧</u>	147

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、令和7年度から令和11年度までの5か年を計画期間とする「松山市子ども計画」に包含・一体的とする「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、市民の皆さまの子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握し、松山市の子ども・子育て支援を推進するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査対象・方法・期間

- (1) 調査対象 全6,000世帯
 - ①市内にお住まいの小学校就学前の児童（0歳～5歳）計3,000世帯
 - ②市内にお住まいの小学1年生～4年生（6歳～10歳）計3,000世帯
- (2) 抽出方法 2023年4月1日時点の住民基本台帳から無作為抽出
- (3) 調査方法 送付：郵送 回収：郵送及びWEBの併用
- (4) 調査時期 令和5年10月31日～11月24日

3 回収結果

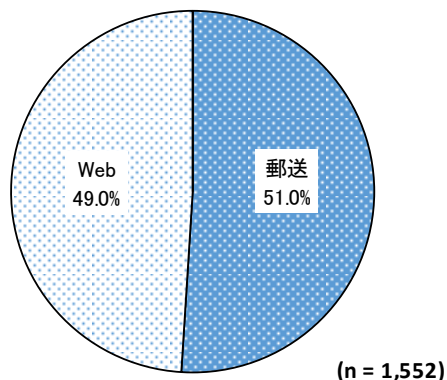
・回収数等

	回収数	回収率
全体	3,175件	52.9%
小学校就学前児童	1,559件	52.0%
小学生児童	1,616件	53.9%

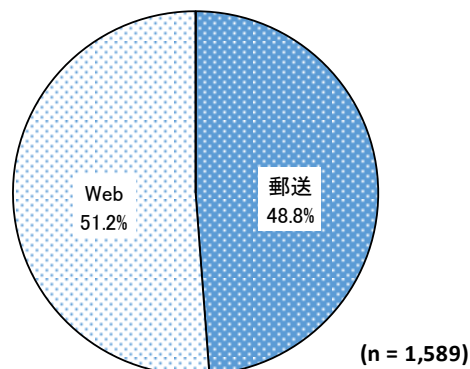
・有効回答数等

	有効回答数	有効回答率
全体	3,141件	52.4%
小学校就学前児童	1,552件	51.7%
小学生児童	1,589件	53.0%

【小学校就学前児童のいる世帯対象調査】
回答種別



【小学生児童のいる世帯対象調査】回答種別



小学校就学前児童の調査の回答種別は郵送が 51.0%、Web が 49.0%であった。

小学生児童の調査の回答種別は郵送が 48.8%、Web が 51.2%であった。

4 圏域区分

圏域名	地区名							
	番町	八坂	東雲	素鷲	雄郡	新玉	味酒	清水
中心部	湯山	日浦	五明	伊台	道後			
北東部	久米	小野	桑原					
東部	石井	浮穴	荏原	坂本				
南部	余土	垣生	生石	味生				
西部	宮前	三津浜	高浜	由良	泊			
北西部	和気	潮見	堀江	久枝				
北部	浅海	立岩	難波	正岡	北条	河野	粟井	
北条	睦野	東中島	西中島	神和				
中島								

5 報告書内のデータ記述について

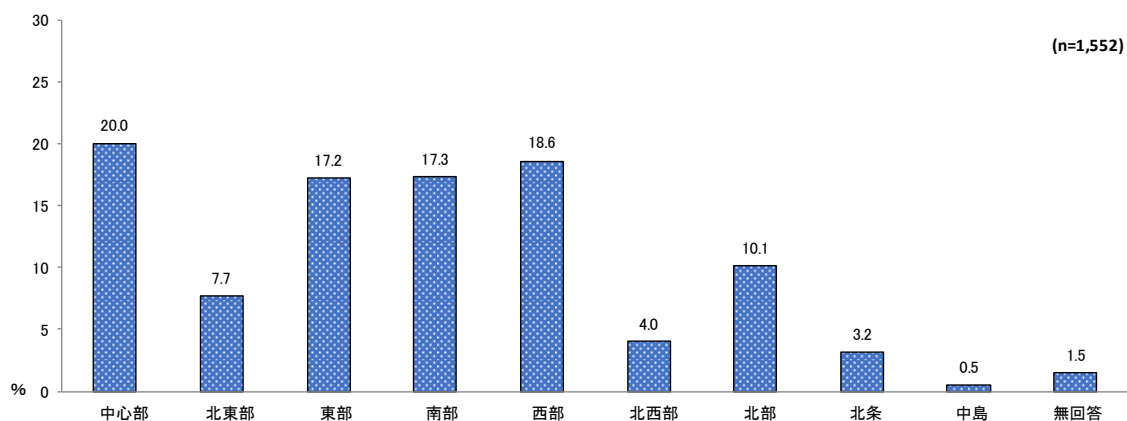
- (1) 比較に使用した前回調査は、平成 30 年度「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」である。
- (2) 比率はすべて百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (3) 基数とすべき実数は図表中に「n」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- (4) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超える。
- (5) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。
- (6) 自由意見については、原則、原文のままの表現としているが、表記の誤りなど、趣旨を損なわない範囲で一部訂正した箇所がある。

Ⅱ 就学前児童 調査結果

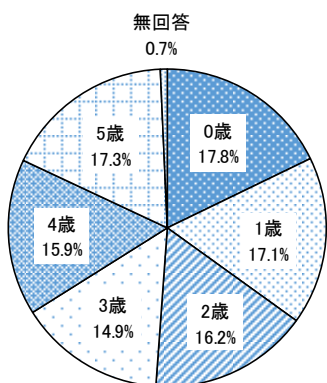
1 住まいの地域と家族の状況について

- 子どもの人数は「2人」(47.9%)、「1人」(28.9%)、「3人」(18.1%)の順に高い。【問2】
- 主に子育てを行っているのは「父母ともに」が57.9%、「主に母親」が41.2%であった。【問5】

問1 居住圏域

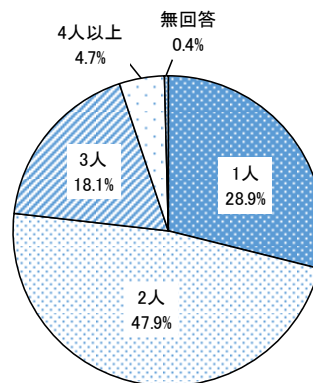


問2 対象の子どもの年齢



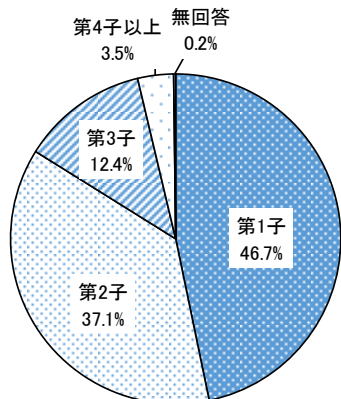
(n = 1,552)

問2 子どもの人数



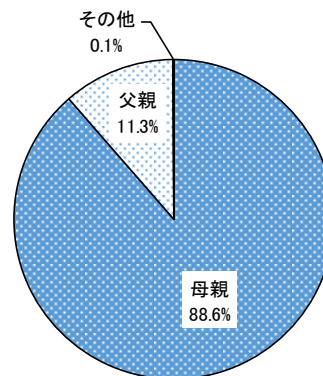
(n = 1,552)

問2 対象の子どもは第何子



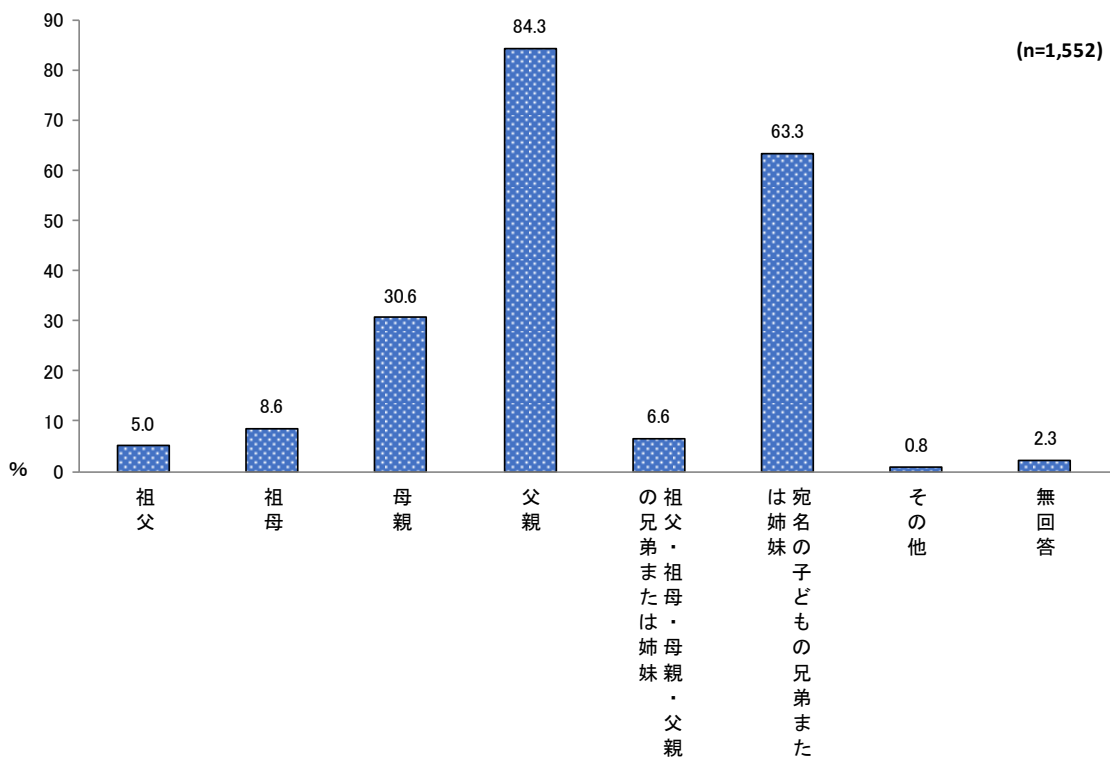
(n = 1,552)

問3 回答者

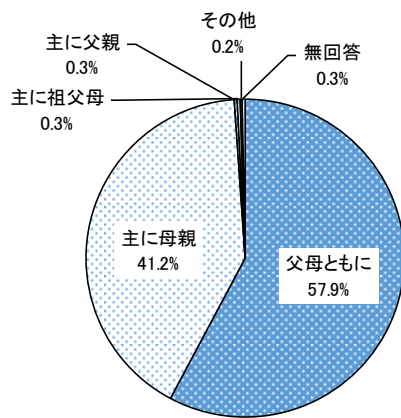


(n = 1,552)

問 4 回答者以外の同居者



問 5 主に子育てしている人

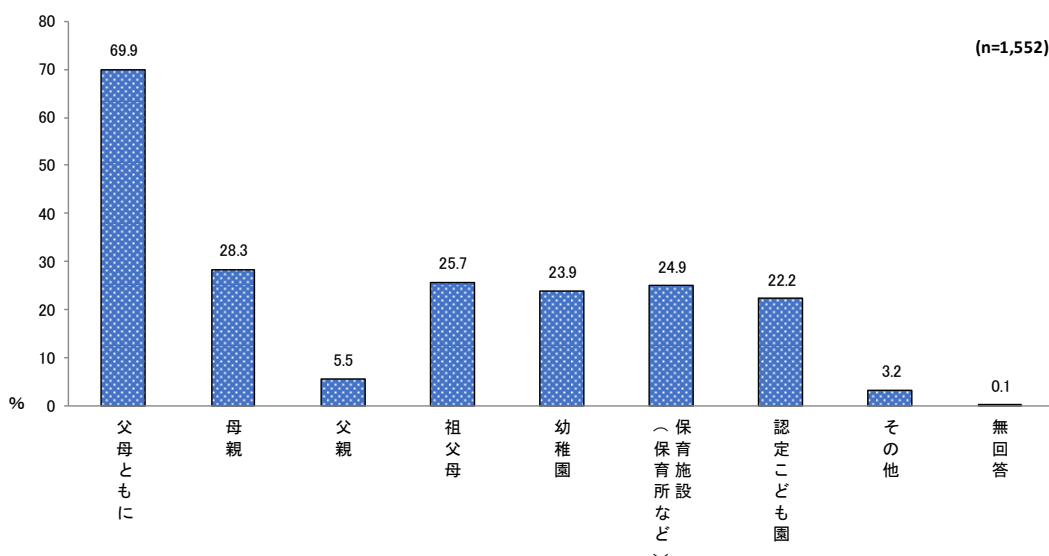


(n = 1,552)

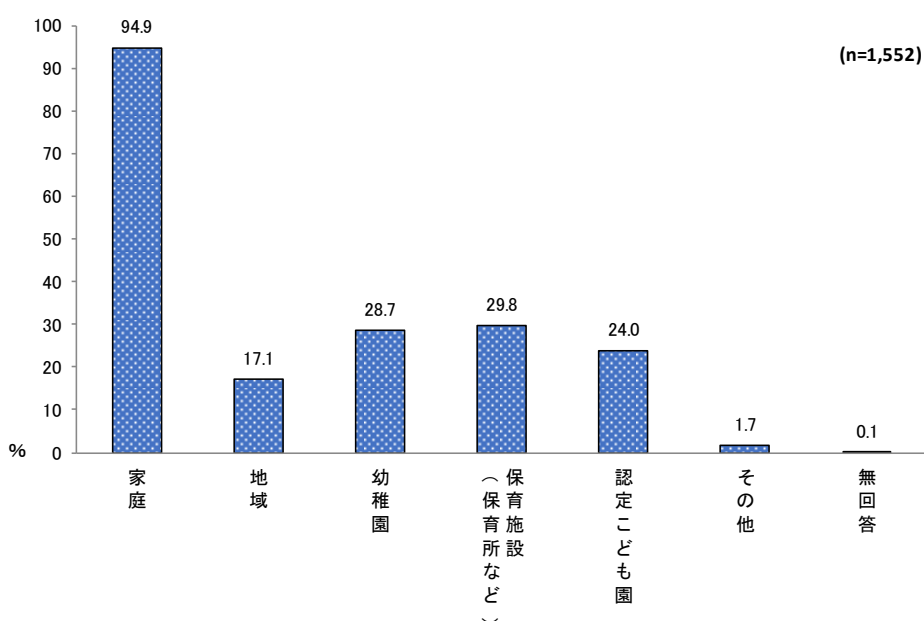
2 子どもの育ちをめぐる環境について

- 子どもをみてもらえる親族・知人の有無では、「緊急時もしくは用事の際のみ祖父母などの親族にみてもらえる」が55.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が32.0%と高かった。【問 8】
- 祖父母等の親族に子どもをみてもらえる保護者のうち、「安心して子どもをみてもらえる」割合は前回よりも11.8ポイント減少し、「親族の身体的負担があり心配である」が37.3%と最も高かった。【問 8-1】
- 相談先は「家族」「祖父母等の親族」「友人や知人」の順番が多い。【問 9-1】

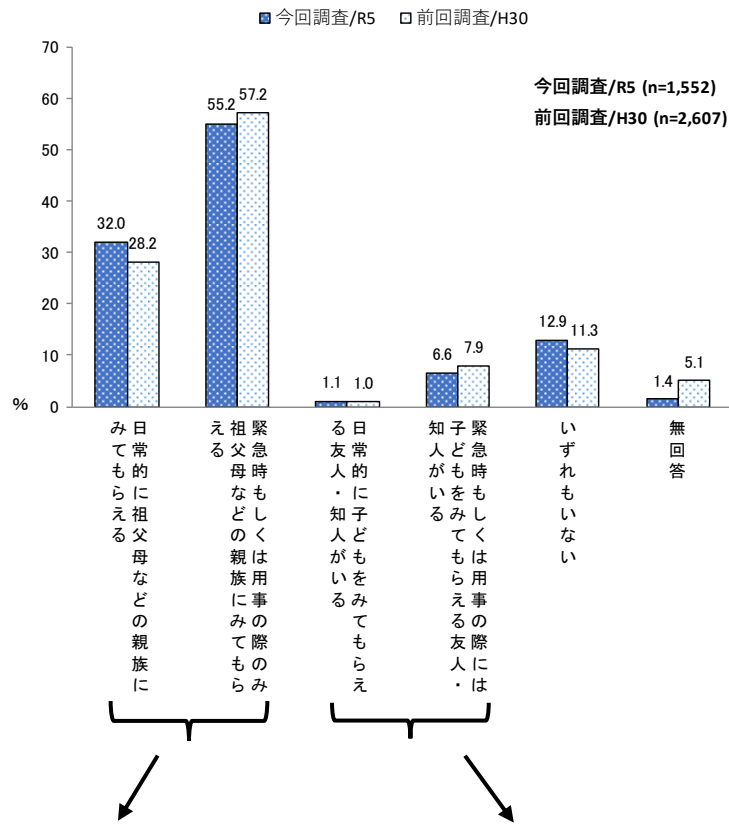
問6 子育てに日常的に関わっている方（施設）



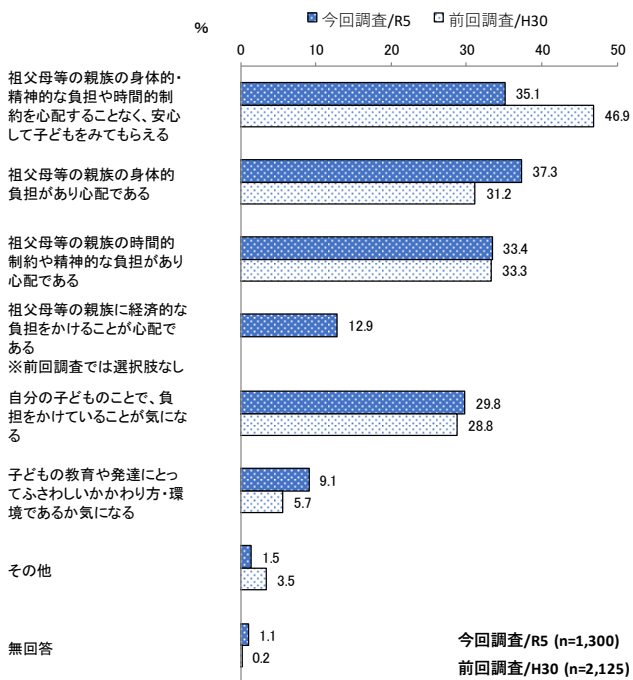
問7 子育てに最も影響すると思われる環境



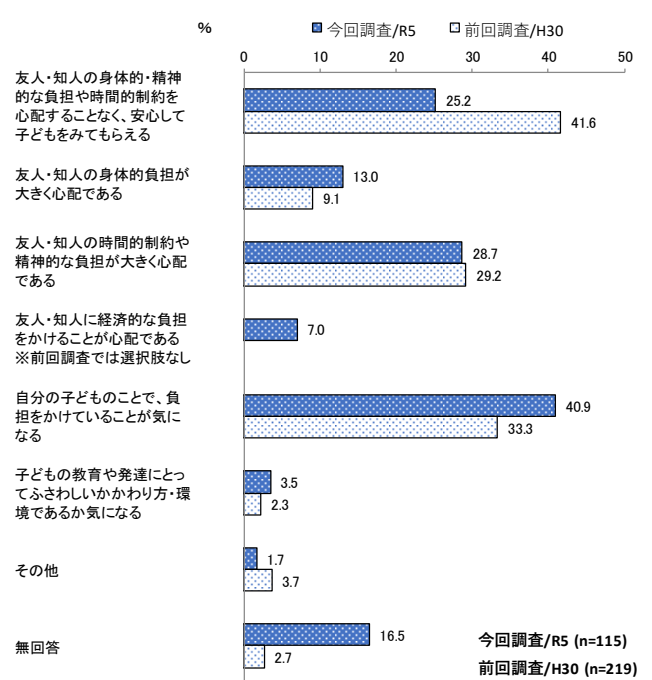
問 8 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



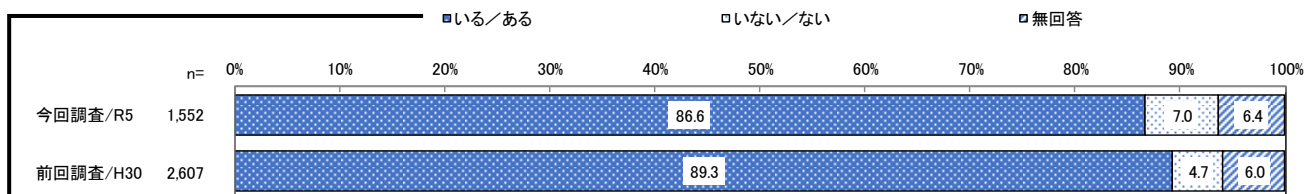
問 8-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況



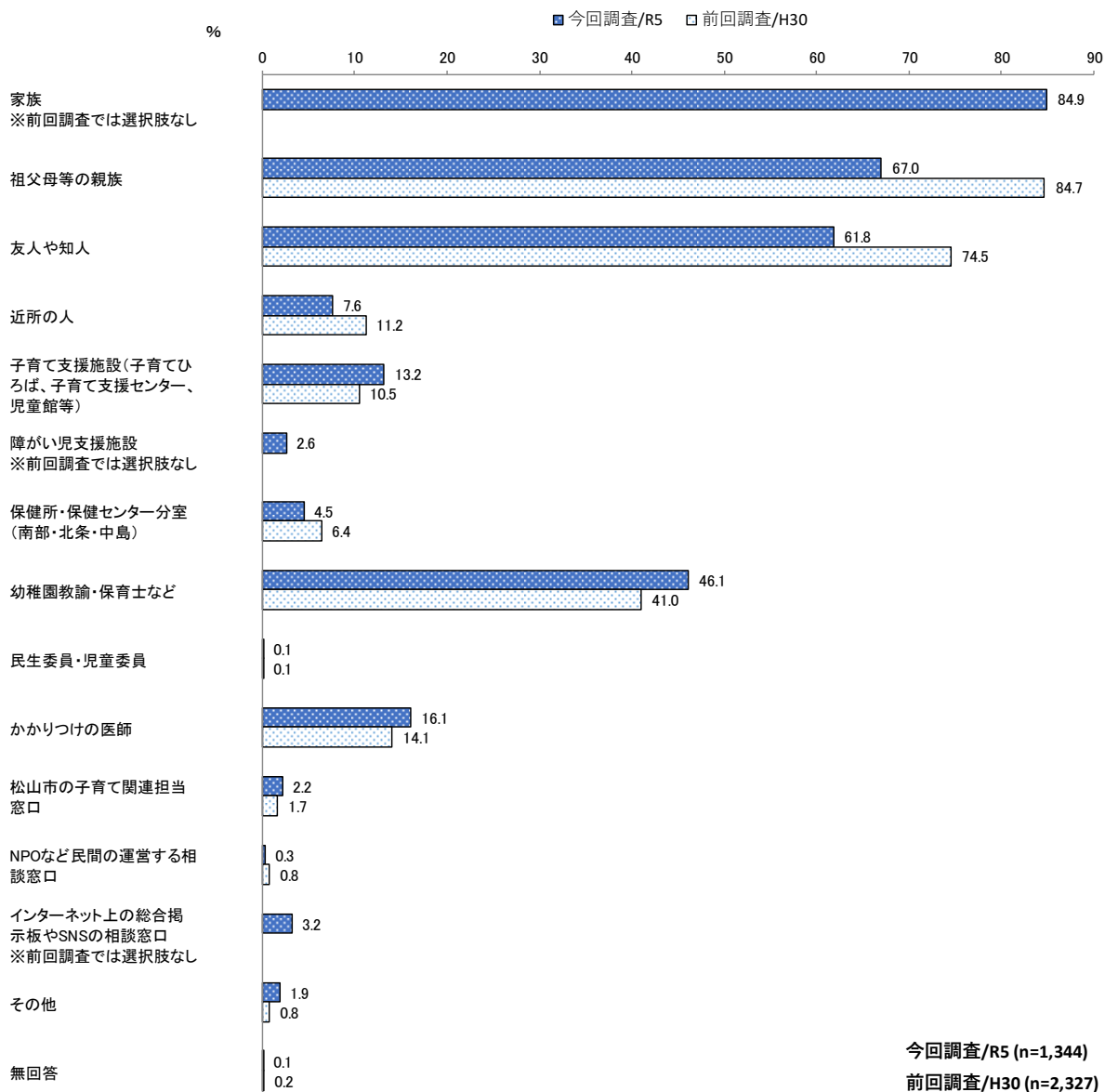
問 8-2 友人・知人にみてもらっている状況



問9 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無



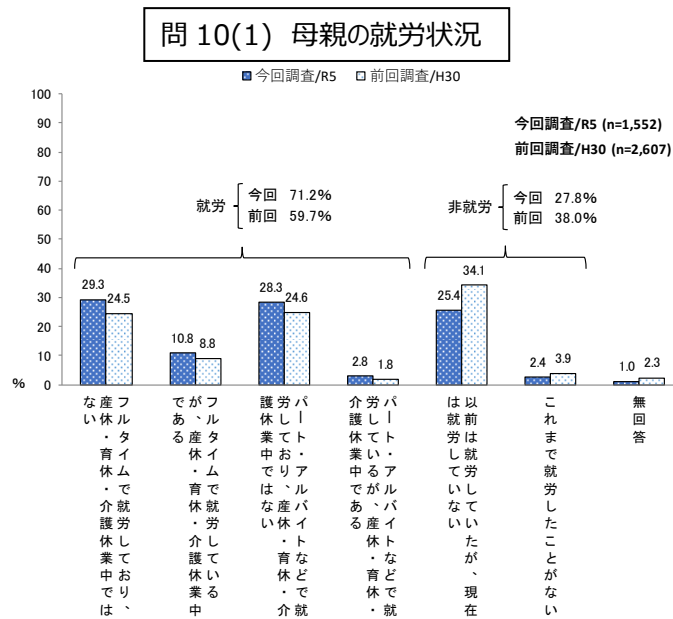
問9-1 子育てについての相談先



3 保護者の就労状況について

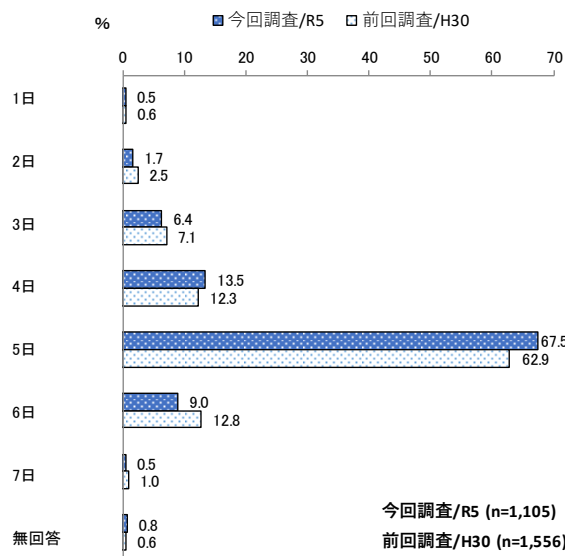
(1) 母親・父親の就労の状況

- 母親の就労割合は 71.2%で、いずれの就労の項目でも前回より増加した。【問 10(1)】
- 母親の1日の就労時間は、6時間以上8時間以下の人が前回より増加している。【問 10(1)-1】
- 父親の1週の就労日数は、「6日」の人が前回より減少し、「5日」の人が増加している。【問 10(2)-1】
- 父親の1日の就労時間は、「10時間以上」の人が前回より大幅に減少し、「8時間」の人が増加している。【問 10(2)-1】
- 父親の帰宅時刻については、前回と比較すると、20時以降の人が減少して15時から19時の人が増加した。【問 10(2)-2】

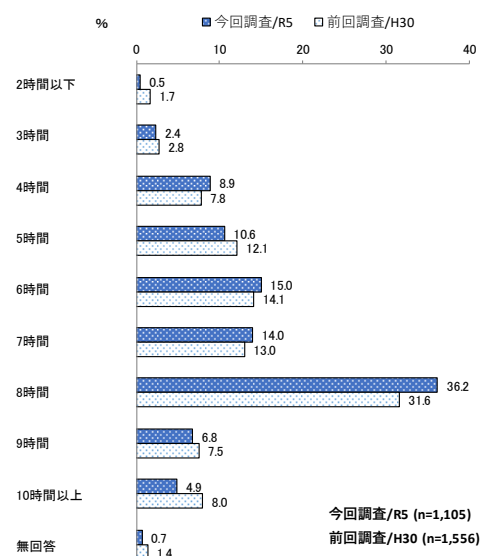


◀就労している方▶

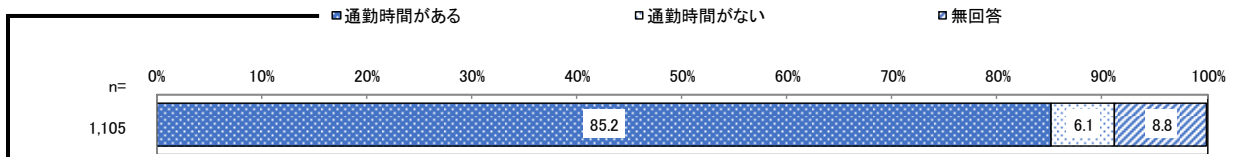
問 10(1)-1 母親：1週当たりの就労日数



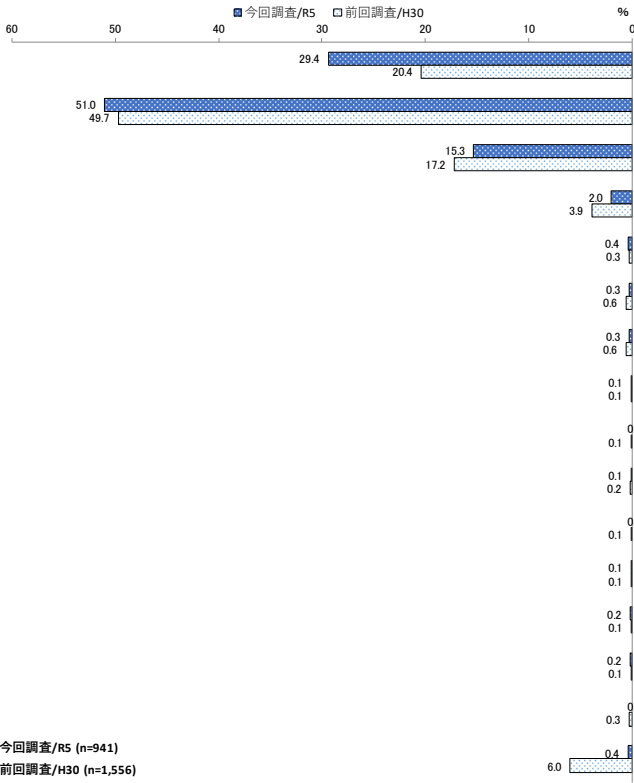
問 10(1)-1 母親：1日当たりの就労時間



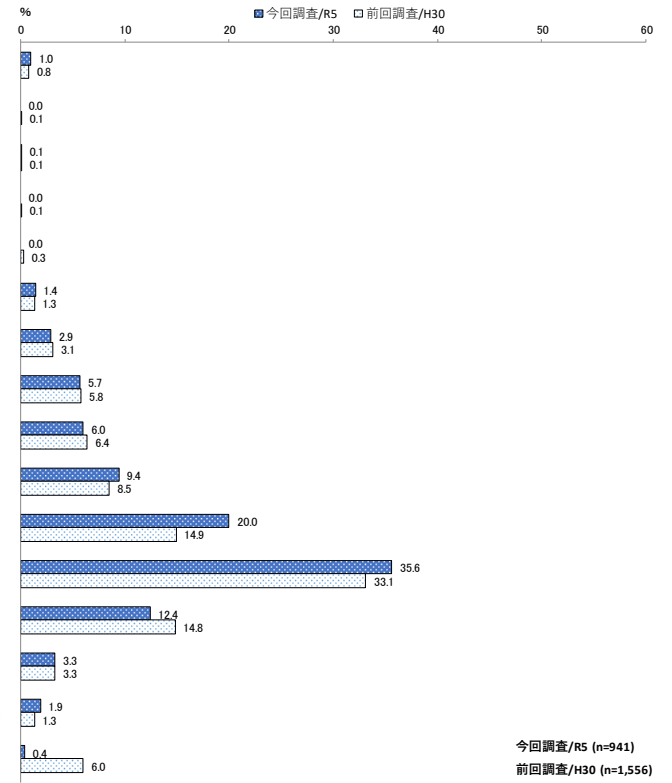
問 10(1)-2 母親：通勤時間の有無



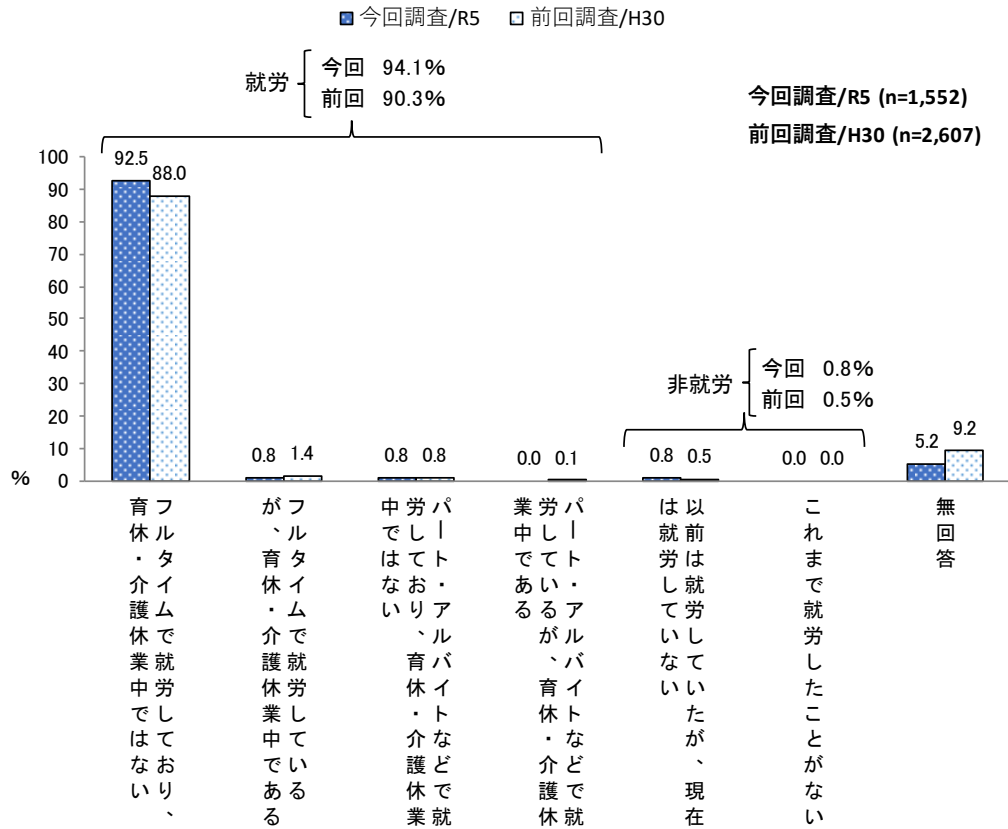
問 10(1)-2 母親：家を出る時刻



問 10(1)-2 母親：帰宅時刻

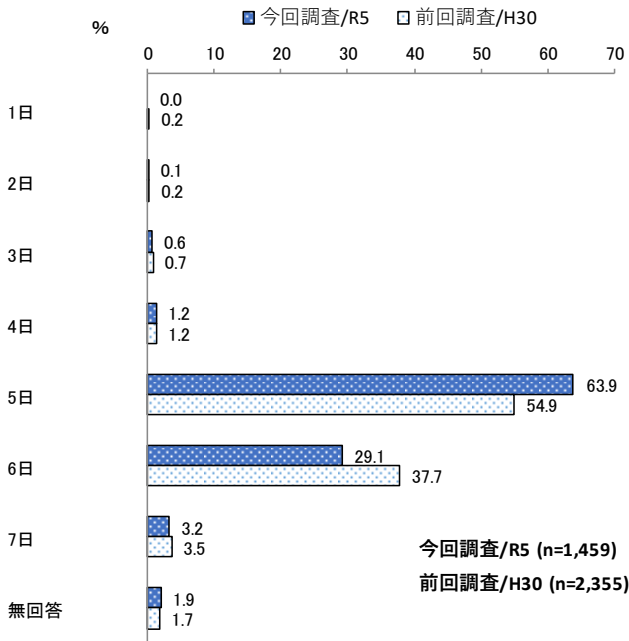


問 10(2) 父親の就労状況

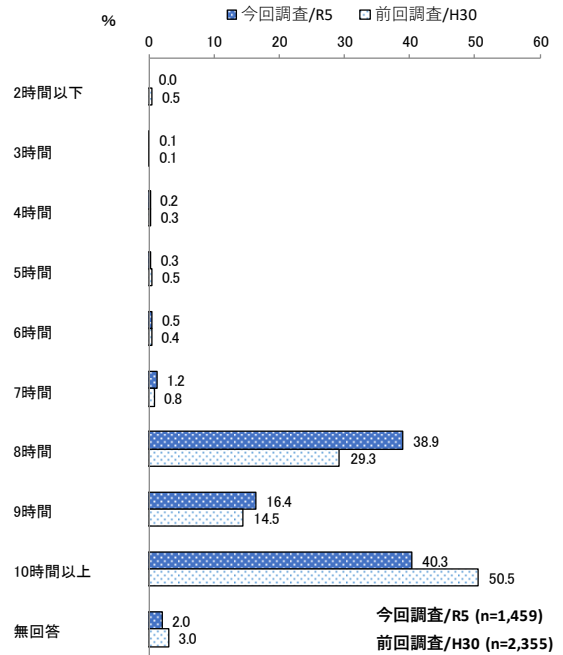


「就労している方」

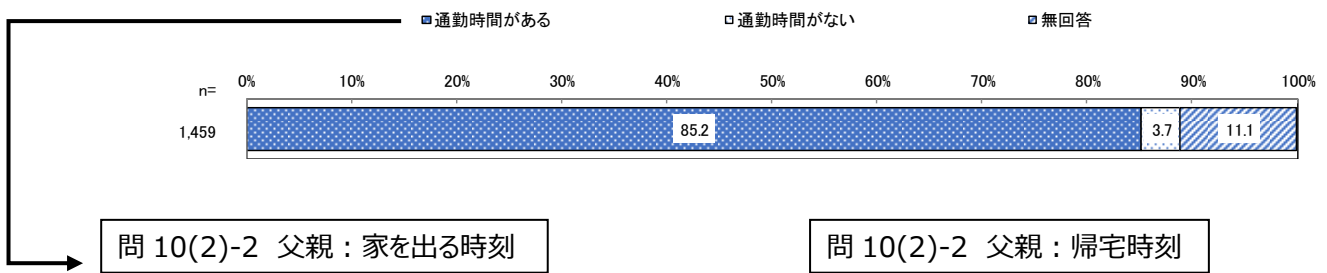
問 10(2)-1 父親：1週当たりの就労日数



問 10(2)-1 父親：1日当たりの就労時間

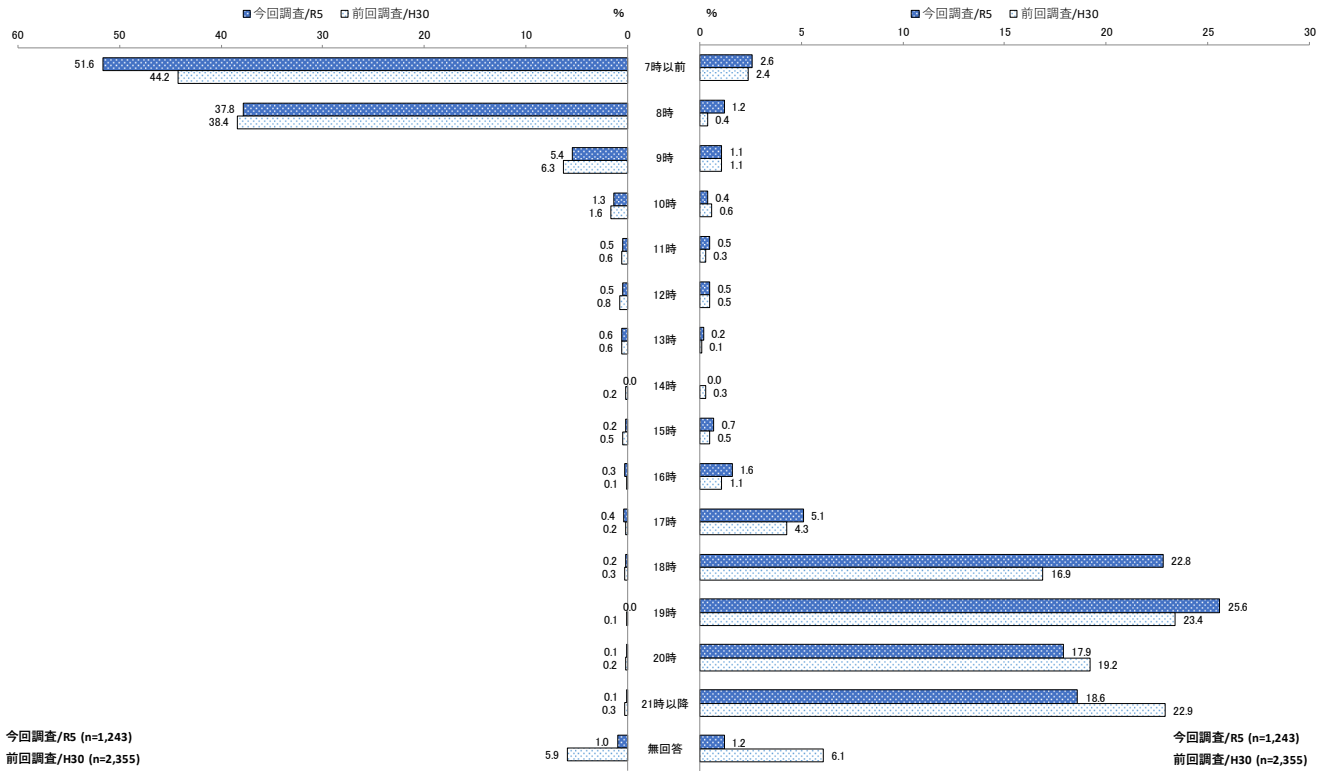


問 10(2)-2 父親：通勤時間の有無



問 10(2)-2 父親：家を出る時刻

問 10(2)-2 父親：帰宅時刻



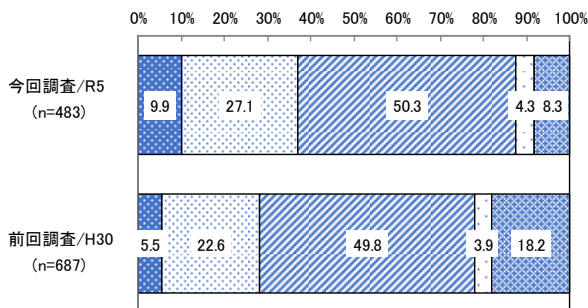
(2) フルタイムへの転換希望など

- 母親のフルタイムへの転換希望は前回より高いが、約半数がパートタイム等の継続就労を希望している。
【問 11(1)】
- 非就労の母親のうち就労希望の割合は約 6 割で、そのうち約 5 割がパートタイム等を希望し、1 週当たりの希望日数は「4 日」、1 日当たりの希望時間は「4 時間」が最も高い。また、子どもが何歳になった時に就労したいかは、「3 歳」が前回よりも大幅に減少した一方で、「6 歳」が大幅に増加し、4 割以上を占める。【問 12(1)】
- 父親のフルタイムへの転換希望は前回より大幅に高く、パートタイム等の継続就労希望はやや増加した。
【問 11(2)】
- 非就労の父親のうち就労希望の割合は前回より大幅に低く、子育てや家事などに専念したい割合はやや増加した。【問 12(2)】

問 10 (1) または (2) で「パート・アルバイトなどで就労している」と回答した方

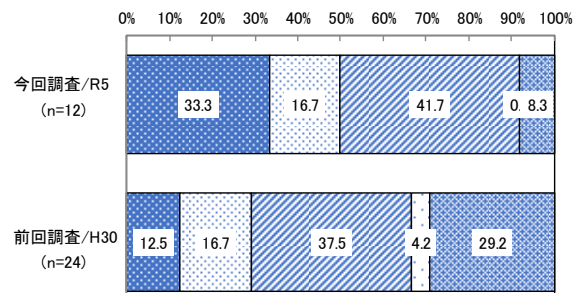
問 11(1) パート等の母親のフルタイムへの転換希望

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
- ▨パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▩パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



問 11(2) パート等の父親のフルタイムへの転換希望

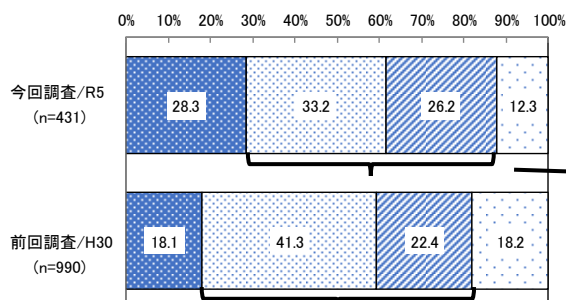
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
- ▨パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
- ▩パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい
- 無回答



問 10 (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

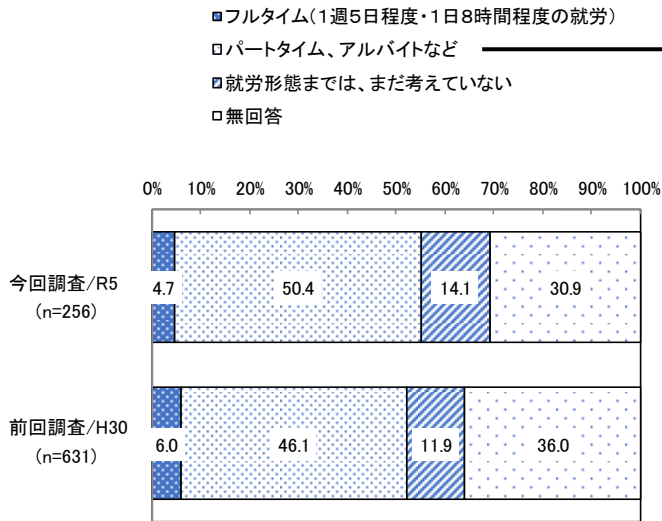
問 12(1) 非就労の母親：就労希望

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、宛名のお子さんが〇歳になったころに就労したい
- ▨すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

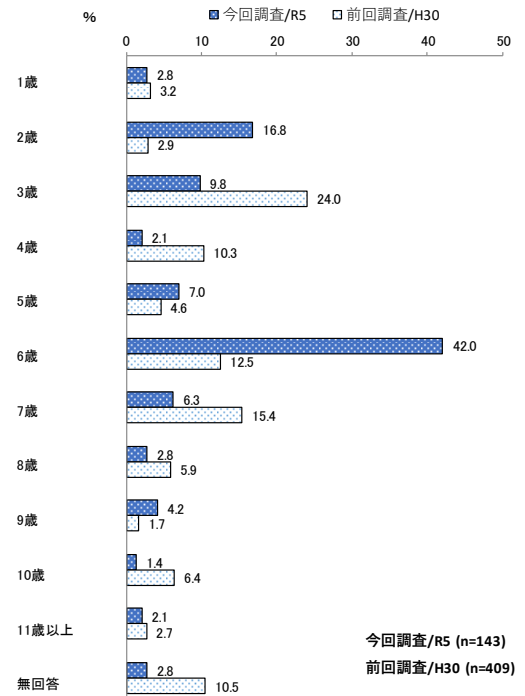


就労したい
今回：59.4%
前回：63.7%

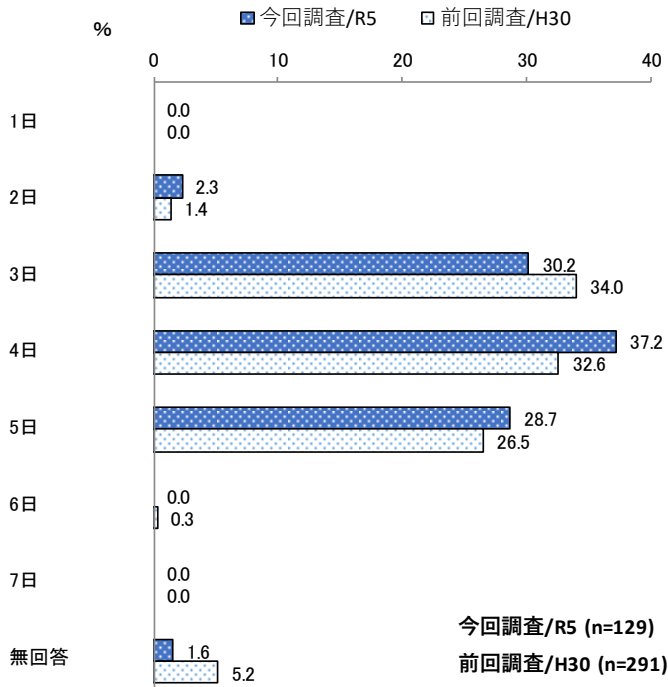
問 12(1) 非就労の母親：希望就労形態



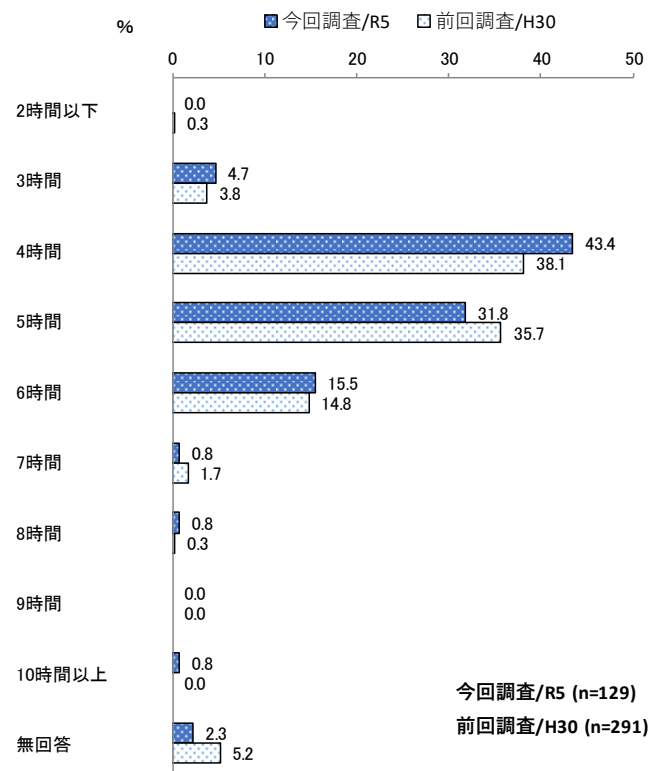
問 12(1) 非就労の母親：
子どもが何歳になれば就労したいか



問 12(1) 非就労の母親：
1週当たりの希望就労日数



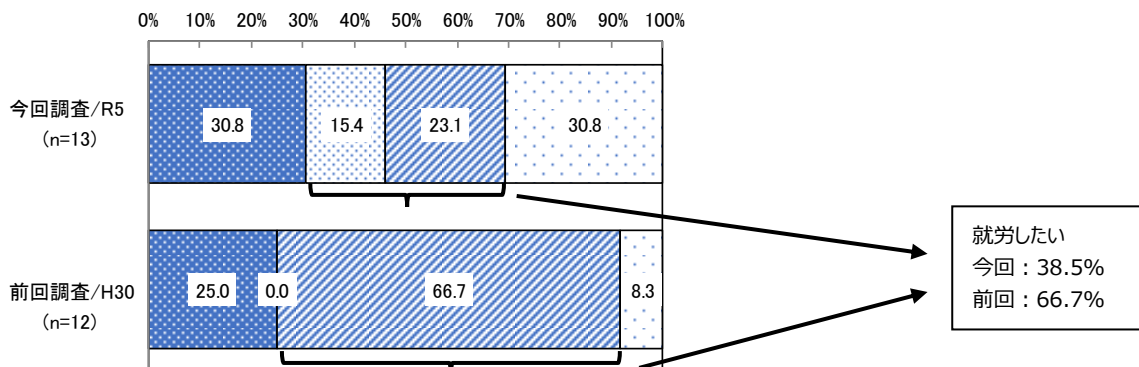
問 12(1) 非就労の母親：
1日当たりの希望就労時間



問 10 (2) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

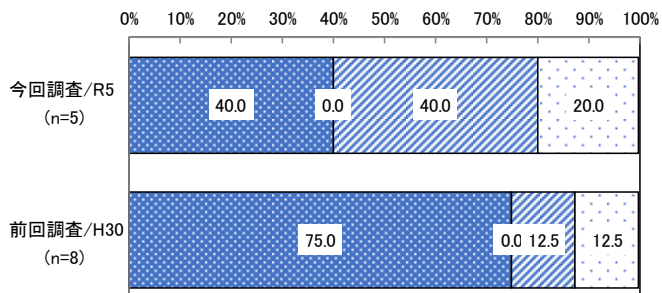
問 12(2) 非就労の父親：就労希望

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、宛名のお子さんが〇歳になったところに就労したい
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



問 12(2) 非就労の父親：希望就労形態

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パートタイム、アルバイトなど
- 就労形態までは、まだ考えていない
- 無回答

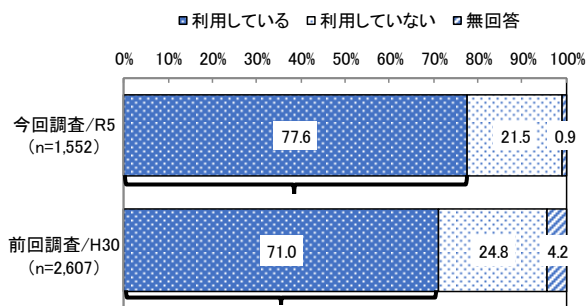


4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

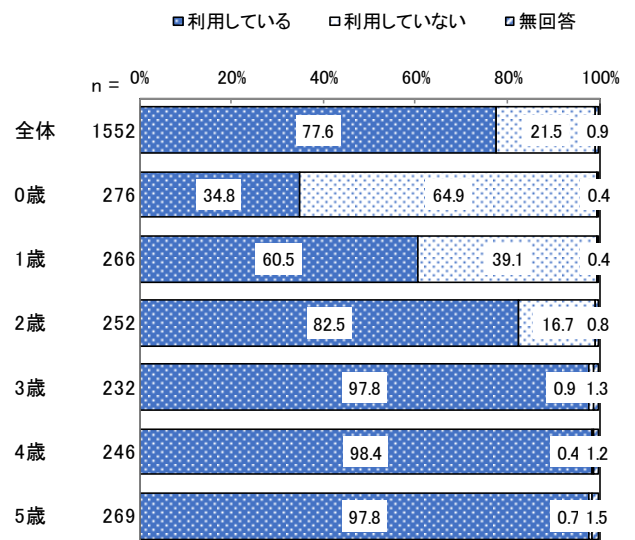
(1) 現在の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用状況

- 定期的な教育・保育事業の利用割合は7割以上で、子どもの年齢が0～1歳では「保育所」や「認定こども園」、3歳以上では「幼稚園」の割合が高い。【問13】【問13-1】
- 現在の1日当たりの利用時間は「8時間」が17.9%と最も高く、前回より6.0ポイント増加した。一方、前回最も高かった「10時間以上」は、4.0ポイント減少し、17.6%となった。【問13-2(1)】
- 教育・保育の未利用者が、利用を希望する子どもの年齢は「3歳」が49.6%と最も高い。また、「1歳」の利用希望が前回の17.5%から34.2%と、16.7ポイントも大幅に増加している。【問13-6】

問13 定期的な教育・保育利用の有無

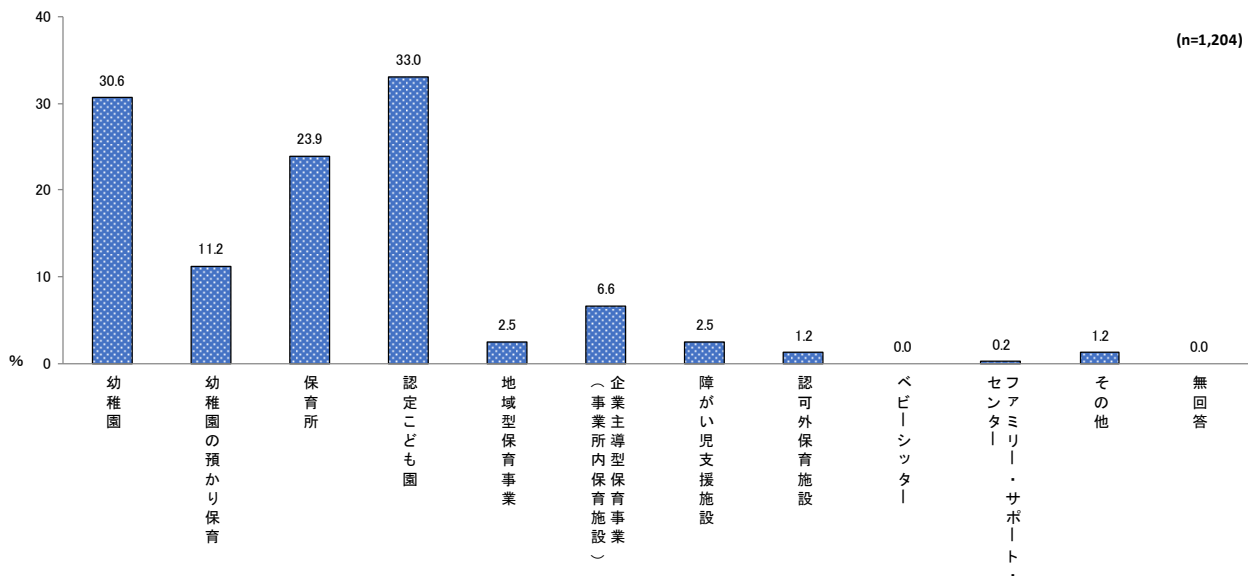


問13 定期的な教育・保育利用（年齢別）



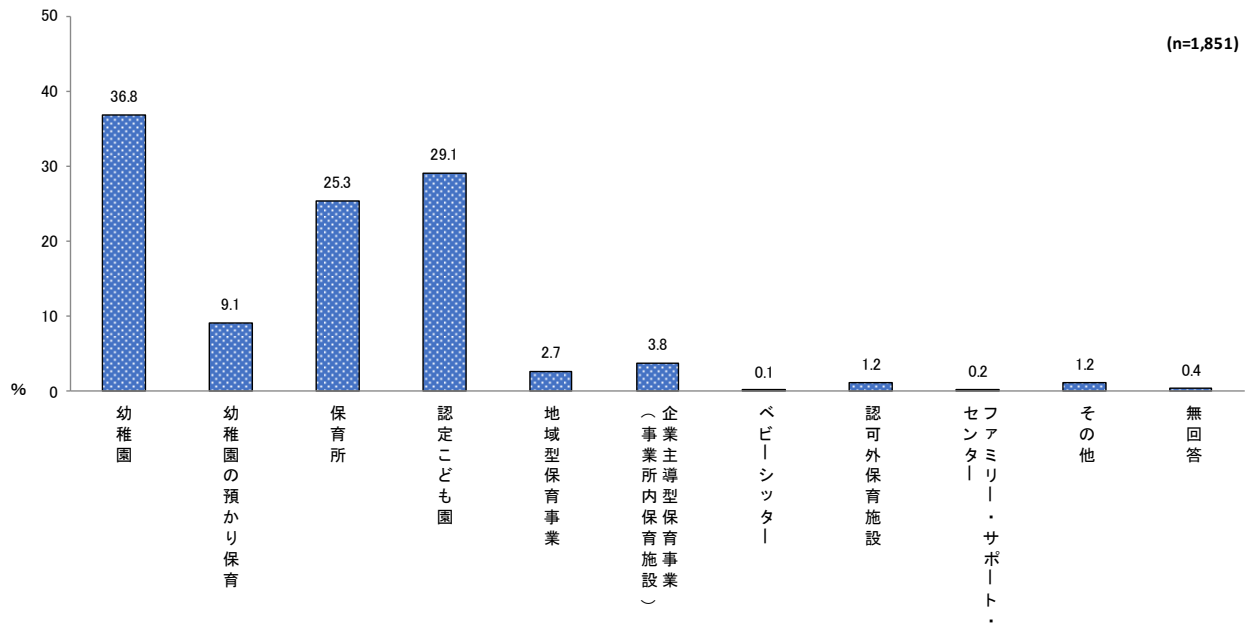
【今回調査：R5】

問13-1 定期的にご利用している教育・保育事業



【前回調査：H30】

問 13-1 定期的に利用している教育・保育事業

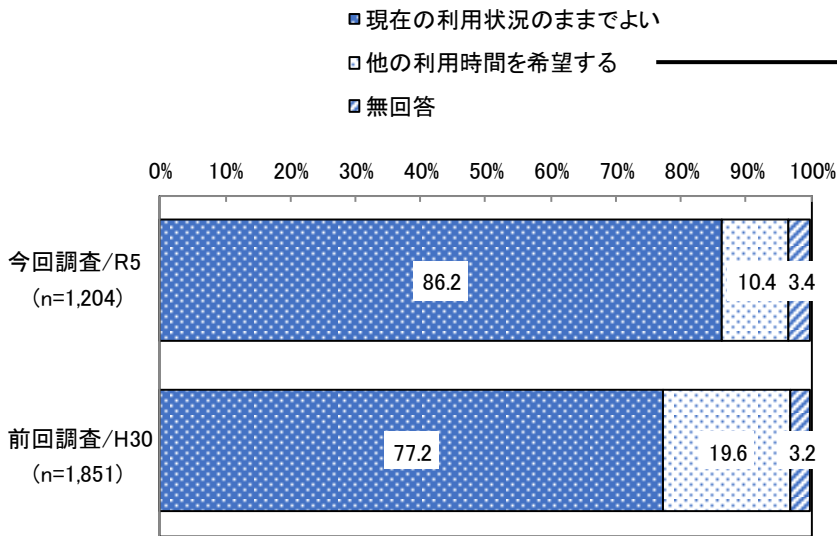


問 13-1 教育・保育事業の利用割合 (年齢別)

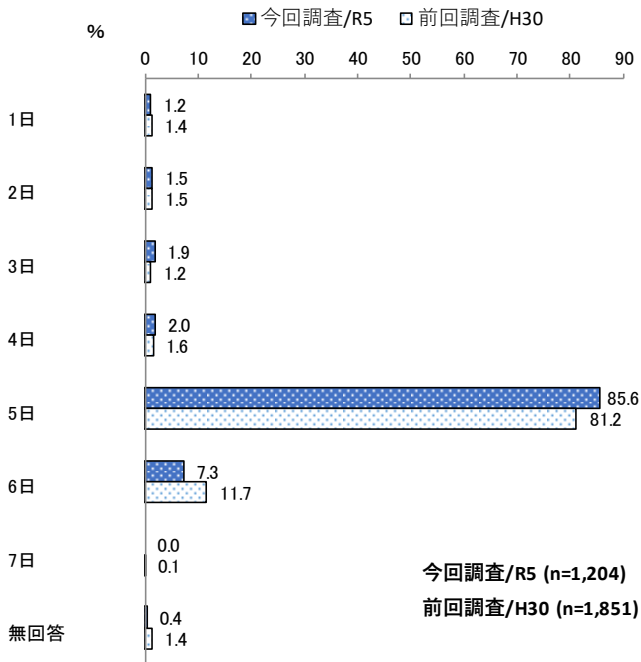
(単位: %)

		全体 (人)	幼稚園	幼稚園 の預かり 保育	保育所	認定こど も園	地域型 保育事 業	企業主 導型保 育事業	障がい 児支援 施設	認可外 保育施 設	ベビー シッター	ファミ リー・サ ポート・ センター	その他	無回答
全 体		1,204	30.6	11.2	23.9	33.0	2.5	6.6	2.5	1.2	0.0	0.2	1.2	0.0
対 象 の 子 ど も の 年 齢	0歳	96	7.3	2.1	35.4	30.2	10.4	14.6	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0
	1歳	161	2.5	1.9	34.8	32.3	7.5	18.0	1.9	1.2	0.0	0.0	2.5	0.0
	2歳	208	19.7	5.3	31.3	31.7	3.8	8.7	3.4	1.4	0.0	0.5	1.9	0.0
	3歳	227	44.1	11.9	20.3	31.3	0.0	2.2	3.1	1.3	0.0	0.4	0.4	0.0
	4歳	242	42.6	19.0	16.9	33.5	0.0	4.1	2.9	1.2	0.0	0.0	0.8	0.0
	5歳	263	43.0	16.7	16.7	36.1	0.0	1.1	2.3	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0

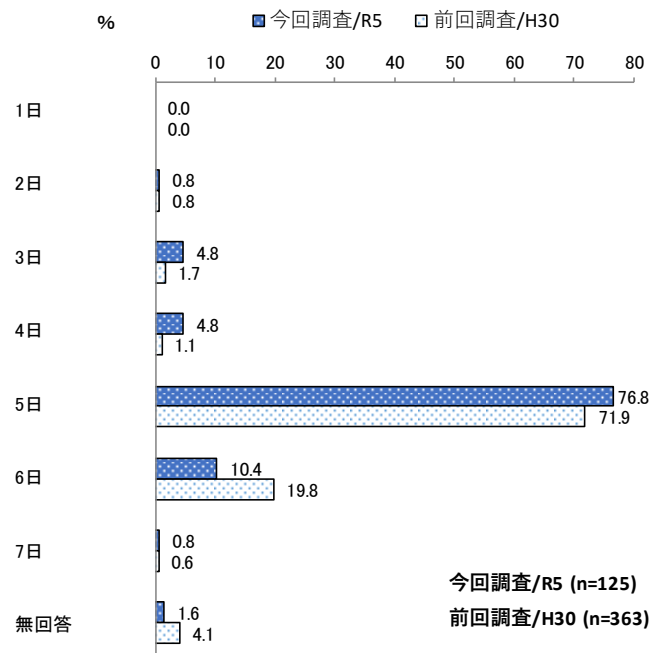
問 13-2(2) 平日の定期的な教育・保育事業利用の希望



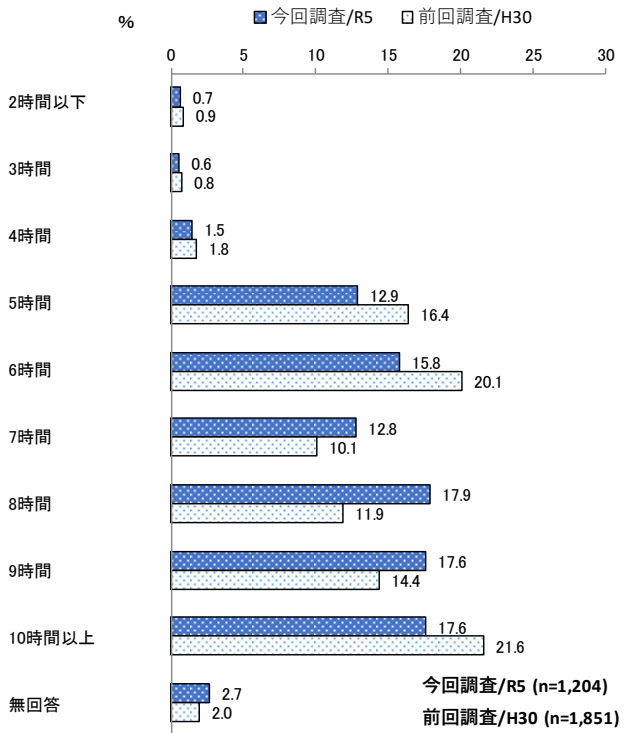
問 13-2(1) 現在：1週当たりの利用日数



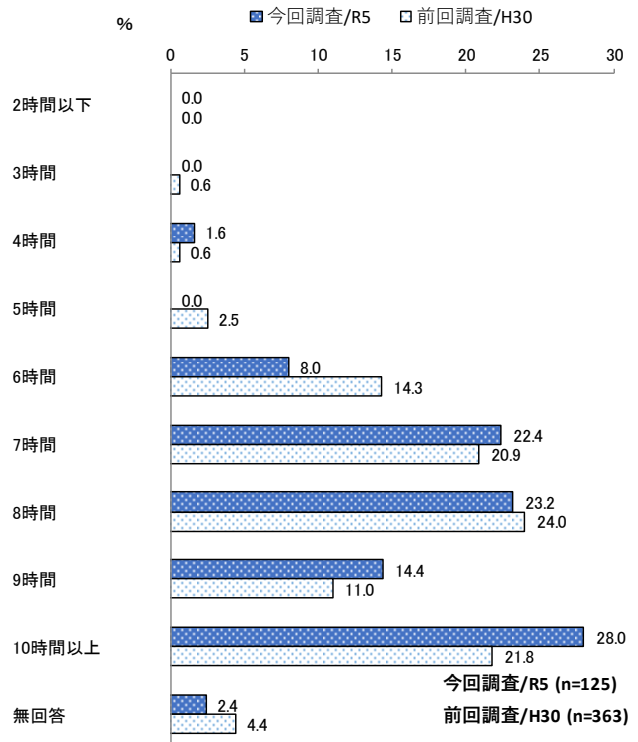
問 13-2(2) 希望：1週当たりの利用日数



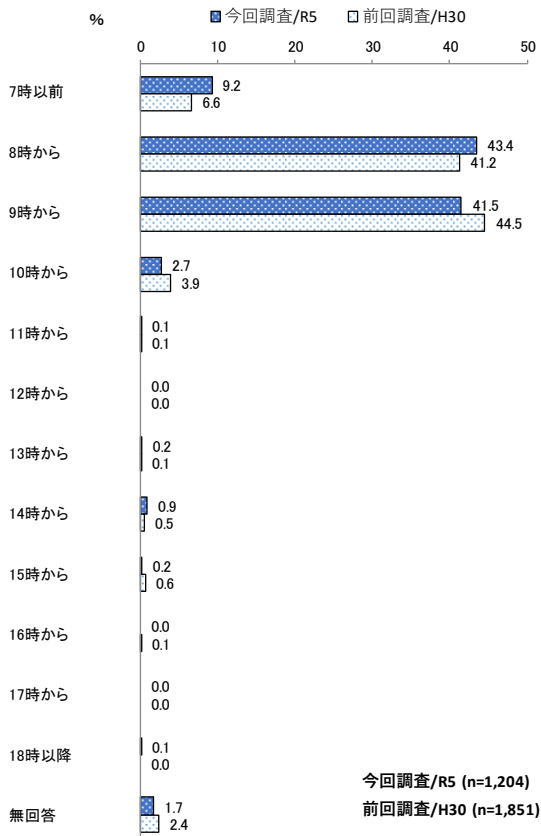
問 13-2(1) 現在：1日当たりの利用時間



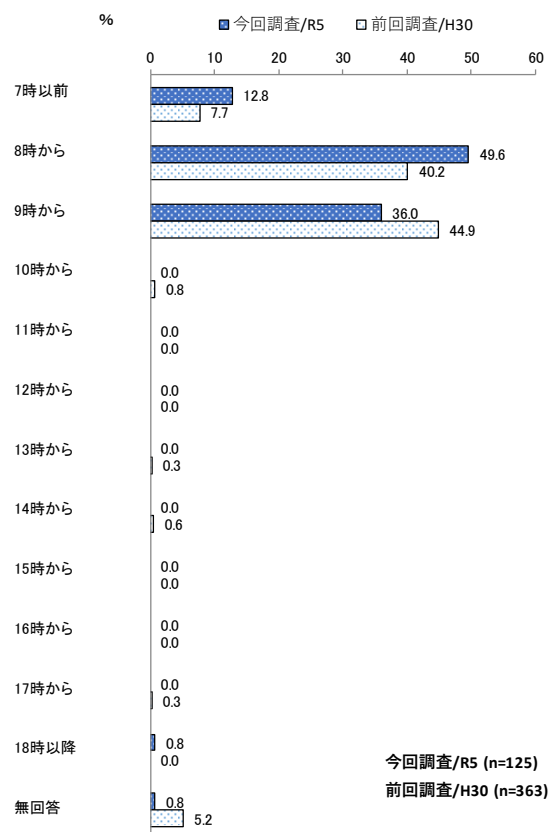
問 13-2(2) 希望：1日当たりの利用時間



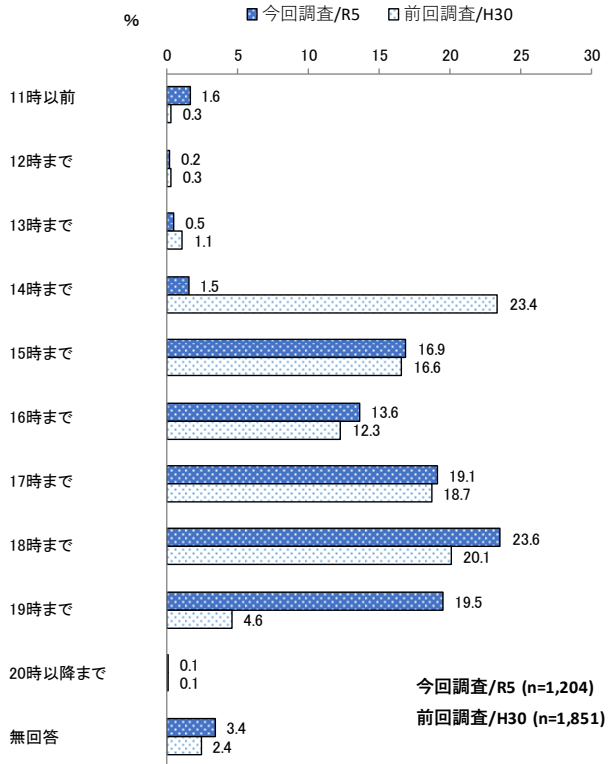
問 13-2(1) 現在：何時から



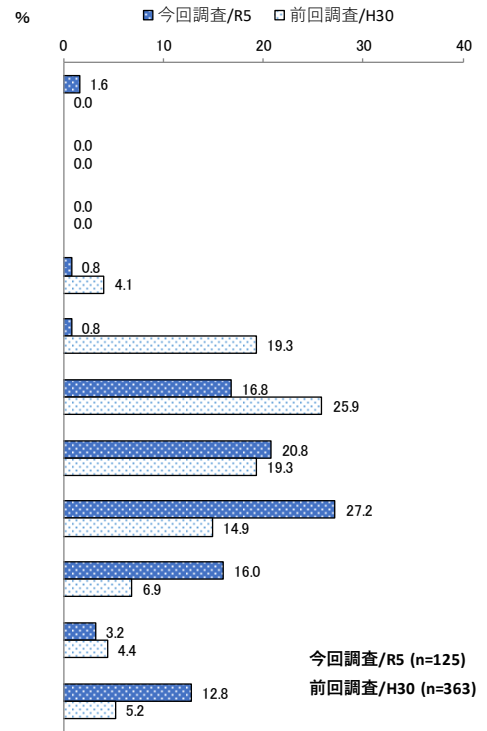
問 13-2(2) 希望：何時から



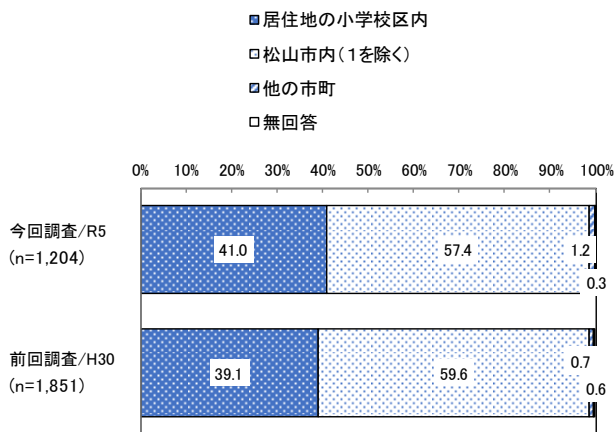
問 13-2(2) 現在：何時まで



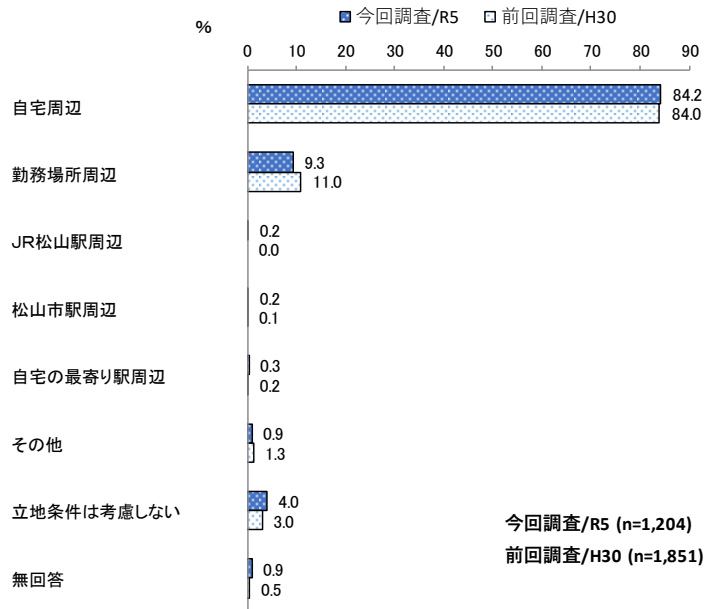
問 13-2(2) 希望：何時まで



問 13-3 定期的に利用している事業の実施場所

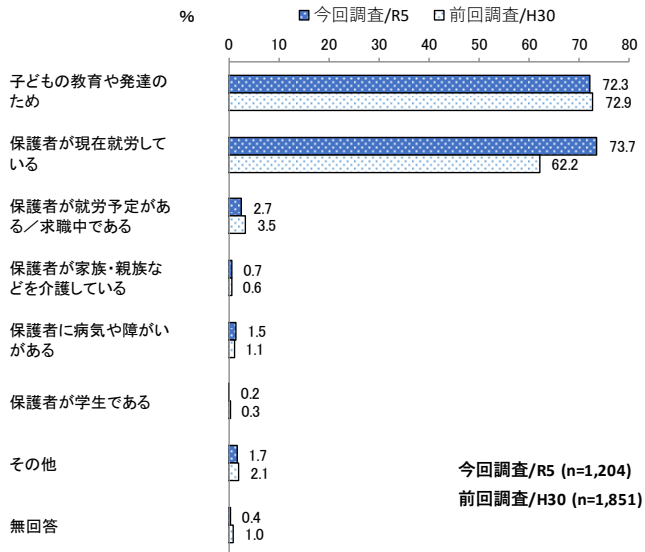


問 13-4 預ける場所の理想

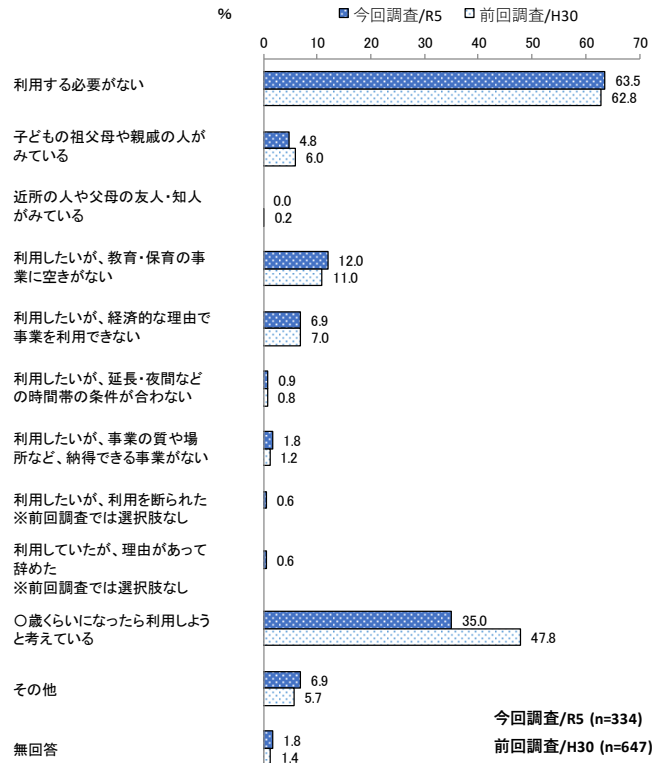


問 13 で「利用していない」と回答した方

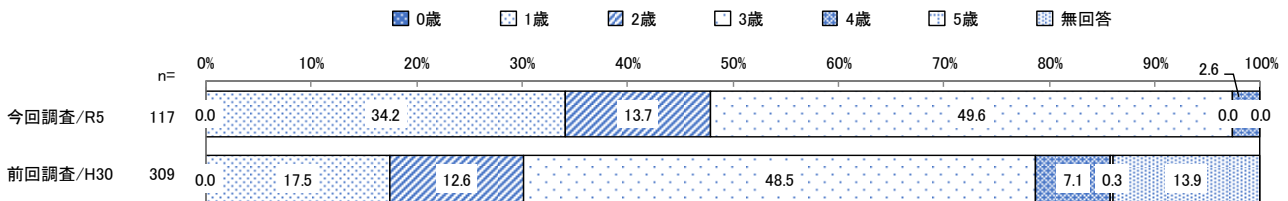
問 13-5 定期的にご利用している理由



問 13-6 定期的にご利用していない理由



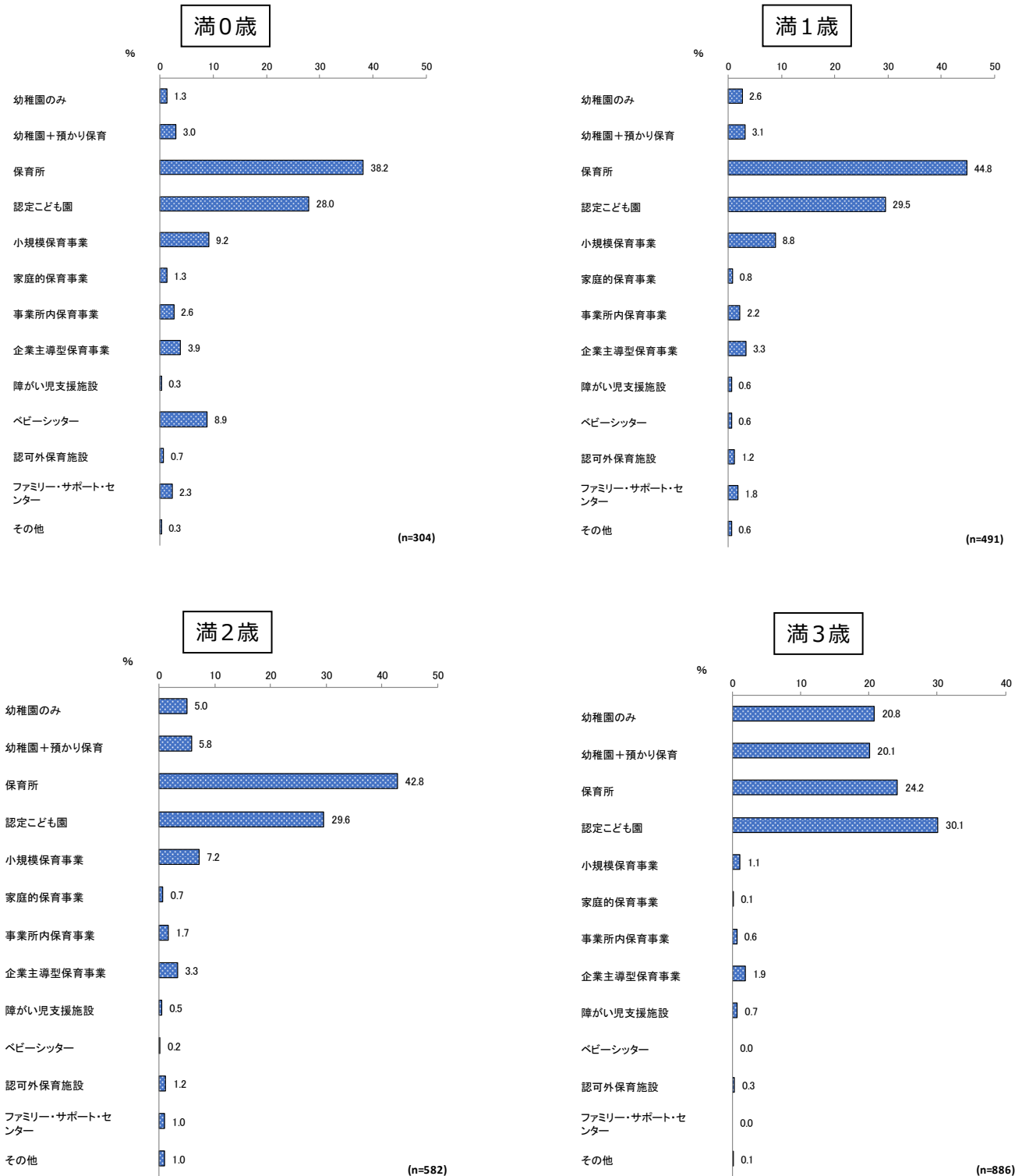
問 13-6 定期的教育・保育を利用したい年齢

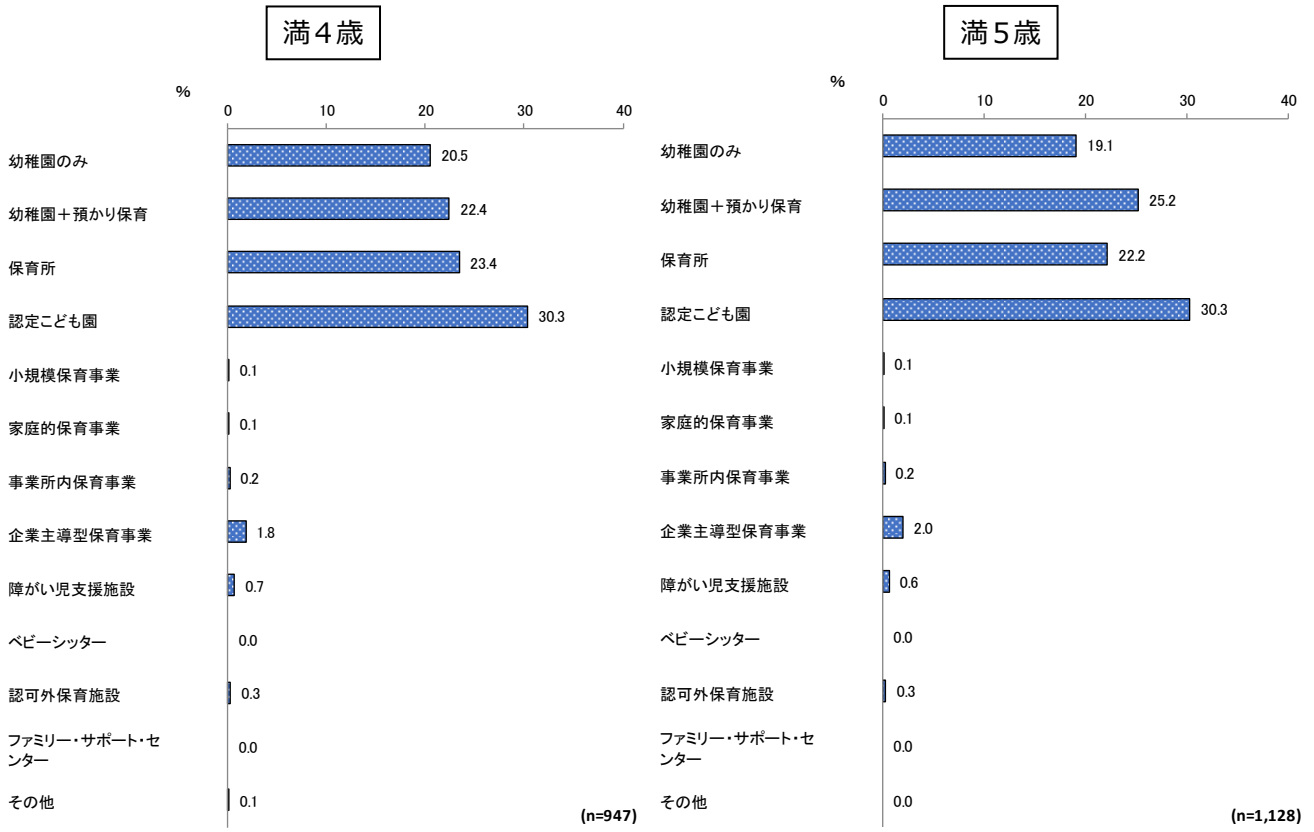


(2) 利用したい「平日の教育・保育の事業」

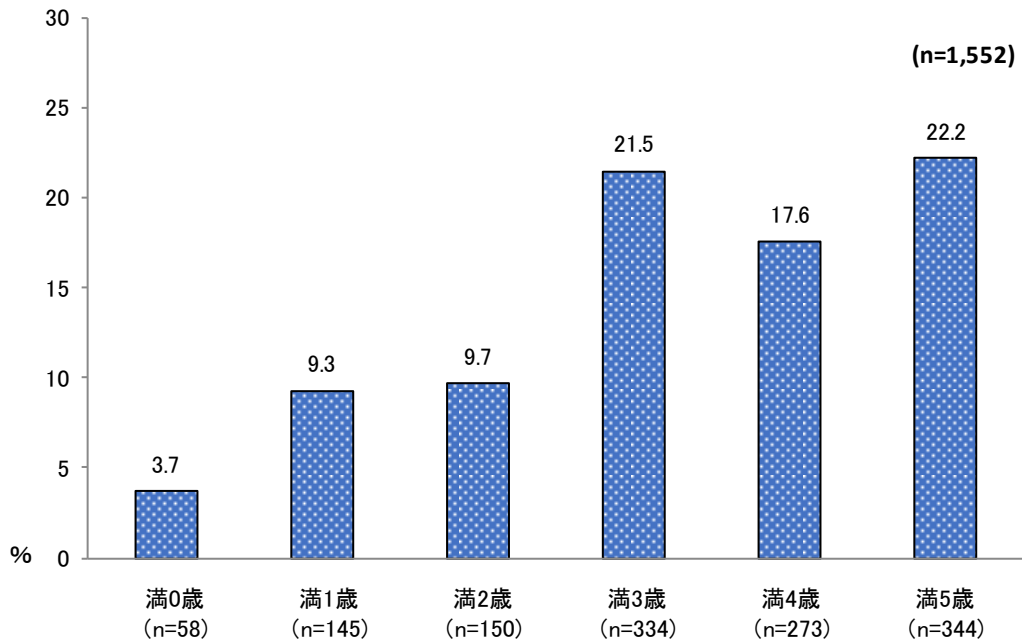
- 満2歳以下ではいずれの年齢でも「保育所」が最も高いが、満3歳以上では年齢が高くなるほど割合が低くなる傾向がある。【問14】
- 満3歳以上では「認定こども園」が最も高く、いずれの年齢でも3割程度を占める。【問14】

問14 利用したい教育・保育の事業（「利用しない」「無回答」を除く）



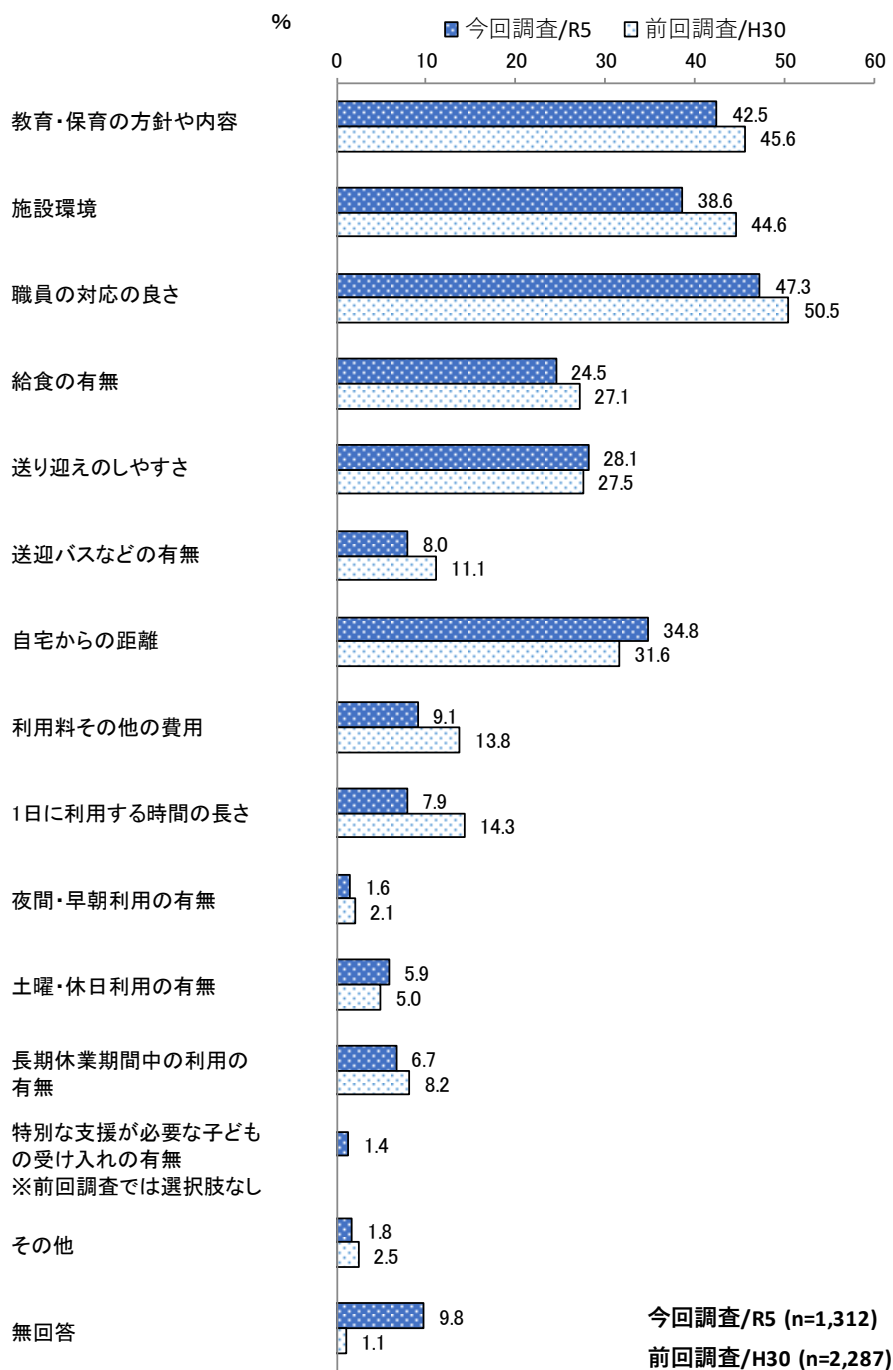


問 14 特定の園を希望する年齢と割合



問 14 で「その他」、「利用しない」以外を回答した方

問 15 教育・保育事業を選ぶ際に重視すること

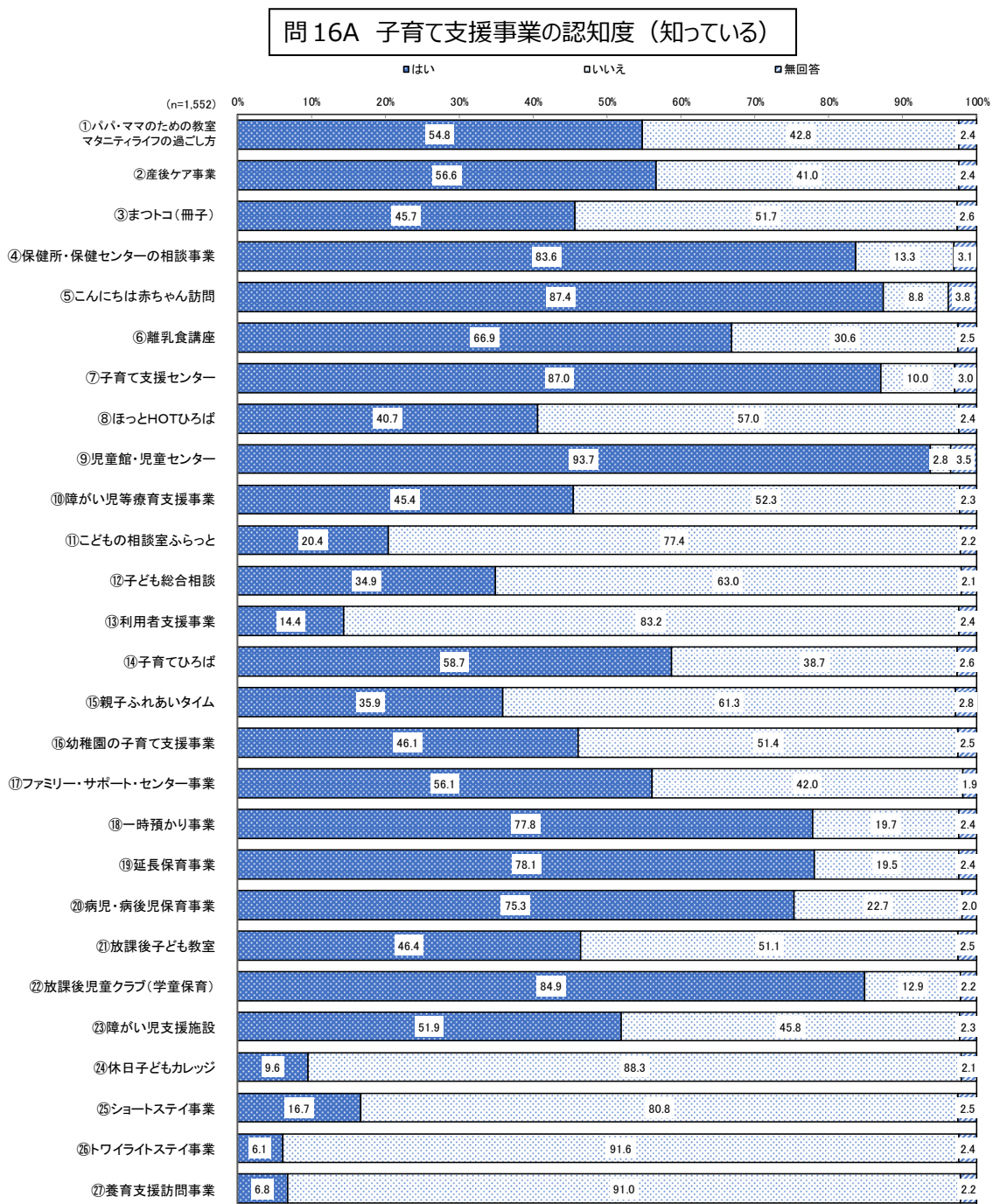


5 地域の子育て支援事業の利用状況について

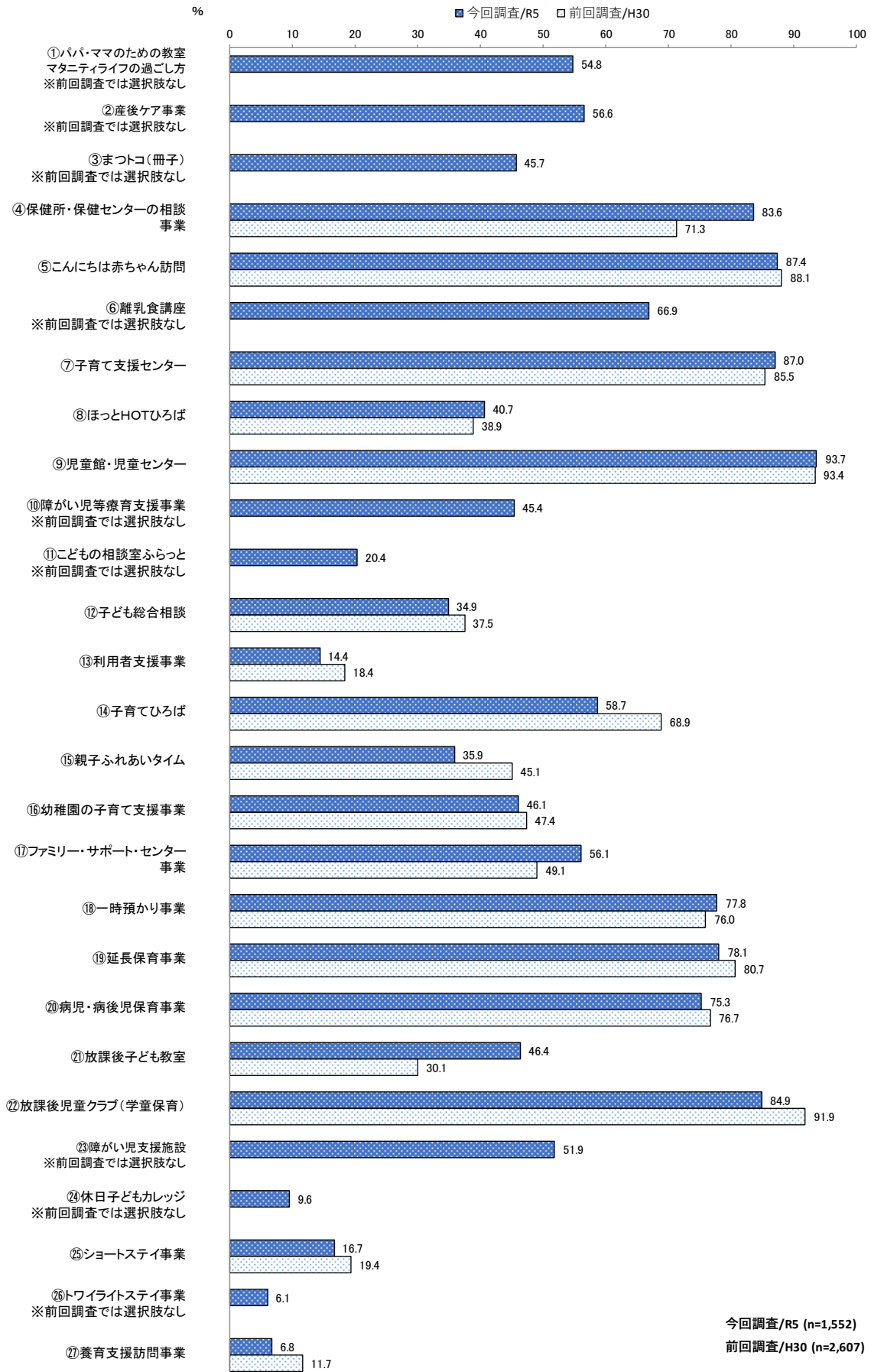
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向

【A 認知度】

- 認知度が8割以上の事業は、「保健所・保健センターの相談事業」「こんにちは赤ちゃん訪問」「子育て支援センター」「児童館・児童センター」「放課後児童クラブ（学童保育）」である。【問 16A】
- 「はい」の割合で前回比較すると、「保健所・保健センターの相談事業」「放課後子ども教室」は増加し、「子育てひろば」は減少している。【問 16A】



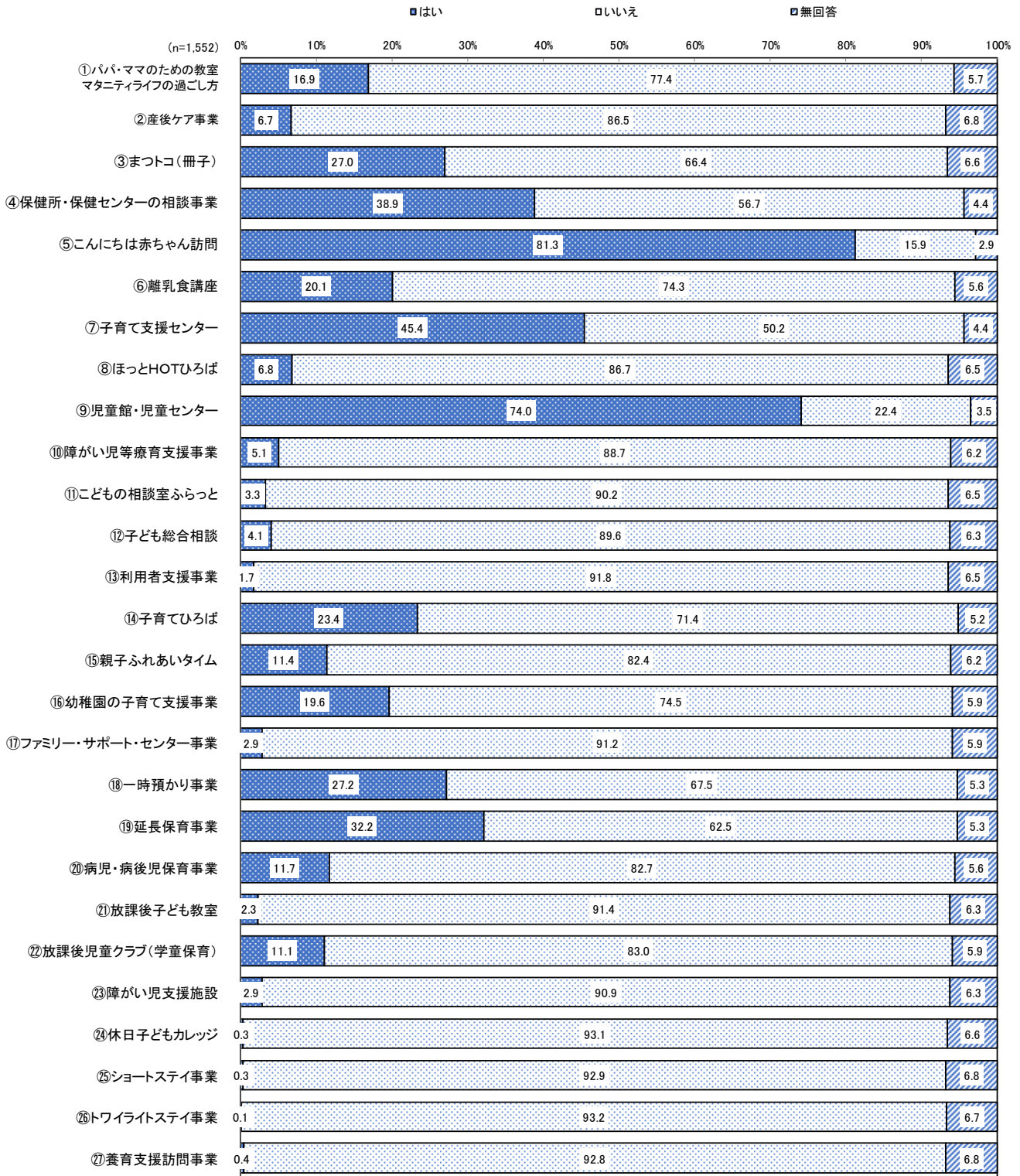
問 16A 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



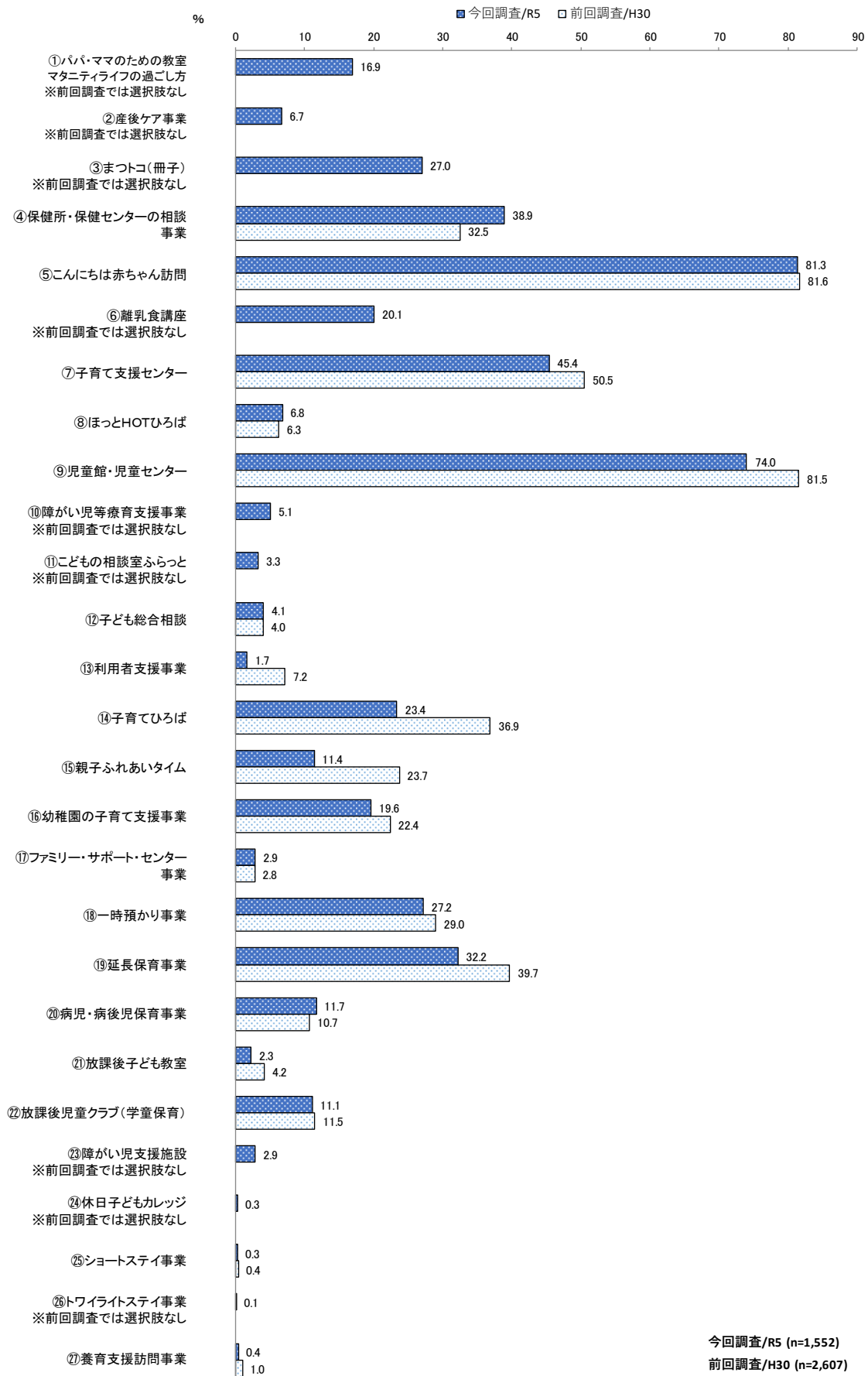
【B 利用実績】

- 利用したことがある割合が7割以上の事業は、「こんにちは赤ちゃん訪問」「児童館・児童センター」であったが、利用が少ない事業もある。【問 16B】
- 「はい」の割合で前回と比較すると、「保健所・保健センターの相談事業」「ほっと HОT ひろば」「子ども総合相談」「ファミリー・サポート・センター事業」「病児・病後児保育事業」の利用が増加した。【問 16B】

問 16B 子育て支援事業の利用経験（利用あり）



問 16B 前回調査との比較：「はい」の割合のみ

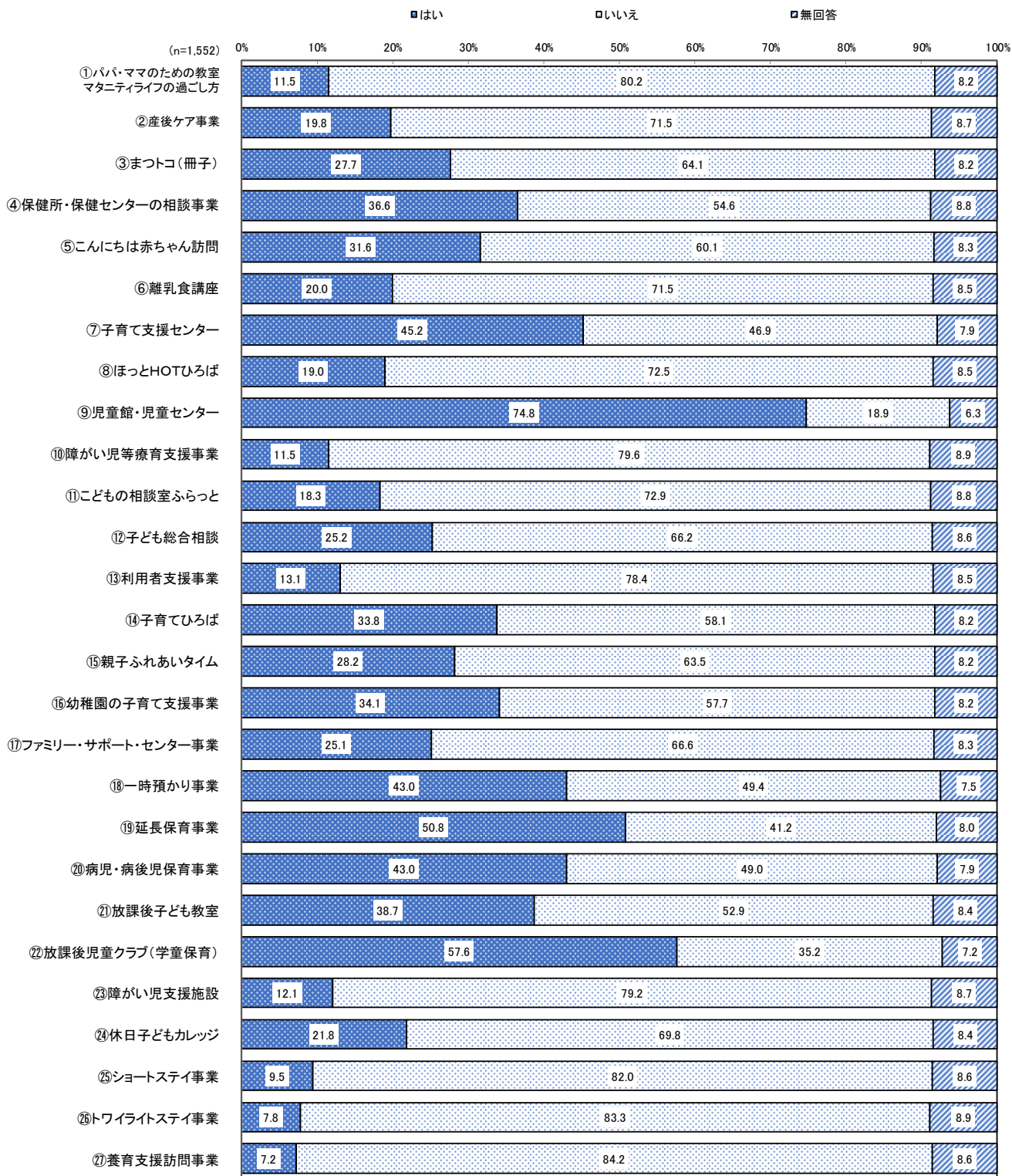


今回調査/R5 (n=1,552)
前回調査/H30 (n=2,607)

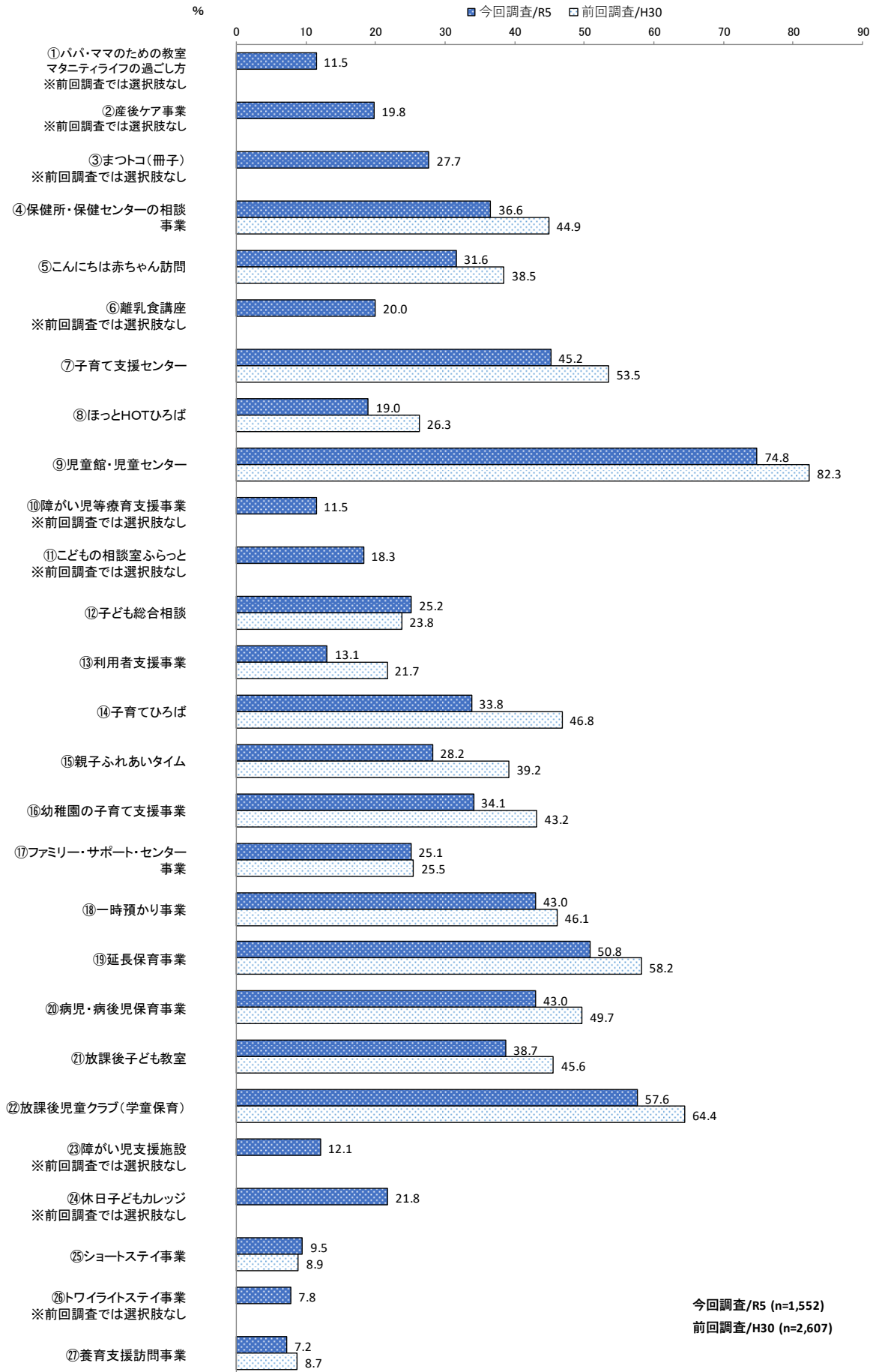
【C 利用意向】

- 今後の利用意向の割合が5割以上の事業は、「児童館・児童センター」「延長保育事業」「放課後児童クラブ（学童保育）」である。【問 16C】
- 「はい」の割合で前回と比較すると、「子ども総合相談」の利用希望は増加し、「子育てひろば」「親子ふれあいタイム」の利用希望は減少している。【問 16C】

問 16C 子育て支援事業の利用希望（利用したい）



問 16C 前回調査との比較：「はい」の割合のみ

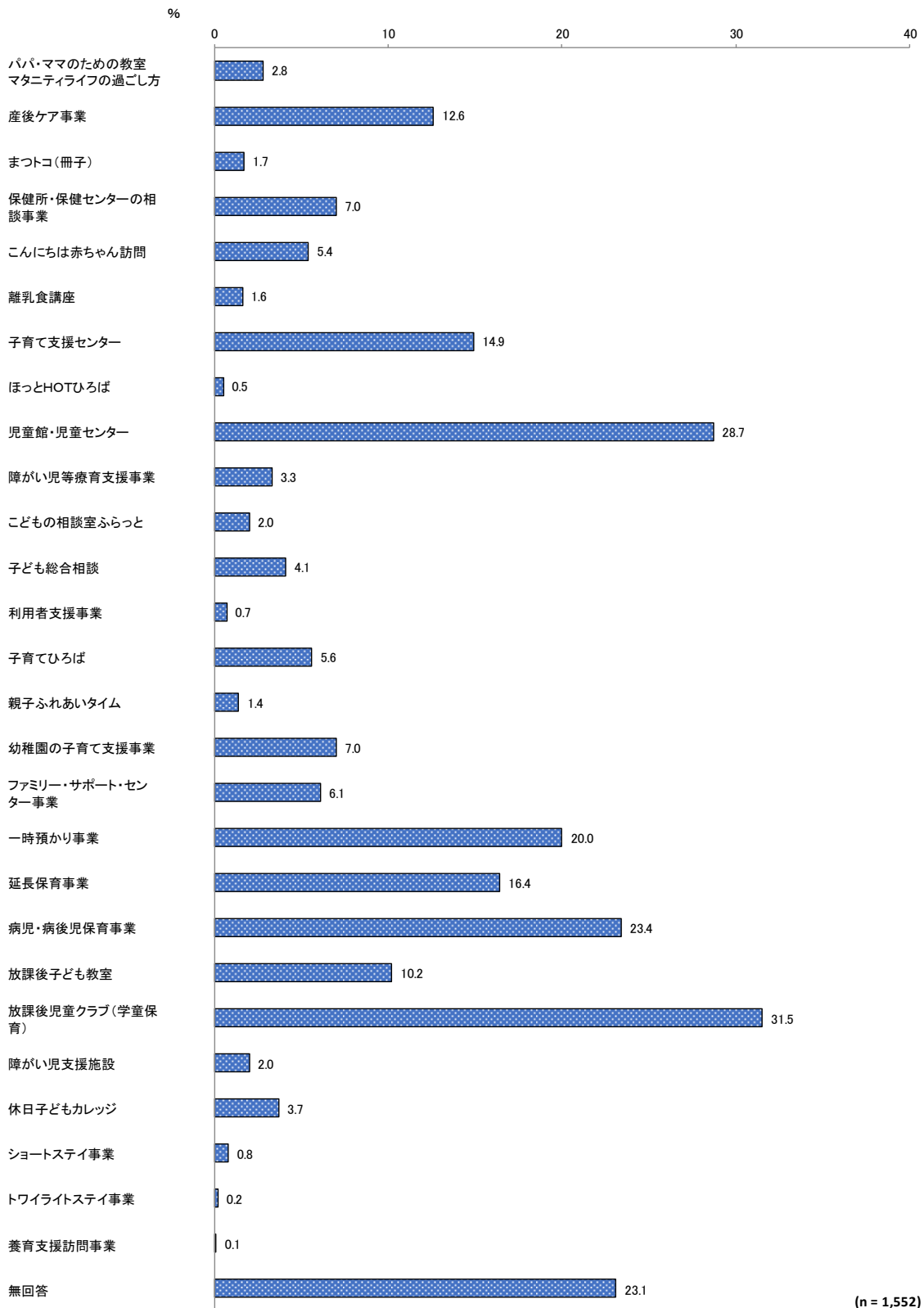


今回調査/R5 (n=1,552)
前回調査/H30 (n=2,607)

【D 行政に対して期待する取り組み】

- 重点的に取り組みを期待するものは、「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高く、次いで「児童館・児童センター」「病児・病後児保育事業」「一時預かり事業」となっている。【問 16D】

問 16D 行政に対して、重点的に取り組みを期待するもの



(n = 1,552)

(2) 現在の利用回数と希望する利用回数

- 最も回答が多かった「児童館・児童センター」では、1週間の利用回数は1回で、希望する利用回数も1回であった。また、「延長保育事業」では、1週間の利用回数は5回で、希望する利用回数も、同様に5回であった。
【問 16-1】【問 16-2】

問 16-1 現在の1週間当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
⑦子育て支援センター	今回 (R5)	704	7.2	3.0	2.0	1.0	0.3	0.0	0.0	86.5
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,149	9.6	2.4	1.2	0.4	0.2	0.0	0.0	86.2
	前回 (H30)	1,316	6.6	3.3	2.3	0.4	0.1	0.0	0.0	87.3
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	79	26.6	13.9	3.8	0.0	5.1	1.3	0.0	49.4
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回 (R5)	27	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	187	2.7	1.1	0.5	0.5	4.8	0.0	0.0	90.4
⑭子育てひろば	今回 (R5)	363	9.4	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.4
	前回 (H30)	962	7.5	2.9	0.6	0.5	0.1	0.0	0.0	88.4
⑮親子ふれあいタイム	今回 (R5)	177	9.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	89.3
	前回 (H30)	618	6.3	2.1	1.3	0.0	0.3	0.0	0.0	90.0
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回 (R5)	45	6.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	91.1
	前回 (H30)	72	4.2	4.2	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	90.3
⑱一時預かり事業	今回 (R5)	422	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	756	7.1	6.1	4.1	2.0	1.9	0.3	0.0	78.6
⑲延長保育事業	今回 (R5)	499	4.8	5.4	3.4	3.8	11.6	0.8	0.0	70.1
	前回 (H30)	1,036	5.7	2.4	3.1	2.7	14.3	1.5	0.0	70.3
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	182	2.2	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	96.2
	前回 (H30)	278	1.8	1.1	0.7	0.4	1.1	0.0	0.0	95.0
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3
	前回 (H30)	27	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.3

問 16-1 現在の1カ月当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数 (回)※
⑦子育て支援センター	今回 (R5)	704	42.6	6.0	1.8	1.3	0.4	0.1	0.0	47.7	2.2
	前回 (H30)	1,316	39.6	10.3	3.6	2.3	0.5	0.0	0.0	43.8	2.7
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,149	58.5	8.3	1.0	0.6	0.1	0.0	0.0	31.6	1.7
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	79	8.9	16.5	8.9	1.3	3.8	0.0	0.0	60.8	6.2
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回 (R5)	27	11.1	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.2	1.8
	前回 (H30)	187	20.3	2.7	1.1	0.5	5.3	0.0	0.0	70.1	5.1
⑭子育てひろば	今回 (R5)	363	36.9	6.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	55.9	1.7
	前回 (H30)	962	37.2	11.1	3.1	0.6	0.6	0.0	0.0	47.3	2.5
⑮親子ふれあいタイム	今回 (R5)	177	32.8	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1	1.5
	前回 (H30)	618	39.0	9.2	2.4	1.3	0.3	0.0	0.0	47.7	2.3
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回 (R5)	45	33.3	4.4	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	1.9
	前回 (H30)	72	15.3	6.9	5.6	0.0	1.4	0.0	0.0	70.8	3.9
⑱一時預かり事業	今回 (R5)	422	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	前回 (H30)	756	17.6	13.8	8.6	7.3	4.0	0.3	0.0	48.5	6.1
⑲延長保育事業	今回 (R5)	499	24.0	7.4	3.6	2.0	5.6	1.0	0.0	56.3	5.6
	前回 (H30)	1,036	30.4	12.0	3.2	3.5	18.1	1.6	0.0	31.2	7.9
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	182	45.6	7.7	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	45.6	1.6
	前回 (H30)	278	39.6	5.0	1.4	0.7	1.4	0.0	0.0	51.8	2.4
㉑ショートステイ事業	今回 (R5)	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	4.0
	前回 (H30)	11	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8	1.0
㉒トワイライトステイ事業	今回 (R5)	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	7.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉓養育支援訪問事業	今回 (R5)	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	1.0
	前回 (H30)	27	25.9	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	2.2

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数

問 16-2 希望する1週間当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
⑦子育て支援センター	今回 (R5)	702	10.5	3.1	1.1	0.4	0.3	0.0	0.0	84.5
	前回 (H30)	1,394	10.0	3.5	2.0	0.4	0.3	0.0	0.0	83.8
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,161	11.9	3.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	83.5
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	179	8.9	3.9	2.8	0.0	2.8	0.0	0.0	81.6
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回 (R5)	203	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.1
	前回 (H30)	566	4.9	0.4	0.7	0.0	1.6	0.4	0.0	92.0
⑭子育てひろば	今回 (R5)	524	9.2	1.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5
	前回 (H30)	1,220	10.3	3.1	1.2	0.1	0.2	0.0	0.0	85.0
⑮親子ふれあいタイム	今回 (R5)	438	7.3	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9
	前回 (H30)	1,023	11.2	2.2	1.8	0.0	0.2	0.0	0.0	84.6
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回 (R5)	389	5.9	1.5	1.3	0.3	0.8	0.0	0.0	90.2
	前回 (H30)	666	6.6	1.7	0.9	0.2	0.8	0.0	0.0	89.9
⑱一時預かり事業	今回 (R5)	668	7.8	4.3	4.5	0.7	2.2	0.0	0.1	80.2
	前回 (H30)	1,202	9.5	3.2	2.7	0.9	2.2	0.0	0.0	81.5
⑲延長保育事業	今回 (R5)	789	4.9	3.9	3.9	2.2	10.0	0.3	0.1	74.7
	前回 (H30)	1,518	7.2	3.8	4.9	2.7	11.9	1.1	0.1	68.3
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	668	1.6	0.1	0.3	0.1	0.4	0.0	0.0	97.3
	前回 (H30)	1,296	3.3	0.8	0.6	0.4	0.7	0.0	0.2	94.1
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	147	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	97.3
	前回 (H30)	232	3.9	0.4	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	94.4
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	121	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	98.3
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	111	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	94.6
	前回 (H30)	226	3.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	95.6

問 16-2 希望する1カ月当たりの利用回数

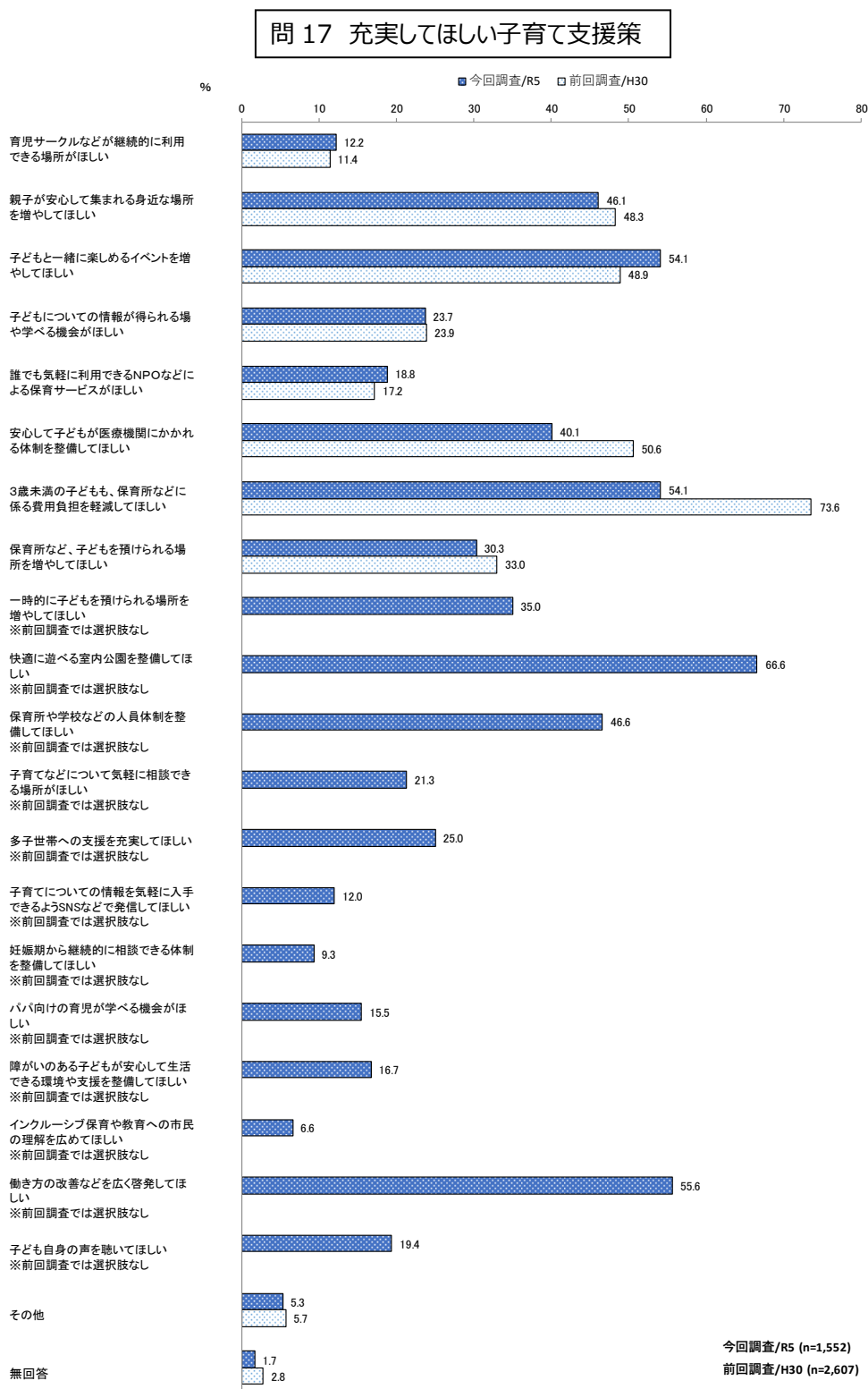
(単位:%)

		全体(人)	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数 (回)※
⑦子育て支援センター	今回 (R5)	702	37.0	7.1	1.3	0.7	0.1	0.0	0.0	53.7	2.0
	前回 (H30)	1,394	34.5	14.4	3.9	2.0	0.6	0.0	0.0	44.5	3.0
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,161	46.9	10.0	1.6	0.3	0.1	0.0	0.0	41.2	2.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	179	12.8	6.7	2.8	0.6	1.1	0.6	0.0	75.4	4.4
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回 (R5)	203	22.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.3	1.1
	前回 (H30)	566	34.6	6.0	0.4	0.7	1.6	0.4	0.0	56.4	2.6
⑭子育てひろば	今回 (R5)	524	31.5	5.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	63.0	1.6
	前回 (H30)	1,220	37.8	13.9	3.3	1.2	0.3	0.0	0.0	43.4	2.6
⑮親子ふれあいタイム	今回 (R5)	438	30.8	3.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	66.0	1.4
	前回 (H30)	1,023	36.2	13.8	2.3	1.8	0.2	0.0	0.0	45.7	2.6
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回 (R5)	389	30.6	3.1	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	65.0	1.6
	前回 (H30)	666	32.9	9.0	1.8	1.1	0.9	0.0	0.0	54.4	2.6
⑱一時預かり事業	今回 (R5)	668	22.0	6.0	3.4	2.5	1.2	0.0	0.0	64.8	4.0
	前回 (H30)	1,202	25.9	16.7	4.3	3.7	3.7	0.1	0.0	45.7	4.6
⑲延長保育事業	今回 (R5)	789	16.6	6.0	3.5	1.4	3.7	0.6	0.0	68.2	5.7
	前回 (H30)	1,518	17.7	13.8	4.9	5.0	15.7	1.3	0.1	41.6	8.8
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	668	34.6	4.2	1.2	0.0	0.1	0.0	0.0	59.9	1.7
	前回 (H30)	1,296	36.1	7.1	1.0	0.7	1.1	0.0	0.2	53.9	2.4
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	147	24.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	74.1	1.2
	前回 (H30)	232	34.5	7.3	0.4	0.4	0.9	0.0	0.0	56.5	2.1
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	121	21.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	1.3
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	111	18.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	79.3	1.2
	前回 (H30)	226	29.2	4.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	65.5	1.6

(※) 「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数

(3) 充実を図ってほしい子育て支援策

- 充実を図ってほしい支援策は、「夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる室内公園を整備してほしい」が最も多く、6割以上を占める。次いで、「仕事と子育てが両立できるよう働き方の改善などを広く啓発してほしい」「子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい」「3歳未満の子どもも、保育所などに係る費用負担を軽減してほしい」となっている。【問 17】

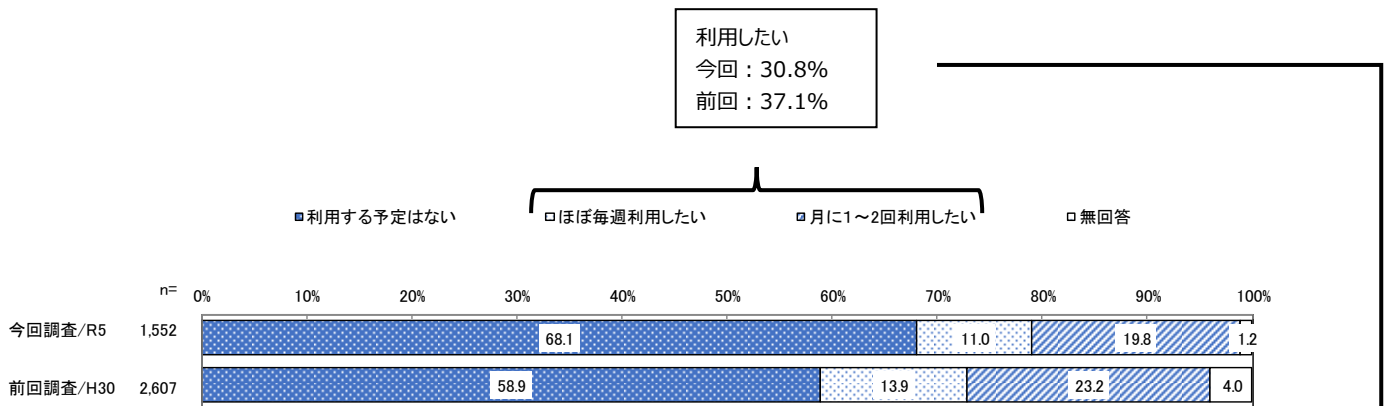


6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜・日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

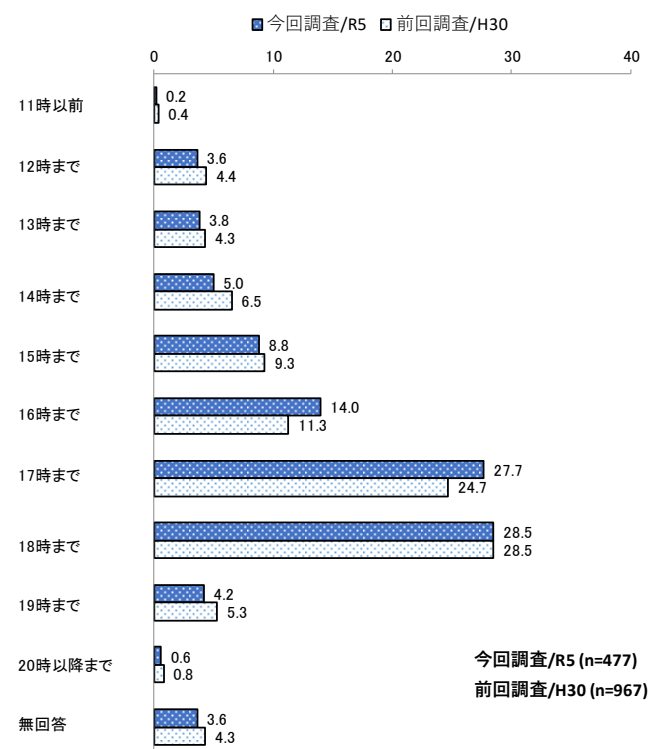
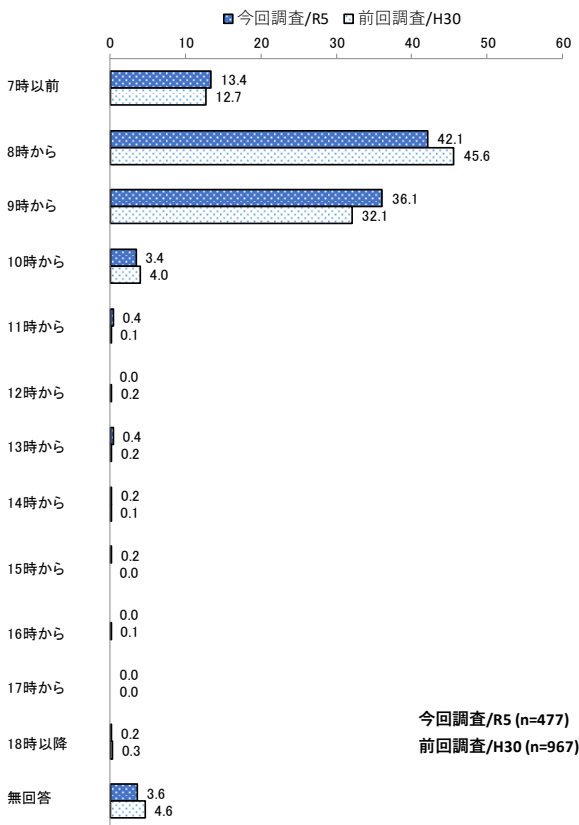
- 土曜の利用希望（「ほぼ毎週利用したい」及び「月に1～2回利用したい」の合計）は30.8%、日曜・祝日の利用希望は12.1%を占める。【問18(1)】【問18(2)】
- 土日・祝日にたまたま利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も多い。【問18-1】

問18(1) 土曜日の教育・保育事業の利用希望

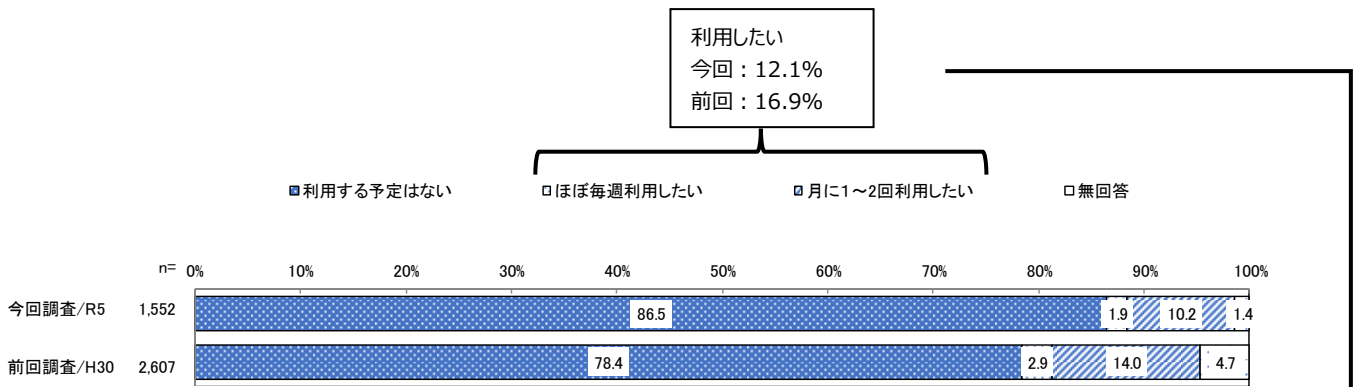


問18(1) 土曜日：何時から

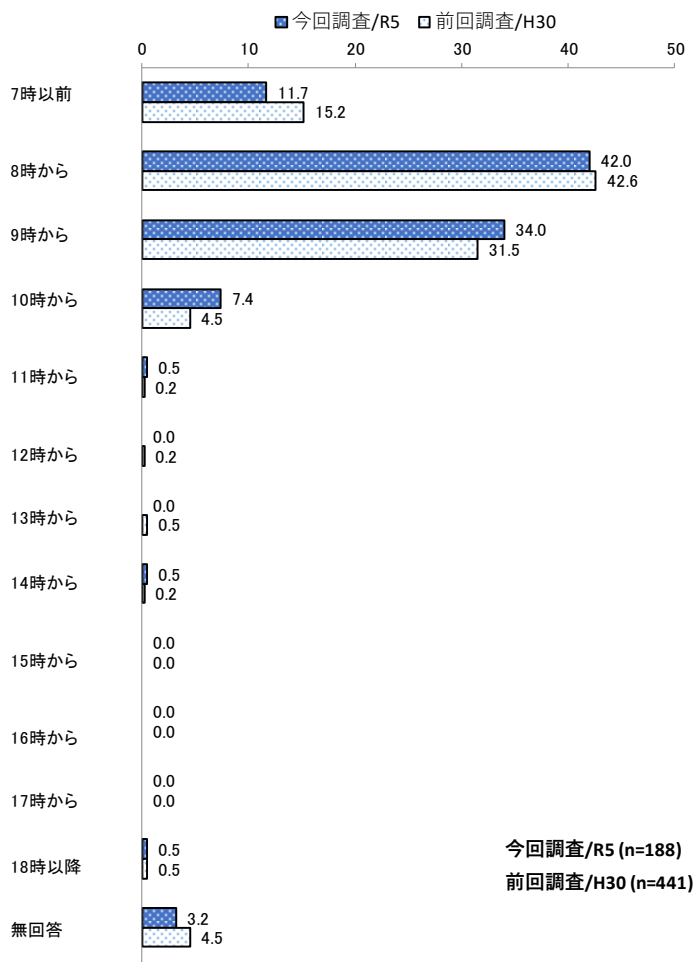
問18(1) 土曜日：何時まで



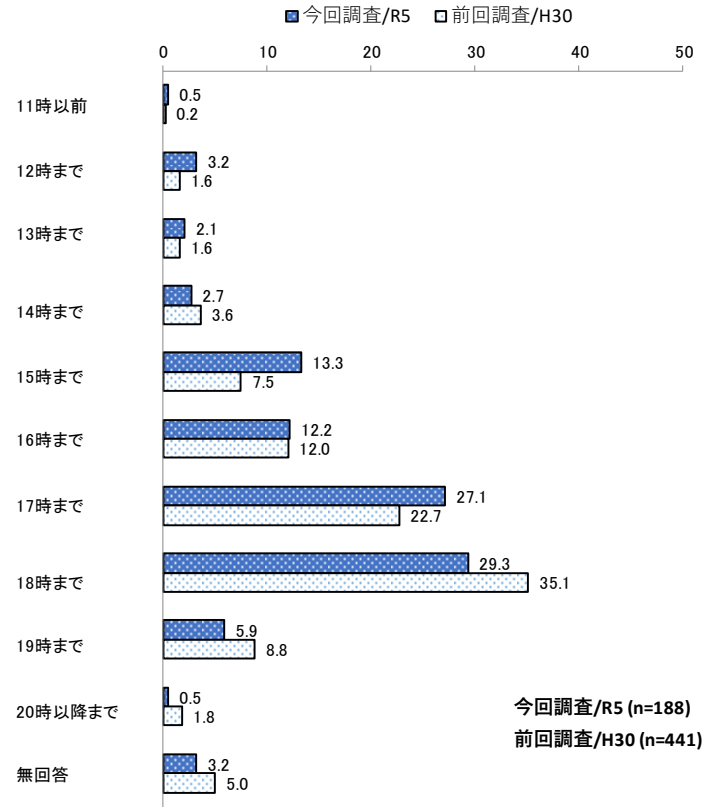
問 18(2) 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望



問 18(2) 日曜・祝日：何時から



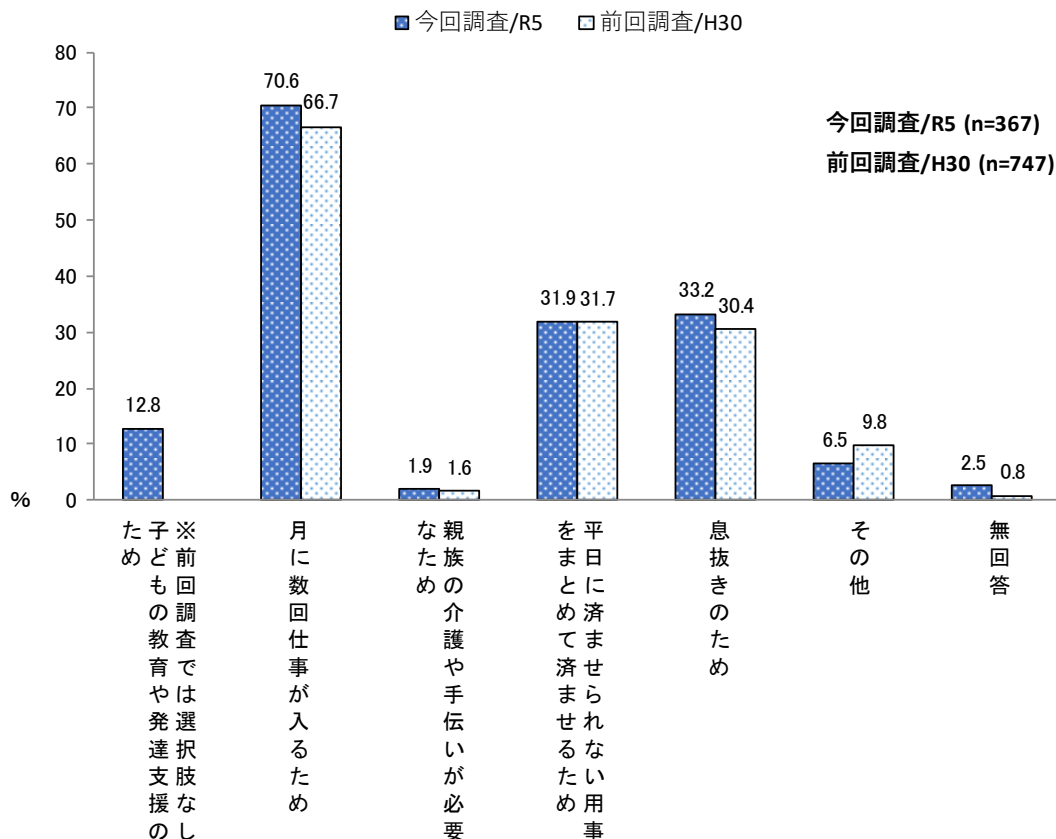
問 18(2) 日曜・祝日：何時まで



今回調査/R5 (n=188)
前回調査/H30 (n=441)

問 18 (1) もしくは (2) で、「月に1～2回利用したい」と回答した方

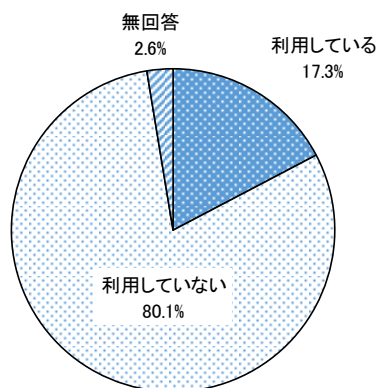
問 18-1 土曜・日曜・祝日の教育・保育事業をたまに利用したい理由



(2) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

- 幼稚園等の利用者のうち、長期休暇中の事業の利用希望者（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」及び「休みの期間中、週に数日利用したい」の合計）は9割を超え、前回よりも22.7ポイント増加している。
【問 19-1】
- たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が最も多い。【問 19-2】

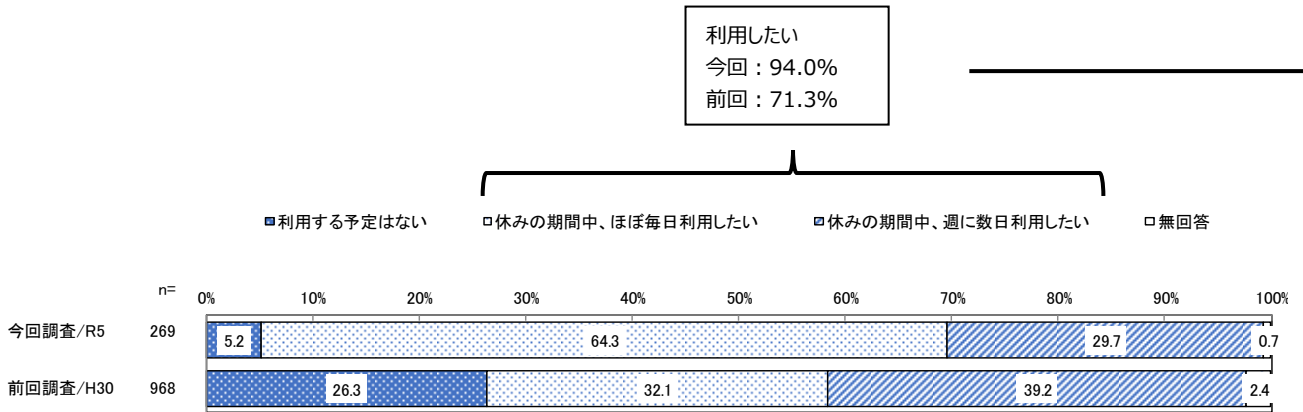
問 19 「幼稚園」、「認定こども園」の幼稚園機能の利用



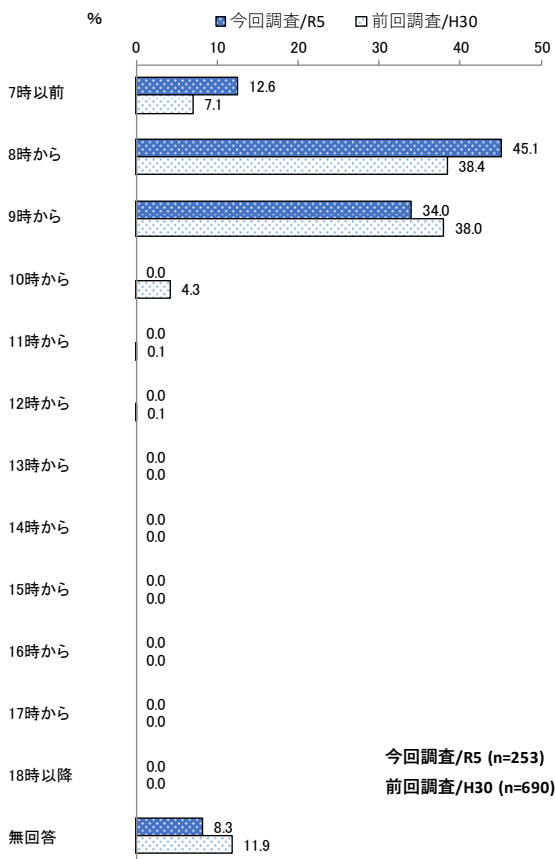
次ページに、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望、利用希望時間を掲載

(n = 1,552)

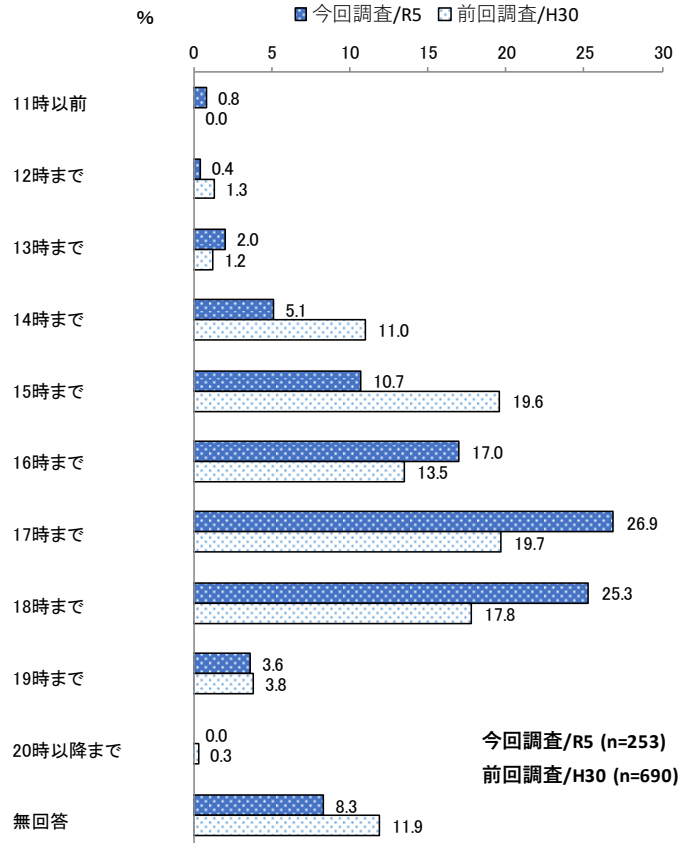
問 19-1 幼稚園長期休暇中の教育・保育事業の利用希望



問 19-1 長期休暇中：何時から

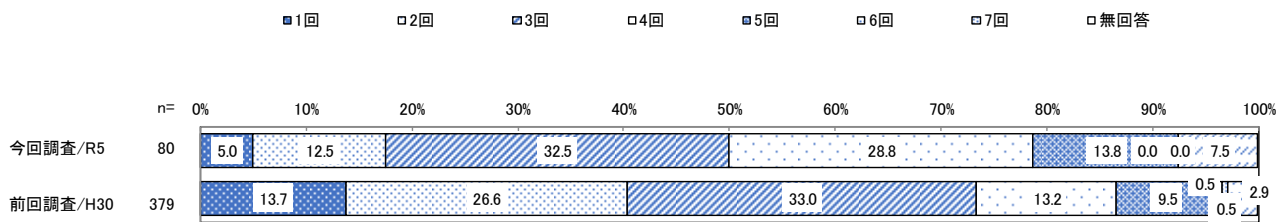


問 19-1 長期休暇中：何時まで

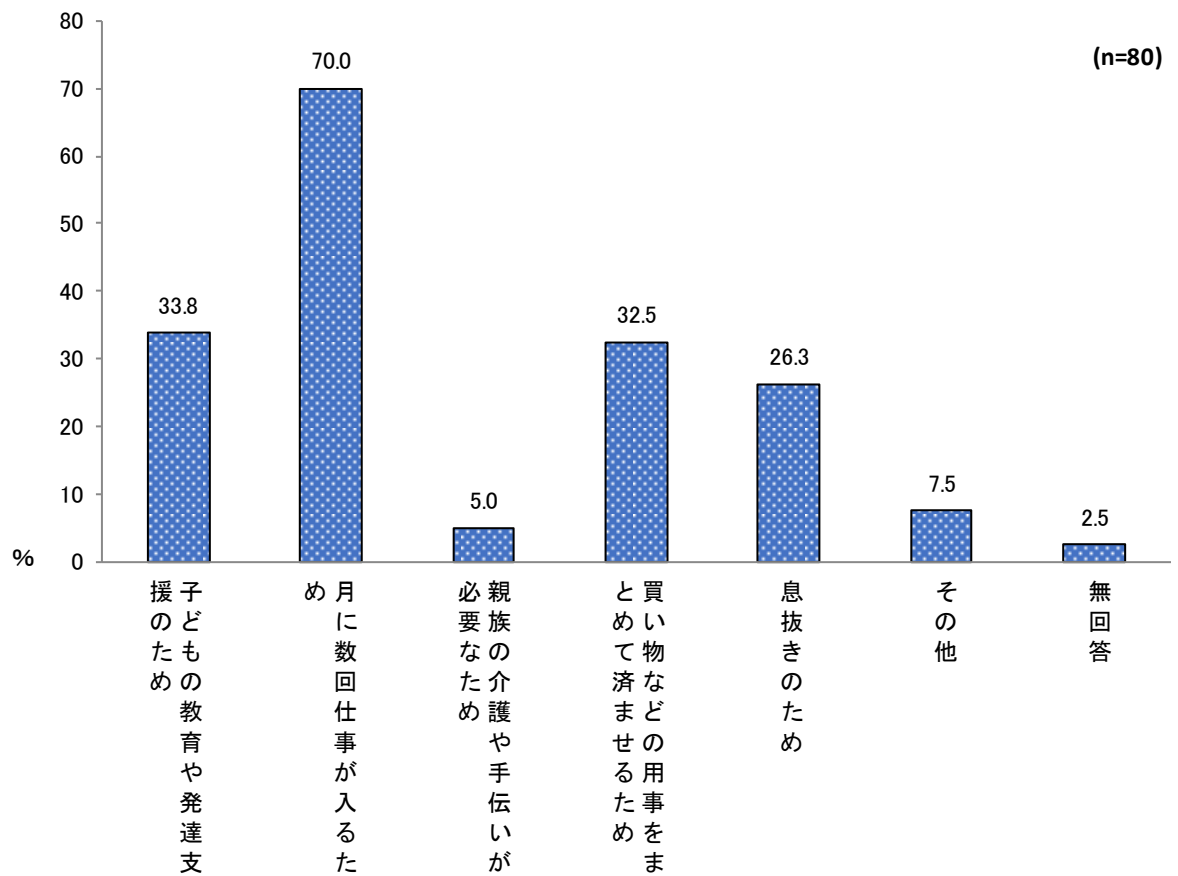


問 19-1 で「週に数日利用したい」と回答した方

問 19-1 長期休暇中事業利用希望：1週間当たり利用したい日数



問 19-2 長期休暇中に教育・保育事業をたまに利用したい理由

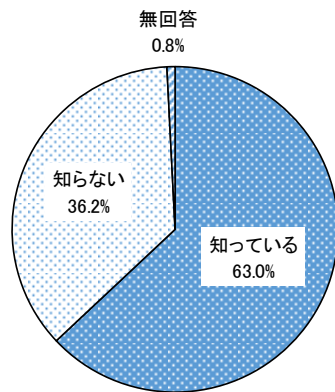


7 病気の際の対応について

(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所

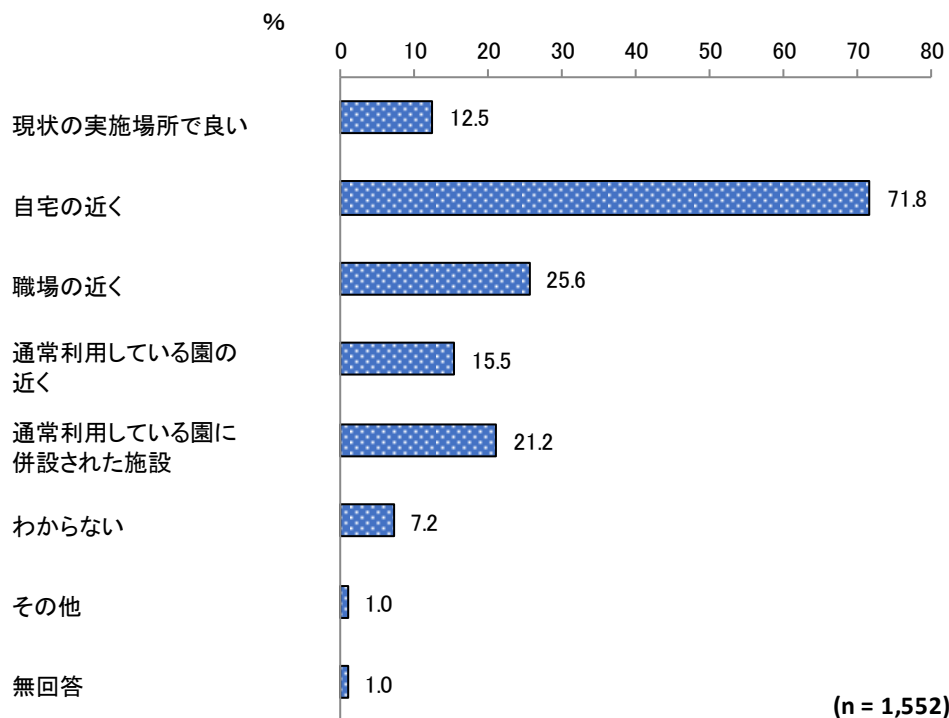
- 病児・病後児保育事業は「知っている」が6割以上であった。【問 20】
- 病児・病後児保育事業の利用しやすい場所は、「自宅の近く」が71.8%で最も多い。【問 20-1】

問 20 病児・病後児保育事業を利用できることの認知



(n = 1,552)

問 20-1 病児・病後児保育事業施設の利用しやすい場所



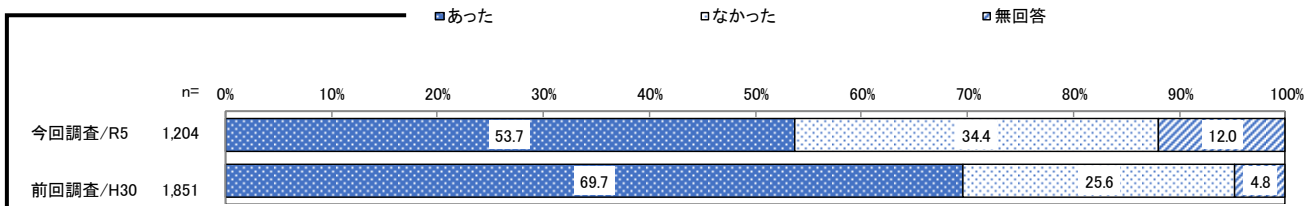
(n = 1,552)

(2) 平日の定期的な教育・保育の事業を利用できなかった状況

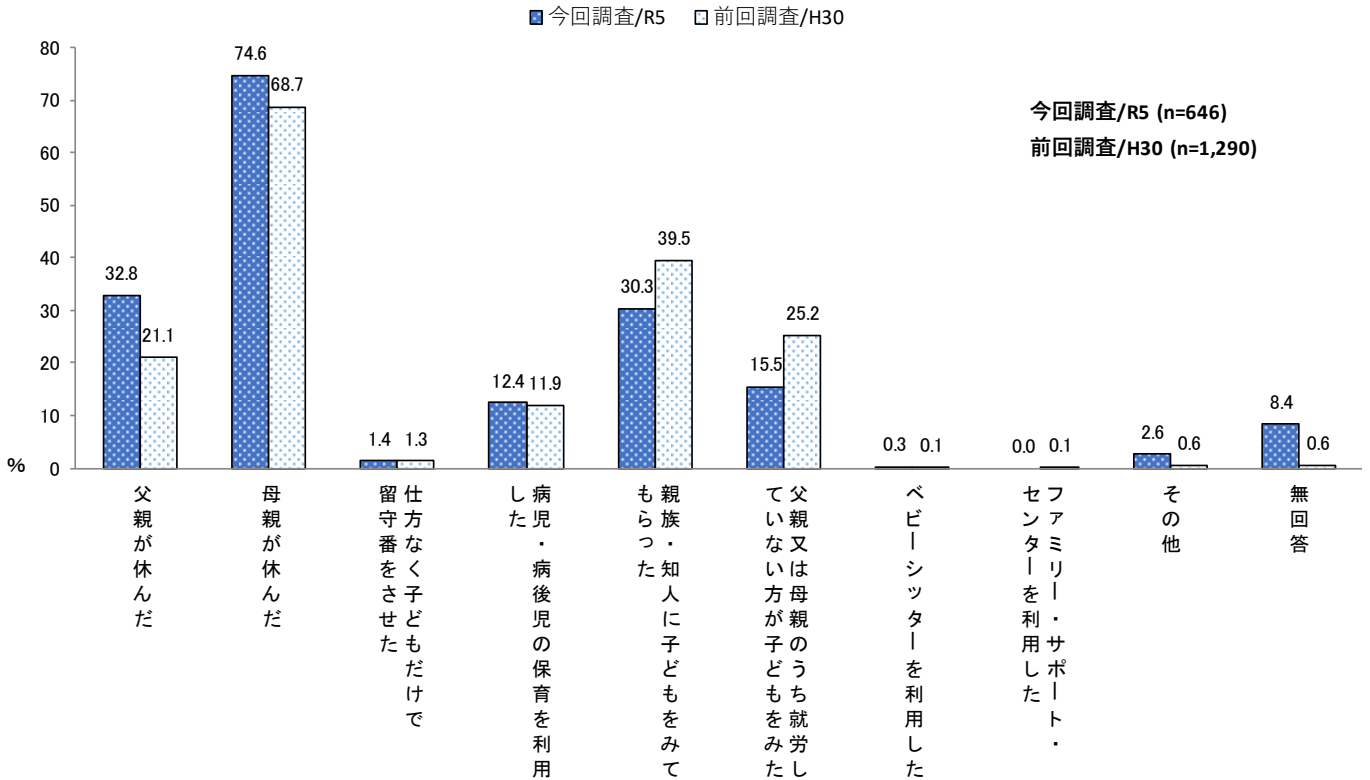
- 病気やケガで通常の事業が利用できなかった割合は 53.7% で、対処法として「母親が休んだ」が 7 割以上を占めて最も多い。【問 18(1)】【問 20-2】【問 20-3】
- 病児・病後児保育施設を使用しなかった理由は、「保護者が仕事を休むことができた」が約 7 割と大半を占める。【問 20-4】

問 13 で定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方

問 20-2 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無



問 20-3 病気やケガで利用できなかった時の対処方法



問 20-3 対処方法と対応した日数

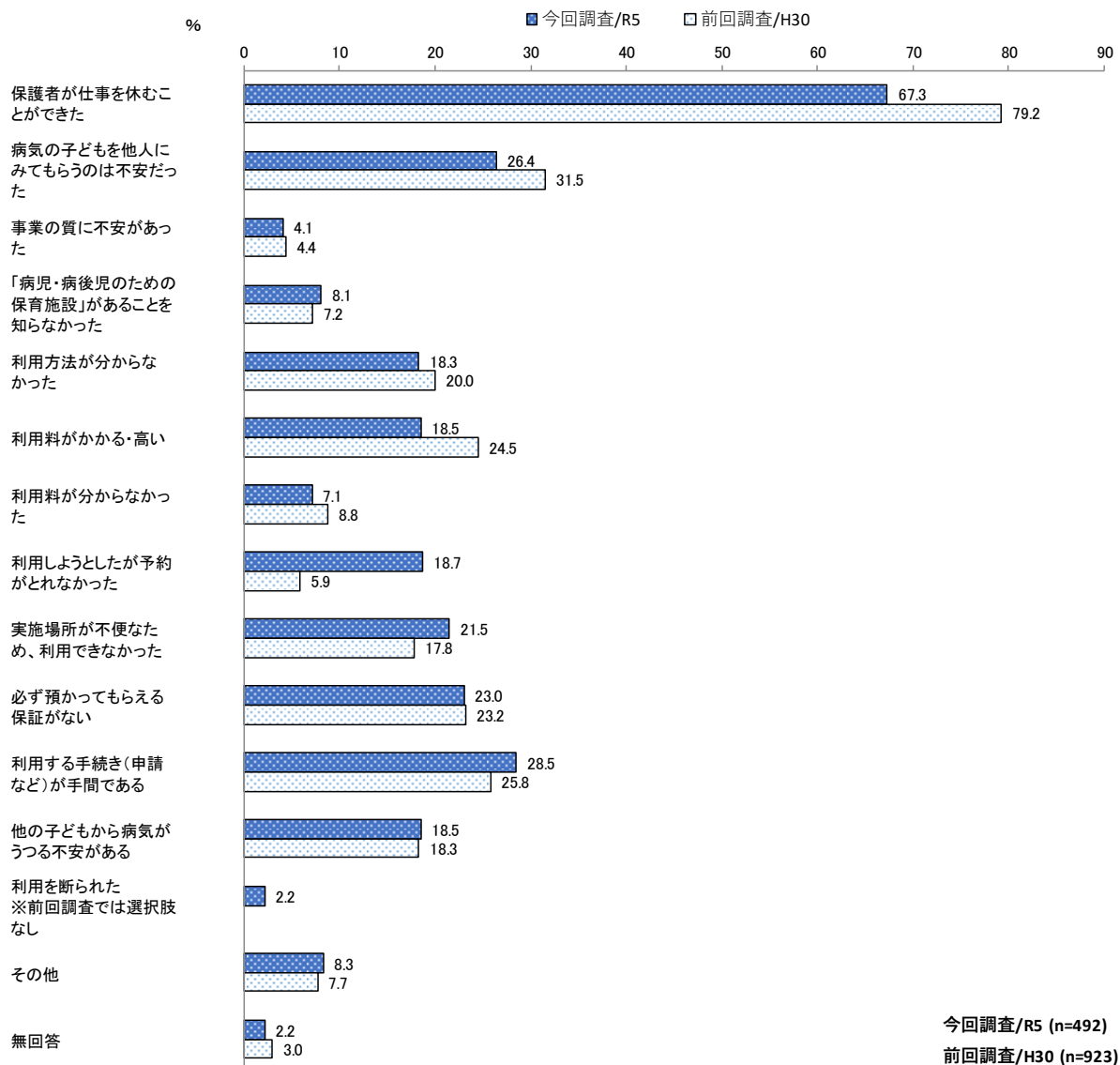
(単位:%)

		全体(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日以上	無回答	平均日数 (日)※
1. 父親が休んだ	今回 (R5)	212	14.6	19.8	16.5	3.8	20.3	0.9	2.4	0.5	0.0	13.2	0.0	3.8	4.2	4.5
	前回 (H30)	272	21.3	26.5	19.1	2.9	15.1	2.2	1.1	0.4	0.0	5.1	0.0	1.5	4.8	3.5
2. 母親が休んだ	今回 (R5)	482	3.1	6.4	10.4	3.5	17.4	1.0	5.2	1.5	0.0	19.9	0.0	28.4	3.1	10.6
	前回 (H30)	886	6.9	13.1	11.7	5.4	14.9	1.4	5.3	1.4	0.5	18.3	0.0	14.4	6.8	7.8
3. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	今回 (R5)	9	33.3	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	5.0
	前回 (H30)	17	23.5	11.8	29.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	4.8
4. 病児・病後児の保育を利用した	今回 (R5)	80	13.8	12.5	13.8	5.0	20.0	2.5	8.8	0.0	0.0	8.8	0.0	7.5	7.5	5.9
	前回 (H30)	154	14.9	14.3	11.0	5.2	13.6	1.3	9.1	1.3	0.0	11.0	0.0	13.0	5.2	6.5
5. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	今回 (R5)	196	15.8	15.8	16.3	2.6	18.9	0.0	3.1	0.0	0.0	15.3	0.0	9.7	2.6	5.7
	前回 (H30)	510	11.6	16.5	16.1	6.3	16.5	1.8	2.7	0.2	0.0	12.5	0.0	10.6	5.3	6.3
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	今回 (R5)	100	3.0	8.0	3.0	1.0	12.0	3.0	4.0	1.0	0.0	17.0	0.0	36.0	12.0	12.6
	前回 (H30)	325	5.5	12.0	8.9	6.2	13.8	2.5	5.8	2.2	0.0	18.2	0.0	12.9	12.0	7.8
7. ベビーシッターを利用した	今回 (R5)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	前回 (H30)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	30.0
8. ファミリー・サポートセンターを利用した	今回 (R5)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	前回 (H30)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
9. その他	今回 (R5)	17	0.0	17.6	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	35.3	17.6	14.8
	前回 (H30)	8	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	37.5	8.2

(※) 「対応した日数」に回答した人1人当たりの平均年間対応日数

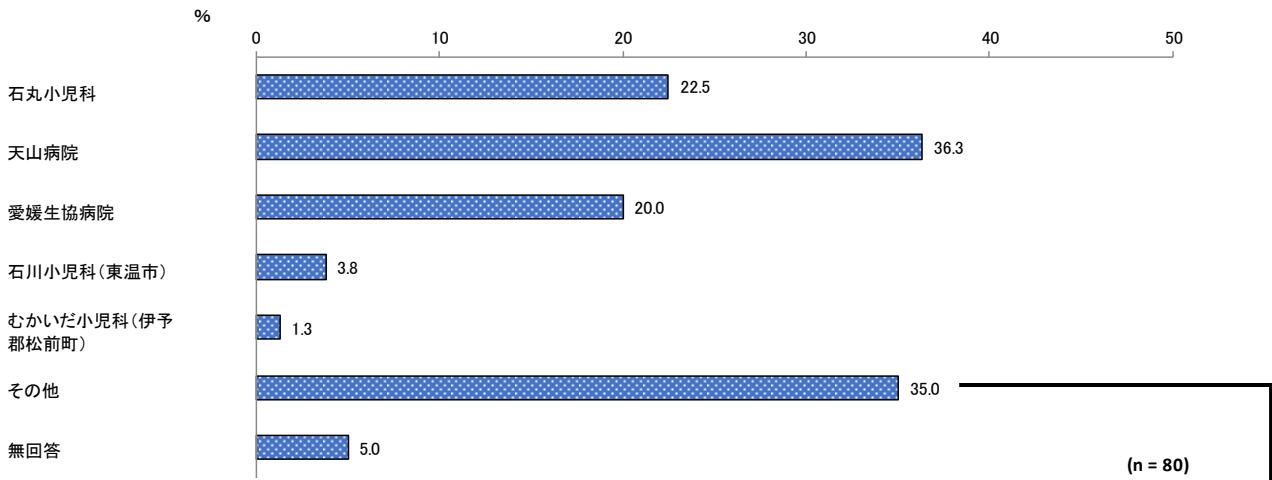
問 20-3 で「父親が休んだ」、「母親が休んだ」、「やむを得ず子どもだけで留守番をさせた」と回答した方

問 20-4 病児・病後児保育施設を利用しなかった理由

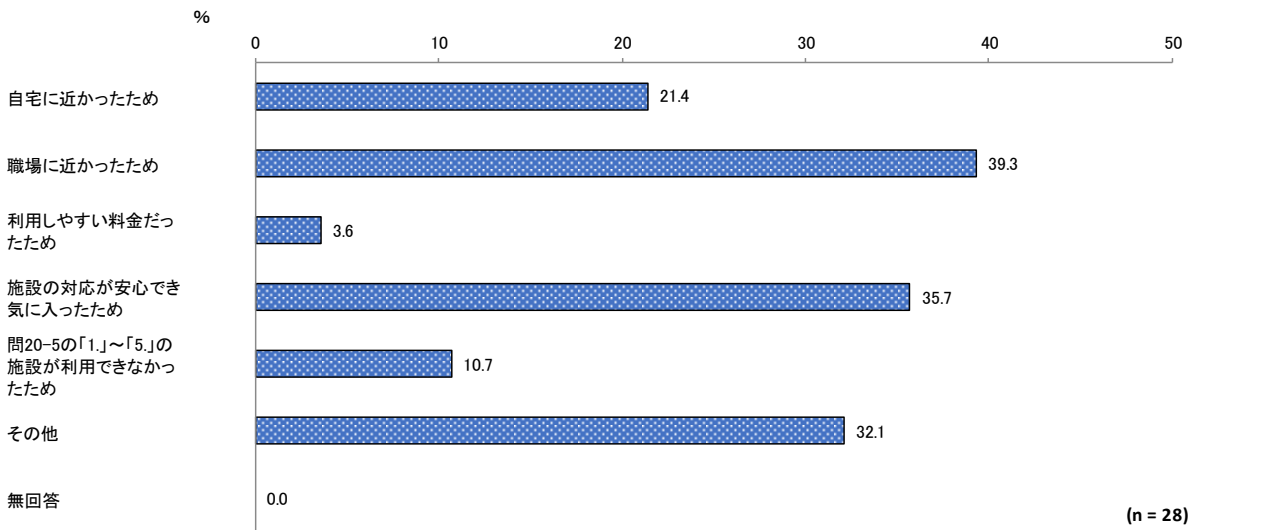


問 20-3 で「病児・病後児の保育を利用した」と回答した方

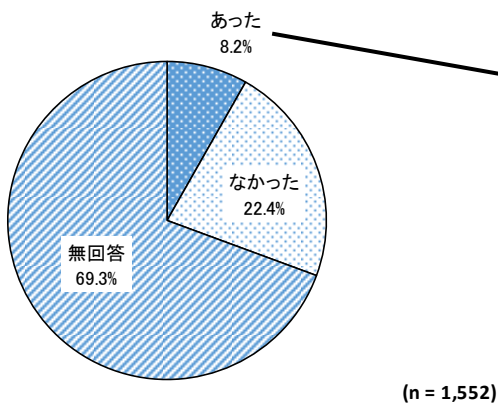
問 20-5 1年間に利用した病児・病後児保育事業施設



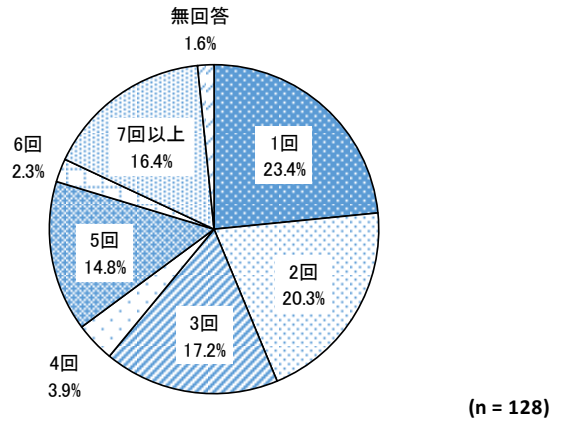
問 20-6 その他の施設を利用した理由



問 20-7 病児・病後児保育施設の予約ができなかった経験



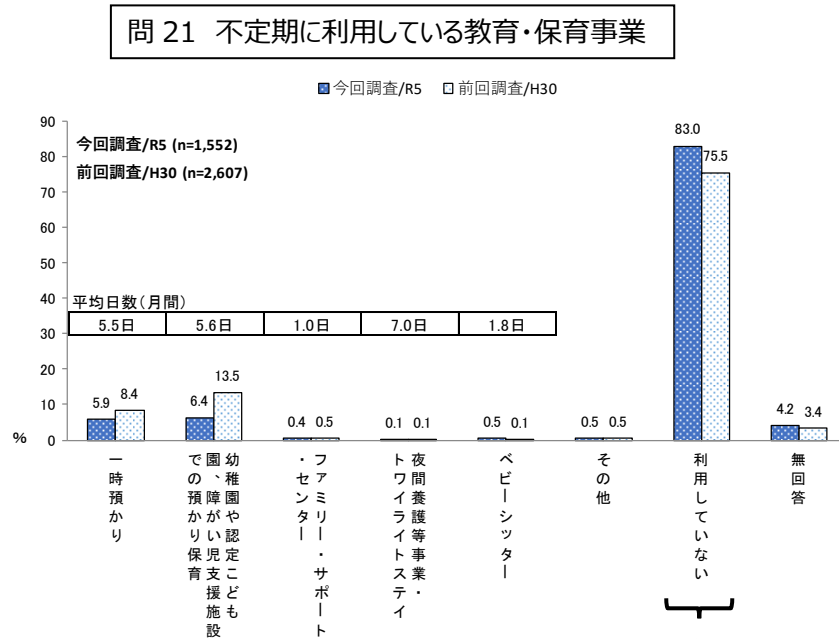
問 20-7 病児・病後児保育施設の予約ができなかった回数



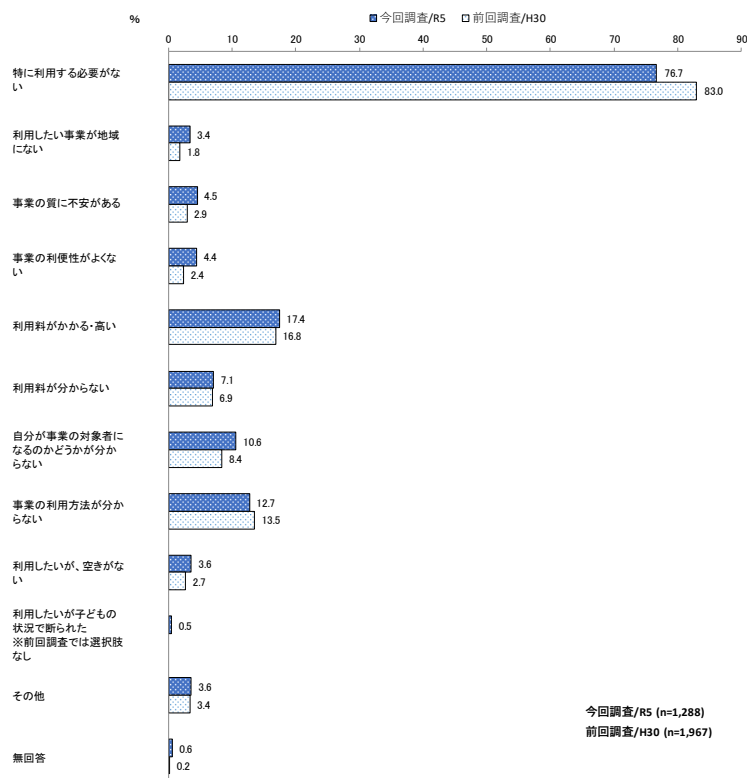
8 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不特定の事業

- 不特定の事業は、「幼稚園や認定こども園、障がい児支援施設での預かり保育」「一時預かり」が多い。一方、「利用していない」が83.0%で最も多く、その理由は「特に利用する必要がない」が最も多い。
【問 21】【問 21-1】



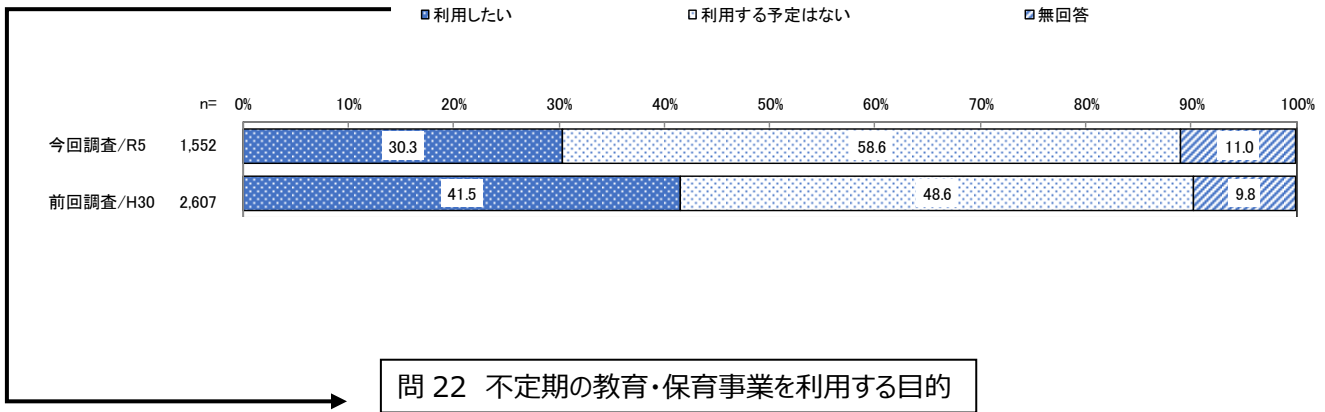
問 21-1 不特定の事業を利用していない理由



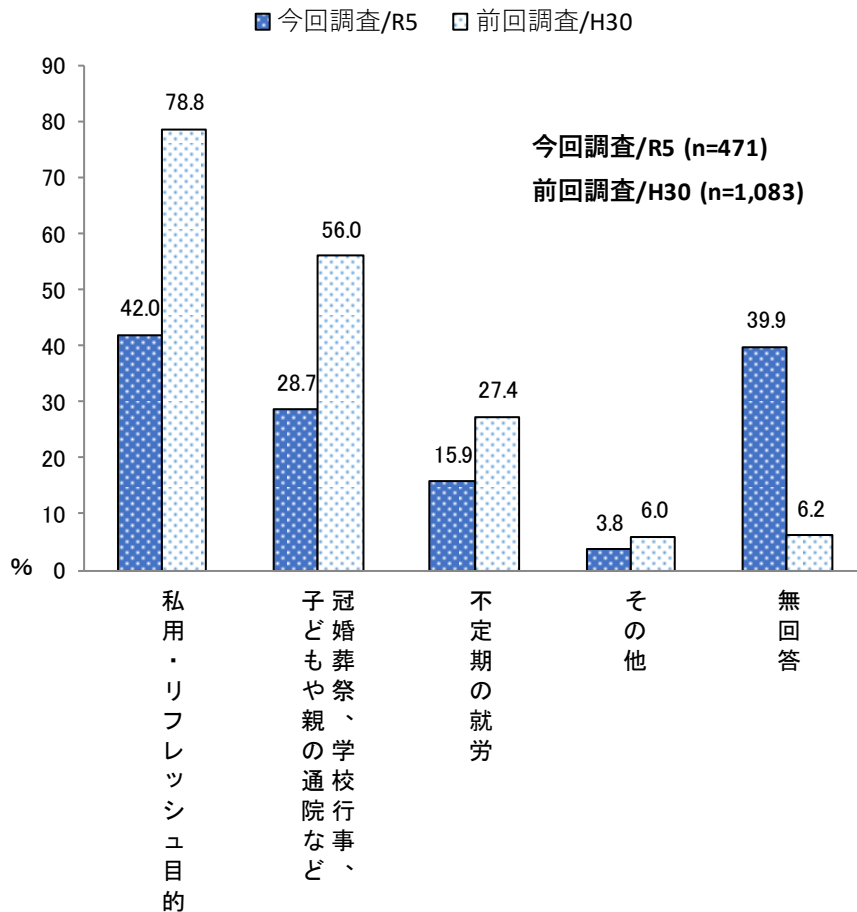
(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期の事業を利用する意向

- 利用希望があるのは約3割で、その目的は「私用・リフレッシュ」が最も多い。【問 22】
- 利用したい事業形態は「認定こども園」「幼稚園」及び「保育所」が多い。【問 22-1】

問 22 不定期の教育・保育事業利用の必要性



問 22 不定期の教育・保育事業を利用する目的



問 22 不定期の教育の利用目的と利用したい日数

【今回調査：R5】

(単位：%)

	全体(人)	2日以下	3-5日	6-10日	11-15日	16-20日	21-25日	26日以上	無回答	平均日数 (日)※1
①私用・リフレッシュ目的(買い物、ランチ、美容院など)	198	61.6	21.7	7.6	1.5	0.5	0.0	0.0	7.1	2.8
②冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院など	135	67.4	19.3	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	11.9	2.0
③不定期の就労	75	54.7	20.0	10.7	6.7	1.3	1.3	0.0	5.3	4.3
④その他	18	27.8	38.9	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	5.2
合計※2	471	37.8	32.3	11.7	4.2	3.0	0.4	0.4	10.2	4.6

(※1) 無回答を除く1人当たりの平均月間利用希望日数

(※2) 「利用したい」に回答した人が①～④の合計として回答した日数

【前回調査：H30】

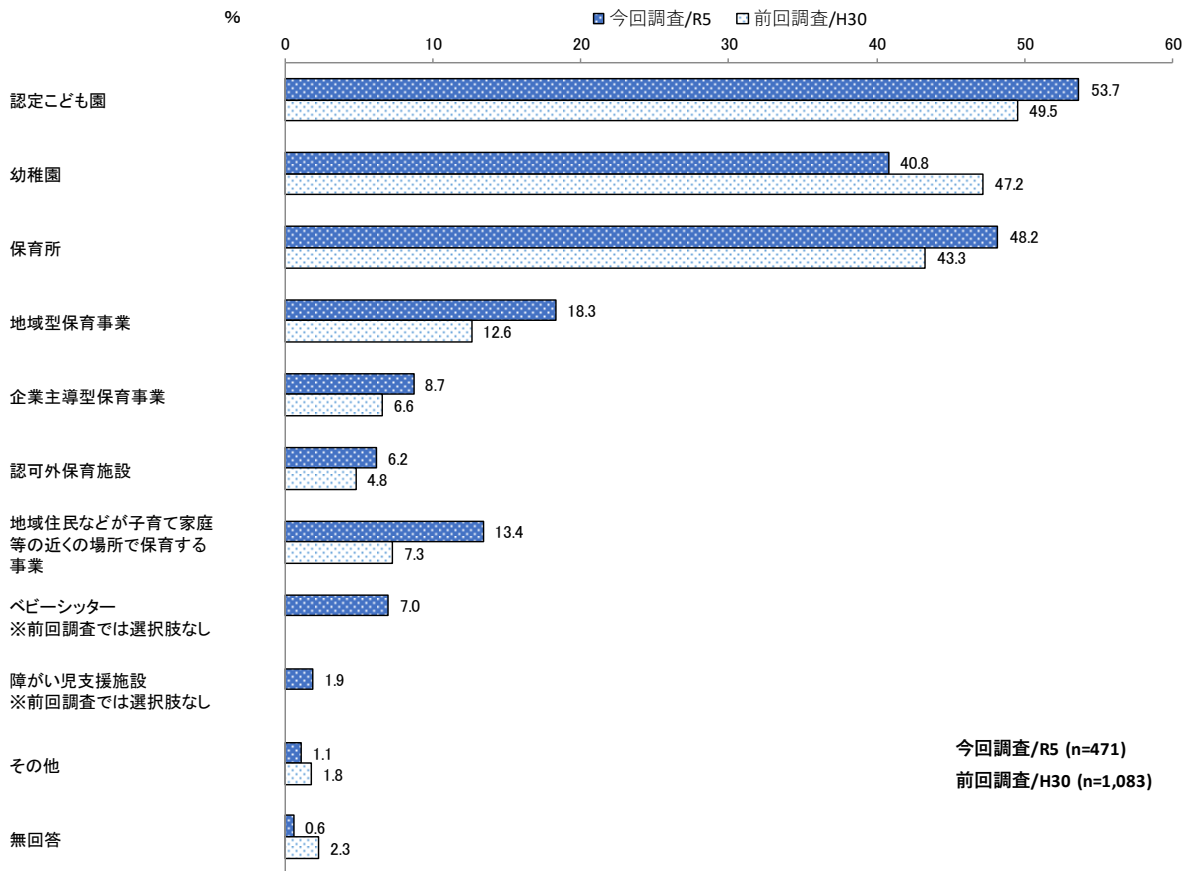
(単位：%)

	全体(人)	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数 (日)※1
①私用・リフレッシュ目的	853	67.5	12.8	4.8	4.1	4.5	2.9	1.9	1.5	19.1
②冠婚葬祭など	607	84.2	8.7	2.5	0.7	0.5	0.3	0.0	3.1	8.7
③不定期の就労	297	46.5	11.1	6.1	3.0	7.1	6.7	14.1	5.4	47.1
④その他	65	38.5	7.7	6.2	3.1	4.6	3.1	3.1	33.8	27.8
合計※2	1,016	40.9	22.8	9.9	5.0	7.0	4.9	7.6	1.8	35.2

(※1) 無回答を除く1人当たりの平均年間利用希望日数

(※2) 「利用したい」に回答した人が①～④の合計として回答した日数

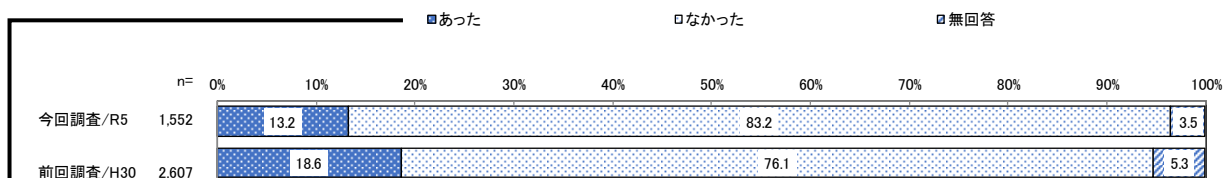
問 22-1 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態



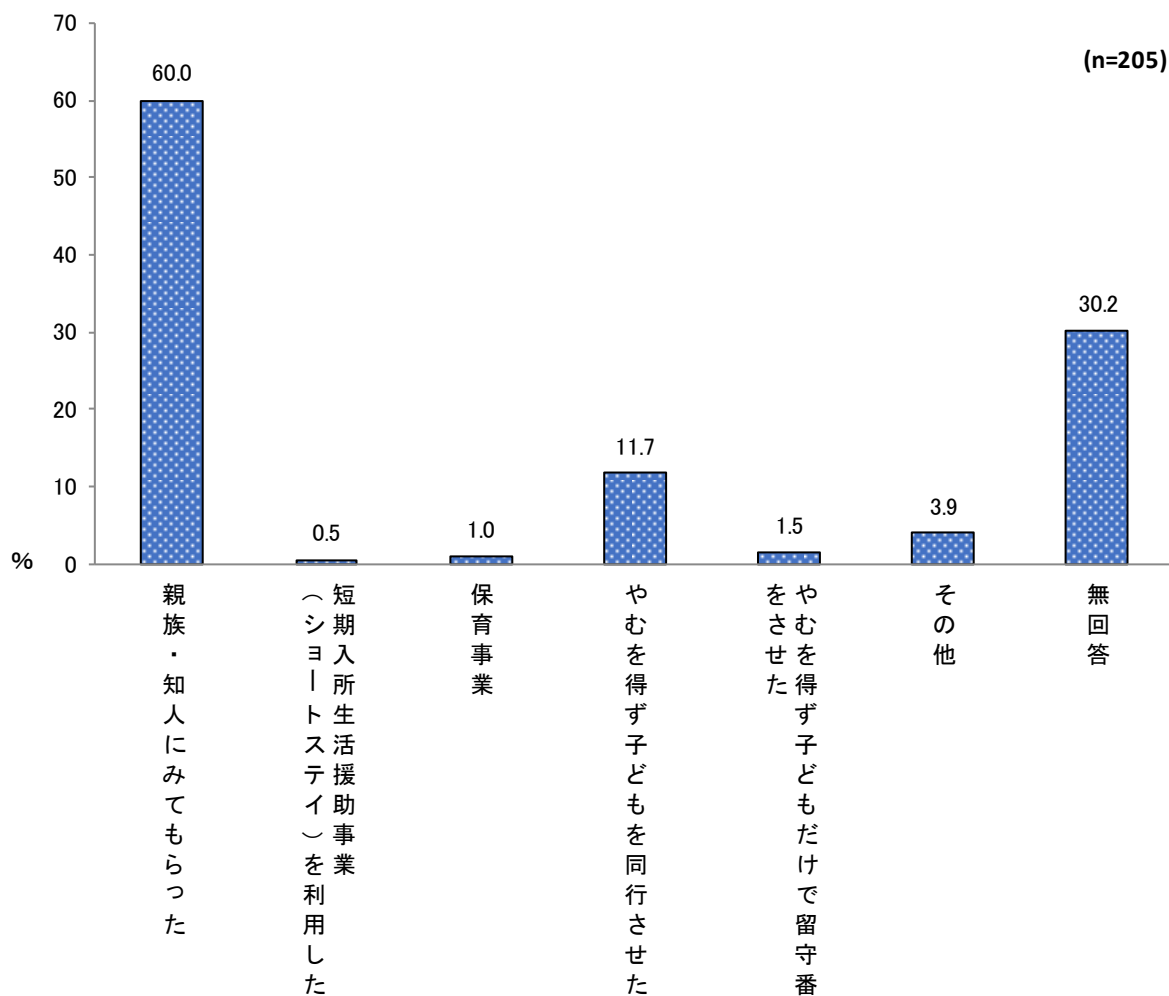
(3) 保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったこと

- 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことが「あった」は 13.2%であった。【問 23】
- 対処方法は「親族・知人にみてもらった」が 60.0%で最も多く、平均年間対処日数は 5.2 日である。【問 23】

問 23 子どもを泊りがけで預けることの有無



問 23 子どもを泊りがけで預けるなどの対処方法



問 23 子どもを預けるなどした日数

(単位:%)

		全体(人)	12日以下	13-24日	25-36日	37-48日	49-60日	61-100日	101日以上	無回答	平均日数 (日)※
①親族・知人にみても らった	今回 (R5)	123	87.8	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.8	6.5	5.2
	前回 (H30)	424	87.5	5.9	1.9	0.7	0.5	0.5	0.0	3.1	6.1
②短期入所生活援助 事業(ショートステイ)を 利用した	今回 (R5)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	前回 (H30)	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	22.0
③保育事業	今回 (R5)	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5
	前回 (H30)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
④やむを得ず子どもを 同行させた	今回 (R5)	24	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	3.4
	前回 (H30)	57	89.5	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	7.0	4.3
⑤やむを得ず子どもだ けで留守番をさせた	今回 (R5)	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7
	前回 (H30)	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3.0
⑥その他	今回 (R5)	8	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4.7
	前回 (H30)	8	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	2.2

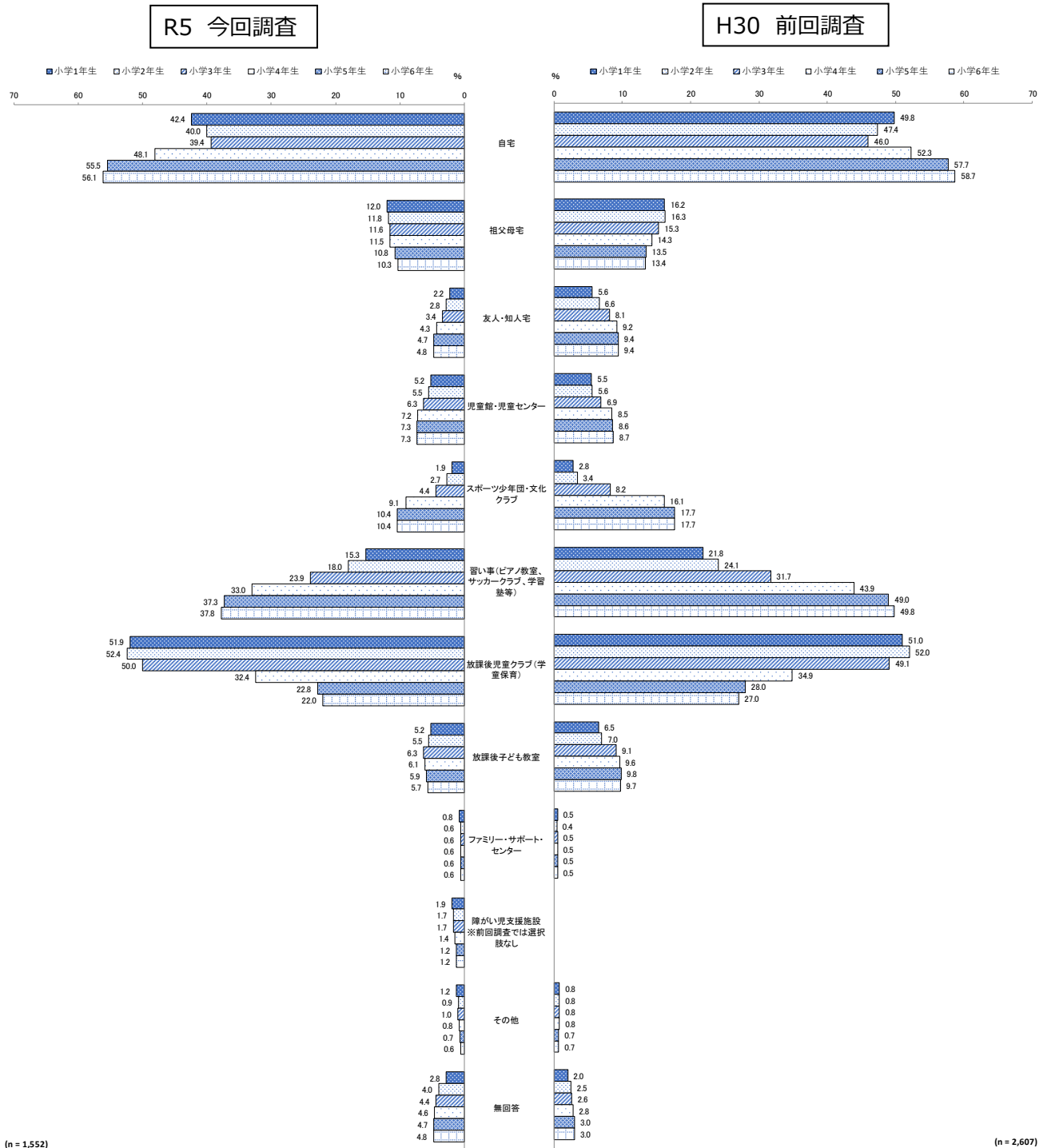
(※) 無回答を除く1人当たりの平均年間利用希望日数

9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごさせたい場所について

- 1～3年生では「放課後児童クラブ」「自宅」、4～6年生では「自宅」「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の順に多い。【問 24】

問 24 放課後過ごさせたい場所



(n = 1,552)

(n = 2,607)

問 24 放課後過ごさせたい場所（回答割合／学年別）

（単位：％）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	今回（R5）	42.4	40.0	39.4	48.1	55.5	56.1
	前回（H30）	49.8	47.4	46.0	52.3	57.7	58.7
2. 祖父母宅	今回（R5）	12.0	11.8	11.6	11.5	10.8	10.3
	前回（H30）	16.2	16.3	15.3	14.3	13.5	13.4
3. 友人・知人宅	今回（R5）	2.2	2.8	3.4	4.3	4.7	4.8
	前回（H30）	5.6	6.6	8.1	9.2	9.4	9.4
4. 児童館・児童センター	今回（R5）	5.2	5.5	6.3	7.2	7.3	7.3
	前回（H30）	5.5	5.6	6.9	8.5	8.6	8.7
5. スポーツ少年団・文化クラブ	今回（R5）	1.9	2.7	4.4	9.1	10.4	10.4
	前回（H30）	2.8	3.4	8.2	16.1	17.7	17.7
6. 習い事（ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾等）	今回（R5）	15.3	18.0	23.9	33.0	37.3	37.8
	前回（H30）	21.8	24.1	31.7	43.9	49.0	49.8
7. 放課後児童クラブ（学童保 育）	今回（R5）	51.9	52.4	50.0	32.4	22.8	22.0
	前回（H30）	51.0	52.0	49.1	34.9	28.0	27.0
8. 放課後子ども教室	今回（R5）	5.2	5.5	6.3	6.1	5.9	5.7
	前回（H30）	6.5	7.0	9.1	9.6	9.8	9.7
9. ファミリー・サポート・センター	今回（R5）	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	前回（H30）	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5
10. 障がい児支援施設	今回（R5）	1.9	1.7	1.7	1.4	1.2	1.2
	前回（H30）	-	-	-	-	-	-
11. その他	今回（R5）	1.2	0.9	1.0	0.8	0.7	0.6
	前回（H30）	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7
無回答	今回（R5）	2.8	4.0	4.4	4.6	4.7	4.8
	前回（H30）	2.0	2.5	2.6	2.8	3.0	3.0

問 25 放課後過ごさせたい場所（週当たりの平均日数／学年別）

（単位：日）

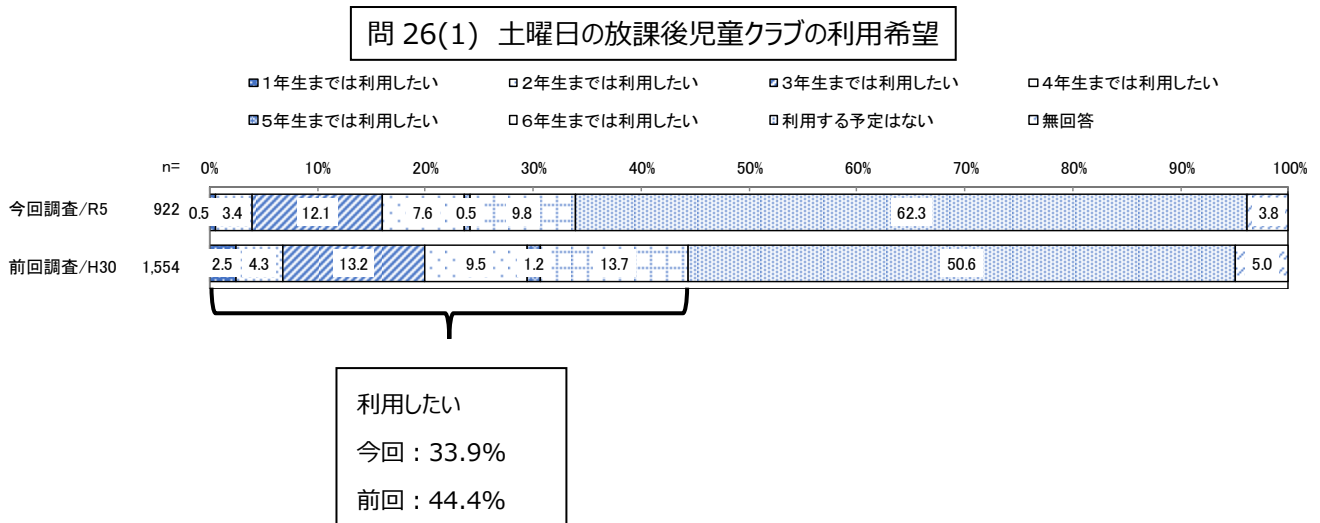
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	今回（R5）	5.0	4.9	4.7	4.6	4.6	4.6
	前回（H30）	4.7	4.6	4.3	4.1	4.1	4.1
2. 祖父母宅	今回（R5）	3.0	3.0	2.9	3.0	2.8	2.7
	前回（H30）	3.1	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1
3. 友人・知人宅	今回（R5）	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
	前回（H30）	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
4. 児童館・児童センター	今回（R5）	2.6	2.6	2.4	2.5	2.4	2.4
	前回（H30）	2.3	2.2	2.4	2.3	2.2	2.2
5. スポーツ少年団・文化クラブ	今回（R5）	2.1	2.1	2.4	2.7	2.7	2.8
	前回（H30）	2.1	2.1	2.6	2.9	2.9	3.0
6. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	今回（R5）	1.9	2.0	2.0	2.2	2.3	2.4
	前回（H30）	1.9	1.9	2.1	2.2	2.3	2.3
7. 放課後児童クラブ（学童保育）	今回（R5）	4.7	4.6	4.6	4.4	4.3	4.3
	前回（H30）	4.6	4.5	4.4	4.2	4.0	4.0
（何時まで）※	今回（R5）	17.5	17.5	17.5	17.6	17.6	17.7
	前回（H30）	17.8	17.8	17.8	17.9	17.9	17.9
8. 放課後子ども教室	今回（R5）	3.6	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3
	前回（H30）	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6
9. ファミリー・サポート・センター	今回（R5）	3.6	3.6	4.3	3.2	3.2	3.2
	前回（H30）	2.4	2.1	2.3	2.5	2.3	2.5
10. 障がい児支援施設	今回（R5）	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7
	前回（H30）	-	-	-	-	-	-
（何時まで）※	今回（R5）	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9	17.9
	前回（H30）	-	-	-	-	-	-
11. その他	今回（R5）	5.0	5.0	5.0	4.8	4.7	4.0
	前回（H30）	3.7	3.8	3.5	3.8	3.6	3.6

（※）（何時まで）は時間表示。小数点以下 0.1 = 6 分として計算。（例 17.5 時 = 午後 5 時 30 分）

(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望

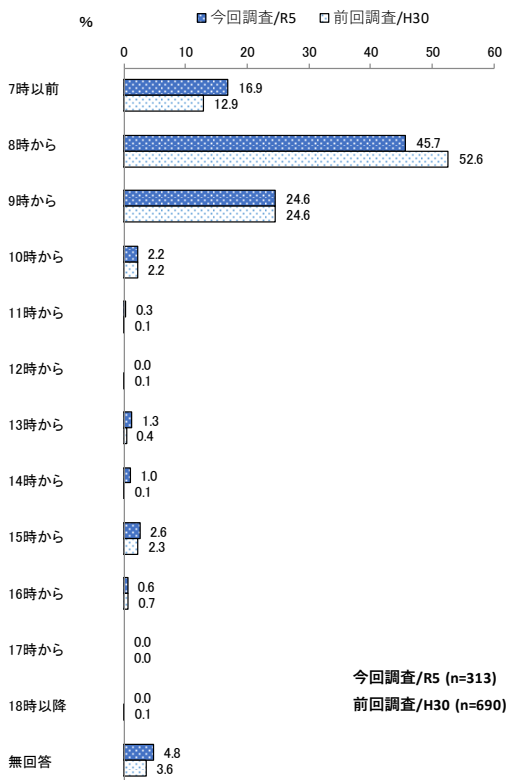
- 全体では「利用したい」の合計は前回より 10.5 ポイント減少し、反対に「利用する予定はない」が 11.7 ポイント増加した。【問 26(1)】
- 利用開始の希望時刻は「8 時から」が最も多く、利用終了の希望時刻は「18 時まで」が最も多い。前回と比較すると、「19 時まで」は減少し、「14 時まで」～「17 時まで」の時間帯は増加した。【問 26(1)】

問 24 で「放課後児童クラブ（学童保育）」「障がい児支援施設」と回答した方

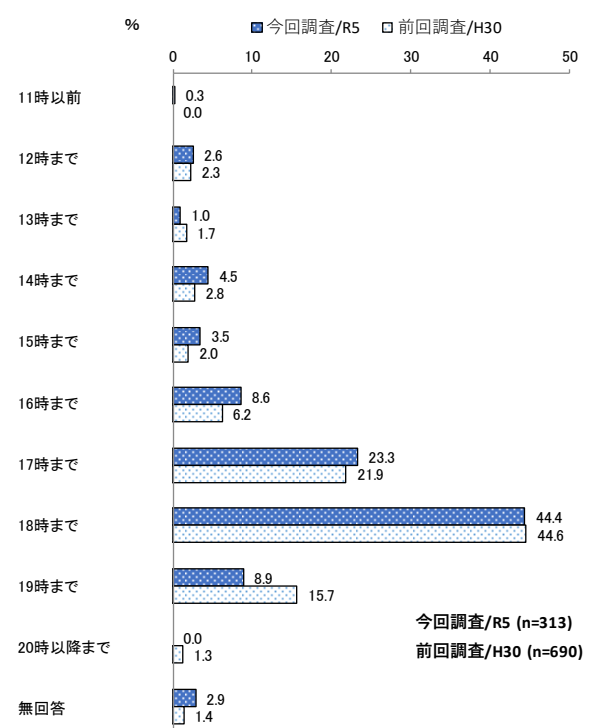


問 26 (1) で「利用したい」と回答した方

問 26(1) 土曜日：何時から



問 26(1) 土曜日：何時まで

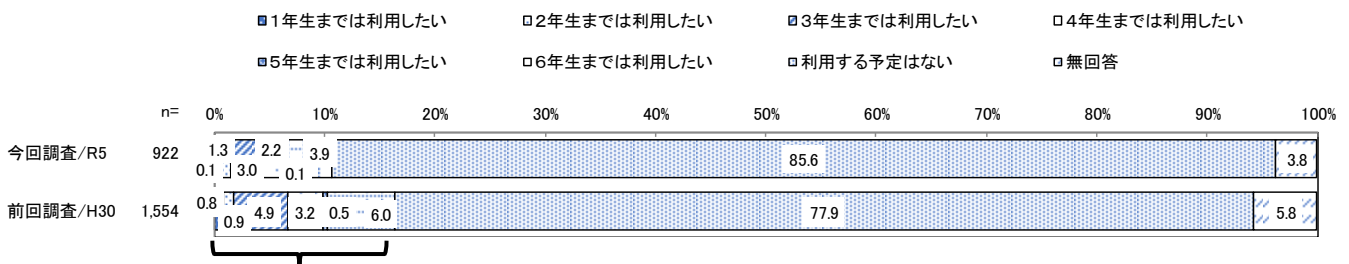


(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望

- 全体では「利用したい」の合計は前回より 5.7 ポイント減少し、反対に「利用する予定はない」が 7.7 ポイント増加した。【問 26(2)】
- 利用開始の希望時刻は「8 時から」が最も多く、利用終了の希望時刻は「18 時まで」が最も多い。前回と比較すると、利用終了の希望時刻は「18 時まで」および「19 時まで」は減少し、「14 時まで」～「17 時まで」の時間帯は増加した。【問 26(2)】

問 24 で「放課後児童クラブ（学童保育）」「障がい児支援施設」と回答した方

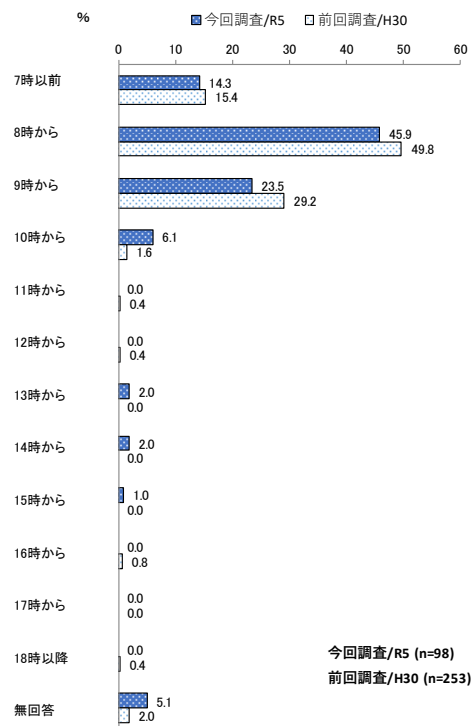
問 26(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望



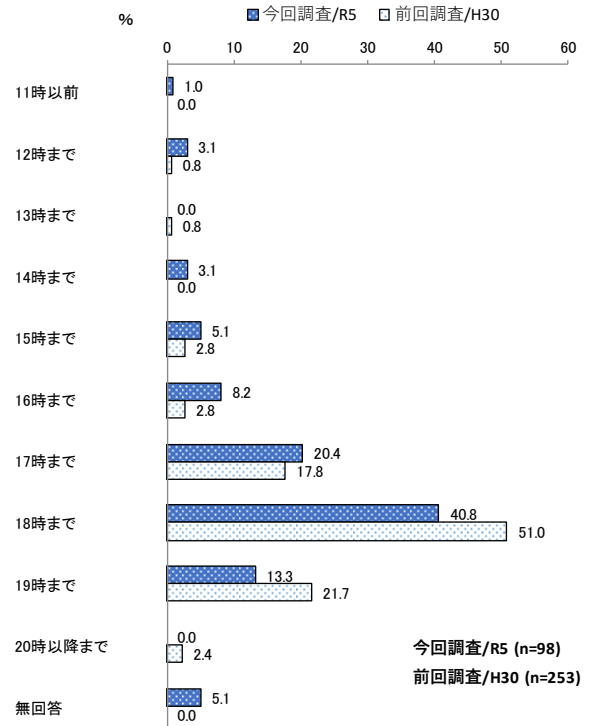
利用したい
 今回：10.6%
 前回：16.3%

問 26 (2) で「利用したい」と回答した方

問 26(2) 日曜日・祝日：何時から



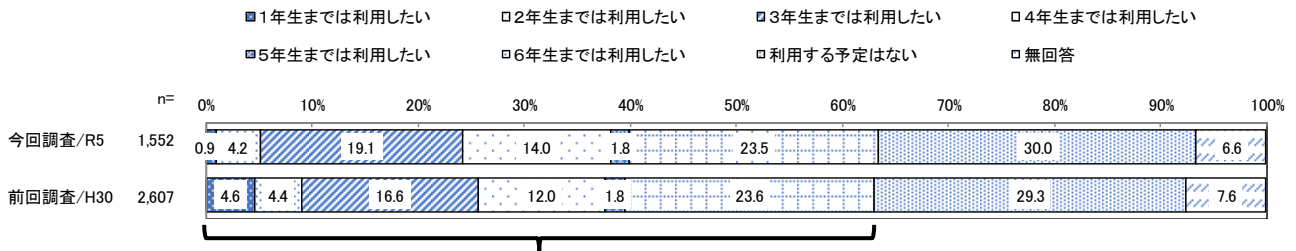
問 26(2) 日曜日・祝日：何時まで



(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

- 「利用したい」の合計は前回と同様に6割強であった。【問 27】
- 利用開始の希望時刻は「8時から」が最も多く、前回より3.7ポイント増加した。利用終了の希望時刻は「18時まで」が最も多く、前回と比較すると、「19時まで」は減少し、「15時まで」～「18時まで」の時間帯は増加した。【問 27】

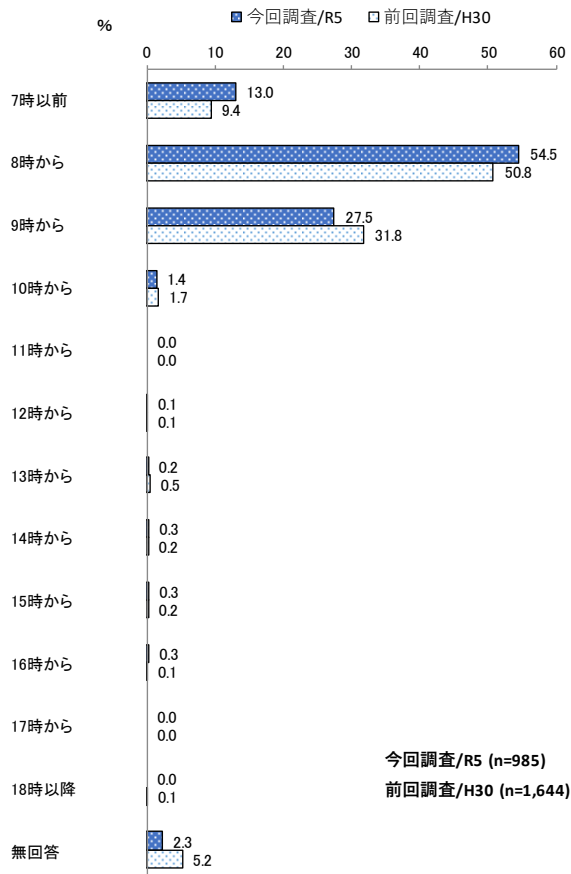
問 27 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望



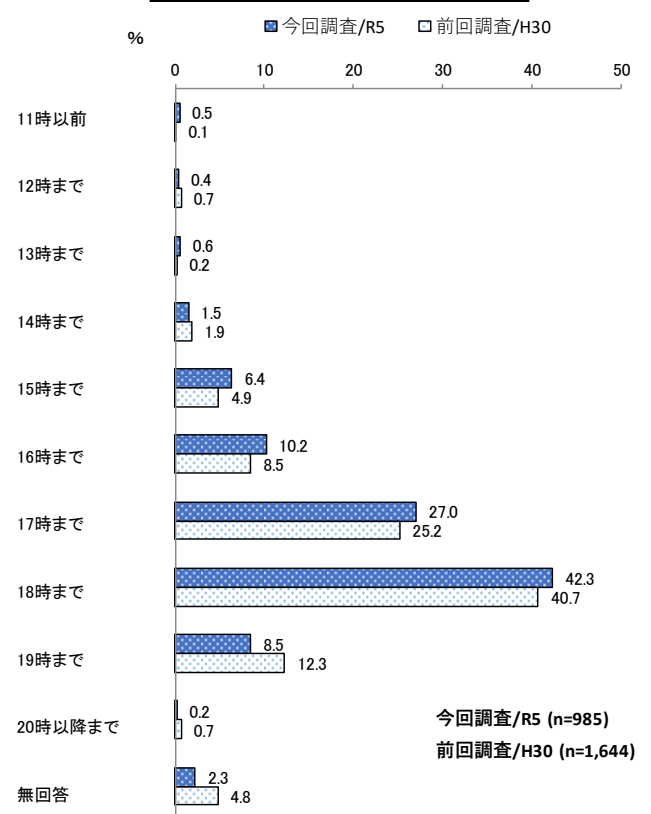
利用したい
 今回：63.5%
 前回：63.0%

問 27で「利用したい」と回答した方

問 27 長期休暇：何時から



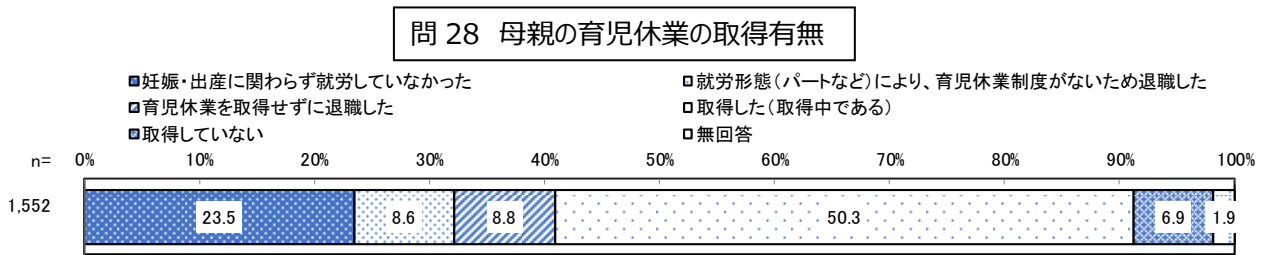
問 27 長期休暇：何時まで



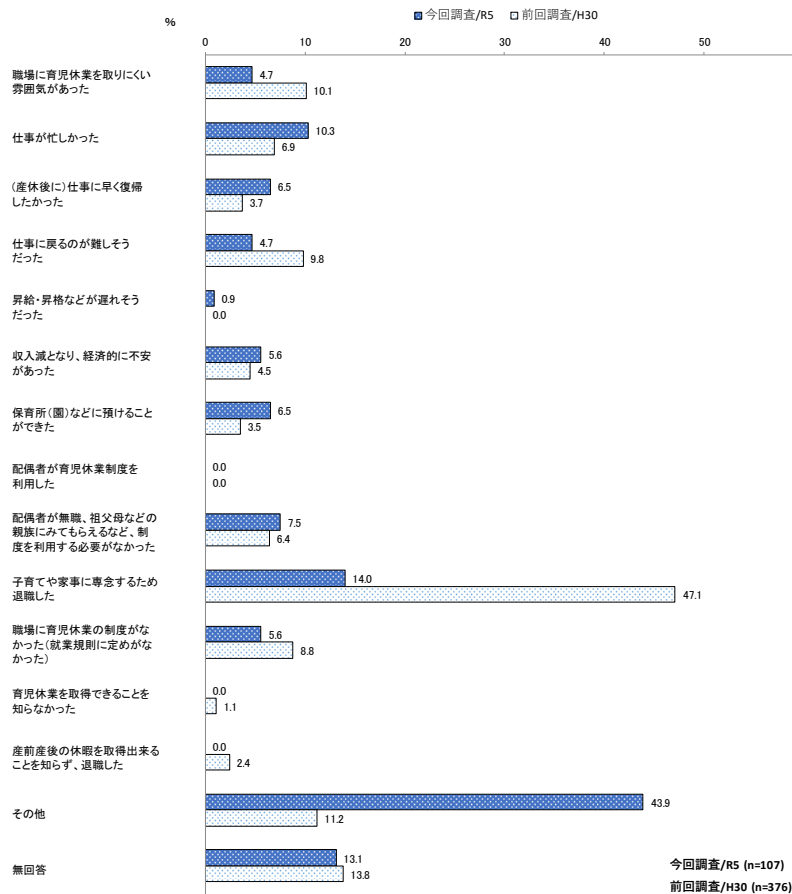
10 育児休業や短時間勤務制など家庭と職場の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

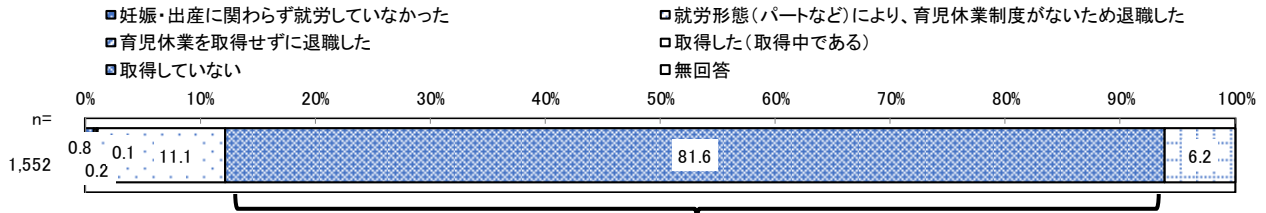
- 母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が最も多く、5割程度を占める。【問 28】
- 母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多い。【問 28】
- 父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が最も多く、8割強を占める。【問 28】
- 父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が4割強と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が3割半ばと続いた。【問 28】



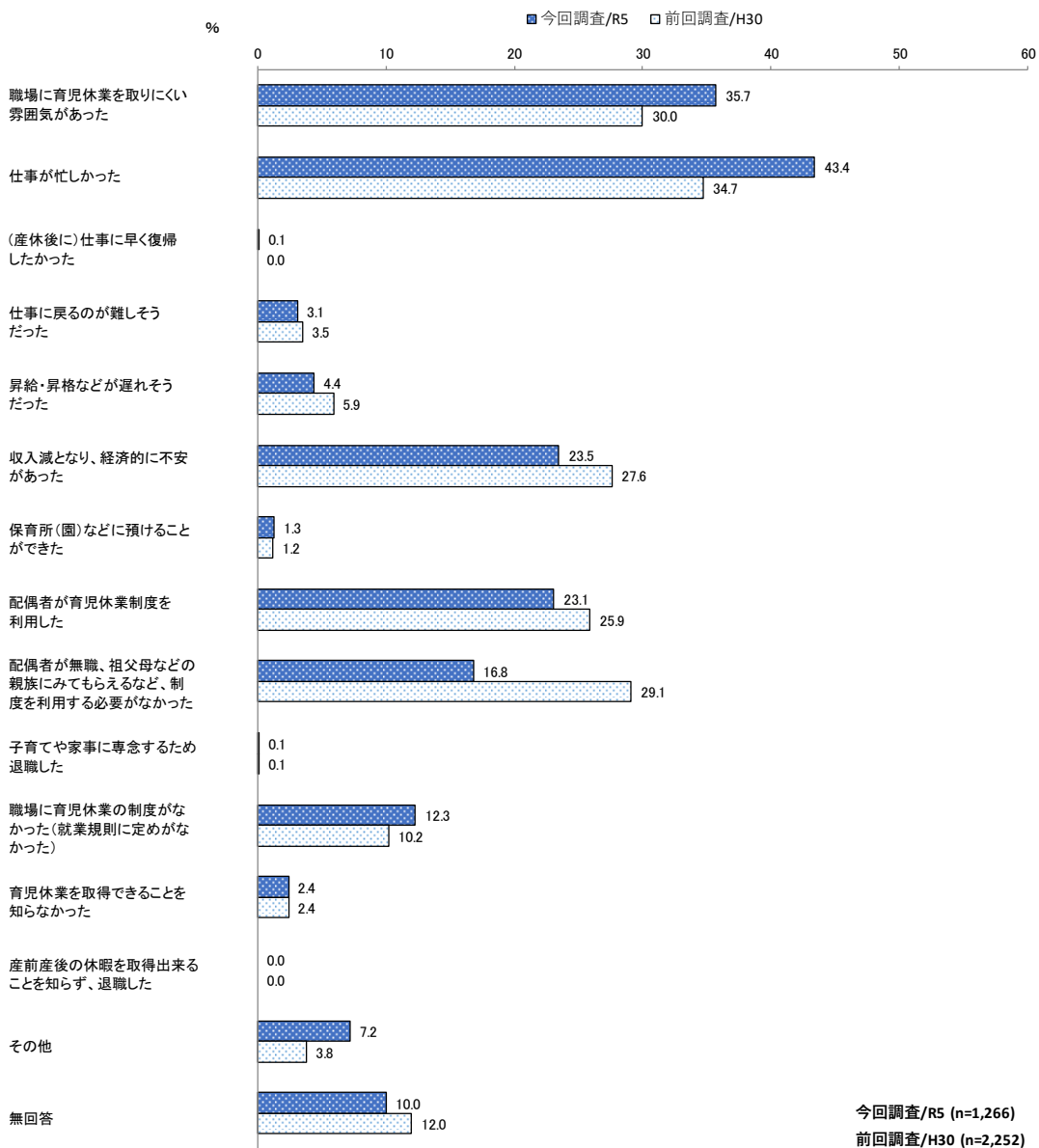
問 28 母親が育児休業を取得していない理由



問 28 父親の育児休業の取得有無



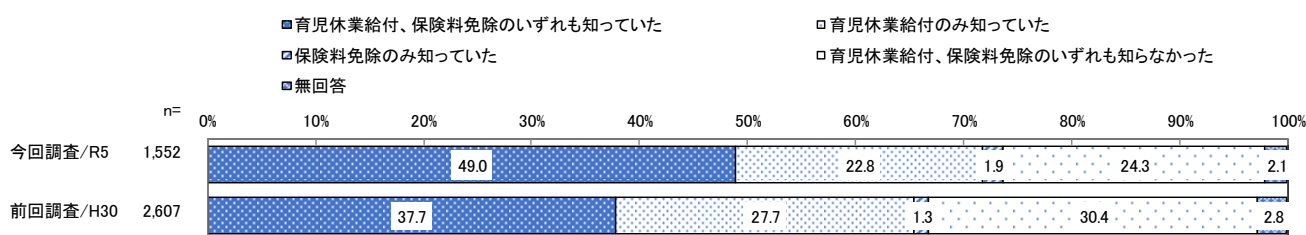
問 28 父親が育児休業を取得していない理由



(2) 育児休業給付の仕組みや育児休業期間中の年金保険料の免除の仕組みなどの知識

- 仕組みの認知については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が約5割と最も高く、前回より11.3ポイント増加した。【問28-1】
- 一方、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は24.3%で、前回より6.1ポイント減少した。【問28-1】

問28-1 育児休業給付、保険料免除の仕組みの認知

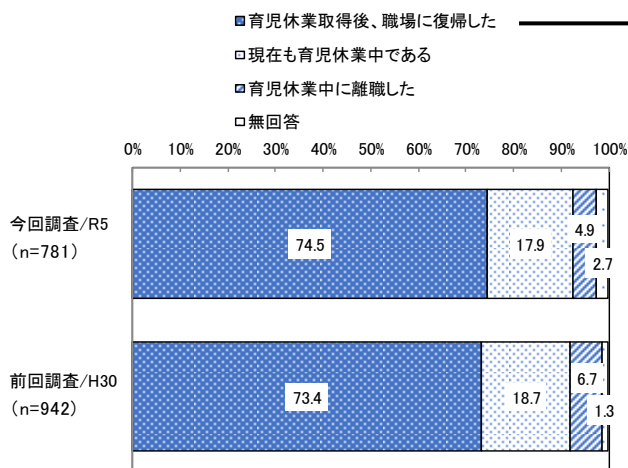


(3) 職場復帰

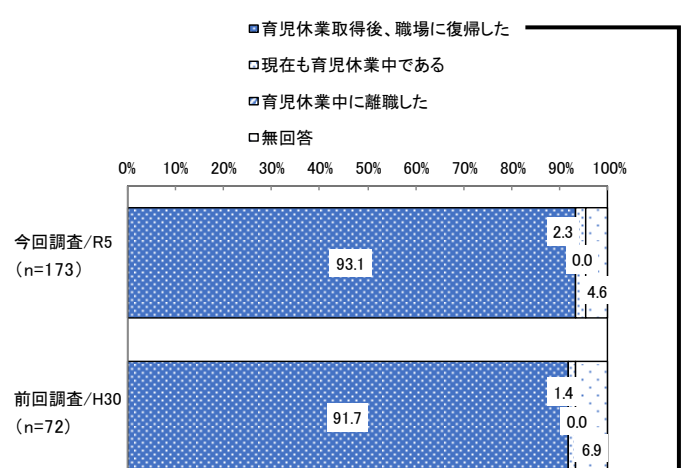
- 母親の実際の育休取得期間は、1歳～1歳6カ月が61.0%と前回の57.5%から3.5ポイント増加した。また、希望の育休取得期間は、1歳～1歳6カ月が53.4%と最も多いものの、0歳7カ月～0歳11か月と2歳～2歳6カ月では、前回からそれぞれ増加した。【問28-4(1)】
- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の母親の取得希望時期は、最も多かったのが「3歳」(33.5%)で、実際の取得期間や希望の取得期間よりも長く希望している。【問28-5(1)】
- 父親の実際の育休取得期間は、0歳6カ月以下が52.8%と前回の71.2%から18.4ポイント減少したものの、0歳7カ月～0歳11か月、1歳～1歳6カ月の割合がそれぞれ増加した。また、希望の育休取得期間は、0歳6カ月以下が38.5%と最も多いものの、1歳～1歳6カ月が24.2%と、前回の2倍以上増加した。【問28-4(2)】
- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の父親の取得希望時期で最も多かったのが「1歳～1歳6カ月」(19.3%)、次いで「3歳」(14.3%)で、実際の取得期間よりも長く希望している。【問28-5(2)】

問28で「取得した(取得中である)」と回答した方

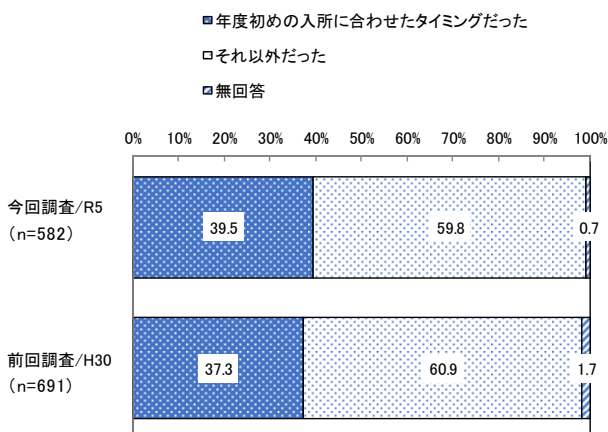
問28-2(1) 母親の職場復帰



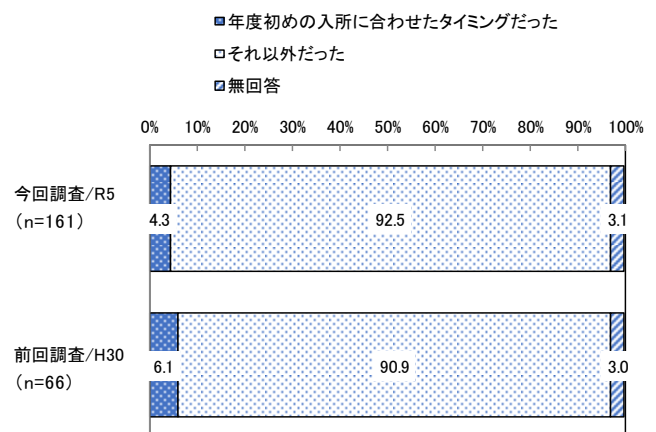
問28-2(2) 父親の職場復帰



問28-3(1) 母親の職場復帰の時期

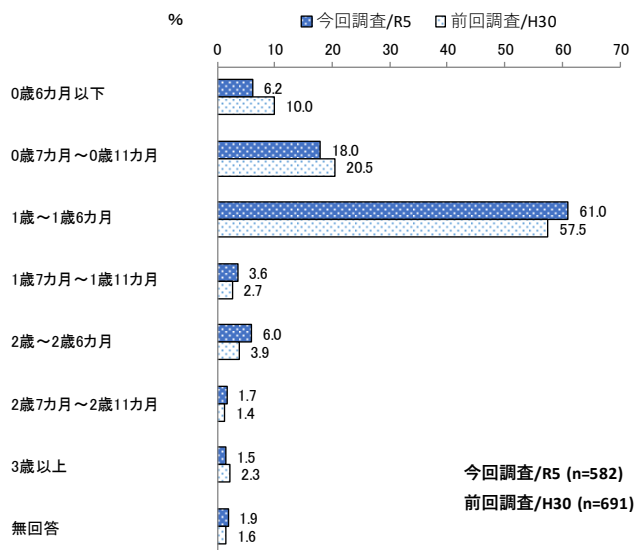


問28-3(2) 父親の職場復帰の時期

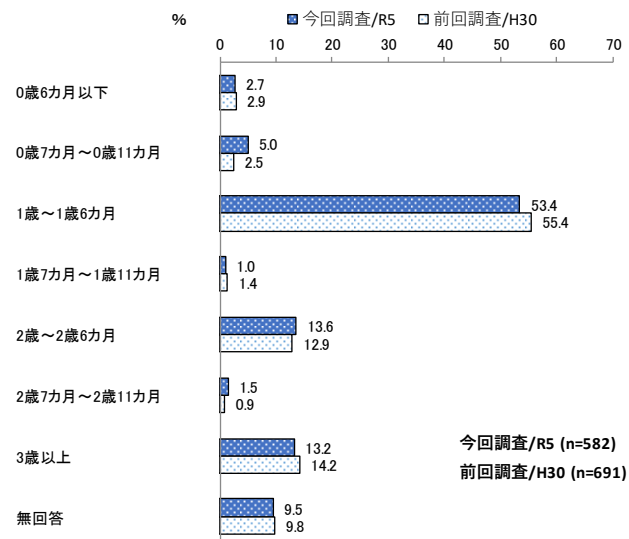


母親の職場復帰の時期

問 28-4(1) 実際：母親の育休取得期間



問 28-4(1) 希望：母親の育休取得期間



実際の取得期間（母親）

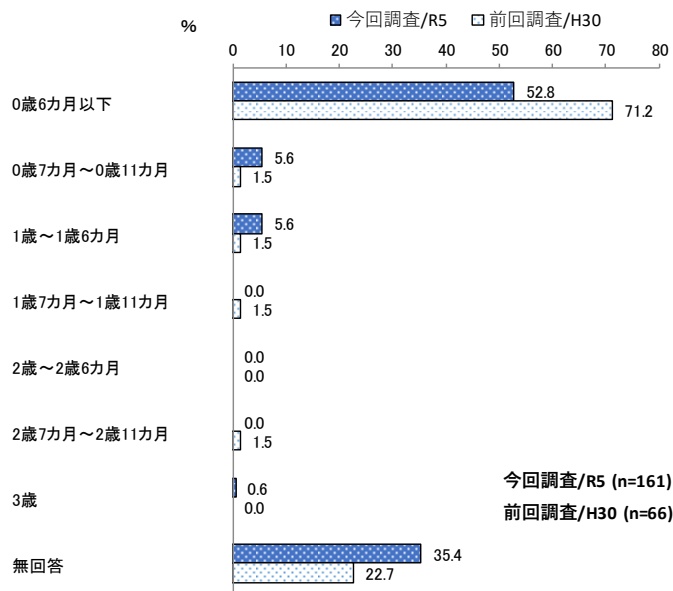
		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳	無回答
今回調査	回答数(人)	582	36	105	355	21	35	10	9	11
	割合(%)	100.0	6.2	18.0	61.0	3.6	6.0	1.7	1.5	1.9
前回調査	回答数(人)	691	69	142	397	19	27	10	16	11
	割合(%)	100.0	10.0	20.5	57.5	2.7	3.9	1.4	2.3	1.6

希望の取得期間（母親）

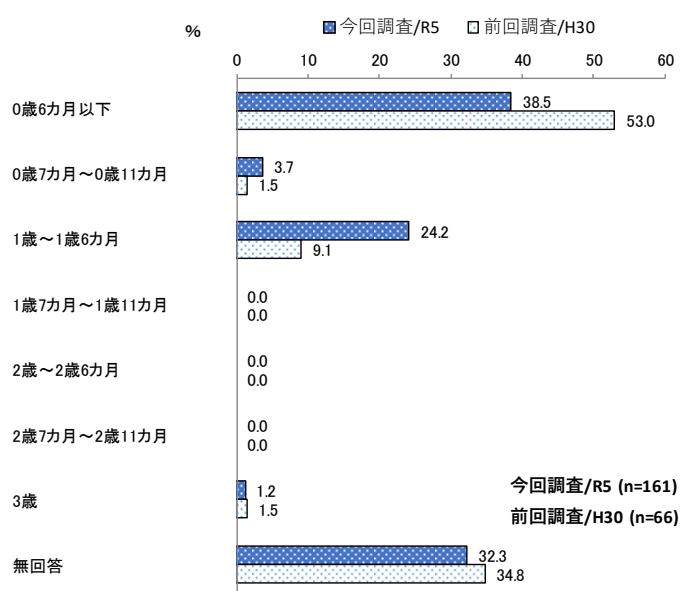
		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳	無回答
今回調査	回答数(人)	582	16	29	311	6	79	9	77	55
	割合(%)	100.0	2.7	5.0	53.4	1.0	13.6	1.5	13.2	9.5
前回調査	回答数(人)	691	20	17	383	10	89	6	98	68
	割合(%)	100.0	2.9	2.5	55.4	1.4	12.9	0.9	14.2	9.8

父親の職場復帰の時期

問 28-4(2) 実際：父親の育休取得期間



問 28-4(2) 希望：父親の育休取得期間



実際の取得期間（父親）

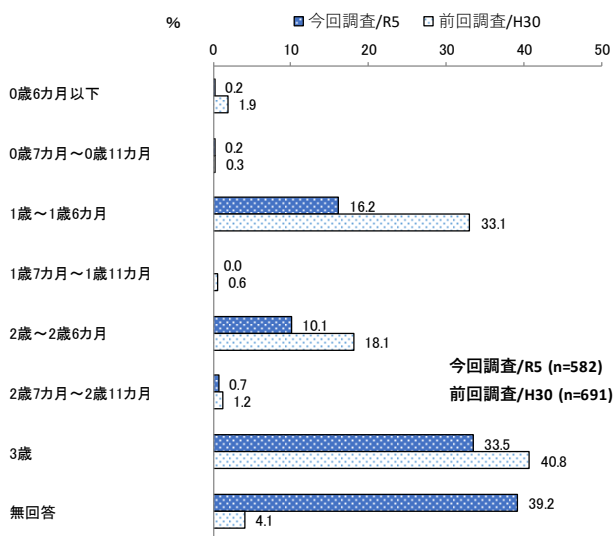
		全 体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳	無回答
今回調査 (R5)	回答数(人)	161	85	9	9	0	0	0	1	57
	割合(%)	100.0	52.8	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.6	35.4
前回調査 (H30)	回答数(人)	66	47	1	1	1	0	1	0	15
	割合(%)	100.0	71.2	1.5	1.5	1.5	0.0	1.5	0.0	22.7

希望の取得期間（父親）

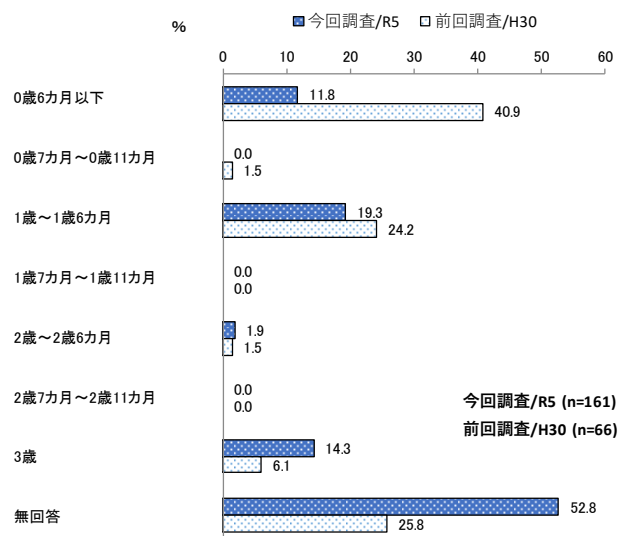
		全 体	0歳6カ月以下	0歳7カ月～0歳11カ月	1歳～1歳6カ月	1歳7カ月～1歳11カ月	2歳～2歳6カ月	2歳7カ月～2歳11カ月	3歳	無回答
今回調査 (R5)	回答数(人)	161	62	6	39	0	0	0	2	52
	割合(%)	100.0	38.5	3.7	24.2	0.0	0.0	0.0	1.2	32.3
前回調査 (H30)	回答数(人)	66	35	1	6	0	0	0	1	23
	割合(%)	100.0	53.0	1.5	9.1	0.0	0.0	0.0	1.5	34.8

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の取得希望時期

問 28-5(1) 母親の育休取得希望時期



問 28-5(2) 父親の育休取得希望時期



(1) 母親の育休取得希望時期

		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳	無回答
今回調査 (R5)	回答数(人)	582	1	1	94	0	59	4	195	228
	割合 (%)	100.0	0.2	0.2	16.2	0.0	10.1	0.7	33.5	39.2
前回調査 (H30)	回答数(人)	691	13	2	229	4	125	8	282	28
	割合 (%)	100.0	1.9	0.3	33.1	0.6	18.1	1.2	40.8	4.1

(2) 父親の育休取得希望時期

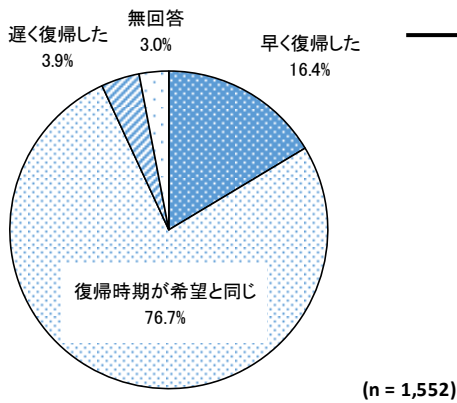
		全体	0歳6か月以下	0歳7か月～0歳11か月	1歳～1歳6か月	1歳7か月～1歳11か月	2歳～2歳6か月	2歳7か月～2歳11か月	3歳	無回答
今回調査 (R5)	回答数(人)	161	19	0	31	0	3	0	23	85
	割合 (%)	100.0	11.8	0.0	19.3	0.0	1.9	0.0	14.3	52.8
前回調査 (H30)	回答数(人)	66	27	1	16	0	1	0	4	17
	割合 (%)	100.0	40.9	1.5	24.2	0.0	1.5	0.0	6.1	25.8

(4) 職場復帰の実際の時期が希望と異なることについて

- 母親は、希望より「早く復帰した」が 16.4%で、父親の 3.1%よりも多い。【問 28-6】
- 希望より「早く復帰した」理由は、母親が「希望する保育所などに入るため」が 58.6%と最も多かったが、父親は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が 43.6%で最も多かった。【問 28-6(1)①】【問 28-6(1)②】

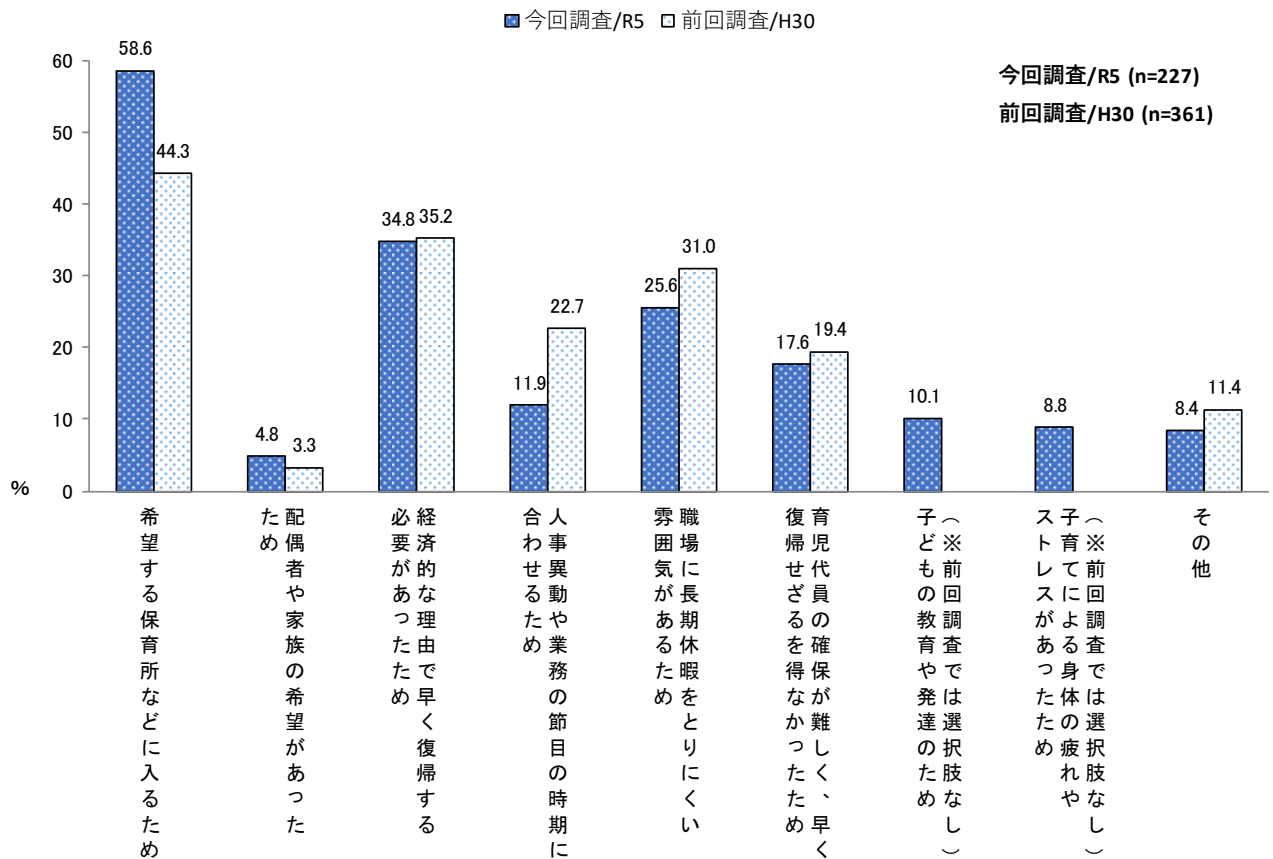
問 28-4 で「実際の復帰と希望が異なる」方

問 28-6 母親：職場復帰の時期の希望と実際の差

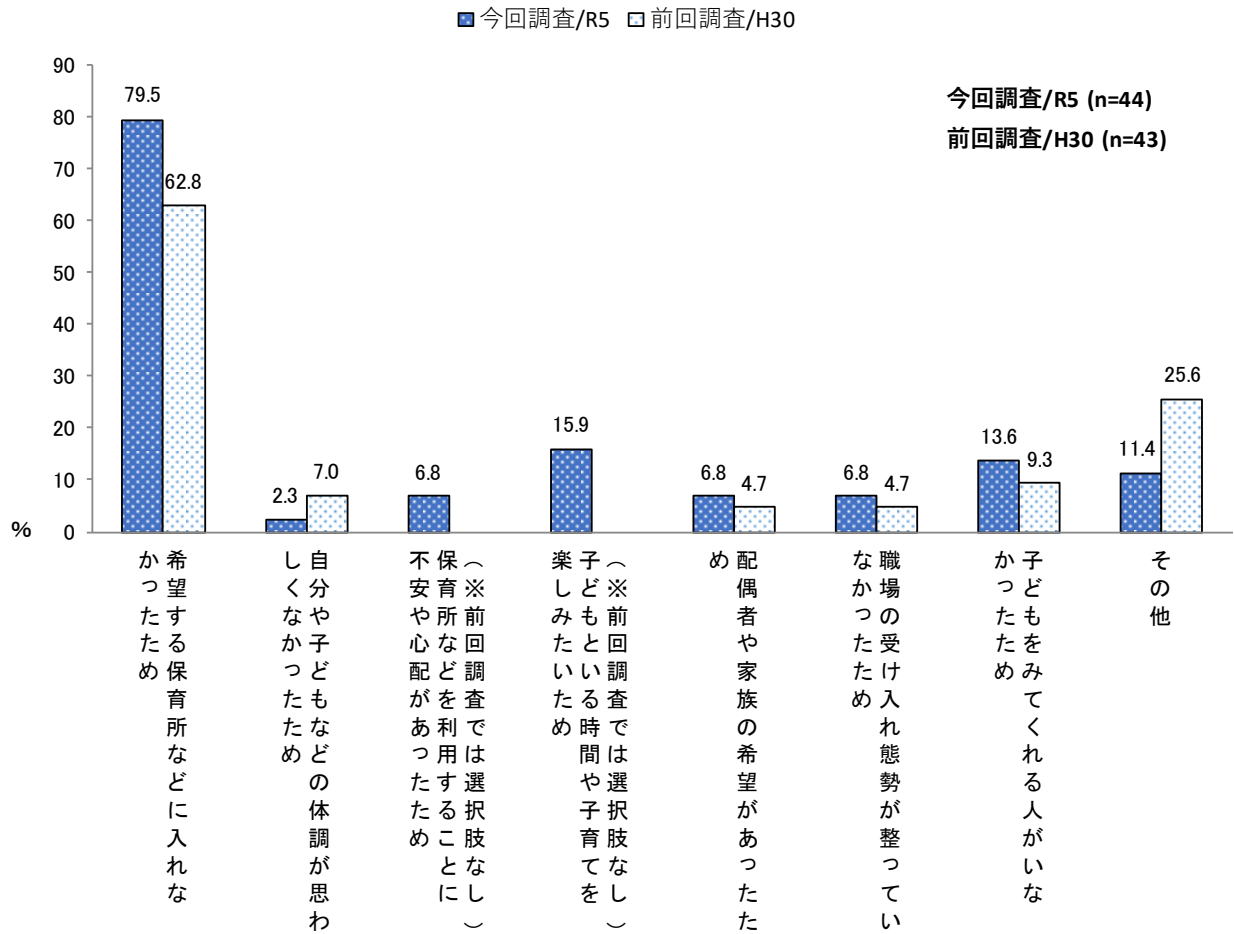


※希望より早く、または遅く復帰した理由については、無回答を除いて集計している。

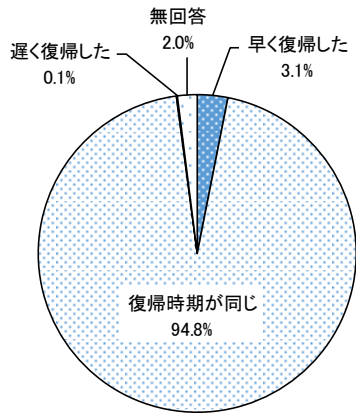
問 28-6(1) ① 母親が希望より早く復帰した理由



問 28-6(2) ①母親が希望より遅く復帰した理由

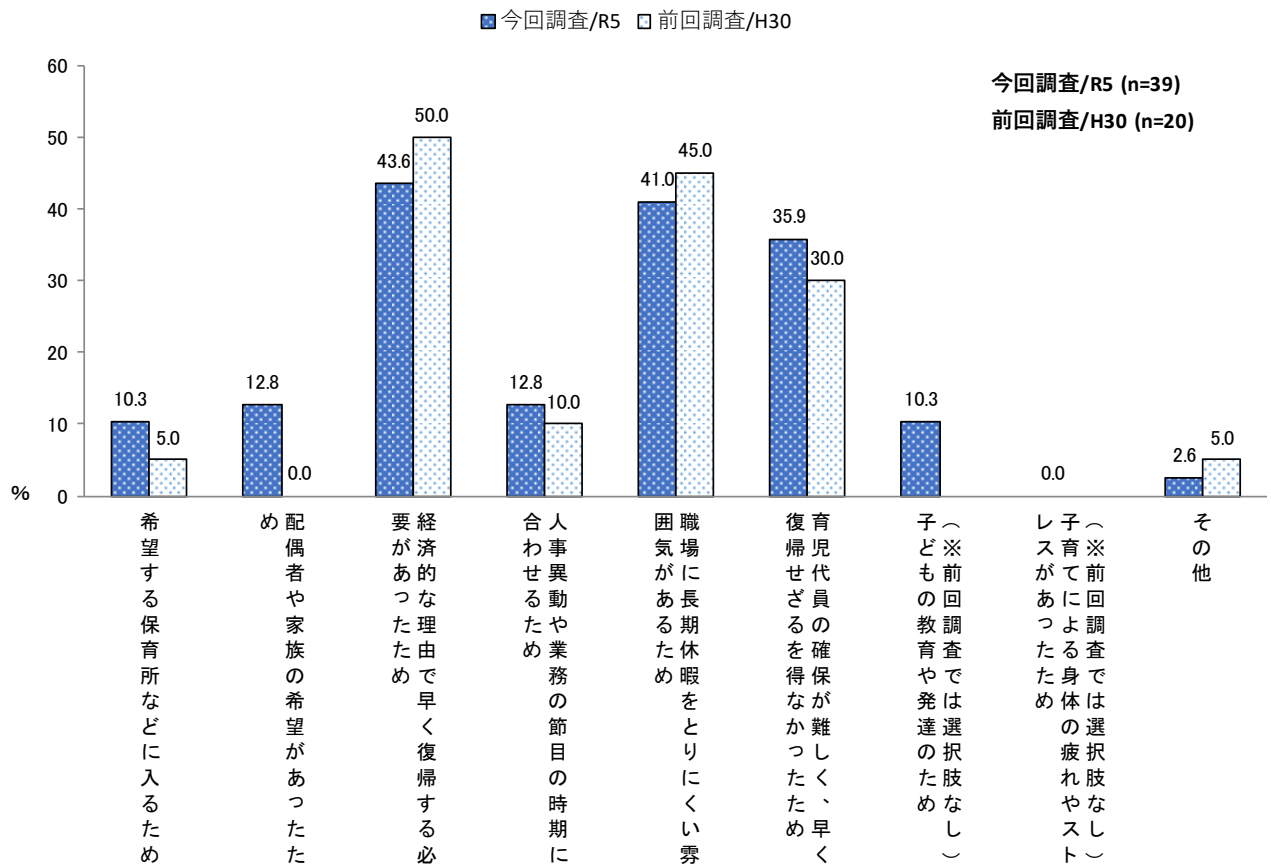


問 28-6 父親：職場復帰の時期の希望と実際の差



(n = 1,552)

問 28-6(1) ②父親が希望より早く復帰した理由

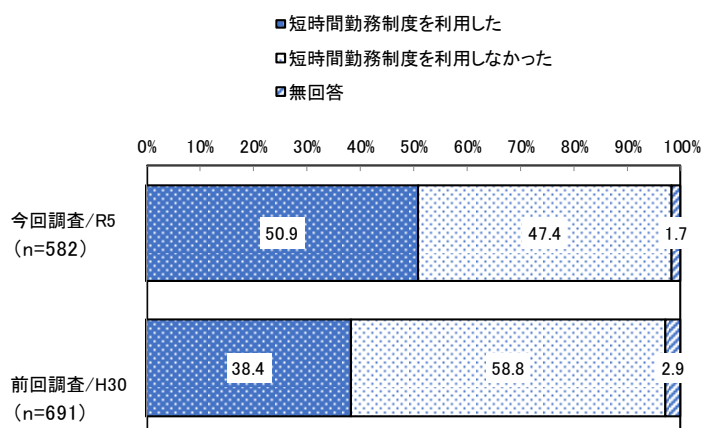


(5) 短時間勤務制度の利用

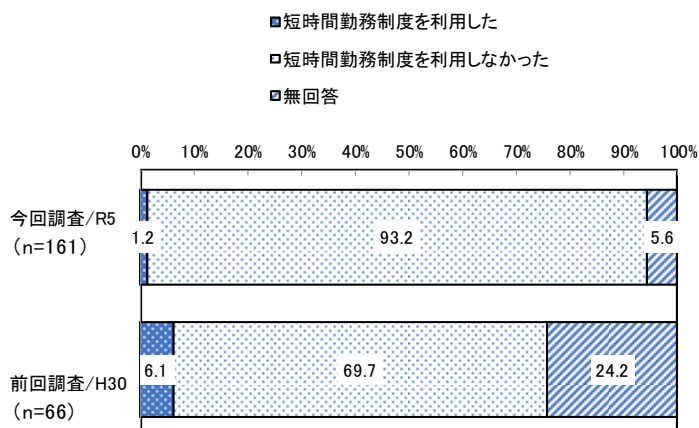
- 短時間勤務制度の利用は、母親は前回から増加し、50.9%に対して、父親は 1.2%と、母親と大きな差がある。
【問 28-7(1)】【問 28-7(2)】
- 利用しなかった理由は、母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」、父親は「仕事が忙しかった」及び「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が最も多い。【問 28-8(1)】【問 28-8(2)】

問 28-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

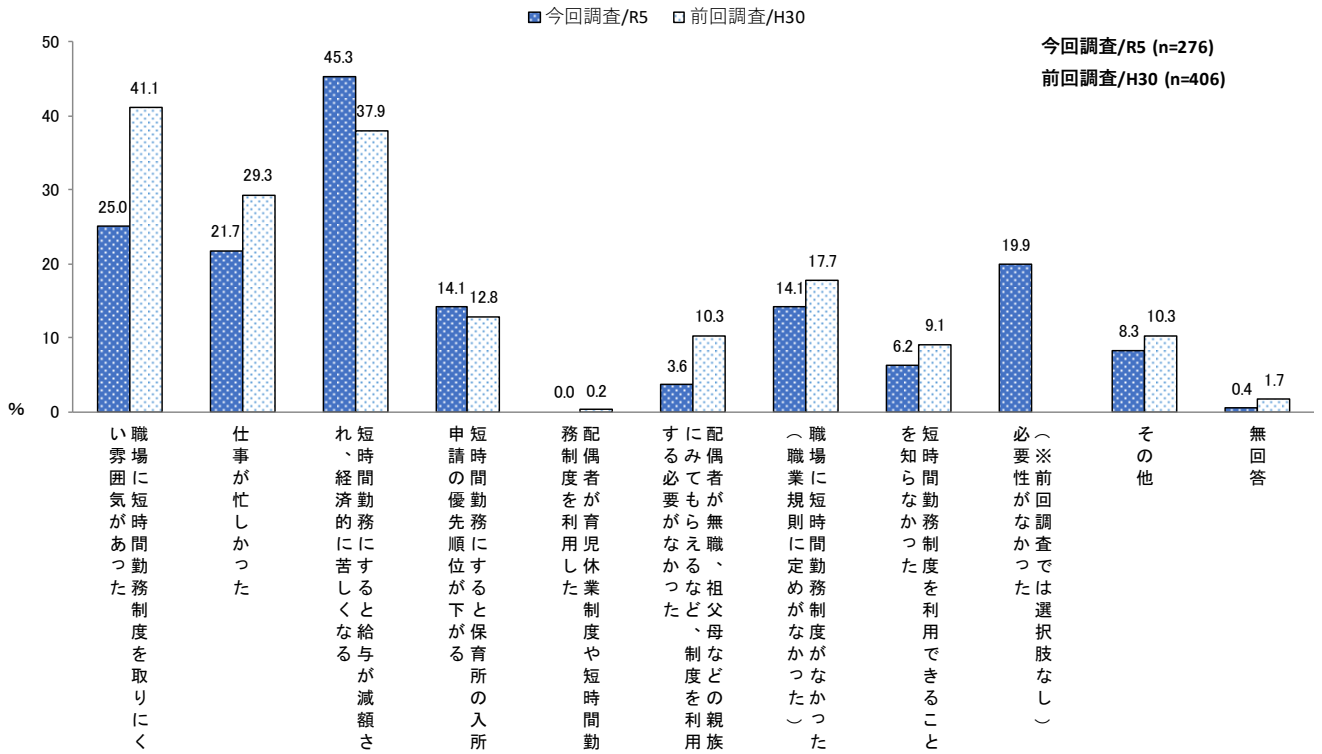
問 28-7(1) 母親の短時間勤務制度の利用経験



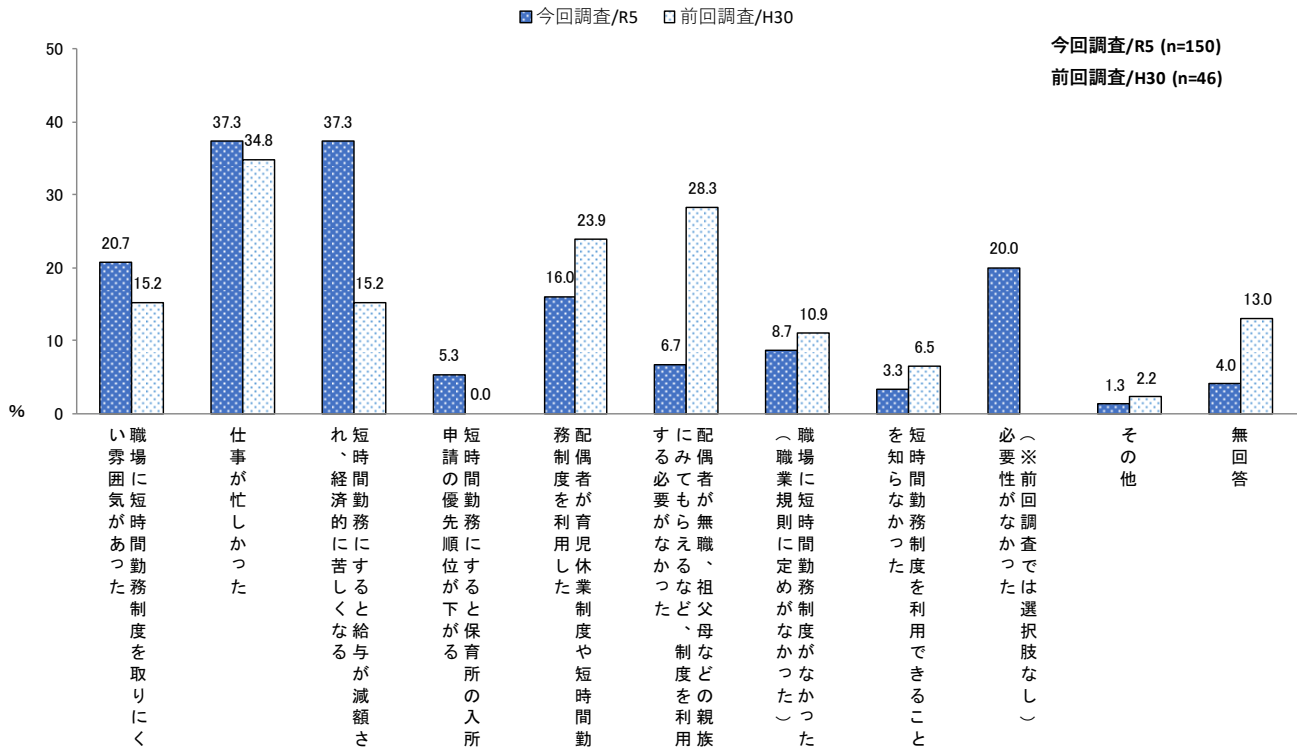
問 28-7(2) 父親の短時間勤務制度の利用経験



問 28-8(1) 母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



問 28-8(2) 父親が短時間勤務制度を利用しなかった理由



11 自由意見（就学前児童）

子育ての環境や支援に関する自由意見について、合計 1,065 件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「子育て支援について」が 392 件、「経済的支援について」が 202 件、「環境について」が 200 件、「相談、情報提供について」が 71 件、「子育てと仕事の両立について」が 113 件、「アンケートについて」が 24 件、「市の対応、体制について」が 63 件となっており、代表的な意見を抜粋して掲載している。

大項目	小項目	件数
1. 子育て支援について	①保育所、幼稚園などの保育サービスについて	125
	②病児保育、一時保育について	87
	③放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について	62
	④子育て支援センター、児童館について	23
	⑤障がいのある子どもへの子育て支援について	21
	⑥ひとり親への支援について	6
	⑦その他のサービス・支援について	68
2. 経済的支援について	①経済的支援全般について	111
	②保育料・教育費について	82
	③医療費について	9
3. 環境について	①子どもが遊ぶ環境について	81
	②施設、道路などハード面での整備について	54
	③育児環境について	29
	④子どもの教育環境について	24
	⑤地域の環境について	12
4. 相談、情報提供について	①情報提供について	37
	②相談・交流の場について	19
	③子育ての不安と相談について	15
5. 子育てと仕事の両立について		113
6. アンケートについて		24
7. 市の対応、体制について		63
	合計	1,065

主な意見

1. 子育て支援について

①保育所、幼稚園などの保育サービスについて

1	預かり保育を利用したかったが、3園断られ探すのが大変だった。(土曜に利用したかったためその園に入園している子が優先になると言われた)
2	私は現在子どもが3人おり、主人は県外で仕事をしているのでワンオペ育児です。用事もなかなかできず大変です。働いていないので延長保育もできず下の子は0才なのであと3年は幼稚園に入れません。一時預り事業をやっている保育所等に連絡しても定員いっぱい入れませんと言われます。もっと預れるところを増やしてもらいたいです。
3	保育所に希望すれば入れるようにしてほしい。自営業のポイントが低すぎて、パートの人の方が入りやすいのはおかしいと思った。
4	保育の質の向上、人手不足(職員の)等の問題対策として保育士、幼稚園教諭への処遇改善に努めてほしい。
5	保育所の定員が少なすぎるので、入所できるか心配でしかたない。
6	育休後、復帰したくても保育所の空きがなく復帰できないのが現状。事前に途中入園予約を希望したが、それも枠が決まっており、予約すらできなかったのが現状。もっと復帰しやすいようにしてほしい。途中入園できず困っている人はたくさんいます。
7	保育所に入園している第1子が、第2子の育休中、退園しなければならないしくみを見直ししてほしい。
8	平日やお盆休み、年末年始、春休みなど幼稚園が完全に休園のときに(預かり保育もなしのときに)預ける先がなくて困る。市立の幼稚園や保育所では延長は通っている子だけ利用できると言われ、自分が仕事を休むか高齢の親に面倒を頼むしかない。どこの園に通っていても預けられる楽しい場所があったらいいと思う。
9	保育所があるので仕事をしていられる。仕事があるので社会と関わることができ、子ども以外のことも考える時間と精神的余裕が生まれるので本当に先生方には頭が上らない。また、3歳からは保育料もかからず、経済的にもとても助かっている。願わくば、先生方のお給料が上がって福利厚生もよくなり、モチベーションを保ち続けられる体制を整えていただきたい。

②病児保育、一時保育について

1	日曜や長期休暇中の一時預かりや室内での安全な遊び場所があると、核家族や自営業の家族などの需要は高いと思われる。さらに、そういった方の移住促進にもつながると思う。
2	病児・病後児保育を利用できる施設が少ない。働くママからしたら、預け先がないことは本当に苦労します。
3	一時預かりを仕事で利用したいと思っても希望日全て受けられるわけではなく翌月の可能日が月末に決定するため、利用しづらい。かつ、保育所を利用できるほどの回数を働いていないパートは子どもの預け先に困ります。パートタイムでも利用しやすい保育事業を望みます。
4	病児保育よく利用します。施設が増えてくれたらと思います。夕方、仕事が終わってからでも行ける小児科が増えてくれたらと思います。予約がとれなかった場合、仕事を休むのか遅刻なのか、職場にいつもあいまいな答えしか言えません。

③放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について

1	放課後児童クラブがうちの子が行く小学校についてはすでに定員オーバーだということがわかっている。近隣の小学校では希望する人は利用できる状況にあるとよく聞く。預けないと働きに行けないので、受入人数を大幅に増やしてほしい。受入人数については、各学校平等に同じような人数設定してほしい。
2	普段は小学校に通っている時間だけパートをして、長期休みの時だけ学童保育を利用したいのですが、通年利用のみしか受付されていないようなので、まだ働いていません。民間の預かりサービスは料金が高く、パートで働いてもあまりプラスにならないようなので、利用するのであれば学童保育が良いと思っています。
3	児童クラブの終了時間が早いので、フルタイムでは迎えが間に合わない。19時などもう少し延長してほしい。
4	フルタイムか時短（パート）で働かか悩んでも、学童に入れるのがほぼフルタイムで働かないと入れないのが困っています。働かたくても預け先がないと働けない現実です。放課後子ども教室を、全ての小学校でもらえたらとてもたすかります。子育てと仕事の両立をしていくために、働く親への選択肢を増やしてほしいです。

④子育て支援センター、児童館について

1	子育て支援センターやひろばのようなところを増やしてほしいです。また、将来的には児童館がもっと増えれば良いと思います。上に小学生の子がいるのですが、車で移動しないと児童館には行けず、お友達とは公園か庭で遊ぶしかありません。南部児童館のような幼児～小・中学生が遊べる施設が自転車等で行ける距離にあれば子ども達の居場所ができ、親としても安心して行かせることができます。期待しています。
2	休日か日頃から利用できる（友だちと一緒に遊べたり、勉強できたり、宿題ができたりする）児童館のようなものが近くにあればいいなと思います。子ども達が自転車でも行ける様な距離のところが利用しやすいと思う。

⑤障がいのある子どもへの子育て支援について

1	兄（第一子）が療育施設を利用していますが、保育所と違い、時間的な制限が多い。今の利用先も通常の保育は幼稚園と同じ時間でとても働きながら利用はできませんでした。もう少し療育の選択肢も増えてほしいです。
2	子どもの発達が通常より遅く、発達支援センターに入所したいと思っていますが定員が少なく入所できるかわからない状態でとても不安です。入所できなかった時は普通の幼稚園では見れないと断られてしまいました。もっと安心して子どもを通園させてあげられるところを増やしてもらいたいです。

⑥ひとり親への支援について

1	シングルマザーやシングルファザーが働きやすい環境や勤務状態を会社や行政にもっと理解してもらいたい。子どものことで相談できる機関は増えてきたが、利用しようと思っても料金や手続きが分からない事があるので色々教えてほしい。
2	ひとり親に対しての支援をもっと充実させてほしい。物資でも、金銭的にも、どちらでもいいので支援があればとても助かる。

⑦その他のサービス・支援について

1	産後うつの時サポート施設がなく本当に辛かった。
2	放課後の習い事など送迎してもらえる制度があつたらいいと思う。働いていると送迎が難しく、子どもに教育や習い事を受けさせたくてもできない。

3	小学校に入学後、学童の受け入れが困難な学年になった時、長期休暇はどのように過ごそうか、今からとても不安です。（両親ともに働いており、近くに両親もいないため）1日中、子どもが1人で過ごすことはとても怖いなぁと感じています。
---	--

2. 経済的支援について

①経済的支援全般について

1	3人育児をしています。何よりも経済的支援を充実させてほしいです。安心して大学まで進学できるような経済的支援をお願いしたいです。
2	愛顔っ子応援券（オムツ5万円分）を第1子から交付してほしい。
3	非課税世帯以外（課税世帯）にも現金給付を増やしてほしい。
4	多子世帯への金銭的な支援が必要。マンパワーも金銭も必要であるにも関わらず、世帯単位の支援金では不足。少子化時代に沢山産んで育てているのだから（しかも夫婦のみで）多子世帯への支援が増えれば、産む人も増える。
5	若者世代だけでなく30歳以上で子どもを産んだ人へも同じように給付の対象にしてほしい。
6	児童手当の所得制限をなくしてほしい。ただけいなくても共働きで、余裕ある生活とは言えません。
7	おむつ・ミルク代などももう少し安く購入できたら嬉しい。予防接種も任意の個人負担が高い。働きながらの子育てしんどいです。けど、働かないと生活できない。子ども欲しいと思っても不安しかない。出産のお金も全額負担してほしい。以前の補助金も29歳まででもらえなかった。辛い。
8	子どもはたくさん欲しいですが、仕事と子育ての両立、経済的不安から、現実的には1人（多くても2人）しか考えられません。保育料の減額や子育て世帯の減税等経済的支援を切に願います。
9	小学校や中学校の入学のタイミングが制服や学用品購入でかなりお金がかかるので、準備金を全員に給付してほしいです。

②保育料・教育費について

1	保育料の日割をしてほしい、高すぎる。
2	松山市は第2子が企業主導型保育所だと保育料の補助がない。他の自治体では補助されているケースもあり支援が遅れている。
3	保育料等の負担等何かと未就学児の数でのカウントが多い。実際の子どもの数でカウントしてほしい。少子化対策というのなら、子ども1人の世帯ではなく、子ども3人以上の世帯を増やす努力すべき。
4	幼稚園～小・中学校までの給食費が高い。無償とまでいかなくとも補助があればと思う。子どもが3人いても3人目の給食費が安くなる条件が厳しい。
5	2人目は保育料が半額。3人目は無料。これを上の子が保育所を卒園（小学生）になっていてもしてほしい。結局、小学生になっていてもお金はかかるし、3歳以上の子だと保育料は無料。なのに、ここに差をつける意味が分からない。5才以上差がある家庭はかなりの損。うちは2人目がなかなかできなくて上の子と差ができてしまったので残念です。なんとかしてほしい。（早めに）
6	幼児教育・保育の無償化について、幼稚園は満3歳から無償化なのに対して保育所は3歳時クラスになってからなのに不公平感を感じます。市として独自に補助を検討してほしいです。また、小中学校の給食費無償化に向けて動いてほしいです。

7	保育料について、3歳未満にも助成があると助かる。おむつや離乳食代など、3歳未満のほうがお金がかかる。
---	--

③医療費について

1	子どもの予防接種など任意の物は自費になるが、やはりまだ免疫力の低い子どもが受ける予防接種は無料にしていきたい。インフルエンザも高齢者は重症化を考慮して1000円で受けられるが、14歳以下は2回打たないといけないのに1回4000円もかかり、子どもの人数受けるとなるとかなり高いので、受けるのを考えてしまう。
---	--

3. 環境について

①子どもが遊ぶ環境について

1	児童館だけではなく、もっと子どもが室内でのびのびと遊べる施設を増やしてほしい。
2	松山市には広い公園が少ないので、いつも伊予市や松前町、東温市や今治市の公園を利用しています。ボールやストライダーが使える広さがあり、車がたくさん駐車できる公園があればいいと思います。
3	夏の暑い日、冬の寒い日、雨の日など室内でおもいきり遊ばせられるところが少ない。児童館なども利用してはいるが、走りまわったり体を動かしてアスレチックをしたりするようなところが公的な場所であれば利用したい。民間にはありますが利用料も高く、たまにしか行きません。
4	子どもたちが遊べる場所が少ない。ボール遊びができる公園が少ない。地域で温かく子どもを見守るべきだと思う。

②施設、道路などハード面での整備について

1	以前大街道にあったような、赤ちゃん休憩所（授乳室、おむつ替えスペース、ベビーカーレンタル等）をもう少し増やしてもらえると助かります。
2	学校のトイレの洋式化を急いでほしい。
3	外出先で多目的トイレやオムツ交換台のあるトイレを探し回ることがあるので、もっと数を増やしてほしいです。また、夫に子どものオムツ替えをお願いしたい時に男性用トイレにあまりオムツ交換台がないので設置してほしいです。

③育児環境について

1	子どもがいる生活は幸せだが、なぜ育児が母親に負担が偏るのか疑問を感じている。（子どもが病気のときの看病による仕事の休みは常に母親、父親の遅すぎる帰宅など）社会全体が子どもや障がいをもつ人に寛容であってほしい。自身もそうありたい。
2	子育て環境について、幼稚園の場合、入園前まで（0～3才）は社会と断絶されているように感じます。親が社会的で交友関係が広くない場合は同年代子ども同士で関わる機会が少なくなってしまう気がします。親が働いていない1～3才の子どものみも利用できる保育所・子育て広場のような所があれば親の社交性にかかわらず子ども同士での関わりを提供できて子どもの発達のために良いなと思います。1、2時間で一時預かりより安く利用できたら良いと思います。

④子どもの教育環境について

1	共働きだと習い事をしたくても送迎が難しい。学校とつながりをもって、習い事をしやすい環境を作ってほしい。
2	小学校以上なら、オンライン授業を取り入れてほしいです。せっかくの1人一台のタブレットをもっと活用して、学校を休んでも授業に遅れない環境を作ってほしいです。

⑤地域の環境について

1	子育ては、産まれた後1、2ヶ月だけがしんどいではなく、何歳でも大変である。その年なりに成長する毎に新たな悩みや性別による不安も出てくるであろう。昨今は、核家族化や転勤などで益々子育て世帯の悩みは尽きないし、一人で孤立して抱えがちなので、皆で協力して地域ぐるみで助け合う力が必要だと思う。
2	子育ては地域でしていく、ほんのちよっと子どもを見てもらえるだけで、助かることがたくさんあります。子どもが少なくなっているのは、子どもを産み育てる環境がないというのも1つの理由と考えると、子どもを産み育てやすくすることが大事だと思います。このアンケートが少しでも市民に還元されることを期待しております。

4. 相談、情報提供について

①情報提供について

1	子育てするにあたって、知らないことがとても多かったので、初めてのママ・パパ教室や、お母さん訪問の際に、離乳食やおむつ替えだけでなく、子どもへの接し方や、声かけの仕方を教えていただければ助かったなと思います。
2	第一子のため何もかも初めてで子どもの成長が大丈夫なのだろうかと思うこともあり同じ月例のお子様をもつインスタグラムを見てどういうふうに子育てをしたらよいか参考にしていました。月齢ごとにSNSを発信していただきたいと思います。離乳食を作るのが大変で、本をみて離乳食を作りましたが、やわらかさなど本では分からないことを教えていただける場があることを知らなかったので、出産後書類をいただけたらよかったです。

②相談・交流の場について

1	子どもの育児に関して、悩みをなかなか相談できず抱えこんでしまう人も多くいると思います。そういった人に相談しやすい環境があればと感じています。
2	子育ては孤独。ずっと家の中で子どもと2人で社会から切り離される思いになる。もっと気軽に社会と交流できる機会がほしかった。話し相手がほしかった。1日中、大人と会話する機会がなかったので孤独な日々もあったなあと今は思う。母のそんな思いが減るように、ハードルが低いコミュニケーションの取れる場所があれば嬉しかった。

③子育ての不安と相談について

1	私は産後うつになり入院しました。2人目の子どもだったので、まわりからの援助があまりなくて孤独でした。子育ての大変さをもっとわかってほしいです。特に経験済みの母親とかからの心身のサポートがほしいです。母親が孤独を感じなくてよい社会にしてほしいです。
2	育児で困ったりストレスを感じた時に相談したくても電話が繋がらなかったのもLINEなどでもっと気軽に相談できる制度が増えてほしい。

5. 子育てと仕事の両立について

1	子どもが病気などで保育所を休みになった時、有給以外の休みを作ってほしい。休みやすい環境を作ってほしい。看護休暇 5 日は足りない。
2	小学 1 年生で午前下校になってしまいます。小学校の児童クラブは質に不安の声をきいており、また自転車での迎えが必須のため、通勤帰り（車）に迎えに行けない。民間の学童を利用したくても、子ども自身で施設まで行く必要があり、1 年生では不安。時短勤務など、低学年のうちは働き方が選択できるように企業に啓発していただけたら助かります。ファミリーサポートに送迎など相談しても、受付対応の方が不親切であり、利用に不安が残る。子育てもきちんとしたいが、仕事も辞めたくない。働く母は、とても悩んでいて立場が弱いとよく感じます。
3	仕事と育児の両立が大変。子どもの急な体調不良で休まないといけなとき職場の理解がなかなか得られない。1 歳から 3 歳までは自分で子どもをみていたいが、家計のことを考えると難しいため早くから働くしかなく、働くとすぐ体調不良などで休みがちになり、職場の理解もあまりなく、肩身の狭い思いをする。子どもの人数が多いと立て続けに体調不良を起こしがちになる。小さな子どもがいると採用してくれない会社もある。もっと働きやすい環境、職場が増えるといいなと思う。

6. アンケートについて

1	調査の質問が多すぎて負担になった。仕事から帰って来てこれを記入するために子どもとの時間が減ったり、子どもが寝てから書くことになったりする。もう少し簡単に記入できるようにしてほしい。
2	アンケートの項目が長すぎる。返信用封筒が小さいです。

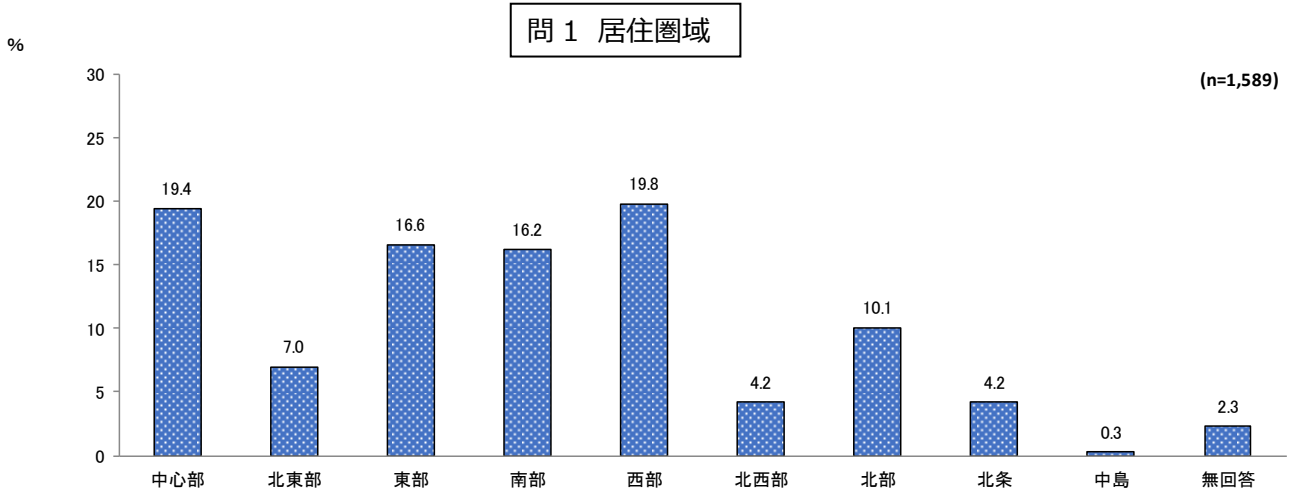
7. 市の対応、体制について

1	幼稚園や保育所の事を相談したり書類関係を取りに行ったりを市役所ではなく支所でもできるようにしてほしい。出来ない事は無いが何回も通ったり二度手間な事が多く働きながらだと休みの度何度も行ったり子どもを連れて長時間待ったりとするのが大変だと感じる。
2	予防接種、健診、紙の書類はマイナンバーカードを活用して電子化してほしいです。

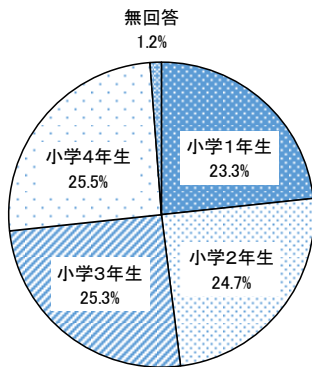
Ⅲ 小学生 調査結果

1 住まいの地域と家族の状況について

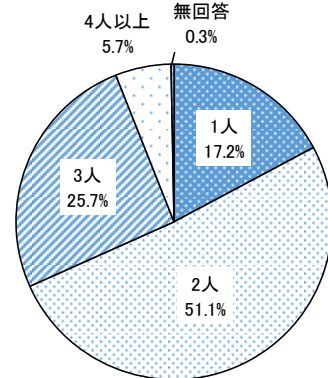
- 子どもの人数は「2人」(51.1%)、「3人」(25.7%)、「1人」(17.2%)の順に高い。【問2】
- 主に子育てを行っているのは「父母ともに」が52.2%、「主に母親」が45.3%であった。【問5】



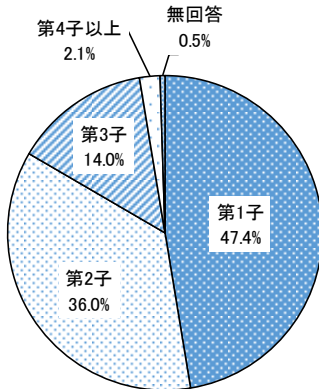
問2 対象の子どもの学年



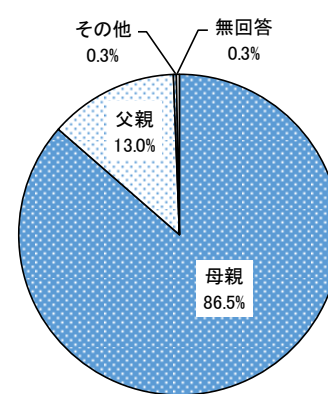
問2 子どもの人数



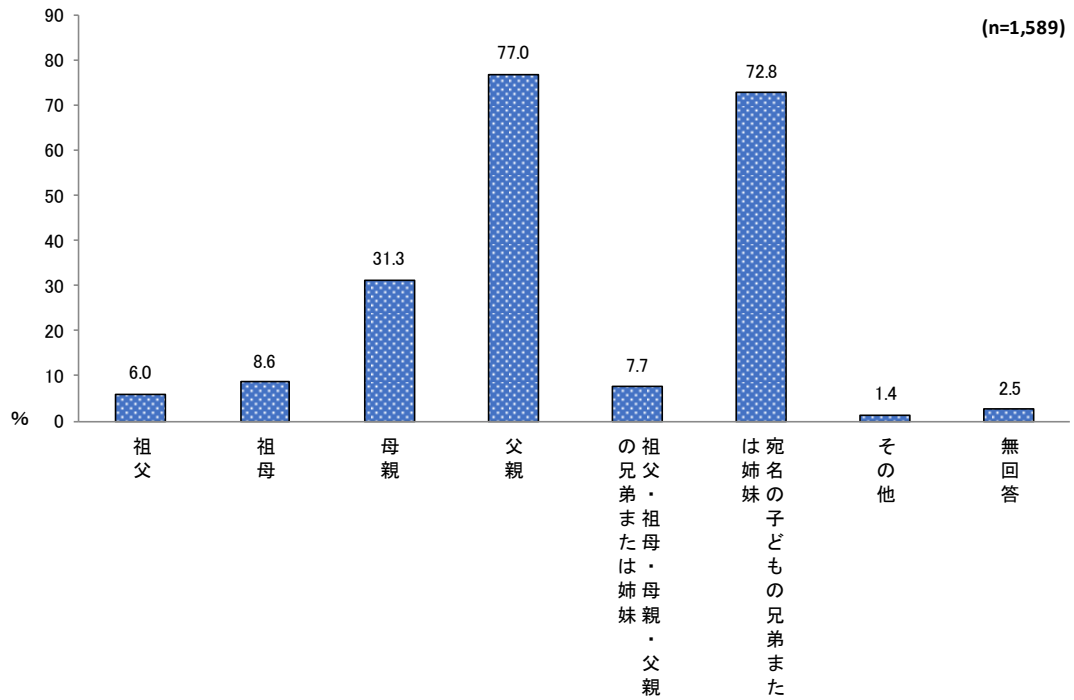
問2 対象の子どもは第何子



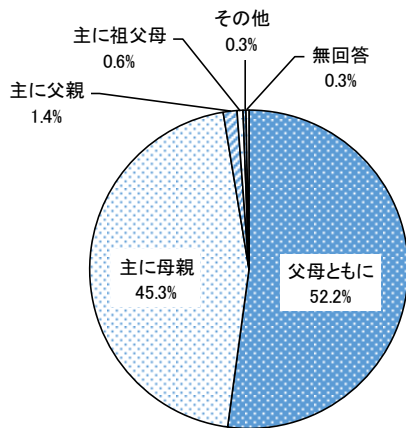
問3 回答者



問 4 回答者以外の同居者

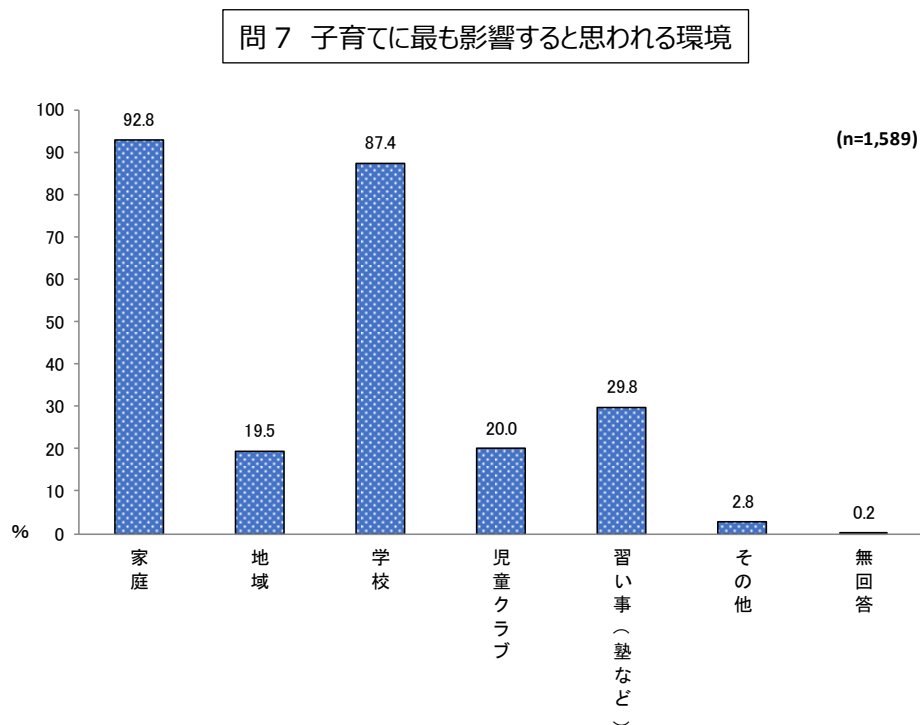
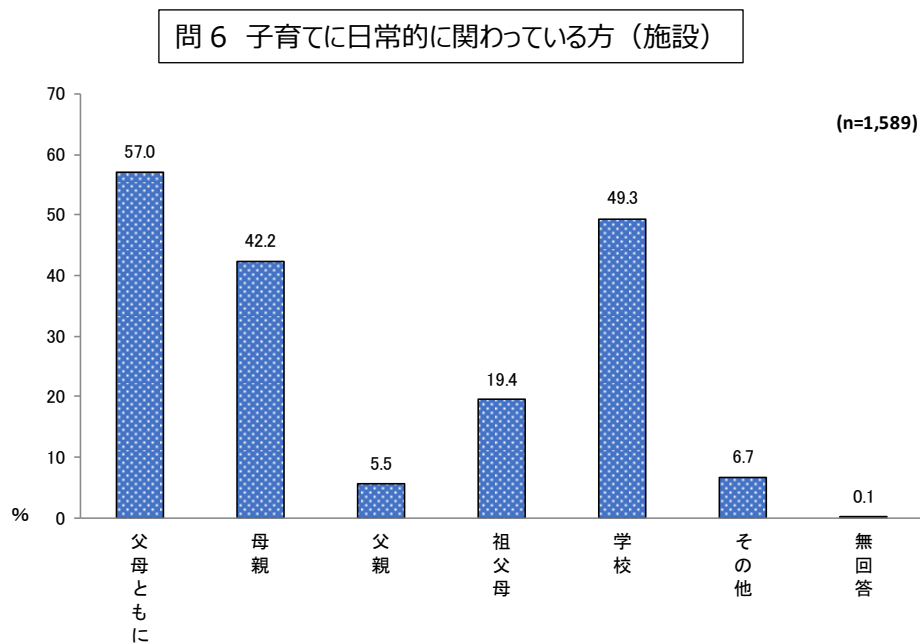


問 5 主に子育てしている人



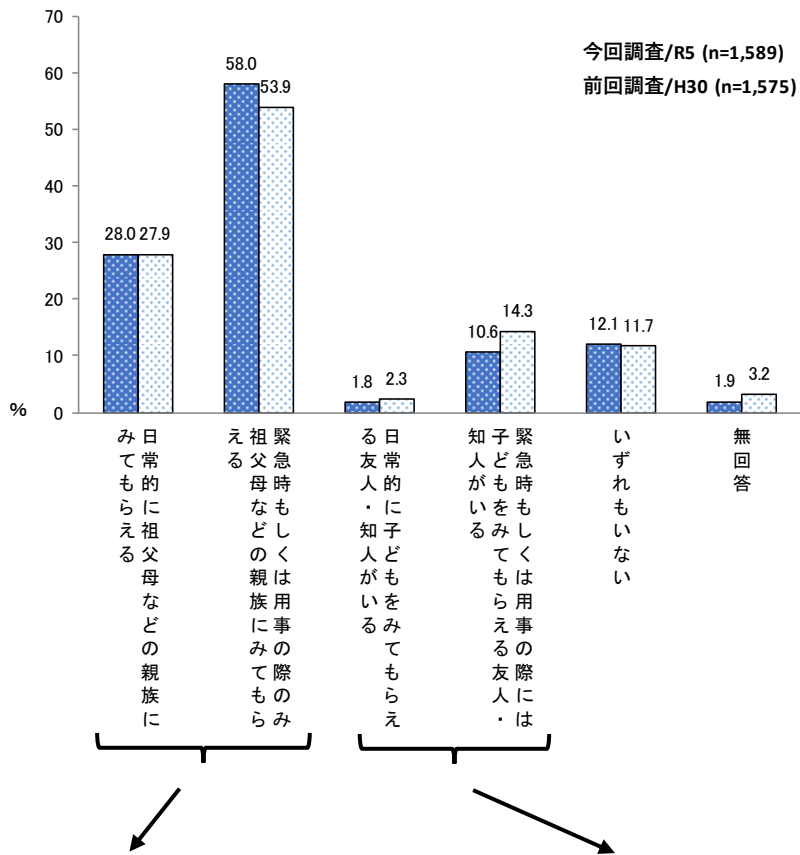
2 子どもの育ちをめぐる環境について

- 祖父母等の親族に子どもをみてもらえる保護者のうち、「安心して子どもをみてもらえる」割合は3割以上を占めて最も多い。一方で、友人・知人に子どもをみてもらえる保護者のうち、「負担をかけていることが気になる」割合は4割を超えて最も高い。【問 8-1】【問 8-2】
- 相談できる人・場所が「いる／ある」人は82.6%と前回より4.1ポイント減少している。【問 9】
- 主な相談先は「家族」が約8割と最も高く、次いで「友人や知人」「祖父母等の親族」がいずれも6割以上と高かった。【問 9-1】

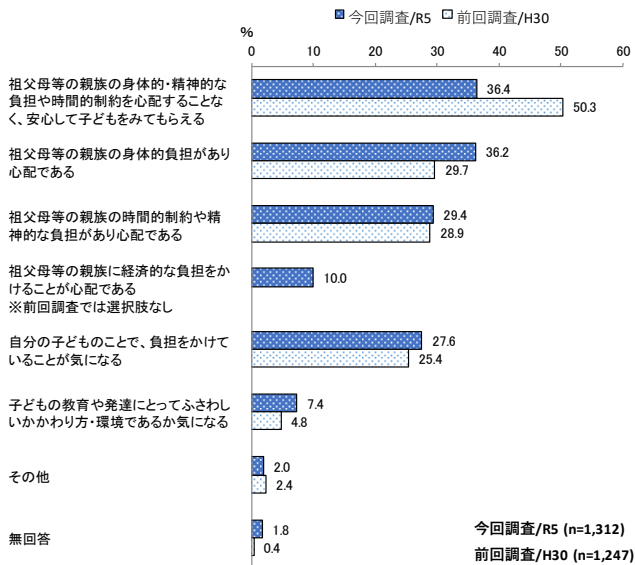


問 8 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

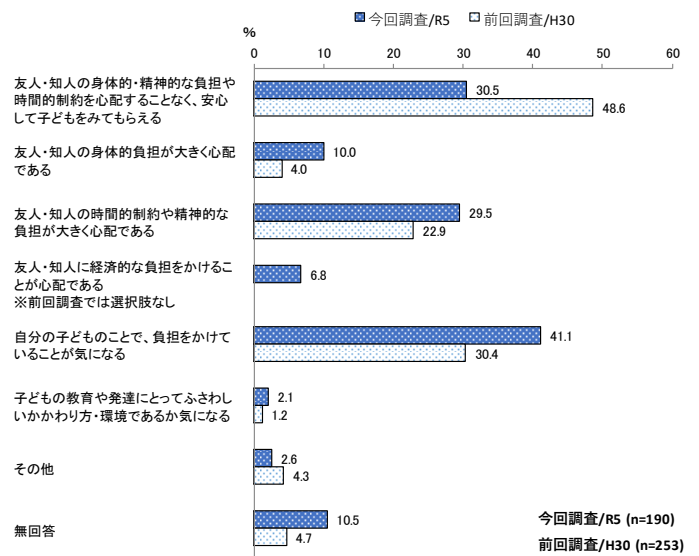
■ 今回調査/R5 □ 前回調査/H30



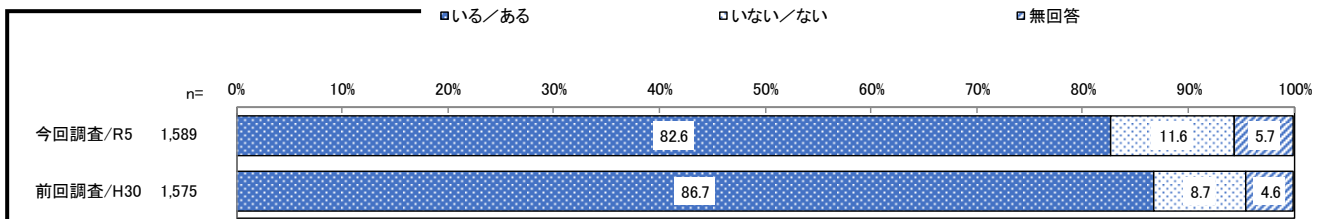
問 8-1 祖父母等の親族にみてもらっている状況



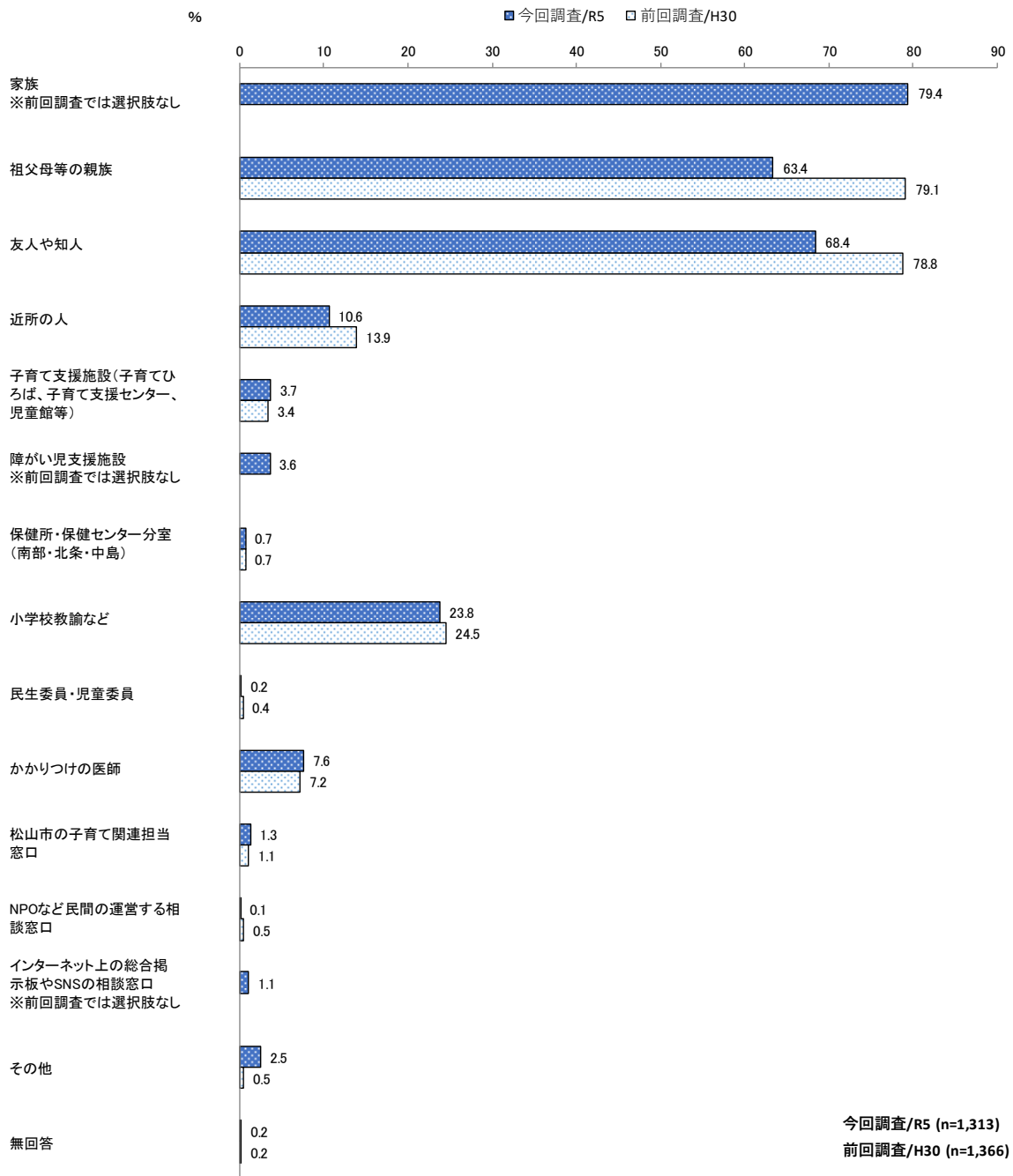
問 8-2 友人・知人にみてもらっている状況



問9 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無



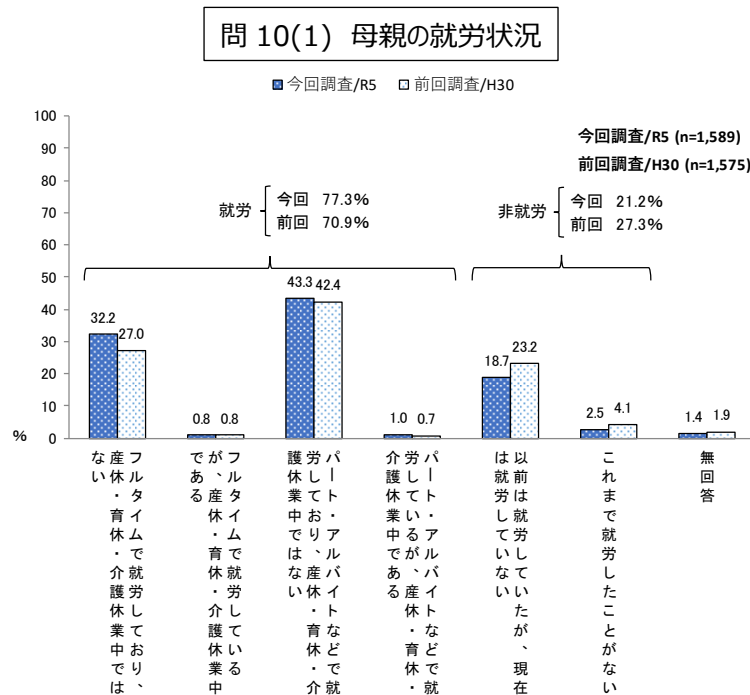
問9-1 子育てについての相談先



3 保護者の就労状況について

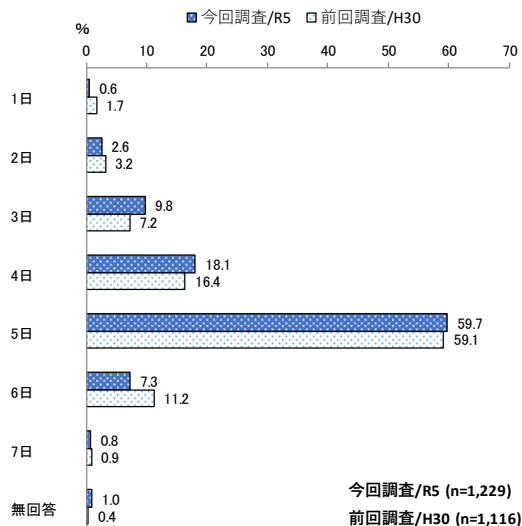
(1) 母親・父親の就労の状況

- 母親の就労割合は 77.3%で、前回より 6.4 ポイント上回っている。【問 10(1)】
- 母親の 1 日当たりの就労時間は、前回と同様に「7～8 時間」が最も高い。【問 10(1)-1】
- 父親の 1 週の就労時間は、「6 日」の人が前回より大幅に減少し、「5 日」の人が増加している。【問 10(2)-1】
- 父親の 1 日の就労時間は、9 時間以上の人前回より減少し、「7～8 時間」の人が増加している。【問 10(2)-1】
- 父親の帰宅時刻については、前回と比較すると、20 時以降の人が減少して 15 時から 19 時の人が増加した。【問 10(2)-2】

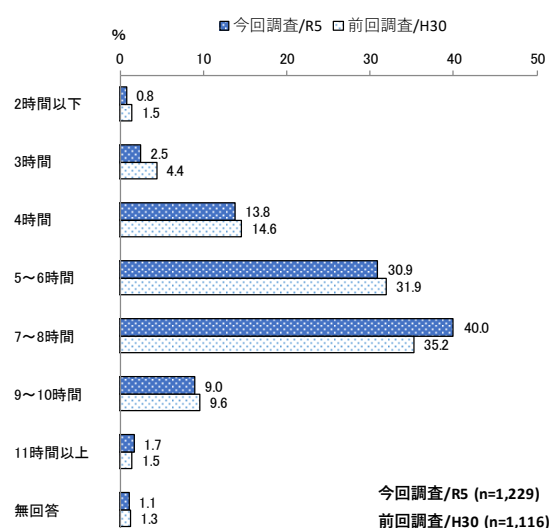


「就労している方」

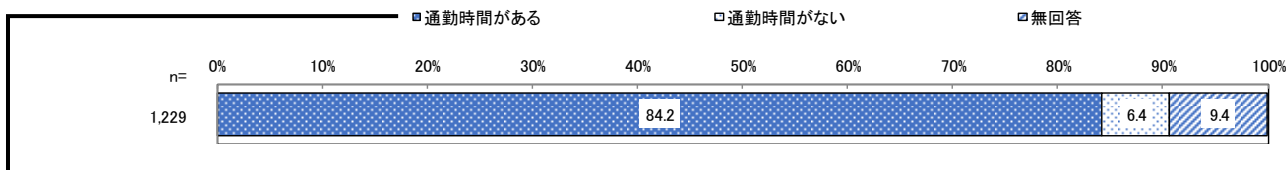
問 10(1)-1 母親：1 週当たりの就労日数



問 10(1)-1 母親：1 日当たりの就労時間

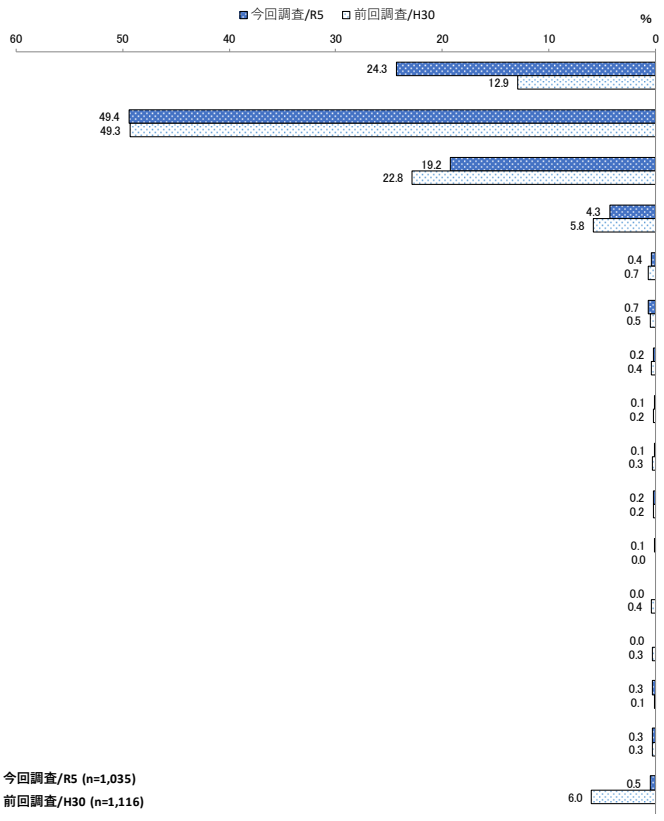


問 10(1)-2 母親：通勤時間の有無

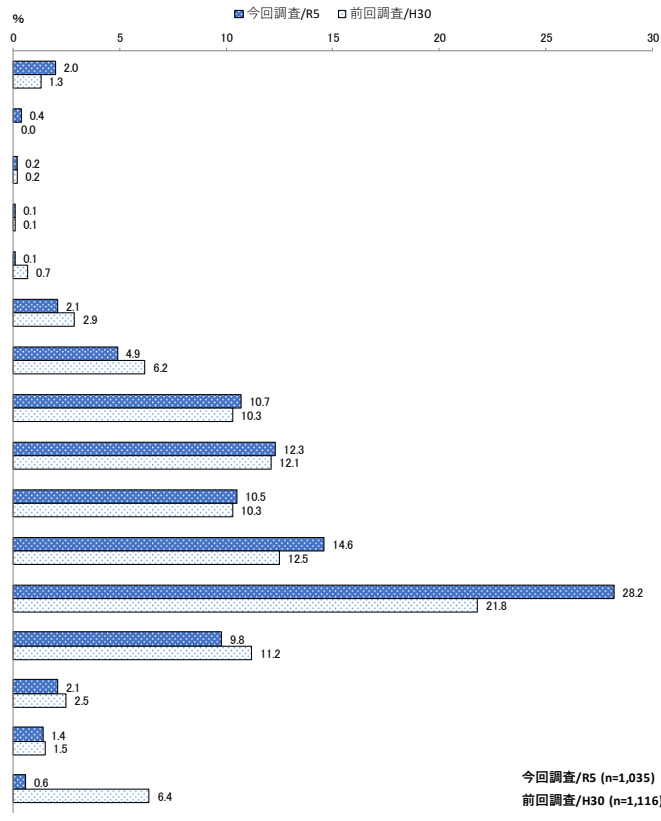


問 10(1)-2 母親：家を出る時刻

問 10(1)-2 母親：帰宅時刻

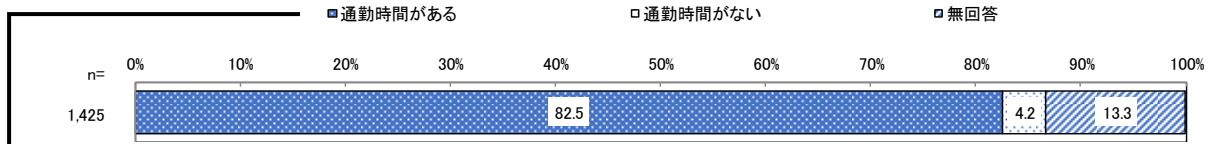


今回調査/R5 (n=1,035)
 前回調査/H30 (n=1,116)



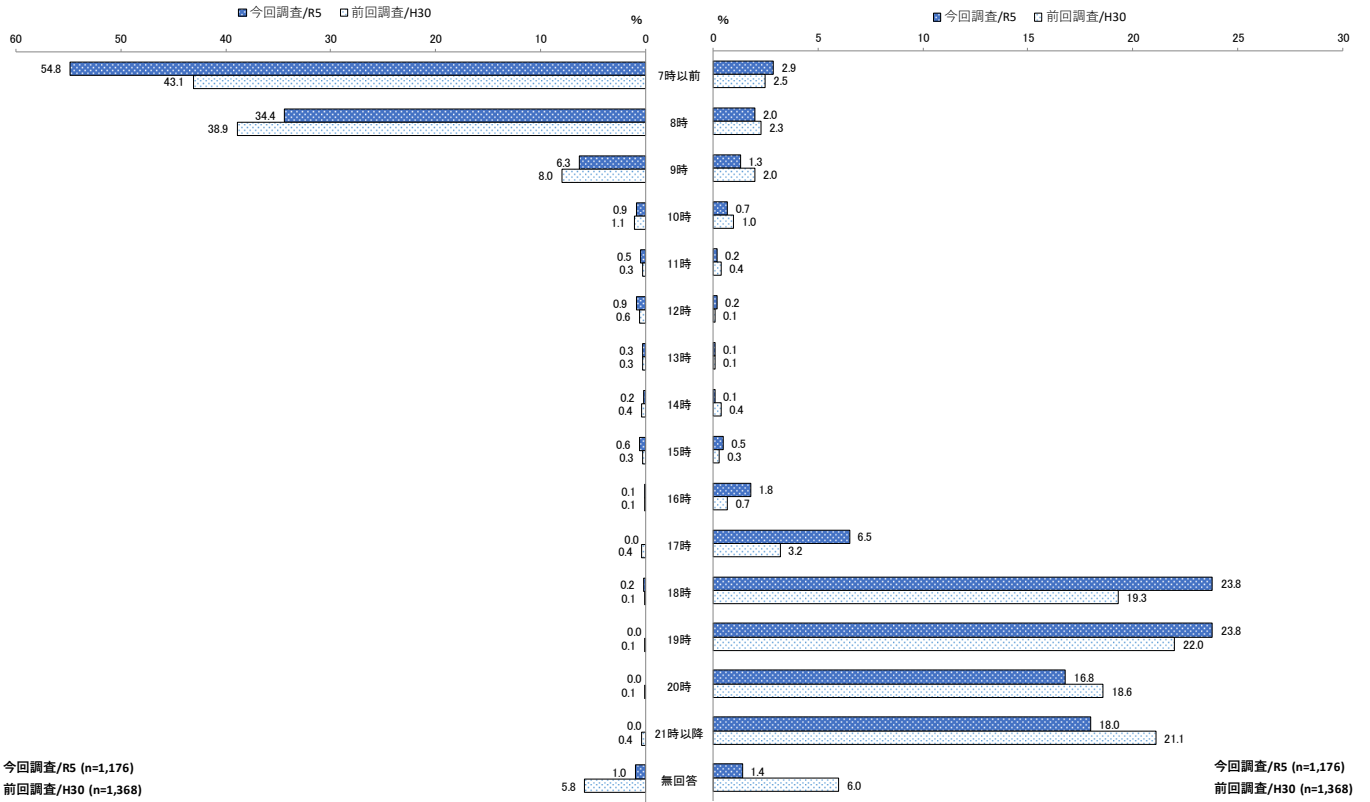
今回調査/R5 (n=1,035)
 前回調査/H30 (n=1,116)

問 10(2)-2 父親：通勤時間の有無



問 10(2)-2 父親：家を出る時刻

問 10(2)-2 父親：帰宅時刻

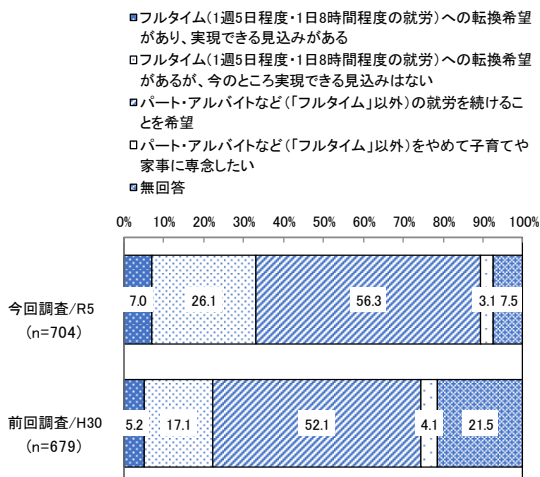


(2) フルタイムへの転換希望など

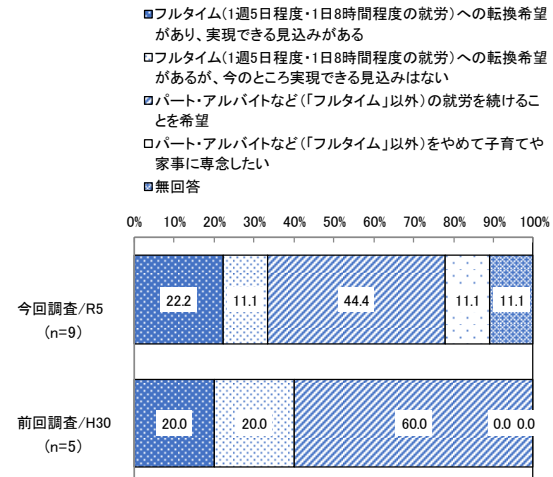
- 母親のフルタイムへの転換希望は前回から増加しているものの、5割以上がパートタイム等の継続就労を希望している。【問 11(1)】
- 非就労の母親のうち、就労希望者は前回より僅かに減少し5割半ばを占めるが、そのうち約6割がパートタイム等を希望し、1週当たりの希望日数は「3日」及び「4日」、1日当たりの希望時間は「5～6時間」が最も高い。また、子どもが何歳になった時に母親が就労したいかは、8～11歳以上が前回よりも増加した。【問 12(1)】
- 父親でフルタイムへの転換を希望しつつ実現の見込みがない人は、前回よりも減少し、パートタイム等の継続就労希望は大幅に減少した。【問 11(2)】
- 非就労の父親のうち就労希望の割合は、前回と同様で6割弱を占める。【問 12(2)】

問 10 (1) で「パート・アルバイトなどで就労している」と回答した方

問 11(1) パート等の母親のフルタイムへの転換希望

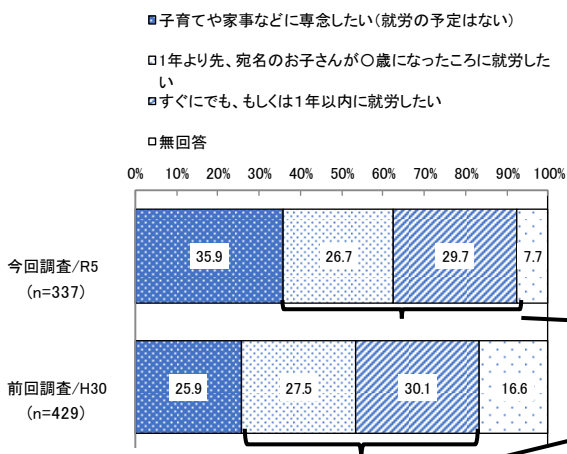


問 11(2) パート等の父親のフルタイムへの転換希望



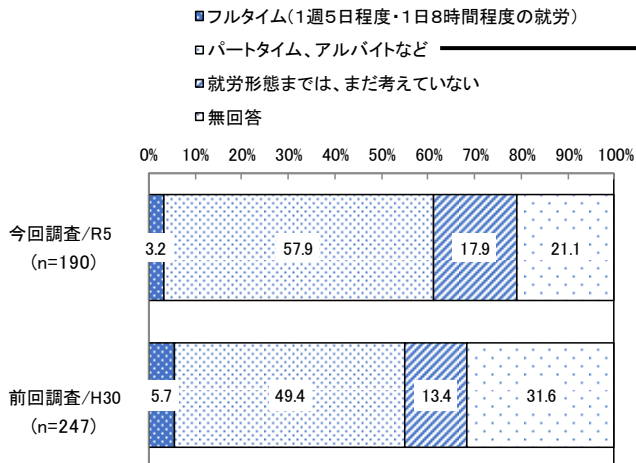
問 10 (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

問 12(1) 非就労の母親：就労希望

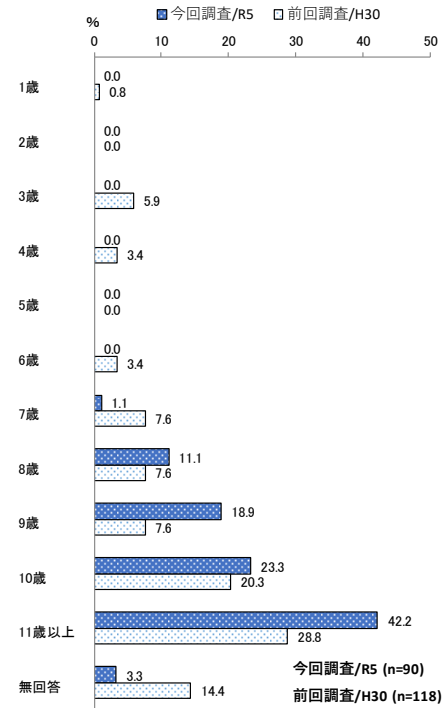


就労したい
今回：56.4%
前回：57.6%

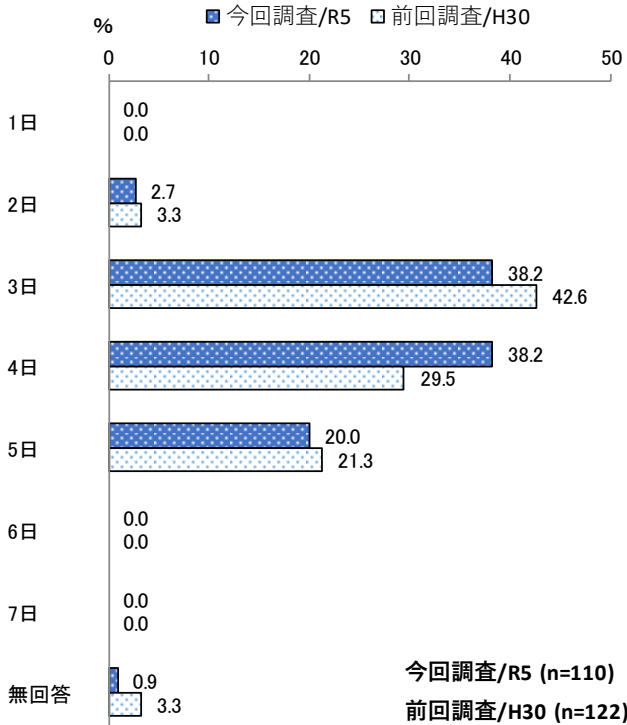
問 12(1) 非就労の母親：希望就労形態



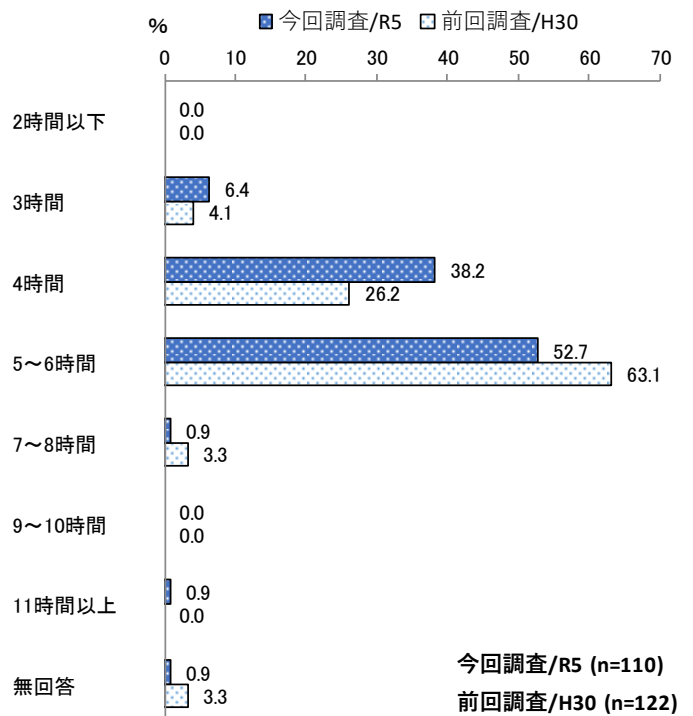
問 12(1) 非就労の母親：
子どもが何歳になれば就労したいか



問 12(1) 非就労の母親：
1週当たりの希望就労日数



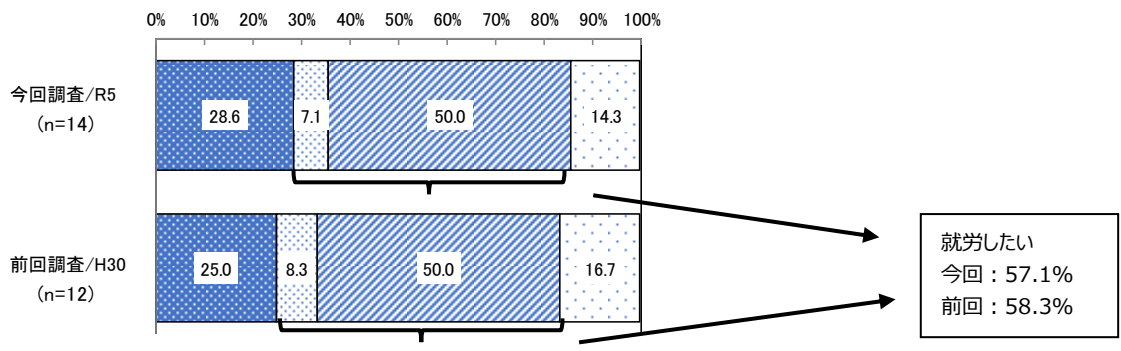
問 12(1) 非就労の母親：
1日当たりの希望就労時間



問 10 (2) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」、「これまで就労したことがない」と回答した方

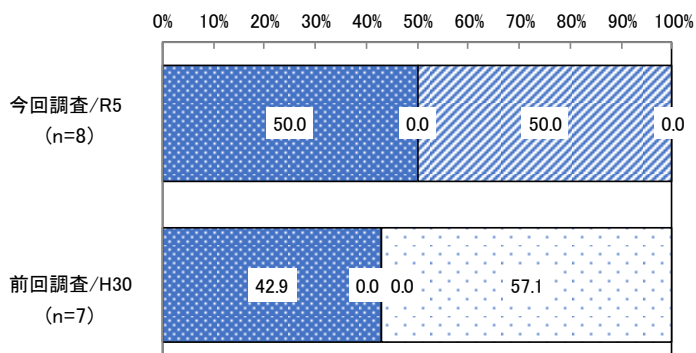
問 12(2) 非就労の父親：就労希望

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、宛名のお子さんが〇歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



問 12(2) 非就労の父親：希望就労形態

- フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- パートタイム、アルバイトなど
- 就労形態までは、まだ考えていない
- 無回答

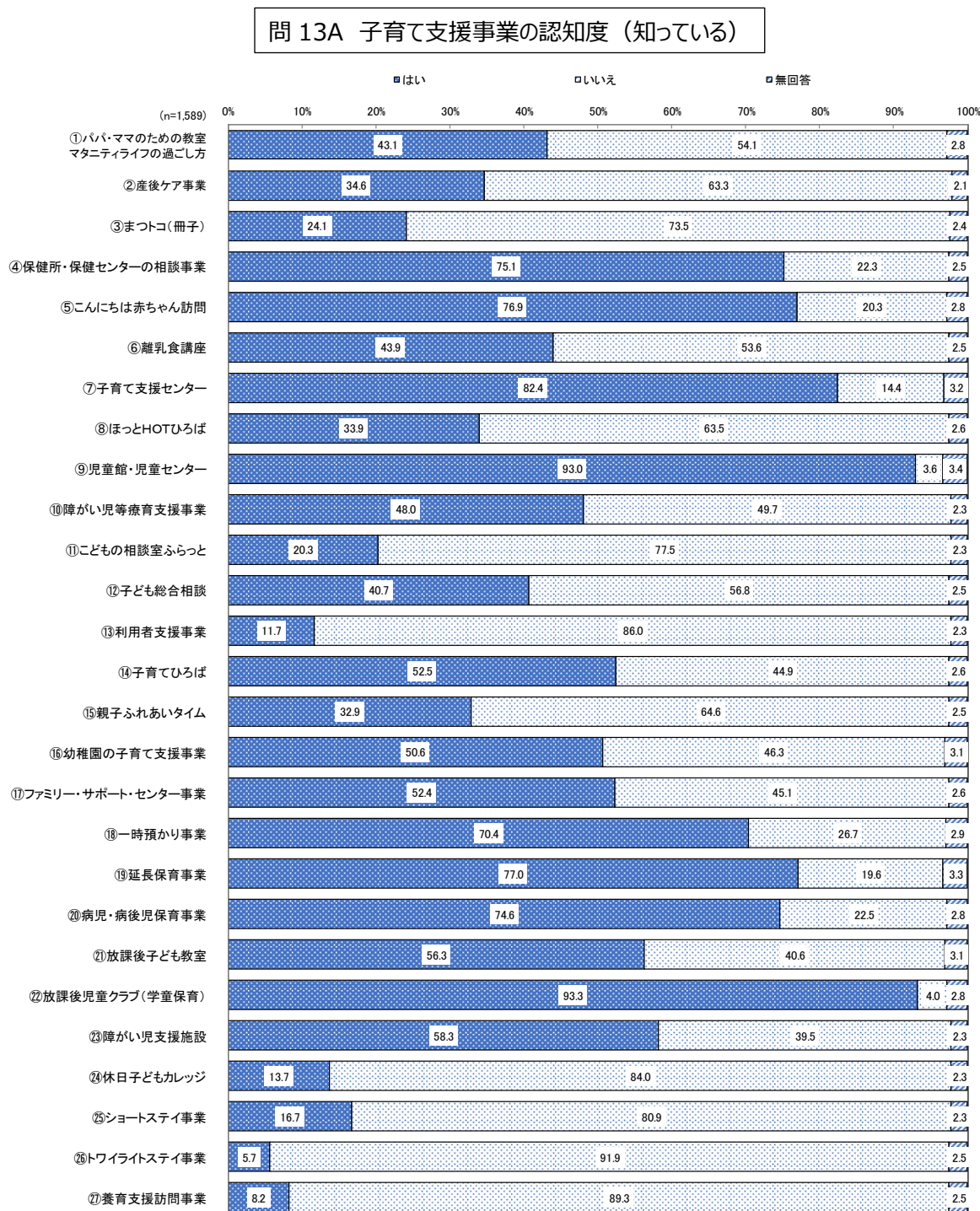


4 地域の子育て支援事業の利用状況について

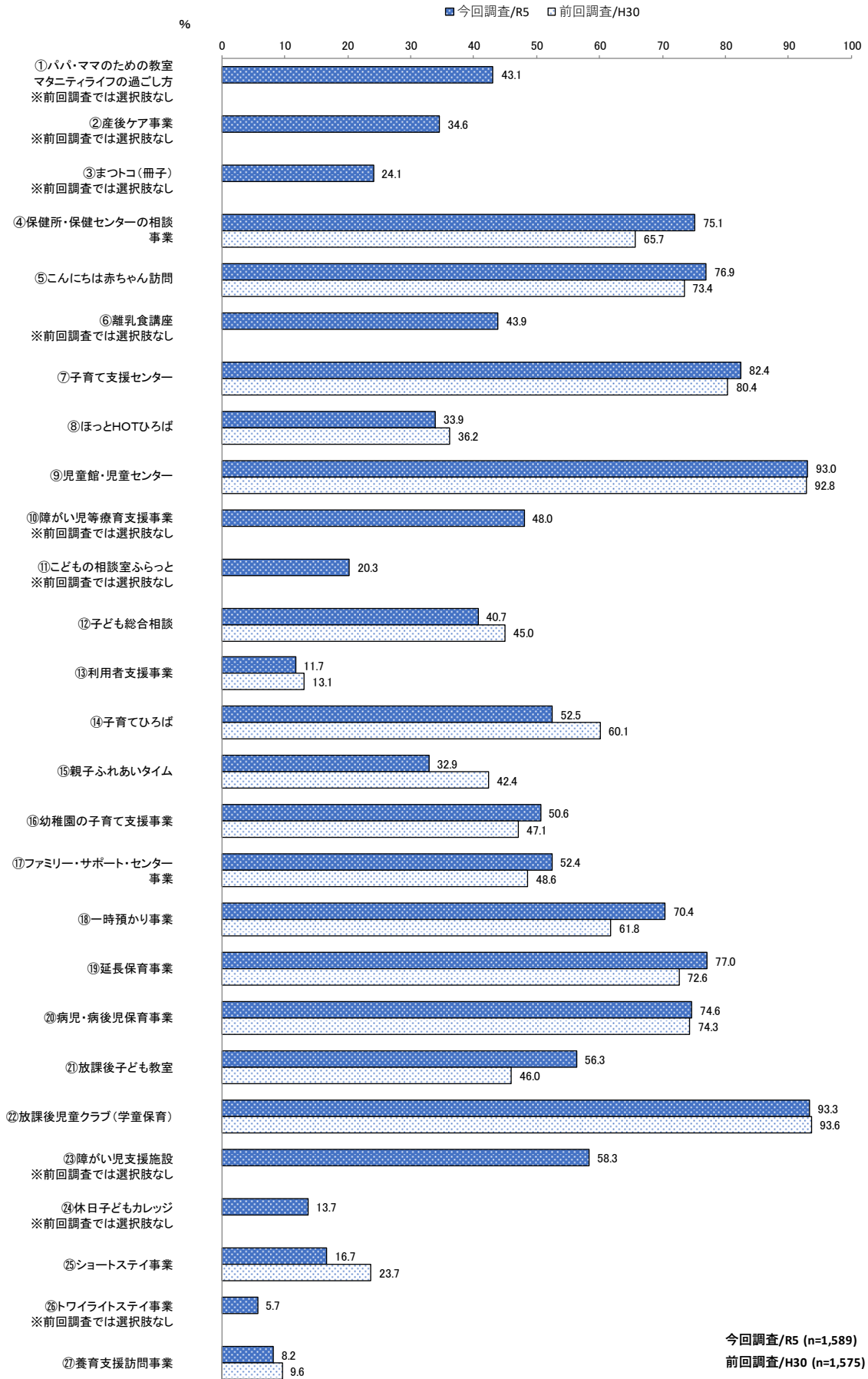
(1) 子育て支援事業の認知度、利用実績、利用意向

【A 認知度】

- 認知度が8割以上の事業は、「子育て支援センター」「児童館・児童センター」「放課後児童クラブ（学童保育）」である。【問 13A】
- 前回と比較すると、「一時預かり事業」「放課後子ども教室」の認知度が大きく増加した。【問 13A】



問 13A 前回調査との比較：「はい」の割合のみ

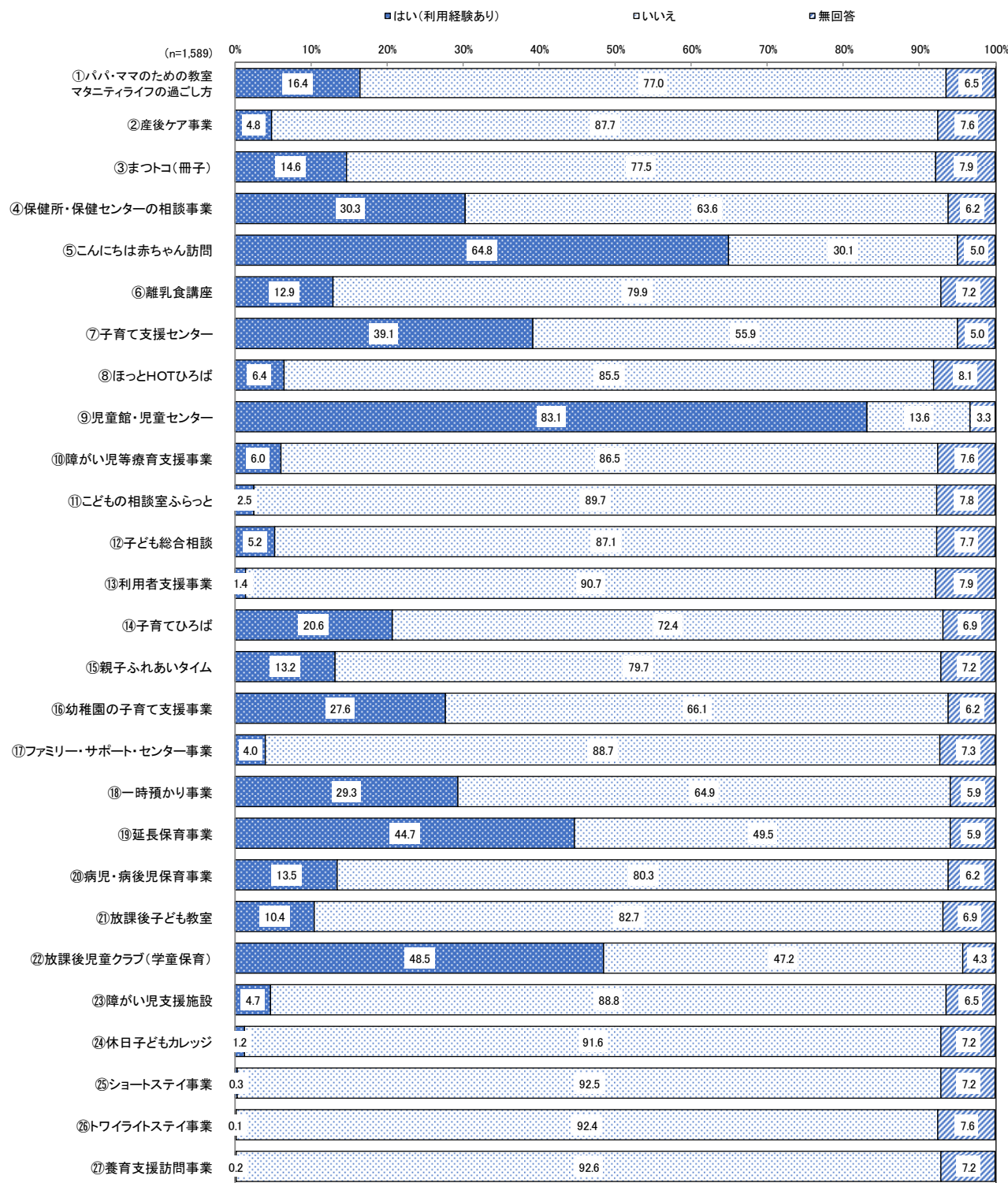


今回調査/R5 (n=1,589)
前回調査/H30 (n=1,575)

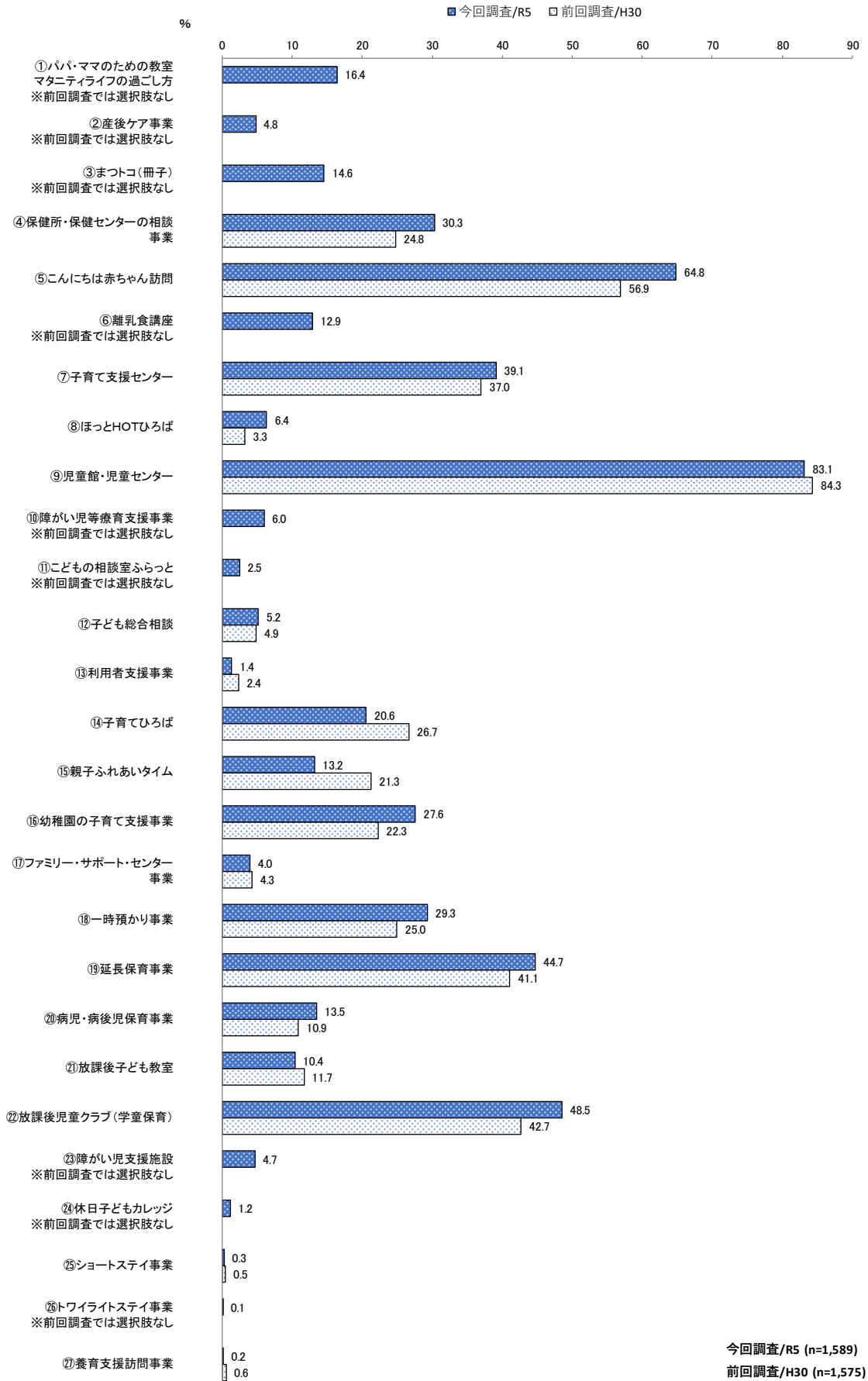
【B 利用実績】

- 利用したことがある割合が8割以上の事業は、「児童館・児童センター」である。【問 13B】
- 前回と比較すると、「保健所・保健センターの相談事業」「こんにちは赤ちゃん訪問」「幼稚園の子育て支援事業」「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用は増加、「子育てひろば」「親子ふれあいタイム」の利用は減少している。【問 13B】

問 13B 子育て支援事業の利用経験（利用あり）



問 13B 前回調査との比較：「はい」の割合のみ

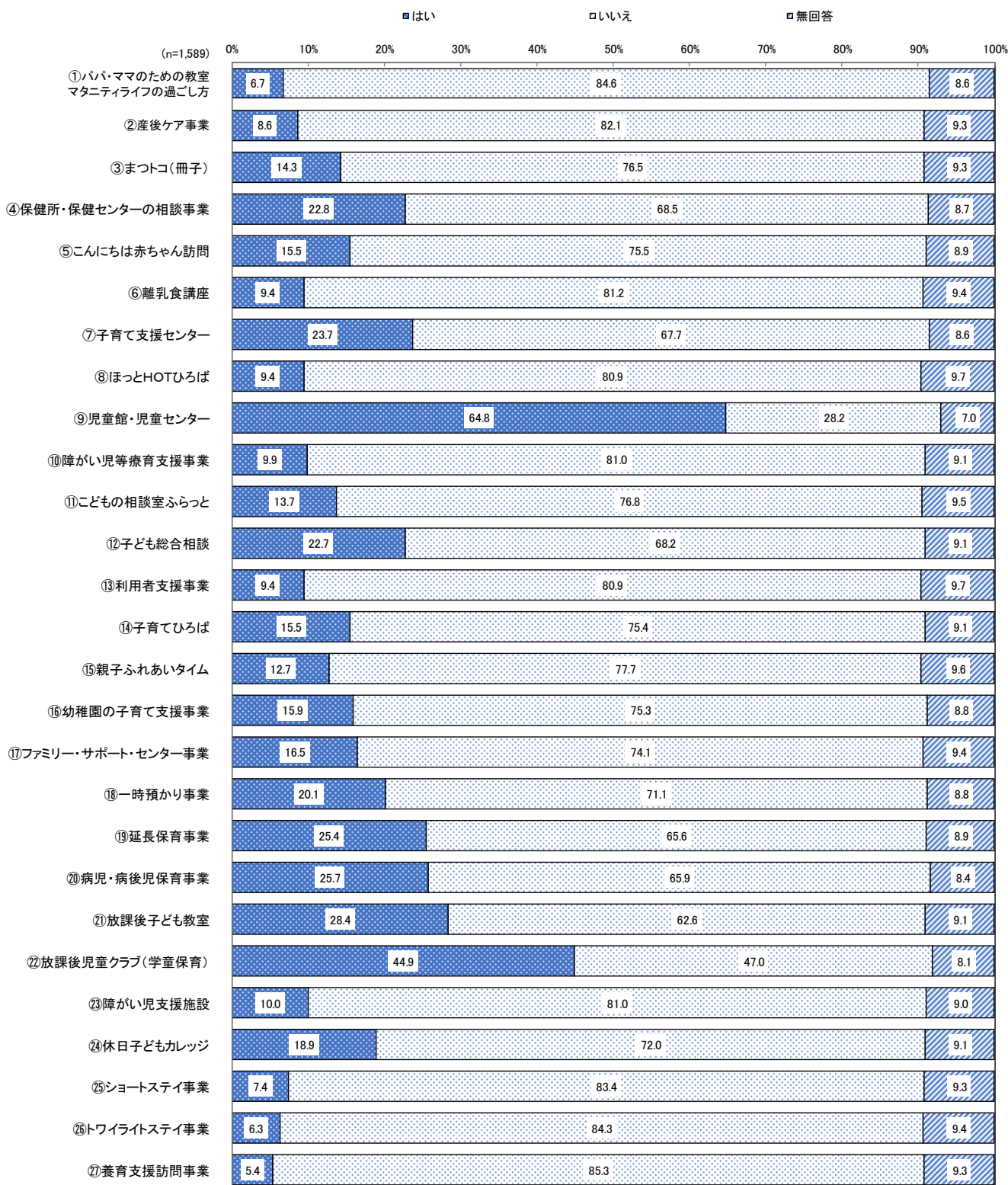


今回調査/R5 (n=1,589)
前回調査/H30 (n=1,575)

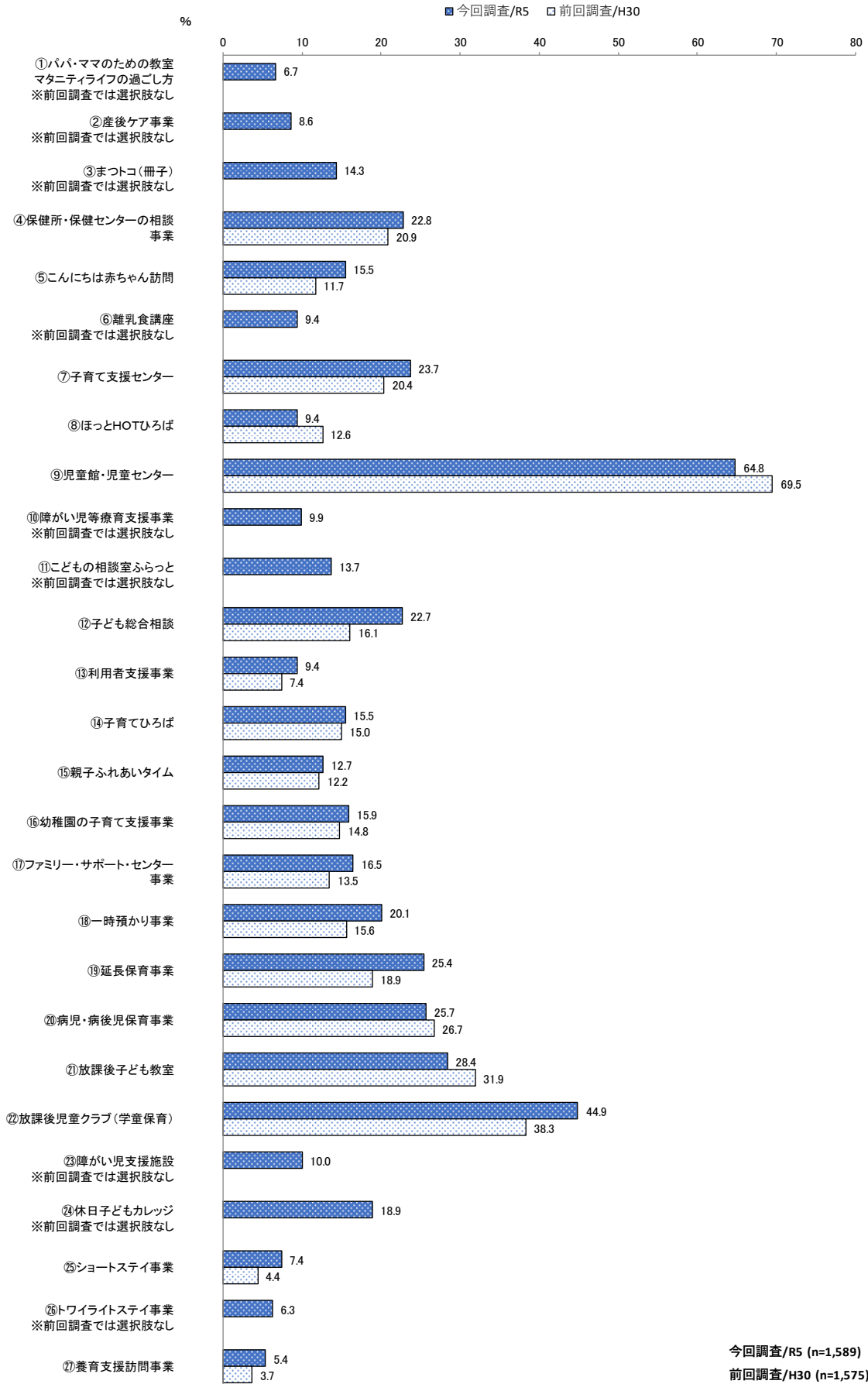
【C 利用意向】

- 今後の利用意向の割合が6割以上の事業は、「児童館・児童センター」である。【問 13C】
- 前回と比較すると、「子ども総合相談」「延長保育事業」「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は増加、「児童館・児童センター」の利用希望はやや減少している。【問 13C】

問 13C 子育て支援事業の利用希望（利用したい）



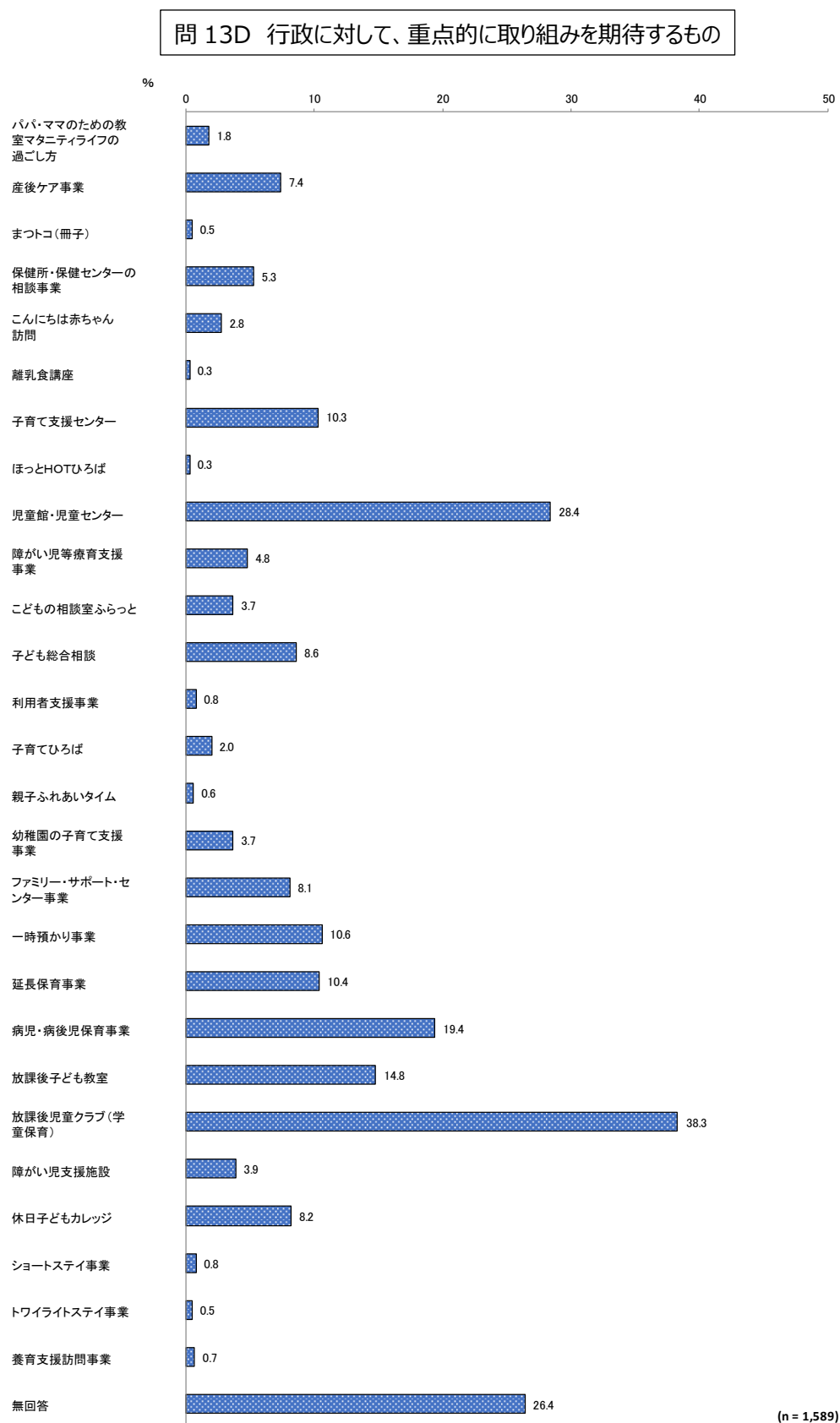
問 13C 前回調査との比較：「はい」の割合のみ



今回調査/R5 (n=1,589)
前回調査/H30 (n=1,575)

【D 行政に対して期待する取り組み】

- 重点的に取り組みを期待するものは、「放課後児童クラブ（学童保育）」が最も高く、次いで「児童館・児童センター」「病児・病後児保育事業」となっている。【問 13D】



(2) 現在の利用回数と希望する利用回数

- 最も回答が多かった「児童館・児童センター」では、1週間の利用回数は1回で、希望する利用回数も1回であった。【問 13-1】【問 13-2】

問 13-1 現在の1週間当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
⑦子育て支援センター	今回 (R5)	621	7.7	2.7	1.9	0.2	0.3	0.0	0.0	87.1
	前回 (H30)	582	8.1	2.6	1.4	1.0	0.2	0.0	0.2	86.6
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,320	8.4	1.7	1.1	0.1	0.8	0.0	0.0	87.9
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	95	15.8	8.4	3.2	2.1	8.4	1.1	0.0	61.1
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回 (R5)	22	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	38	2.6	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.1
⑭子育てひろば	今回 (R5)	328	4.3	2.4	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0	91.5
	前回 (H30)	421	8.6	2.1	1.2	0.0	0.2	0.0	0.0	87.9
⑮親子ふれあいタイム	今回 (R5)	209	5.7	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.8
	前回 (H30)	335	10.7	2.4	1.5	0.6	0.0	0.0	0.0	84.8
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回 (R5)	63	7.9	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	87.3
	前回 (H30)	67	4.5	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	0.0	89.6
⑱一時預かり事業	今回 (R5)	465	6.9	5.2	3.0	0.9	1.3	0.4	0.0	82.4
	前回 (H30)	394	6.3	3.6	3.6	1.3	1.0	0.0	0.0	84.3
⑲延長保育事業	今回 (R5)	710	3.2	3.7	3.0	3.2	10.4	0.4	0.0	76.1
	前回 (H30)	647	5.9	2.9	3.2	1.9	13.8	0.8	0.3	71.3
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	214	2.8	0.0	1.9	0.9	0.9	0.0	0.0	93.5
	前回 (H30)	171	0.6	1.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	95.9
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	前回 (H30)	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問 13-1 現在の1カ月当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数 (回)※
⑦子育て支援センター	今回(R5)	621	30.1	5.5	2.6	0.5	0.2	0.0	0.0	61.2	2.2
	前回(H30)	582	35.1	10.0	2.7	1.4	1.2	0.0	0.2	49.5	2.8
⑨児童館・児童センター	今回(R5)	1,320	47.0	7.0	1.3	0.4	0.3	0.1	0.0	43.9	1.9
	前回(H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回(R5)	95	15.8	4.2	4.2	0.0	3.2	6.3	0.0	66.3	8.4
	前回(H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑬利用者支援事業	今回(R5)	22	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	86.4	2.0
	前回(H30)	38	26.3	7.9	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9	3.1
⑭子育てひろば	今回(R5)	328	27.4	4.0	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0	66.8	1.9
	前回(H30)	421	34.0	10.0	2.4	1.2	0.2	0.0	0.0	52.3	2.4
⑮親子ふれあいタイム	今回(R5)	209	29.7	1.9	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	67.5	1.6
	前回(H30)	335	30.7	12.2	2.4	1.5	0.6	0.0	0.0	52.5	2.8
⑰ファミリー・サポート・センター事業	今回(R5)	63	22.2	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	73.0	2.4
	前回(H30)	67	22.4	9.0	3.0	1.5	1.5	0.0	0.0	62.7	3.4
⑱一時預かり事業	今回(R5)	465	15.3	6.0	3.7	1.9	0.6	0.0	0.0	72.5	4.1
	前回(H30)	394	20.1	9.4	6.1	5.6	3.0	0.0	0.0	55.8	5.5
⑲延長保育事業	今回(R5)	710	14.5	4.2	1.4	1.5	6.2	0.0	0.0	72.1	6.7
	前回(H30)	647	26.0	11.3	5.3	3.4	17.0	0.8	0.3	36.0	8.2
⑳病児・病後児保育事業	今回(R5)	214	23.8	4.2	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	71.0	1.7
	前回(H30)	171	24.6	5.8	1.8	2.3	0.0	0.0	0.0	65.5	2.6
㉕ショートステイ事業	今回(R5)	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	1.0
	前回(H30)	8	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	3.0
㉖トワイライトステイ事業	今回(R5)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
	前回(H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回(R5)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-
	前回(H30)	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	-

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数

問 13-2 希望する1週間当たりの利用回数

(単位:%)

		全体(人)	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	無回答
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,029	9.6	2.8	1.2	0.3	0.8	0.0	0.0	85.3
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	158	5.7	2.5	1.9	1.9	2.5	0.6	0.0	84.8
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	409	2.2	0.2	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	96.8
	前回 (H30)	420	2.6	0.7	1.4	0.2	0.2	0.0	0.0	94.8
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	117	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.7
	前回 (H30)	70	8.6	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	87.1
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	100	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	86	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	97.7
	前回 (H30)	58	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.7

問 13-2 希望する1カ月当たりの利用回数

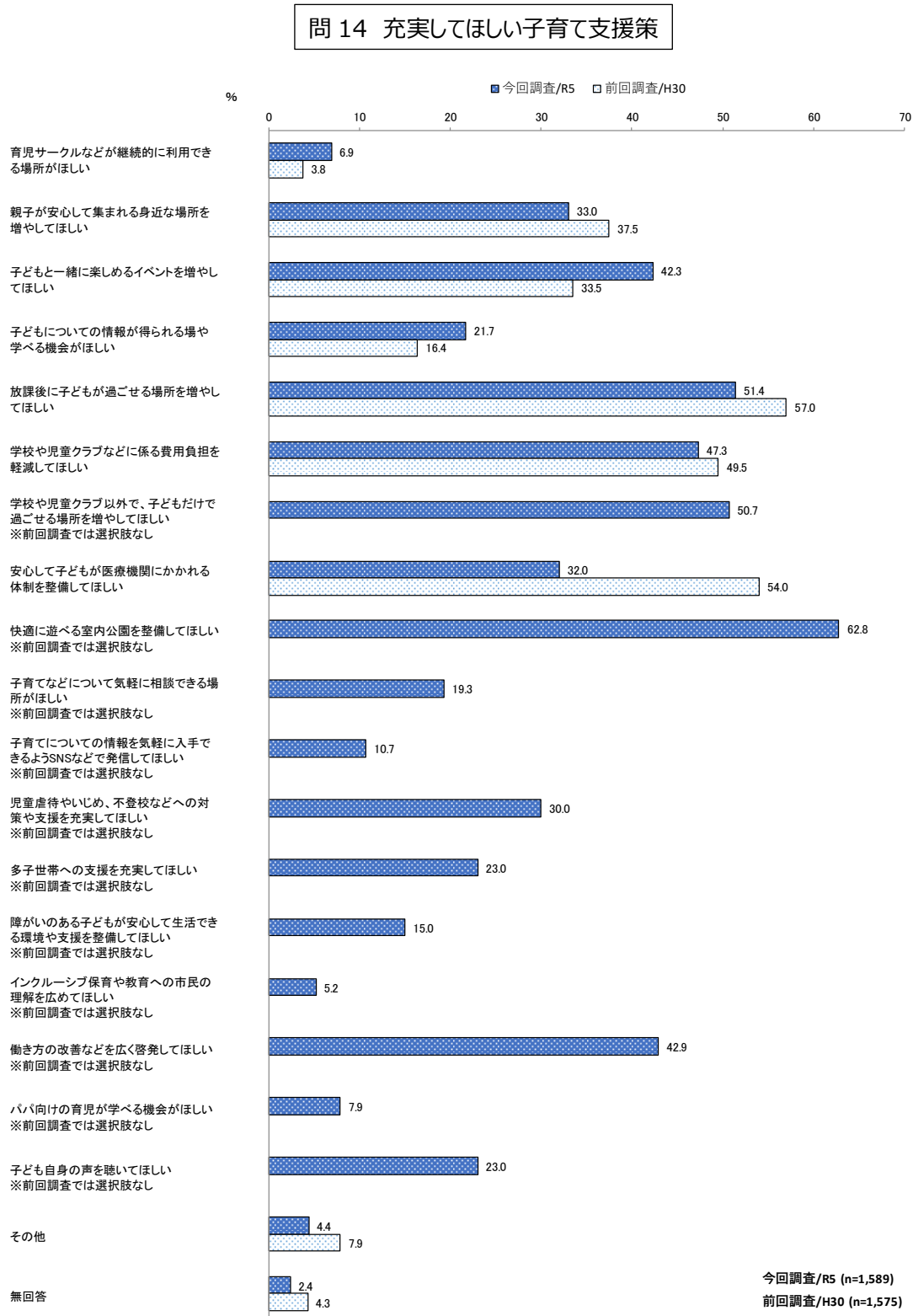
(単位:%)

		全体(人)	2回以下	3-5回	6-10回	11-15回	16-20回	21-25回	26回以上	無回答	平均回数 (回)※
⑨児童館・児童センター	今回 (R5)	1,029	51.3	7.1	1.3	0.2	0.0	0.2	0.0	39.9	1.8
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑩障がい児等療育支援事業	今回 (R5)	158	15.8	3.2	0.6	0.0	0.0	1.9	0.0	78.5	3.7
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑳病児・病後児保育事業	今回 (R5)	409	25.7	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.7	1.5
	前回 (H30)	420	32.6	4.8	0.7	1.4	0.5	0.0	0.0	60.0	2.1
㉕ショートステイ事業	今回 (R5)	117	23.1	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.6	1.6
	前回 (H30)	70	27.1	8.6	0.0	1.4	2.9	0.0	0.0	60.0	3.3
㉖トワイライトステイ事業	今回 (R5)	100	17.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.0	1.9
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
㉗養育支援訪問事業	今回 (R5)	86	14.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.9	1.2
	前回 (H30)	58	27.6	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1	1.8

(※)「利用回数」に回答した人1人当たりの平均月間利用回数

(3) 充実を図ってほしい子育て支援策

- 充実を図ってほしい支援策は、「夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる室内公園を整備してほしい」が最も多く 6 割を占める。次いで、「児童クラブや児童館など、放課後に子どもが過ごせる場所を増やしてほしい」「学校や児童クラブ以外で、子どもが通え、子どもだけで過ごせる場所を増やしてほしい」が多かった。【問 14】

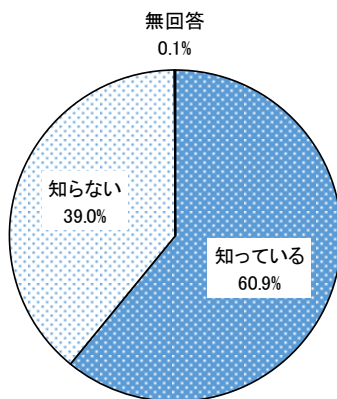


5 病気の際の対応について

(1) 病児・病後児保育事業の認知状況と利用しやすい場所

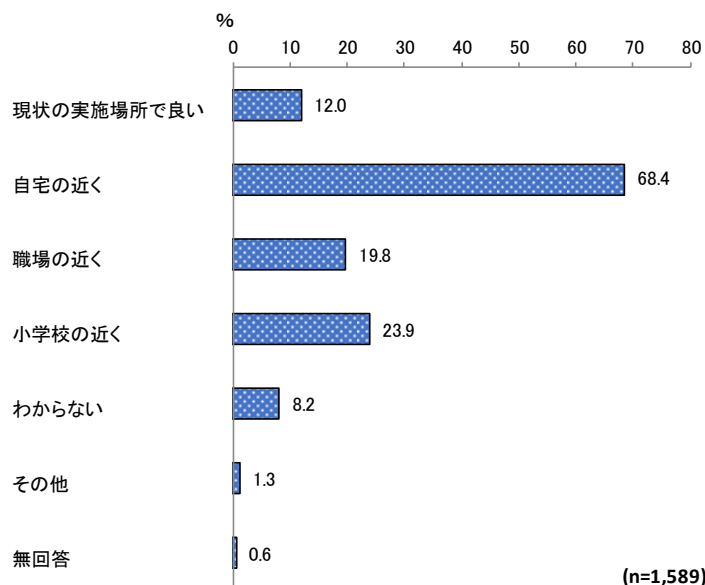
- 病児・病後児保育事業は「知っている」が約6割となっている。【問15】
- 病児・病後児保育事業の利用しやすい場所は、「自宅の近く」が68.4%で最も多い。【問15-1】

問15 病児・病後児保育事業を利用できることの認知



(n = 1,589)

問15-1 病児・病後児保育事業施設の利用しやすい場所

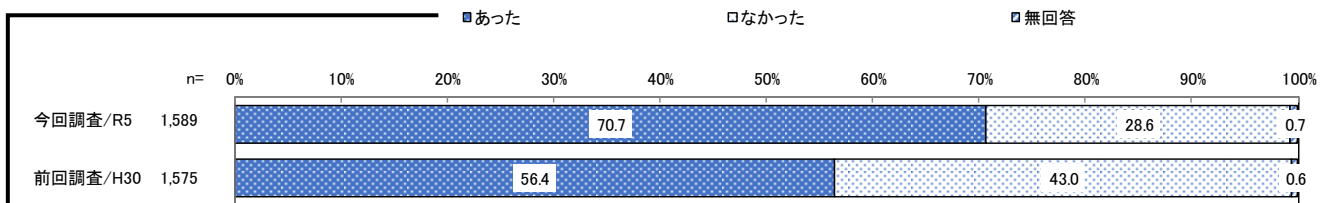


(n=1,589)

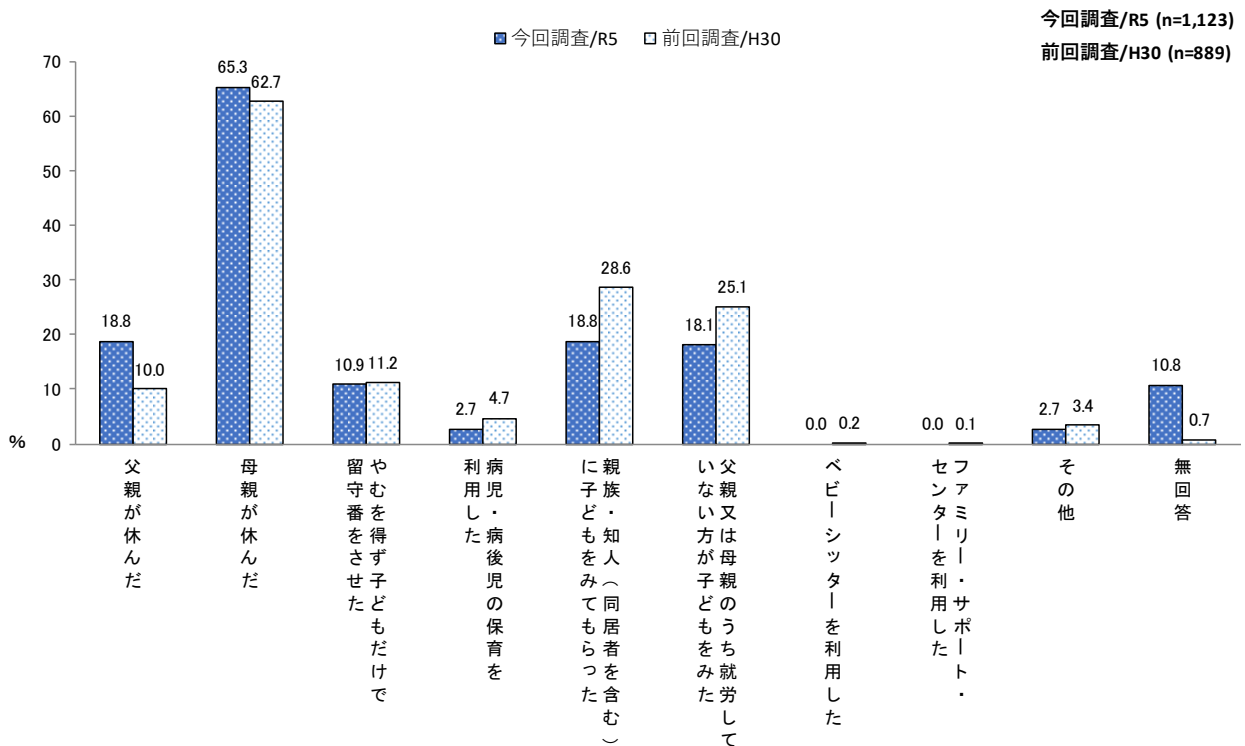
(2) 病気やケガの際の対処方法と病児・病後児保育事業の利用状況

- 病気やケガで学校に行けなかった割合は 70.7%で、対処法として「母親が休んだ」が6割以上を占めて最も多い。【問 15-2】【問 15-3】
- 病児・病後児保育施設を使用しなかった理由は、「保護者が仕事を休むことができた」が最も多い。【問 15-4】

問 15-2 病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験の有無



問 15-3 病気やケガで利用できなかった時の対処方法



問 15-3 対処方法と対応した日数

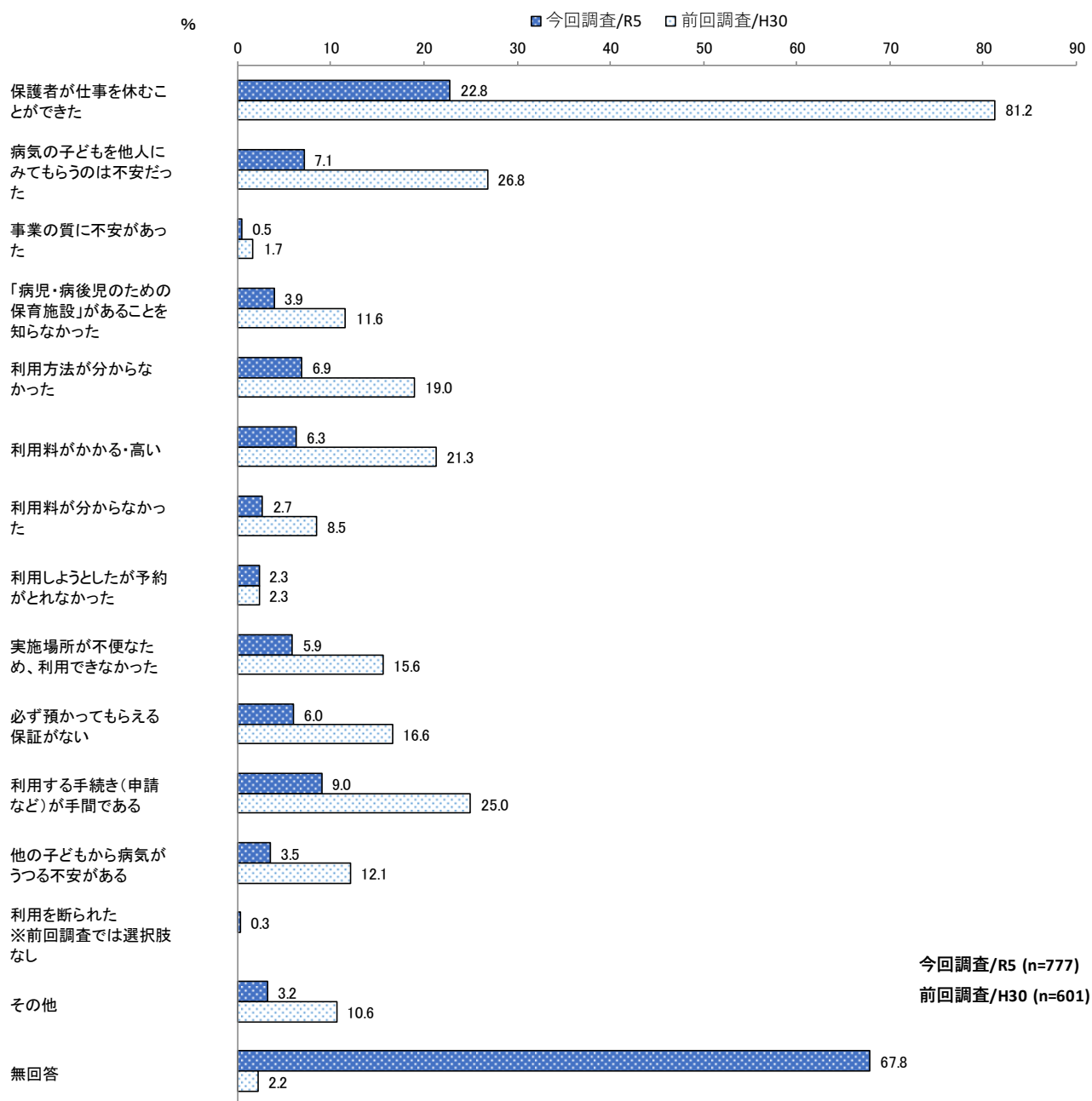
(単位:%)

		全体(人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	無回答	平均日数 (日)※
1. 父親が休んだ	今回 (R5)	211	35.5	19.9	14.2	2.4	12.3	1.4	10.0	4.3	4.9
	前回 (H30)	89	44.9	24.7	9.0	2.2	6.7	0.0	3.4	9.0	2.3
2. 母親が休んだ	今回 (R5)	733	12.7	15.0	15.8	4.0	17.7	2.7	28.9	3.1	6.0
	前回 (H30)	557	23.9	19.0	18.5	5.2	10.4	1.8	15.1	6.1	4.1
3. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	今回 (R5)	122	39.3	14.8	18.0	2.5	13.1	1.6	4.9	5.7	2.7
	前回 (H30)	100	47.0	26.0	12.0	1.0	4.0	1.0	5.0	4.0	2.2
4. 病児・病後児の保育を利用した	今回 (R5)	30	20.0	23.3	20.0	10.0	3.3	3.3	16.7	3.3	4.5
	前回 (H30)	42	19.0	23.8	9.5	9.5	14.3	7.1	11.9	4.8	4.2
5. 親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった	今回 (R5)	211	21.3	24.6	14.7	1.4	17.5	1.4	13.3	5.7	4.1
	前回 (H30)	254	27.2	23.2	19.3	5.1	9.8	2.0	7.9	5.5	3.1
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	今回 (R5)	203	9.4	10.8	11.3	3.9	17.7	1.5	40.4	4.9	7.2
	前回 (H30)	223	20.6	13.9	20.2	5.4	16.1	2.7	15.7	5.4	4.1
7. ベビーシッターを利用した	今回 (R5)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	前回 (H30)	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	1.0
8. ファミリー・サポートセンターを利用した	今回 (R5)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
	前回 (H30)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
9. その他	今回 (R5)	30	0.0	6.7	10.0	3.3	36.7	0.0	16.7	26.7	5.6
	前回 (H30)	30	10.0	16.7	16.7	0.0	10.0	0.0	6.7	40.0	3.3

(※) 「対応した日数」に回答した人 1 人当たりの平均年間対応日数

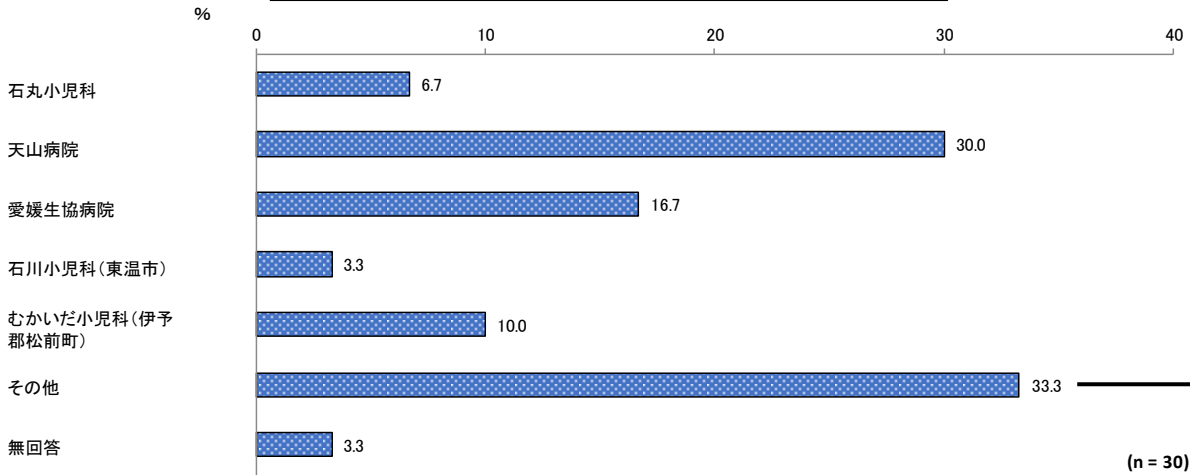
問 15-3 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」「やむを得ず子どもだけで留守番をさせた」と回答した方

問 15-4 病児・病後児保育施設を利用しなかった理由

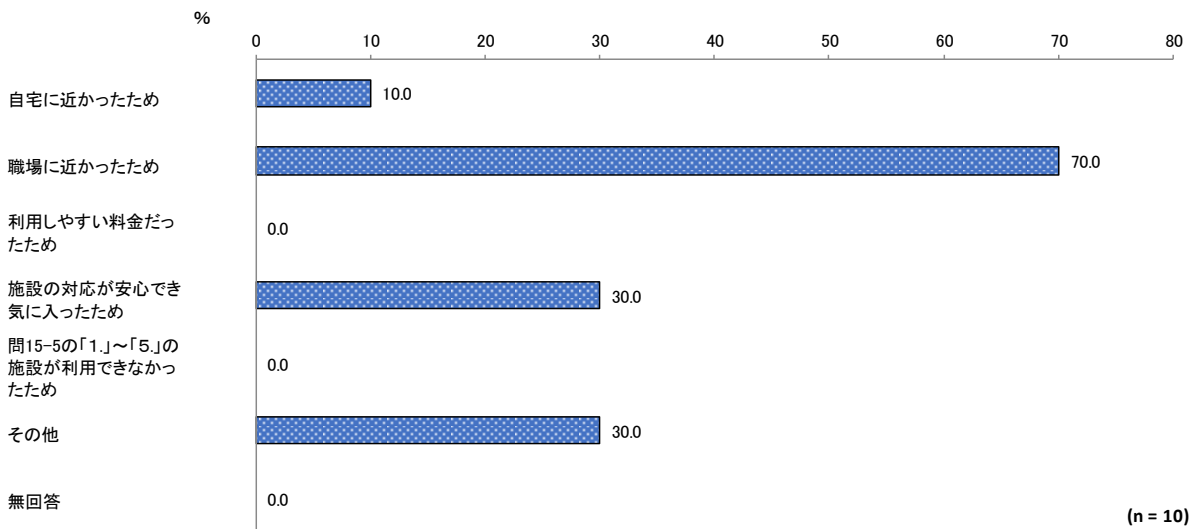


問 15-3 で「病児・病後児の保育を利用した」と回答した方

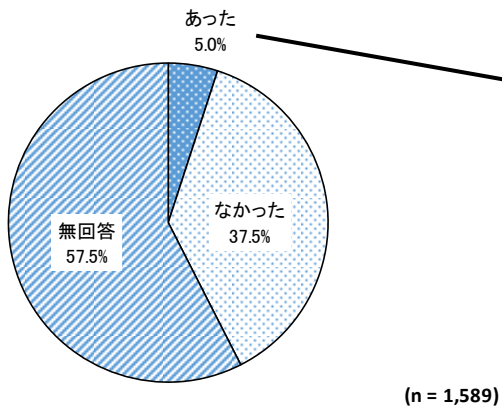
問 15-5 1年間に利用した病児・病後児保育事業施設



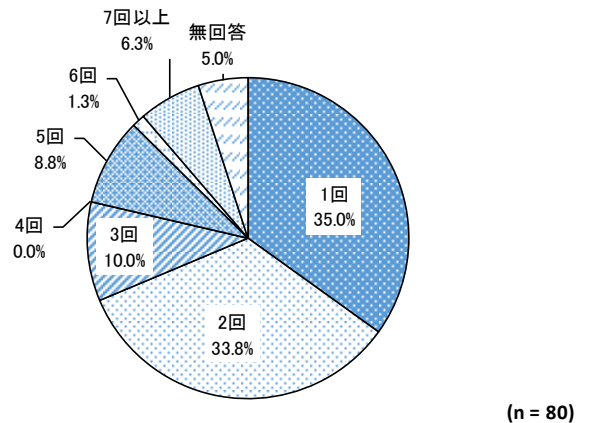
問 15-6 その他の施設を利用した理由



問 15-7 病児・病後児保育施設の予約ができなかった経験



問 15-7 病児・病後児保育施設の予約ができなかった回数

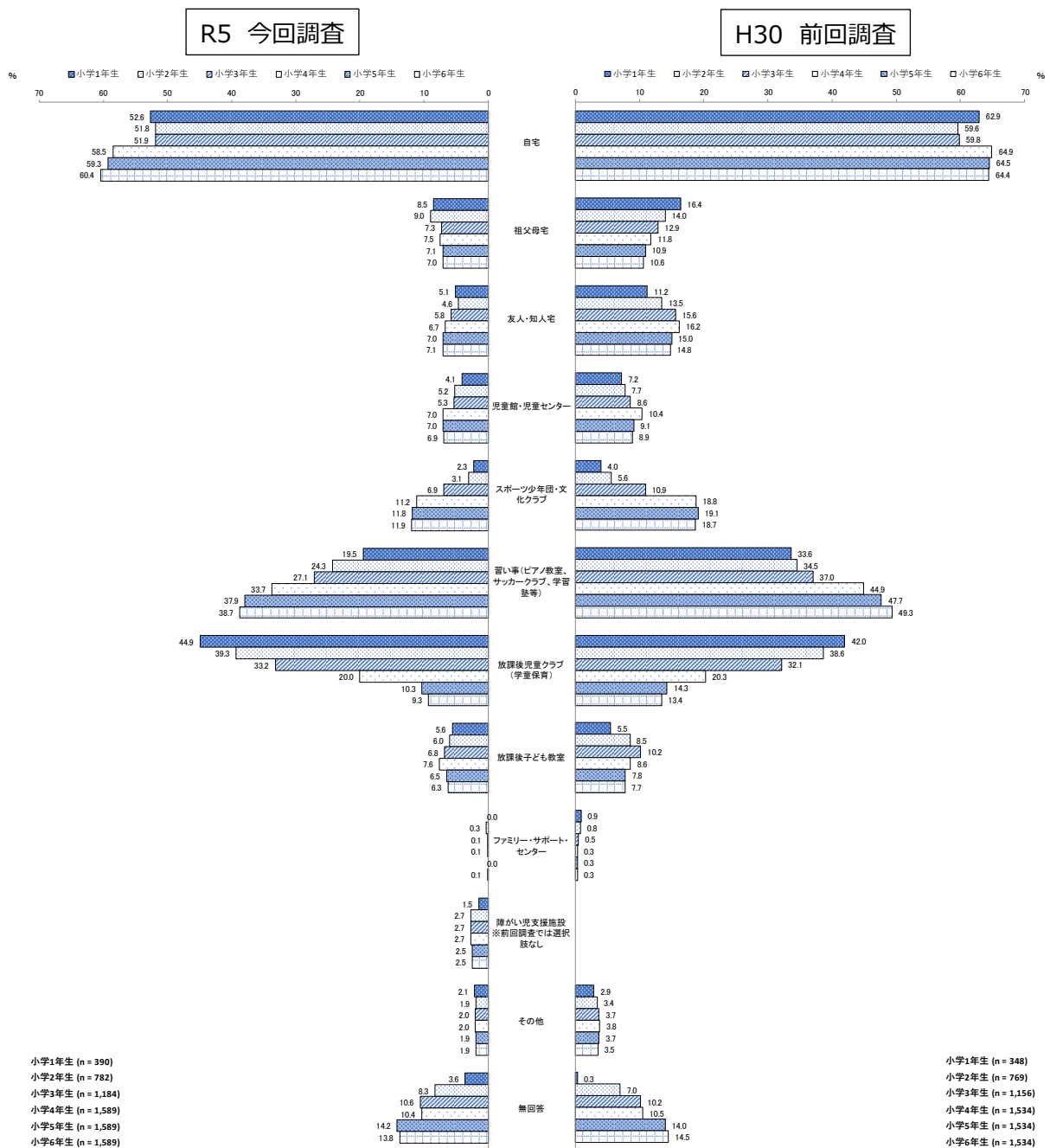


6 放課後の過ごし方について

(1) 放課後に過ごさせたい場所

- 全学年で「自宅」が最も多く、1～3年生では「放課後児童クラブ（学童保育）」が、4～6年生では「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が2番目に多い。【問16】
- 「自宅」は1～3年生ではいずれも5割強であるが、4年生以上では6割程度と割合に差が見られた。【問16】
- 「放課後児童クラブ（学童保育）」は学年が上がるにつれて減少する傾向がある一方で、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」は学年が上がるにつれて増加する傾向がある。【問16】

問16 放課後過ごさせたい場所



問 16 放課後過ごさせたい場所 (回答割合/学年別)

(単位: %)

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	今回 (R5)	52.6	51.8	51.9	58.5	59.3	60.4
	前回 (H30)	62.9	59.6	59.8	64.9	64.5	64.4
2. 祖父母宅	今回 (R5)	8.5	9.0	7.3	7.5	7.1	7.0
	前回 (H30)	16.4	14.0	12.9	11.8	10.9	10.6
3. 友人・知人宅	今回 (R5)	5.1	4.6	5.8	6.7	7.0	7.1
	前回 (H30)	11.2	13.5	15.6	16.2	15.0	14.8
4. 児童館・児童センター	今回 (R5)	4.1	5.2	5.3	7.0	7.0	6.9
	前回 (H30)	7.2	7.7	8.6	10.4	9.1	8.9
5. スポーツ少年団・文化クラブ	今回 (R5)	2.3	3.1	6.9	11.2	11.8	11.9
	前回 (H30)	4.0	5.6	10.9	18.8	19.1	18.7
6. 習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾等)	今回 (R5)	19.5	24.3	27.1	33.7	37.9	38.7
	前回 (H30)	33.6	34.5	37.0	44.9	47.7	49.3
7. 放課後児童クラブ(学童保 育)	今回 (R5)	44.9	39.3	33.2	20.0	10.3	9.3
	前回 (H30)	42.0	38.6	32.1	20.3	14.3	13.4
8. 放課後子ども教室	今回 (R5)	5.6	6.0	6.8	7.6	6.5	6.3
	前回 (H30)	5.5	8.5	10.2	8.6	7.8	7.7
9. ファミリー・サポート・センター	今回 (R5)	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1
	前回 (H30)	0.9	0.8	0.5	0.3	0.3	0.3
10. 障がい児支援施設	今回 (R5)	1.5	2.7	2.7	2.7	2.5	2.5
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-
11. その他	今回 (R5)	2.1	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9
	前回 (H30)	2.9	3.4	3.7	3.8	3.7	3.5

問 17 放課後過ごさせたい場所 (週当たりの平均日数/学年別)

(単位: 日)

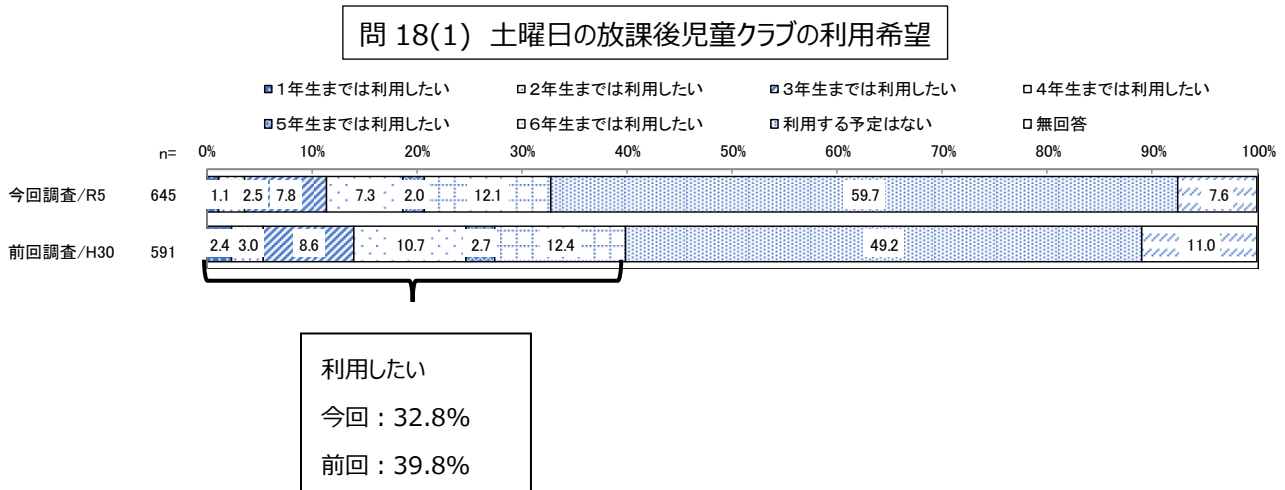
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	今回 (R5)	5.2	5.0	4.7	4.6	4.6	4.6
	前回 (H30)	4.6	4.3	4.1	4.0	3.9	3.9
2. 祖父母宅	今回 (R5)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8	2.8
	前回 (H30)	2.0	2.1	2.1	2.4	2.3	2.4
3. 友人・知人宅	今回 (R5)	1.7	1.6	1.7	1.8	1.8	1.9
	前回 (H30)	1.8	1.8	1.6	1.6	1.6	1.6
4. 児童館・児童センター	今回 (R5)	1.8	1.9	1.8	2.0	2.0	1.9
	前回 (H30)	2.0	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0
5. スポーツ少年団・文化クラブ	今回 (R5)	2.2	2.4	2.8	2.8	2.8	2.7
	前回 (H30)	2.2	2.6	2.6	2.8	2.9	2.9
6. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	今回 (R5)	2.4	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5
	前回 (H30)	2.2	2.2	2.3	2.4	2.5	2.5
7. 放課後児童クラブ(学童保育)	今回 (R5)	4.6	4.6	4.5	4.3	4.2	4.1
	前回 (H30)	4.7	4.5	4.4	4.2	4.1	4.1
(何時まで)※	今回 (R5)	17.7	17.7	17.8	17.8	17.6	17.7
	前回 (H30)	17.9	17.8	17.9	18.0	18.0	18.0
8. 放課後子ども教室	今回 (R5)	2.5	2.4	2.3	2.4	2.5	2.6
	前回 (H30)	3.1	2.8	2.6	2.4	2.5	2.5
9. ファミリー・サポート・センター	今回 (R5)	-	1.5	1.0	1.0	-	-
	前回 (H30)	3.7	3.3	3.3	3.4	3.6	3.6
10. 障がい児支援施設	今回 (R5)	4.2	4.0	3.9	3.7	3.7	3.7
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-
(何時まで)※	今回 (R5)	16.1	16.7	16.8	16.9	17.0	17.0
	前回 (H30)	-	-	-	-	-	-
11. その他	今回 (R5)	3.4	3.1	2.7	2.8	2.9	2.8
	前回 (H30)	3.4	3.5	2.9	2.9	2.9	2.9

(※) (何時まで) は時間表示。小数点以下 0.1 = 6 分として計算。(例 17.7 時 = 午後 5 時 42 分)

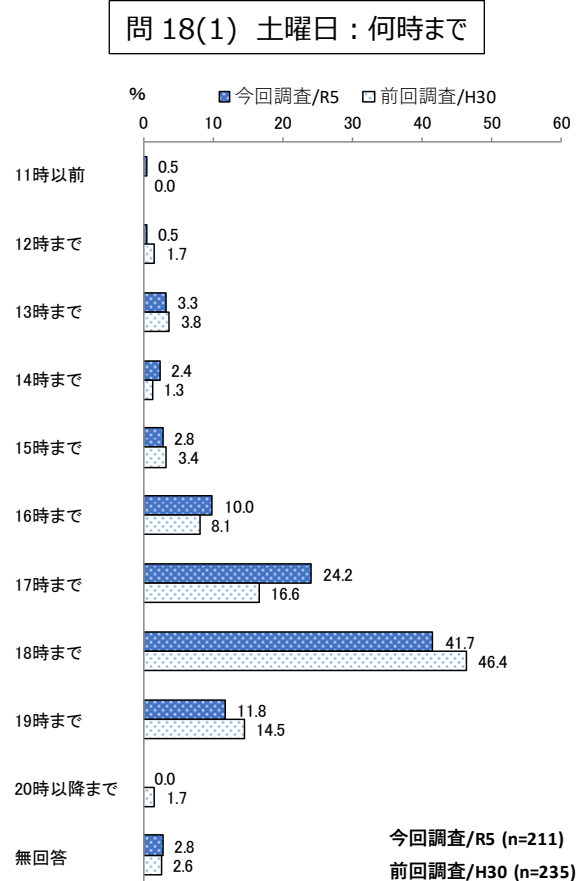
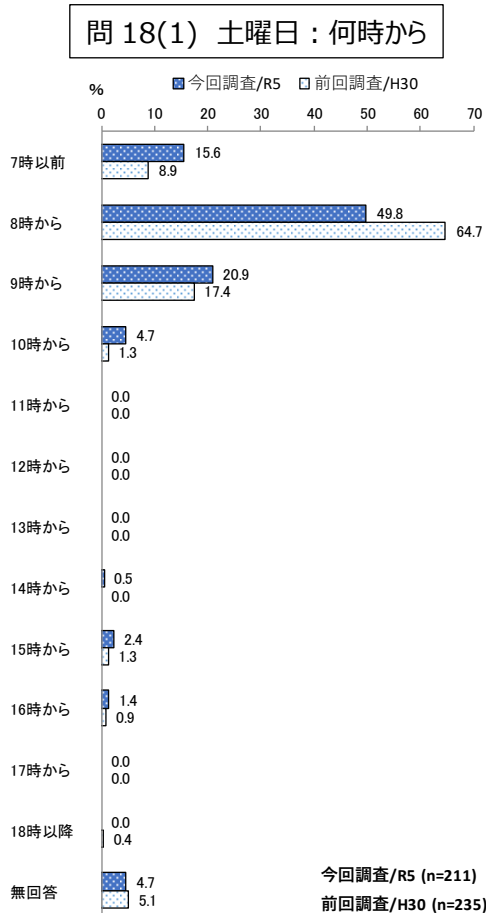
(2) 放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の利用希望

- 全体では「利用したい」の合計は前回より 7.0 ポイント減少し、反対に「利用する予定はない」が 10.5 ポイント増加した。【問 18(1)】
- 利用開始の希望時刻は「8 時から」が最も多く、利用終了の希望時刻は「18 時まで」が最も多い。前回と比較すると、利用終了の希望時刻は「18 時まで」以降は減少し、「16 時まで」および「17 時まで」は増加した。【問 18(1)】

問 16 で「放課後児童クラブ（学童保育）」「障がい児支援施設」と回答した方



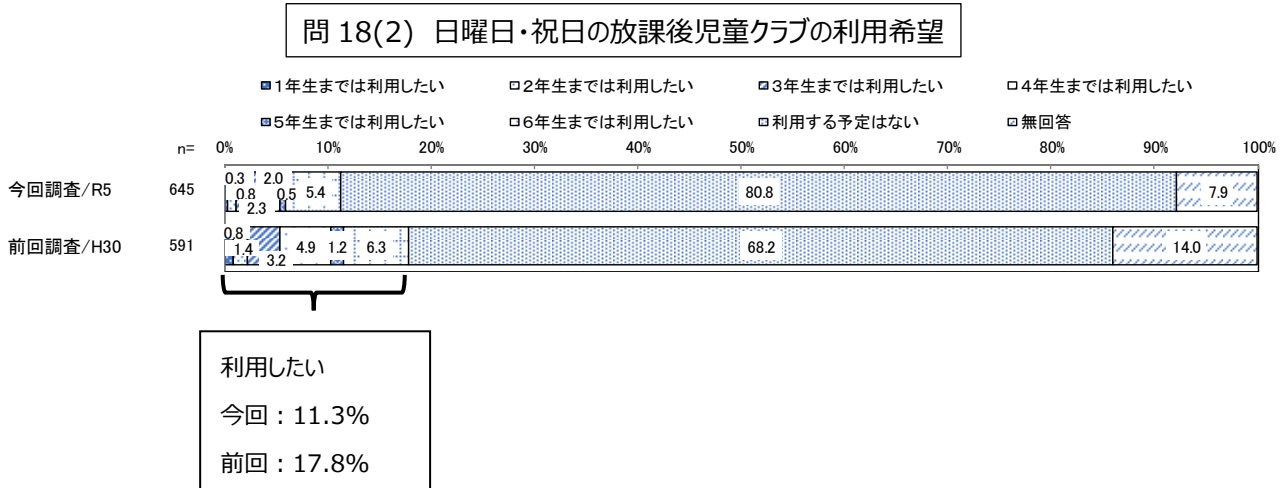
問 18 (1) で「利用したい」と回答した方



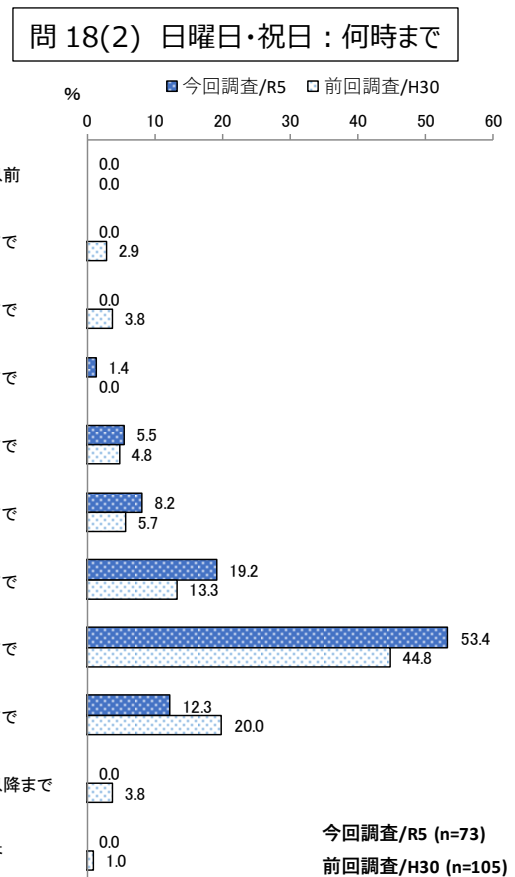
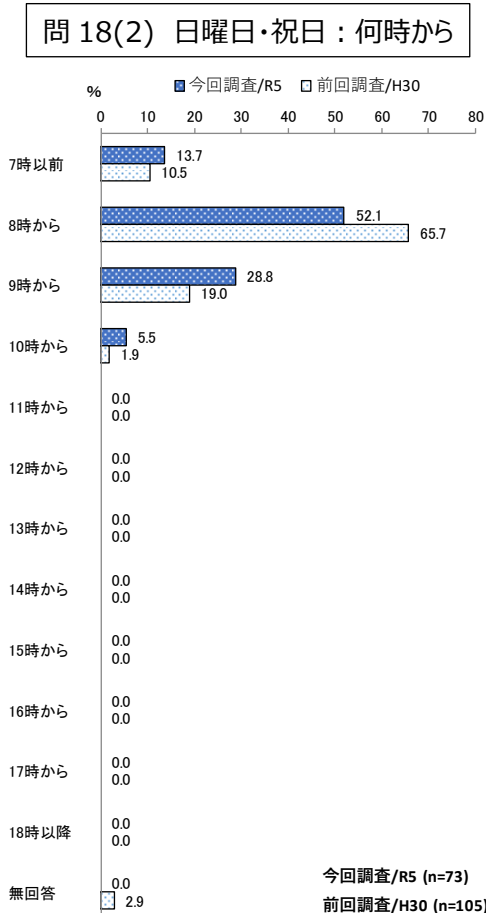
(3) 放課後児童クラブ（学童保育）の日曜日・祝日の利用希望

- 全体では「利用したい」の合計が前回より 6.5 ポイント減少し、反対に「利用する予定はない」が 12.6 ポイントに増加した。【問 18(2)】
- 利用開始の希望時刻は「8 時から」が最も多く、利用終了の希望時刻は「18 時まで」が最も多い。前回と比較すると、利用終了の希望時刻は「19 時まで」以降は減少し、「14 時まで」～「18 時まで」は増加した。【問 18(2)】

問 16 で「放課後児童クラブ（学童保育）」「障がい児支援施設」と回答した方



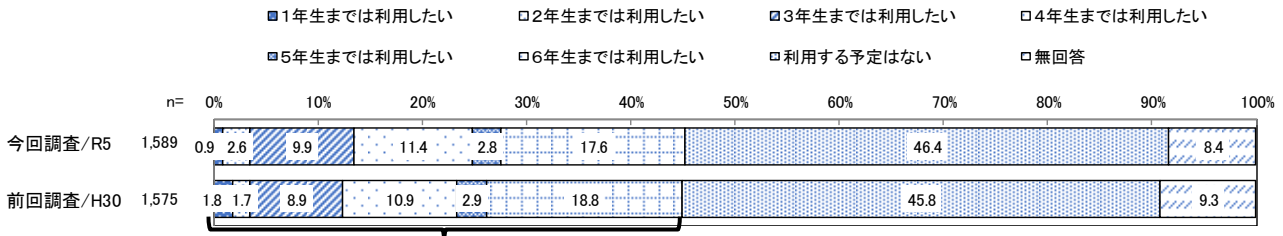
問 18 (2) で「利用したい」と回答した方



(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望

- 「利用したい」の合計は前回と同様に4割半ばであった。【問 19】
- 利用開始の希望時刻は「8時から」が前回同様に最も多く、「7時以前」が前回よりも増加し、「9時から」が減少した。利用終了の希望時刻は「18時まで」が最も多いが、前回と比較すると、「15時まで」～「16時まで」も増加した。【問 19】

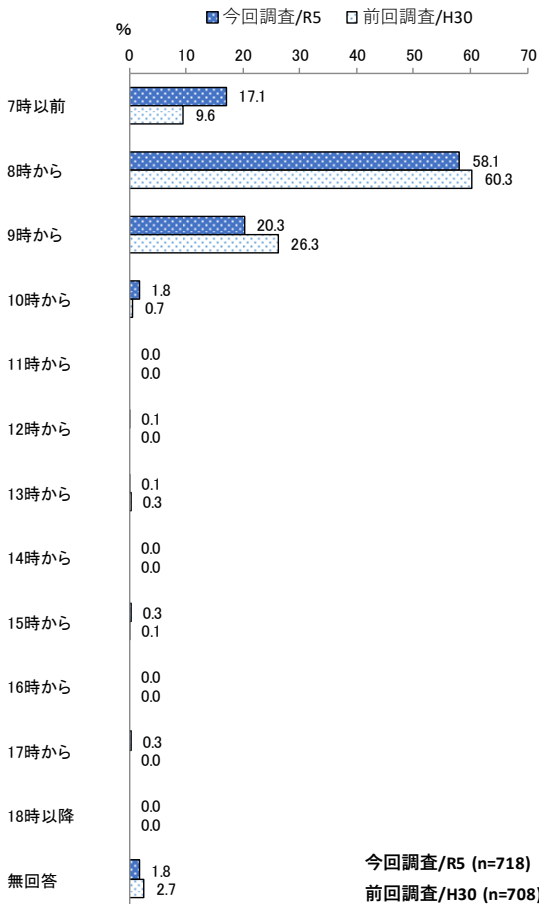
問 19 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望



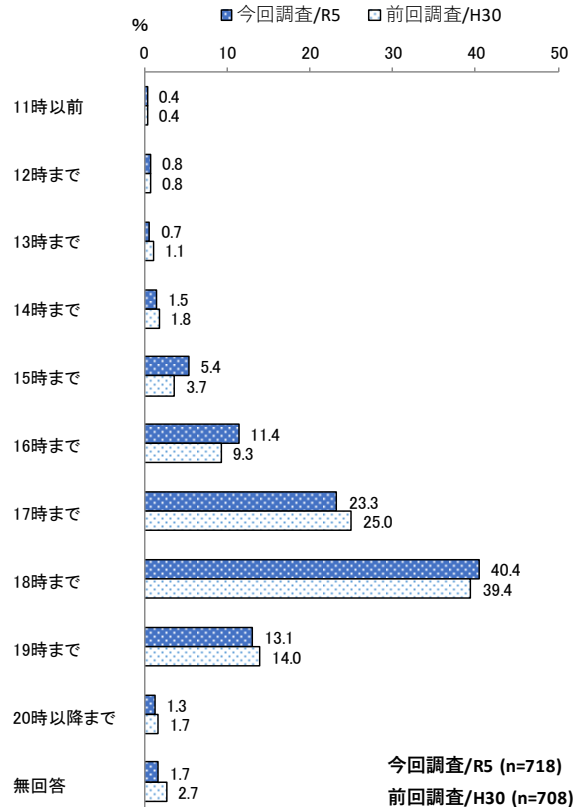
利用したい
 今回：45.2%
 前回：45.0%

問 19 で「利用したい」と回答した方

問 19 長期休暇中：何時から



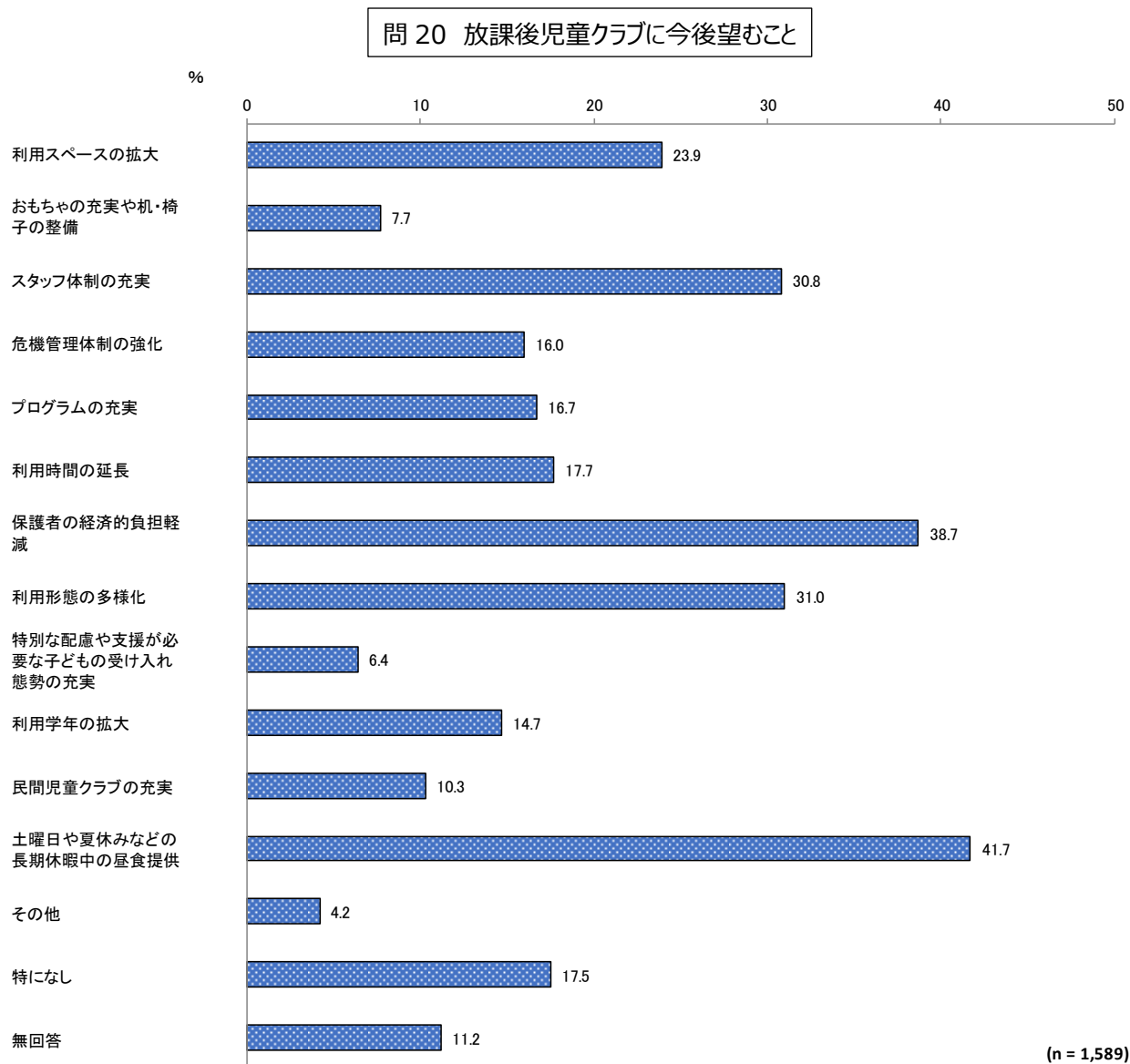
問 19 長期休暇中：何時まで



今回調査/R5 (n=718)
 前回調査/H30 (n=708)

(5) 放課後児童クラブに望むこと

- 放課後児童クラブに望むこととして、「土曜日や夏休みなどの長期休暇中の昼食提供」「保護者の経済的負担軽減」「利用形態の多様化」「スタッフ体制の充実」の順に多い。【問 20】



7 自由意見（小学生）

子育ての環境や支援に関する自由意見について、合計 675 件の意見が寄せられた。

内容を分類すると、「子育て支援について」が 270 件、「経済的支援について」が 100 件、「環境について」が 220 件、「相談、情報提供について」が 32 件、「子育てと仕事の両立について」が 33 件、「アンケートについて」が 2 件、「市の対応、体制について」が 18 件となっており、代表的な意見を抜粋して掲載している。

大項目	小項目	件数
1. 子育て支援について	①放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について	146
	②子育て支援センター、児童館について	37
	③病児保育、一時保育について	35
	④障がいのある子どもへの子育て支援について	17
	⑤保育所、幼稚園などの保育サービスについて	11
	⑥ひとり親への支援について	9
	⑦その他のサービス・支援について	15
2. 経済的支援について	①経済的支援全般について	67
	②保育料・教育費について	24
	③医療費について	9
3. 環境について	①子どもが遊ぶ環境について	90
	②子どもの教育環境について	60
	③地域の環境について	37
	④小学校の制度・体制について	23
	⑤施設、道路などハード面での整備について	10
4. 相談、情報提供について	①情報提供について	13
	②相談・交流の場について	10
	③子育ての不安と相談について	9
5. 子育てと仕事の両立について		33
6. アンケートについて		2
7. 市の対応、体制について		18
合計		675

主な意見

1. 子育て支援について

①放課後児童クラブ、放課後の子どもの居場所について

1	学校の学童保育は、2年生の時に民間の児童保育に移るよういわれました。他校では学年が上がっても断られることなく、時間も延長可能で、長期休暇のプログラムも充実しています。学校により差があるのはどうかと思います。（民間なら格差をつけてもよいですが）
2	放課後児童クラブの受け入れ数（定員）を増やしてほしいです。夏休みに入れられないかもしれないと言われました。1人で留守番をさせるのは心配ですが仕事を1カ月以上休めず心配です。
3	松山の児童クラブは送迎に車が利用できないところが多いので不便だと思う。（前住んでいた地域はできたので）小一の壁が高すぎて、今から下の子の就学が不安です。送迎に時間がかかる。
4	今通っている小学校には、放課後子ども教室がないのでどの小学校でも利用できるようにしてほしい。
5	幼稚園・保育所の間は、親の就労状況に関わらず、延長保育や預かり保育を利用できる体制が整っているのは助かる。小学生になると、急用等で保護者不在の場合、児童クラブを利用していない子どもは放課後の居場所がないため、児童クラブの時間利用や日割りでの利用ができると良いと思う。
6	学童がクラブによって利用が違い、ある学童は1年を通さないと入れないのに、ある学童は長期休暇中のみ利用だけでもOKとなっている所がある。学校がある時はその間だけ働いて、子どもが帰ってくる時には家にいてあげたい。しかし、夏休み等の場合は、ずっと休むこともできないから短期間だけでも安心して小学生が預けられる場所がもっと増えてほしい。今の学童だけでは、入りたくても1年通してまでは費用がもったいないので、入れようと思えない。
7	放課後の校庭を開放していただきたい。自宅周辺に遊び場がなく、また子どもだけで行ける（徒歩や自転車）範囲にも安全に遊べる広場がない。公園や児童館に行くにしても、親の送迎が必要となってしまっている。
8	現在民間の児童クラブに通わせています。フルタイムで働く以上子どもを一人もしくは子どもだけで家に置いておくには不安があること、自分自身は平日は仕事で何も習い事等のサポートができないことから民間児童クラブを選択しました。もっと児童クラブで働く方が待遇よく働けるようになれば担い手が増えると思います。保育所もそうですが、保育教諭や児童クラブで働く方への支援をお願いしたいです。
9	長期休暇の児童クラブのお弁当は、給食だと本当にありがたいと思います！！

②子育て支援センター、児童館について

1	児童館が閉まるのが早く、仕事の方が遅いので利用させれない。
2	長期休業中に子どもたちだけで遊べる児童館や公民館を開放して勉強や自由に活動できる所があるとありがたいです。昼食も利用できるとさらに良い。夏休みは、母親はとても負担が増えます。
3	よく児童館を親子共に利用しますが、習い事感覚で週1の催しを長期的に利用できるものなど増えてもらえると経済的にも助かるし、子ども同士も利用しやすいと思うので増やしてほしい。（サークル活動など）
4	児童館やコミセンなどの子どもが利用できる施設の休館日が月曜日となっている。振替休業の際に利用したいので、ぜひ休館日をずらしてほしい。

③病児保育、一時保育について

1	病児保育施設も近くになく、気軽に利用できない感じがある。
2	病児保育の施設は、当日急な発熱や、体調不良では予約が取れないのがほとんどです。キャンセル待ちでは、結局諦めるしかないので、枠を増やしていただけたらと思います。
3	一時保育や放課後児童クラブについてはまだ利用したことはありませんが、親の就業状況に関係なく、どの家庭でも不定期(週1回や、急遽預かってもらいたい時など)に少額で利用できる場所が増えると、預けられるところがない家庭や、子どもに兄弟姉妹がいても(できても)育児への負担や不安が軽減されて助かると思います。

④障がいのある子どもへの子育て支援について

1	発達障害があり特別支援学級に在籍しています。先行きが見えず不安なことが多いです。学校の先生はよくみてくれますが高学年や中学校以降は十分な支援が難しいと聞きます。相談できる場所がほしいです。また放課後デイサービスを利用したくても、フルタイムで仕事をしているので時間や送迎ができず結局利用できません。困っています。
2	非定型発達又はグレーゾーンの子どもに対応できる制度。
3	発達障害の子どもは少なくなく、それが学習障害やいじめや不登校の原因になっていることも多いと思われるため、保育所を始め、幼稚園、小学校、中学校、高校の先生や、地域の人に、発達障害を理解し対応してもらえるように取り組んでほしいです。そして、親からの相談に対応することが難しいなら、うやむやにせず、早期に専門家につないでほしいです。

⑤保育所、幼稚園などの保育サービスについて

1	保育所も、見学に行った際に職場復帰時期を伝えると「あー、厳しいですね。」と言われた。一時保育も、敷地面積の問題や職員の人数の問題でしていないところが多い。保育所に入れなかった場合、一時保育も利用できなければ選択肢が減ってしまう。待機児童ゼロというが、育休を延ばして保育所に入れている状況なら意味がないと思う。安心して保育所の利用ができるように、また利用できるまでの期間を穏やかな気持ちで子どもと過ごせるように、改善をお願いしたいです。
2	働きたくても保育所に入れない状況を改善してほしいです。9月からの途中入園ができず、一番下の子は半年ほど一時預かりを使っていました。今は小規模保育所なのでまた来年保活があります。年少では一時預かりも使えないので確実に保育所に入れる仕組みを作ってほしいです。

⑥ひとり親への支援について

1	母子家庭だと、普段頼れる人が近くにいないと子育てがしにくい。児童クラブの費用も負担である。もう少し母子でも子育てしやすい制度が出来るといいなと思う。
2	母子家庭でフルタイムで働いているため、送り迎えが難しく習い事がさせられません。児童クラブに出張教室のような感じで塾や書道などが来てもらえると、安心して習わせる事が出来て良いと思います。

⑦その他のサービス・支援について

1	児童クラブ以外で、地域の中で放課後勤務就労まで安心して預けられる場がほしい。塾+スポーツの機能のある低価格での運営を希望したい。
---	--

2. 経済的支援について

①経済的支援全般について

1	出産や子育て支援金の対象になる枠を広げてほしい。
2	子どもを育てるには環境も重要だと思います。ですがお金も必要なのです。児童手当をもらう時の子どもの人数の数え方と実際の子どもの数え方が違うのはたくさん子どもを産んだ人にとって厳しいと思います。
3	年収に関わらず多子世帯への支援を充実させてほしい。幼稚園での書類提出の際「小学3年生以下の子どもを第1子とカウントする」方法は時代に合っていない。第3子以降は特に支援を充実させてほしい。
4	医療費免除や子ども手当や兄弟保育料半額などありがたいが上の子が3月生まれなどは不平等。誕生月にしてほしい。
5	何かとひとり親家庭や非課税世帯にばかり補助金や支援金が給付されており、私たちのようにフルタイムで働いて税金をしっかりと納めている世帯に支援がないことに不満を感じています。不公平さがないように税金の使い道を考えてもらいたいです。
6	色々な習い事をさせたいと思っているが、費用の関係でさせてあげることが出来ない。補助等あれば助かる。

②保育料・教育費について

1	小学校、中学校給食を無償化にして頂けたらありがたいです。
2	0歳から保育料を無償化してもらいたい。育休明けでフルタイムで働きたかったが、結局来年度保育料に影響するかと思うと意欲的には働けなかった。

③医療費について

1	インフルエンザワクチンの助成があれば嬉しい。安いところでも3000円で2回打たなければならないし、子どもが多いと負担が大きい。
---	---

3. 環境について

①子どもが遊ぶ環境について

1	図書館など総合施設が少なすぎる。
2	うちの近所には児童館などの子どもだけで気軽に遊びに行ける室内施設がないので、暑い時期や寒い時期の子どもの居場所がない。予約や事前申し込み等がいらぬ気軽に遊びに行ける施設がほしい。
3	休日や放課後に子どもが安心・安全に過ごせる環境が少ないと感じている。近所で子どもを遊ばせていると、「子どもの声がうるさい。」との町内会の回覧板が回ってきたので、家の近くで遊ばせることができない状況である。遊ぶために、公園などに出かけなければならないが、公園・施設は狭く混雑していたり、駐車場がなかったり、ボール遊びができないなど、利用のしにくさを感じている。

②子どもの教育環境について

1	不登校の子どもも公教育で受け入れられる体制が必要。
2	学校で放課後、教室を利用した塾や習い事の開催があると良いと思います。一度下校せずそのまま利用できるのが良いです。

3	小学生の荷物の量が多く、子どもが大変そうである。タブレットも導入されているが、入学当初イメージしていたものとは異なり厚くて重たい。薄くて軽いタブレットになればと思うと同時に、教科書やノートももちろん自習学習や宿題のために持ちかえているため、ランドセルはいつもパンパン。
4	不登校の子どもの支援を充実させて欲しい。別室登校ができたり、不登校対応の学校ができたりするといいなと思う。タブレットが広まってきているので、不登校であっても、リモートで授業が受けられるような環境になると、親としては助かります。

③地域の環境について

1	通学路が危険な箇所がたくさんあって、改善してほしいです。交通量（車、バイク、自転車）が多く、歩道がありません。用水路にフタがなく、危ないです。
2	地域内のコミュニティ、行事などに気軽に安心して参加できる環境を充実させて欲しい。特に夜間帯などは親の送迎が必要となっているが、親が送迎できなくても、他の手段や主催側がサポートできるよう、市より補助体制を構築して欲しい
3	放課後子どもたちだけで遊びに出かける時間帯の地域見守り活動の強化。

④小学校の制度・体制について

1	学校の対応に不満がある時に調査や仲介などして頂ける第三者機関が必要と考えます。学校長の判断によって行われている事については、教育委員会も、こども総合相談も何もしていただけないのでどうかしていただきたいです。
2	学校への意見や要望を出しやすい環境整備を希望します。教師から理不尽な対応を受けていたり、教師の怠慢とも受け取れるような問題行動があったりしても、子どもの立場を考えると、直接学校へ電話はしにくいです。専用窓口や、学校として年数回のアンケート調査等を実施してほしいです。

⑤施設、道路などハード面での整備について

1	公園が汚いところが多いので整備してほしいです。犬猫のフンが落ちていたり、トイレが古かったり、草が茂っていたりと、子どもだけで遊ばせるには不安があります。また、野良猫にエサをやる人が多く、猫が増えていて、庭や道へのフン尿があるので、衛生的にもよくないと感じます。猫のエサやりの罰則化を強く希望しています。
2	夏休みに引越してきたのですが、通学路の水路の多さにびっくりしました。雨の日は流れも早くて危険な上、車道と歩道が一緒になっているところも多いので、通学路だけでも水路に蓋をつけてほしいです。

4. 相談、情報提供について

①情報提供について

1	毎月配布している広報紙ですが、新居浜市や東温市のように冊子状にもらい、子育てに特化したページをもっと増やして、習い事（こんなところあります）のページとかも安く行けたら良いので、ボランティアのところとか組んでほしいです。
---	---

②相談・交流の場について

1	未就学児は子育てひろばや親子ふれあいタイムがあるが、その年齢の子どもがいないと参加しづらい。地域をこえた同年代の子どもをもつ知り合いがほしい。
2	四国中央市の土居親子広場を一度見学してみたいです。スタッフの方と保護者の距離が近くて、育児で真っ暗闇の中にいるときに何度も救われました。他のお母さんたちも、辛い時駆け込める場所だと話していました。松山市にもそんな場所があればいいと思うし、必要としているお母さんはたくさんいるはずですよ。

③子育ての不安と相談について

1	子育てに関して、気軽に相談できる窓口を充実させてほしいのと、どこに連絡したらよいか、もっと発信してほしい。
2	お母さんは、結婚・出産・義父母と同居・育児と、大変です。舅・姑・夫との人間関係に悩んでいて、どこに相談したら良いかわかりません。そのような悩み事の支援もあつたらなと思います。

5. 子育てと仕事の両立について

1	共働き（フルタイム）の親族や友人と話しているとやはり母親の役割が多いため、なかなか正社員で働くことが難しいと言っていました。（2人目ができると特に。辞めなきゃ・・・と言っている）父と母が平等に、不安なく子育てできる環境を整えたいと思いました。
2	子育てをしながら働く事が難しい。（仕事が見つかってもし児童クラブに入れられないかもしれないなど不安定）
3	仕事が不規則（早出、遅出、夜勤）であり小学生の子どもがいるが、職場の理解が少ない。小学生の子どもの留守番のことを考えると仕事との両立が難しい。事業者への子育て支援について働きかけを希望。（早出や夜勤の相談等）

6. アンケートについて

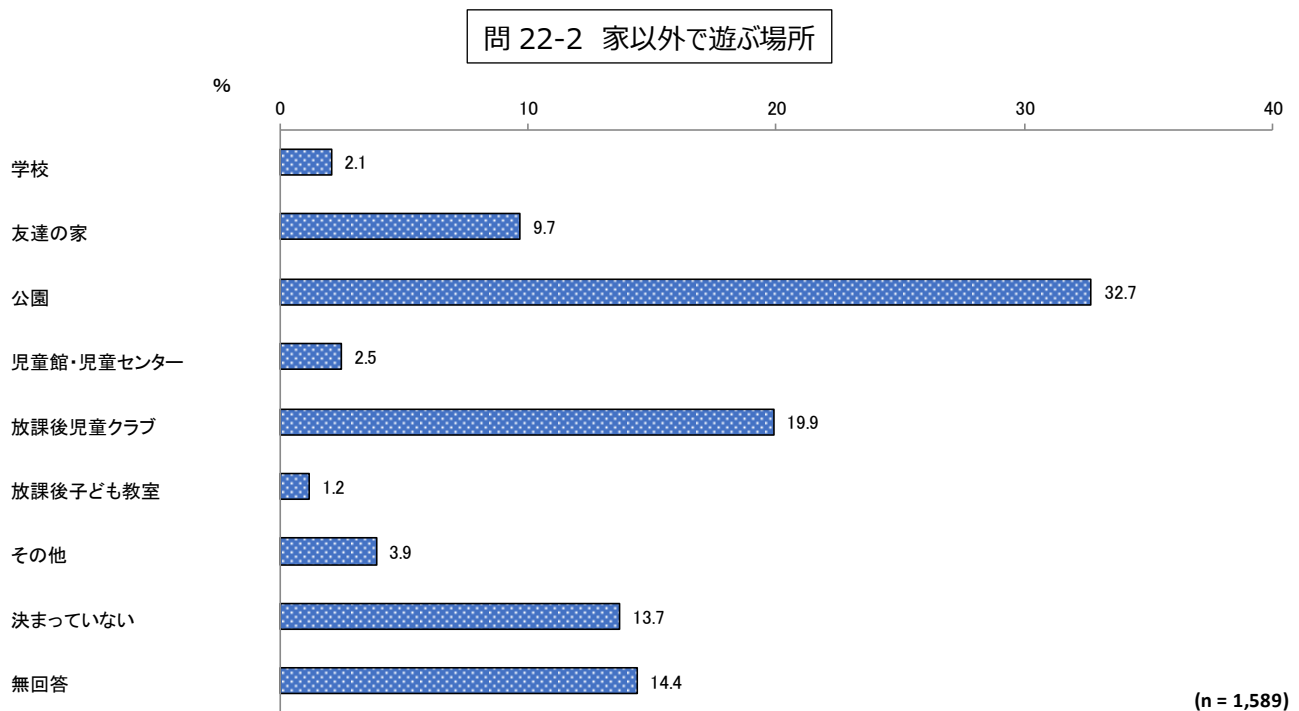
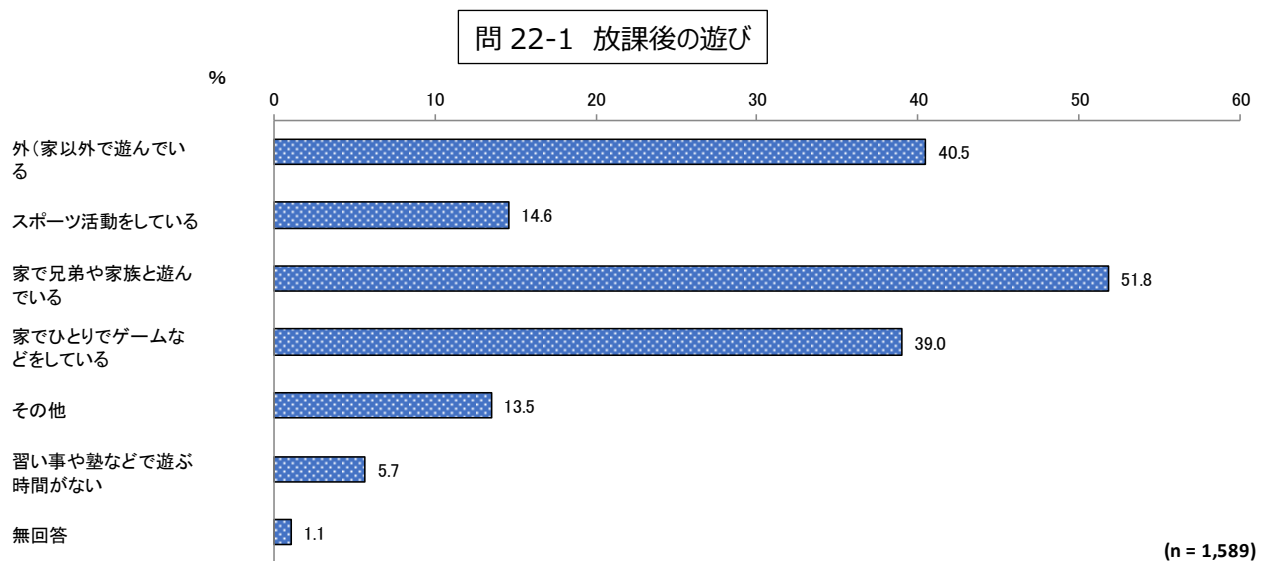
1	本アンケートについても今後は長期欠席者が対象にいることを鑑みた設問の作成や、基礎資料としての活用を願いたい。
---	--

7. 市の対応、体制について

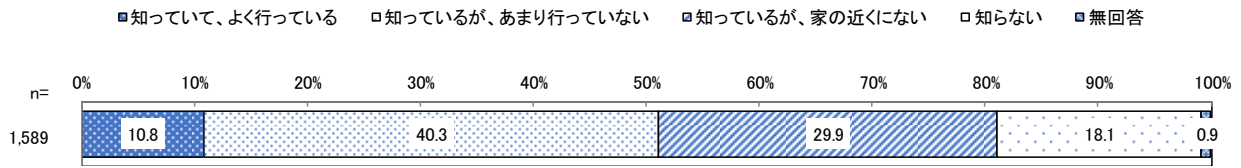
1	長期休み期間中など心身共に疲れ果てていて市役所へ手続きに行くこともできないので、できれば手続きをオンラインでできるようにしてほしいです。
2	3人目の子どもであっても、年齢要件では第2子になってしまい、対象から外れる場合が多いので、数え方から見直してほしいです。

8 放課後の過ごし方（小学生本人による回答）

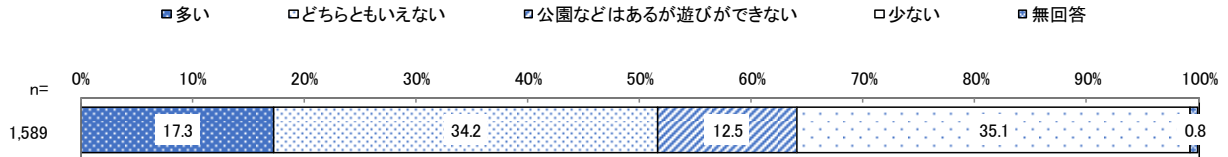
- 放課後の遊びでは「家で兄弟や家族と遊んでいる」が最も多く、家以外の遊び場所は「公園」が最も多かった。【問 22-1】【問 22-2】
- 児童館の認知度（「知らない」以外の選択肢の合計）は約 8 割であるが、「知っているが、あまり行っていない」が約 4 割を占める。【問 22-3】
- 近所の遊び場の状況は、「多い」が 2 割弱であるのに対して、「少ない」が 3 割半ばであった。【問 22-4】
- 遊び場の希望では、「ボール遊びができるところ」が最も多く、次いで、「ジャングルジムやブランコなどの遊具がある公園」「子どもが放課後などに集まって、自由に活動などができるところ」が多かった。【問 22-5】



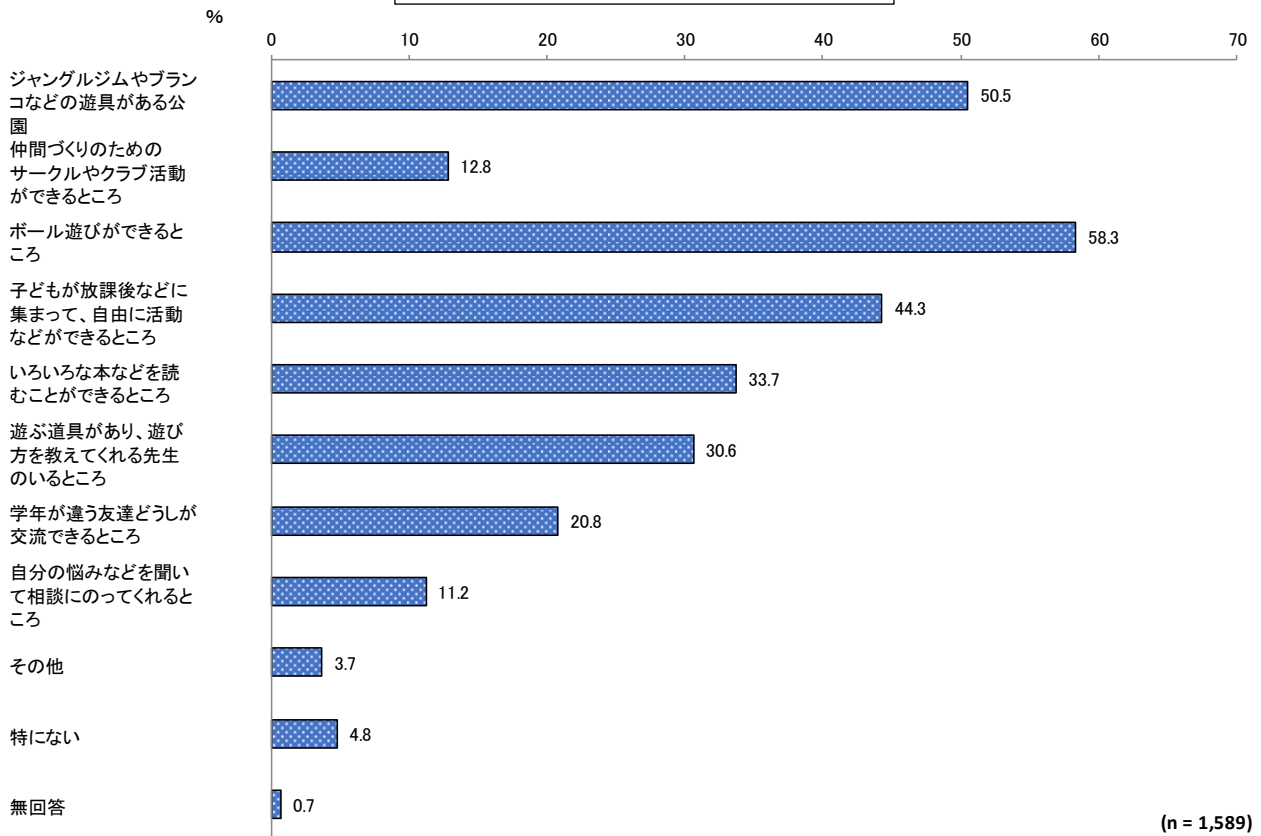
問 22-3 児童館の認知



問 22-4 近所の遊び場の状況



問 22-5 近所にあつたらいいと思う遊び場



付表

1 就学前児童の調査票

小学校就学前児童のいる世帯用

「松山子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力をお願いします～

皆さまには、日頃からお子さまの成長にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。松山市では、教育・保育や地域子育て支援事業などを計画的に推進するため、「松山子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

今回、2025年度（令和7年度）からの次期計画に向けた基礎資料とするため、市民の皆さまの子ども・子育てに関するご要望・ご意見などを把握するアンケート調査を前回に引き続き実施させていただきます。

皆さまのご意見が、今後の松山の子どもの成長を推進する上で、大変重要な資料になりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



令和5年10月
松山市

<このアンケート調査について>

- この調査は、市内にお住まいの小学校就学前（平成29年4月2日～令和5年4月1日生まれ）のお子さまと小学校に通われているお子さん（平成25年4月2日～平成29年4月1日生まれ）の中から、無作為で各3,000人（合計約6,000人）を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
- ご回答いただいた調査票は、松山市及び委託業者（㈱東京商工リサーチ 松山支店）のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい・紛失などのないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
- ご回答いただいた内容（施設やサービスの利用状況・利用希望など）が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

お手数ですが、**11月24日（金）**までに、インターネットでの回答、または同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
この調査票についてご不明な点などございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 ども家庭部 どもえがお課

〒790-8571 松山市二番町四丁目7-2
電話：089-948-6039 FAX：089-934-1822
E-mail kodomado@city.matsuyama.ehime.jp
※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いします。

<調査票の回答方法について>

回答方法は必ず片一方を選んでください。紙とインターネットの両方とも回答する必要はありません。双方に回答された場合は、一方の回答は無効になります。

1. 郵送で回答される場合

- この調査票にご回答の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてください。
- お名前や住所は書かず、**11月24日（金）**までにポストへ投函してください。

2. インターネットで回答される場合

- インターネット回答期限：**11月24日（金）23:59**まで
- 本調査専用サイトへアクセス

URL：https://tsrsurvey.jp/matsuyama_syugakumae



②ログイン画面が表示されたら、下記に記載のログインID（英数字6ケタ）を入力して、「続ける」ボタンを押してください。

ログインID

※ログインIDは重複回答を防ぐためのもので、個人が特定されることはありません。

③画面の案内に沿って回答し、最後に「送信する」ボタンを押してください。

※インターネット回答は、1回限りです。回答を送信されるとその後の修正は原則できませんのでご注意ください。

アンケートの中断、再開する場合は、以下の手順に従って行ってください。

- アンケートを中断する場合
「あとで続きをする」ボタンを押すと、これまでの回答が保存され、中断することができ、スモボの方は、右上のアイコンをクリックすると「あとで続きをする」ボタンが表示されます。
- アンケートを再開する場合
ログイン画面にアクセスしてIDを入力してください。
アンケートの回答を再開し、最後に、上記③と同様の手順で、回答を送信してください。

<ご回答にあたってのお願い>

- 特段の指定がある場合を除き、アンケートには、封筒の宛名のお子さまの保護者の方がご記入ください。
- アンケートには、皆さまのお名前を回答していただく欄はありません。（無記名によるアンケート調査）率直なご意見、ご要望をお聞かせください。
- 紙で回答する際は、黒または青のボールペン、黒い鉛筆などではつきりどご記入ください。修正される場合は、二重線で訂正し、正しい回答をご記入ください。
- 回答方法には、選択肢の中から選んでいただく場合と、○印をつけていただく場合と、【 】や表内に○印並びに数字を回答していただく場合があります。
- 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数に制限はありません。説明文によって異なります。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後に具体的な内容をご回答ください。
- 説明文によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。（設問は向29まであります）
- 説明文の中にある各事業等の内容が不明の場合は、別紙「松山市の子育て支援サービス」を参考に、ご回答ください。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからかた順でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 |
| 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育施設（保育所など） |
| 7. 認定こども園 | 8. その他（ | ） |

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に最も影響すると思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-----------|--------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 |
| 4. 保育施設（保育所など） | 5. 認定こども園 | |
| 6. その他（ | | ） |

問8 日頃、宛名のお子さんをおもてもらえますか。知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族におもてもらえる | 問8-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母などの親族におもてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをおもてもらえる友人・知人がいる | 問8-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおもてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | 問9へ |

問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母などの親族にお子さんをおもてもらううえで、心配なことや不安なことについてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおもてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である |
| 4. 祖父母等の親族に経済的な負担をかけることが心配である |
| 5. 自分の子どものことで、負担をかけていることが気になる |
| 6. 子どもの教育や発達にとつてふさわしいかかわり方・環境であるか気になる |
| 7. その他（ |

問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをおもてもらううえで、心配なことや不安なことについてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおもてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 友人・知人に経済的な負担をかけることが心配である |
| 5. 自分の子どものことで、負担をかけていることが気になる |
| 6. 子どもの教育や発達にとつてふさわしいかかわり方・環境であるか気になる |
| 7. その他（ |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------|
| 1. いる／ある | 問9-1へ |
| 2. いない／ない | 問10へ |

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にかかれます。お子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-----------------------|
| 1. 家族 | 2. 祖父母等の親族 | 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 |
| 5. 子育て支援施設（子育てひろば、子育て支援センター、児童館等） | 6. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービスなど） | 7. 保健所・保健センター分室（南部・北条・中島） | 8. 幼稚園教諭・保育士など |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 | 11. 松山市の子育て関連担当窓口 | 12. NPO など民間の運営する相談窓口 |
| 13. インターネット上の総合掲示板やSNSの相談窓口 | 14. その他（ ） | | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。(1) 母親の就労状況と(2) 父親の就労状況について、それぞれお答えください。

(1) 母親の就労状況【父子家庭の場合は記入不要】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | (1) -1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | (2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

(1) -1 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にかかれます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。([])内に数字でご記入ください

1週当たり []日 1日当たり []時間

(1) -2 (1)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にかかれます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば「翌日1時」に帰宅される場合は「25時」とご記入ください)

([])内に数字でご記入ください
なお、在宅ワークなど、通勤時間がない場合は、「通勤時間がない」に○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 通勤時間がある | ▶ 家を出る時刻 []時頃 ～ 帰宅時刻 []時頃 |
| 2. 通勤時間がない | |

問 11 父親の就労状況（母子家庭の場合は記入不要）当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

問 12 (2) -1 (2) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にかかっています。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もともとの多い方についてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
〔 〕内に数字でご記入ください

1週当たり [] 日 1日当たり [] 時間

問 12 (2) -2 (2) で「1.～4.」（就労している）に○をつけた方にかかっています。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。（例えば“翌日1時”に帰される場合は“25時”とご記入ください）
〔 〕内に数字でご記入ください
なお、在宅ワークなど、通勤時間がない場合は、「通勤時間がない」に○をつけてください。

1. 通勤時間がある ▲ 家を出る時刻 [] 時頃 ～ 帰宅時刻 [] 時頃
2. 通勤時間がない

問 11 問10の(1)または(2)で「3.」「4.」（パート・アルバイトなどで就労している）に○をつけた方にかかっています。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

問 11 (1) 母親（父子家庭の場合は記入不要）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 11 (2) 父親（母子家庭の場合は記入不要）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイトなど（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 問10の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にかかっています。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、「2.」「3.」を選択した場合は、「希望する就労形態」についてもご記入ください。
なお、複数の子どもがいる場合は、その子どもたちの状況を考慮して、死先のお子さんの年齢を記載してください。

問 12 (1) 母親（父子家庭の場合は記入不要）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、宛名のお子さんが [] 歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
「希望する就労形態」ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイトなど（「ア」以外）
→1週当たり [] 日 1日当たり [] 時間
ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、(1) 現在のどのくらい利用していますか。また、(2) 希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、〔 〕内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、複数利用している場合は、通算してご記入ください。

(1) 現在

1. 週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間（〔 〕時～〔 〕時）

(2) 希望

1. 現在の利用状況のままでよい

2. 下記の利用時間を希望する

▶ 1週当たり〔 〕日 1日当たり〔 〕時間（〔 〕時～〔 〕時）

問 13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 居住地の小学校区内

2. 松山市内（1を除く）

3. 他の市町

問 13-4 宛名のお子さんご利用する場所は、どこが理想ですか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 自宅周辺

2. 勤務場所周辺

3. JR松山駅周辺

4. 松山市駅周辺

5. 自宅の最寄り駅周辺

6. その他（ ）

7. 立地条件は考慮しない

問 13-5 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため

2. 保護者が現在就労している

3. 保護者が就労予定がある／求職中である

4. 保護者が家族・親族などを介護している

5. 保護者に病气や障がいがある

6. 保護者が学生である

7. その他（ ）

問 13-6 問 13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの母親が父親が就労していないなど）

2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている

3. 近所の人や父母の友人・知人がみている

4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない

5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない

6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない

7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない

8. 利用したいが、利用を断られた

9. 利用していたが、理由があつて辞めた

10. 〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている

11. その他（ ）

問 14 すべての方にうかがいます。希望どおりに「平日の教育・保育事業」が利用できることとした場合、宛名のお子さんが、今後、回答欄の年齢に達したときに利用したいと思う教育・保育の事業の番号（選択肢1～14）を1つ、下記の欄に記入してください。また、「特定の園に入園したい」などの希望はありますか。特定の園を希望する場合は、「特定希望」の欄に○を記入してください。※今後このことになりましたので、現在の予定としてお答えください。

番 号	満0歳	満1歳	満2歳	満3歳	満4歳	満5歳
特定希望						

<選択肢>

1. 幼稚園のみ

2. 幼稚園 + 預かり保育

3. 保育所

4. 認定こども園

5. 小規模保育事業（主に3歳未満の子どもを19人以下の施設で保育する認可事業）

6. 家庭的保育事業（主に3歳未満の子どもを5人以下で
家庭などにて保育する認可事業）

7. 事業所内保育事業（主に3歳未満の子どもを保育する認可事業）

8. 企業主導型保育事業

9. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）

10. ベビーシッター

11. 認可外保育施設（地域保育所）（8を除く）

12. ファミリー・サポート・センター

13. その他（ ）

14. 利用しない

問 15へ

問 16へ

問 15 問 14 で「1」～「12」を選択した方にうかがいます。これらを選ぶ際に、重視したことをお聞かせください。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 教育・保育の方針や内容	2. 施設環境（設備・園庭など）
3. 職員（幼稚園教諭・保育士など）の対応の良さ	4. 給食の有無
5. 送り迎えのしやすさ	6. 送迎バスなどの有無
7. 自宅からの距離	8. 利用料その他の費用
9. 1日に利用する時間の長さ	10. 夜間・早朝利用の有無
11. 土曜・休日利用の有無	12. 長期休業期間中（夏休みなど）の利用の有無
13. 特別な支援が必要な子どもの受け入れの有無	14. その他（
	）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑳の事業ごとに、A～C欄のそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、①～⑳の事業で、行政に対して、重点的に取組みを期待するものについてD欄に○を3つまでつけてください。なお、事業によってはお住まいの地域で実施されていないものもあります。

※地域の子育て支援事業については別紙「松山市の子育て支援サービス」をご覧ください。

	A	B	C	D
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用した（継続利用も含む）	重点的に取組みを期待
① ハビ・ママのための教室 マタニティライフの過ごし方	はい	いいえ	はい	いいえ
② 産後ケア事業	はい	いいえ	はい	いいえ
③ まつとこ（冊子）	はい	いいえ	はい	いいえ
④ 保健所・保健センターの相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤ こんにちは赤ちゃん訪問	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥ 離乳食講座	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦ 子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧ ほっとHOTひろば	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨ 児童館・児童センター	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩ 障がい児等療育支援事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪ こどもの相談室 ふらっと	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫ 子ども総合相談	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬ 利用者支援事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭ 子育てひろば	はい	いいえ	はい	いいえ
⑮ 親子ふれあいタイム	はい	いいえ	はい	いいえ
⑯ 幼稚園の子育て支援事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑰ ファミリー・サポート・センター事業 一時預かり事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑱ 延長保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑲ 病児・病後児保育事業	はい	いいえ	はい	いいえ
⑳ 放課後子ども教室	はい	いいえ	はい	いいえ
㉑ 放課後児童クラブ（学童保育） 障がい児支援施設 <small>（放課後児童クラブサービス事業など）</small>	はい	いいえ	はい	いいえ
㉒ 休日子どもカレッジ	はい	いいえ	はい	いいえ
㉓ ショートステイ事業	はい	いいえ	はい	いいえ
㉔ トワイライトステイ事業	はい	いいえ	はい	いいえ
㉕ 養育支援訪問事業	はい	いいえ	はい	いいえ

問 16-1 問 16 で、下記の事業 B 欄の「これまでに利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問 16-2へお進みください) 現在、利用している事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

㉗	子育て支援センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉘	児童館・児童センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉙	障がい児等療育支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉚	利用者支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉛	子育てひろば	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉜	親子ふれあいタイム	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉝	ファミリー・サポート・センター事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉞	一時預かり事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉟	延長保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊱	病児・病後児保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊲	ショートステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊳	トワライティストイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊴	養育支援訪問事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問 16-2 問 16 で、下記の事業 C 欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問 17へお進みください) 今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

㉗	子育て支援センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉘	児童館・児童センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉙	障がい児等療育支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉚	利用者支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉛	子育てひろば	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉜	親子ふれあいタイム	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉝	ファミリー・サポート・センター事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉞	一時預かり事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉟	延長保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊱	病児・病後児保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊲	ショートステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊳	トワライティストイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊴	養育支援訪問事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問 17 松山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1.	育児サークルなどが継続的に利用できる場所がほしい
2.	児童館など親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい
3.	子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい
4.	子どもについての情報が得られる場や学べる機会がほしい
5.	誰でも気軽に利用できる NPO などによる保育サービスがほしい
6.	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
7.	3歳未満の子どもも、保育所などに係る費用負担を軽減してほしい
8.	保育所など、子どもを預けられる場所を増やしてほしい
9.	買い物やランチなど、一時的に子どもを預けられる場所を増やしてほしい
10.	夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる室内公園を整備してほしい
11.	安心して子どもを預けられるよう保育所や学校などの人員体制を整備してほしい
12.	子育てや子どもの発達などについて気軽に相談できる場所がほしい
13.	多子世帯への支援を充実してほしい
14.	子育てについての情報を気軽に入手できるよう SNS など発信してほしい
15.	妊娠前から継続的に相談できる体制を整備してほしい
16.	パパ向けの育児が学べる機会がほしい
17.	障がいのある子どもが地域で安心して生活できる環境や支援を整備してほしい
18.	インクルーシブ保育や教育への充実や市民の理解を広げてほしい
19.	仕事と子育てが両立できるよう働き方の改善などを広く啓発してほしい
20.	子ども自身の声を聴いてほしい
21.	その他()

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望がありますか。(一時的な利用は除きます) 希望がある場合(選択肢「2.」「3.」を選んだ方)は、利用したい時間帯を、「(例)09時～18時」のように24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、認定こども園・幼稚園・保育所・地域型保育事業(小規模保育等)・認可外保育施設(地域保育所)・障がい児支援施設(放課後等児童デイサービス事業など)などで教育・保育を行うことを指しますが、親族・知人による預りは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する予定はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回利用したい } [] 時から [] 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する予定はない
2. ほぼ毎週利用したい } 利用したい時間帯
3. 月に1～2回利用したい } [] 時から [] 時まで

問 18-1 問 18 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回利用したい」に○をつけてください。毎週ではなく、たまに利用したい理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達支援のため
2. 月に数回仕事が入るため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
5. 息抜きのため
6. その他 ()

問 19 土曜・休日や長期休業中に「幼稚園」及び「認定こども園」の幼稚園機能部分を利用していきますか。

1. 利用している
2. 利用していない

問 19-1 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。希望がある場合(選択肢「2.」「3.」を選んだ方)は、利用したい時間帯を「(例)09時～18時」のように24時間制で〔 〕内に数字でご記入ください。また、選択肢「3.」を選んだ方は、1週間当たり利用したい日数を〔 〕内に○でご記入ください。※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する予定はない
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯
 3. 休みの期間中、週に数日利用したい } [] 時から [] 時まで
- ↓
- 1週間当たり利用したい日数 [] 日程度

問 19-2 問 19-1 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけてください。毎日ではなく、たまに利用したい理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達支援のため
2. 月に数回仕事が入るため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため
4. 買い物などの用事をまとめて済ませるため
5. 息抜きのため
6. その他 ()

宛名のお子さんの病気の病気の対応についてうかがいます。

問 20 松山市の子ども（小学 6 年生以下）は、以下の病院などで実施している「病児・病後児保育事業」の利用が、できることを知っていますか。（1つでも知っていれば、「1. 知っています」としてください）

- 石丸小児科（三善町）・天山病院（天山）
- 愛媛生協病院（東住町）・石川小児科（東温市）・むかいだ小児科（伊予郡松前町）
- ※今後、幼児連携型認定こども園三葉幼稚園（山西町）と高木保育園（高木町）でも実施予定。

1. 知っている 2. 知らない

問 20-1 「病児・病後児保育事業」は、実施施設はどこにあれば利用しやすいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 現状の実施場所が良い 2. 自宅の近く 3. 職場の近く（職場のある町）
- 4. 通常利用している園の近く（園のある町名）
- 5. 通常利用している園に併設された施設 6. わからない
- 7. その他（ ）

問 20-2 平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者の方（P9の問 13で「1.」に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は問 21へお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで保育所・幼稚園・障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）など、定期的に利用している通常の事業が利用できなかったことはありませんか。

1. あった ▶ 問 20-3へ 2. なかった ▶ 問 21へ

問 20-3 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も【 】内に数字で記入ください。（半日程度の場合は1日とカウントしてください）

1年間の対処方法	日数（年間）
1. 父親が休んだ	【 】日
2. 母親が休んだ	【 】日
3. やむを得ず子どもだけで留守番させた	【 】日
4. 病児・病後児の保育を利用した	【 】日
5. 親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった	【 】日
6. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	【 】日
7. ベビーシッターを利用した	【 】日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	【 】日
9. その他（ ）	【 】日

問 20-4 問 20-3で「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。「病児・病後児のための保育施設等」を利用しなかったのはなぜですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 保護者が仕事を休むことができた 2. 病気の子どもを他人にみてもらうのは不安だった
- 3. 事業の質に不安があった
- 4. 「病児・病後児のための保育施設」があることを知らなかった
- 5. 利用方法が分からなかった 6. 利用料がかかる・高い
- 7. 利用料が分からなかった
- 8. 利用しようとしたが予約がとれなかった（予約がとれなかった施設名： ）
- 9. 実施場所が不便なため、利用できなかった 10. 必ず預かってもらえる保証がない
- 11. 利用する手続き（申請など）が手間である
- 12. 他の子どもから病気がうつる不安がある 13. 利用を断られた
- 14. その他（ ）

問 20-5 問 20-3で「4.病児・病後児の保育を利用した」に○をつけた方にうかがいます。この1年間にどの病児・病後児保育施設を利用しましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 石丸小児科 2. 天山病院 3. 愛媛生協病院
- 4. 石川小児科（東温市） 5. むかいだ小児科（伊予郡松前町）
- 6. その他（利用した施設名： ） ▶ 問 20-6へ

問 20-6 問 20-5で「6.その他」に○をつけた方にうかがいます。なぜ、その施設を利用しなかったか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 自宅に近かったため 2. 職場に近かったため
- 3. 利用しやすい料金だったため 4. 施設の対応が安心でき気に入ったため
- 5. 問 20-5の「1.」～「5.」の施設が利用できなかったため
- 6. その他（ ）

問 20-7 病児・病後児保育施設を利用したことが、予約できなかったことがありましたか。あった場合、予約ができなかった回数を【 】内に数字で記入してください。

1. あった⇒ 年間で約【 】回 2. なかった

宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、保護者の通院、不特定の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、この1ヶ月の利用日数（おおよそ）も〔 〕内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（月間）	〔 〕日
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	〔 〕日
2. 幼稚園や認定こども園、障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）での預かり保育（通常の就園時間の前後に預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	〔 〕日
4. 夜間看護等事業・トワイライトステイ（児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業）	〔 〕日
5. ベビーシッター	〔 〕日
6. その他（ ）	〔 〕日
7. 利用していない	〔 〕日

問 22 へ

問 21-1 問 21 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある	4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料が分からない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからぬ	8. 事業の利用方法（手続きなど）が分からない
9. 利用したいが、空きがない	10. 利用したいが子どもの状況で断られた
11. その他（ ）	

問 22 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不特定の就労などの目的で、月間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、利用目的ごとの内訳の日数を〔 〕内に数字でご記入ください）なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計〔 〕日（月間） （①～④の合計）
① 私用・リフレッシュ目的（買い物、ランチ、美容院 など）	〔 〕日（月間）
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 など	〔 〕日（月間）
③ 不特定の就労	〔 〕日（月間）
④ その他（ ）	〔 〕日（月間）

2. 利用する予定はない ▶ 問 23 へ

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のとおり施設・事業を利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 認定こども園	2. 幼稚園	3. 保育所	4. 地域型保育事業（小規模保育等）
5. 企業主導型保育事業	6. 認可外保育施設（地域保育所）（5を除く）		
7. 地域住民などが子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター）			
8. ベビーシッター	9. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）		
10. その他（ ）			

問 23 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを預りかけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか。（預け先が異ならなかった場合も含みます）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も〔 〕内に数字でご記入ください。

1. あった	1年間の対処方法	泊数（年間）
① 親族・知人（同居者を含む）にみてもらった		〔 〕泊
② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設・障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）などで一定期間、子どもを保護する事業）		〔 〕泊
③ 保育事業（認可外保育施設、ベビーシッターなど）		〔 〕泊
④ やむを得ず子どもを同行させた		〔 〕泊
⑤ やむを得ず子どもだけで留守番をさせた		〔 〕泊
⑥ その他（ ）		〔 〕泊

2. なかった

**宛名のお子さんが小学生になった時の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

問 24 宛名のお子さんが、小学生になった時、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。学年別の欄に下記（選択肢1から11）から選択した番号すべてを記入してください。
※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

番号	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------

＜選択肢＞

1. 自宅
2. 祖父母宅
3. 友人・知人宅
4. 児童館・児童センター
5. スポーツ少年団・文化クラブ
6. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）
7. 放課後児童クラブ（学童保育）
8. 放課後子ども教室
9. ファミリー・サポート・センター
10. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）
11. その他（ ）

問 25 宛名のお子さんについて、問 24 で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、週何日ぐらいますか。選択した番号に対応する表の内に数字をご記入ください。なお、「7. 放課後児童クラブ」「10. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）」については、何時まで利用を希望するかも数字をご記入ください。

時間必須「(例) 18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答えください）

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1. 自宅	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
2. 祖父母宅	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
3. 友人・知人宅	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
4. 児童館・児童センター	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
5. スポーツ少年団・文化クラブ	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
6. 習い事	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
7. 放課後児童クラブ （学童保育）	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
8. 放課後子ども教室	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
9. ファミリー・サポート・センター	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
10. 障がい児支援施設 （放課後等児童デイサービス事業など）	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日
11. その他（ ）	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日	週 日 週 日 週 日 週 日 週 日

問 26 問 24 で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」「10. 障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）」を選択された方にかかれます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ等の利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、〔 〕内に「(例)09～18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答えください）
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

- | | | |
|----------------|----------------|--------------------------------|
| 1. 1年生までは利用したい | 2. 2年生までは利用したい | } 利用したい時間帯
〔 〕時から
〔 〕時まで |
| 3. 3年生までは利用したい | 4. 4年生までは利用したい | |
| 5. 5年生までは利用したい | 6. 6年生までは利用したい | |
| 7. 利用する予定はない | | |

(2) 日曜日・祝日

- | | | |
|----------------|----------------|--------------------------------|
| 1. 1年生までは利用したい | 2. 2年生までは利用したい | } 利用したい時間帯
〔 〕時から
〔 〕時まで |
| 3. 3年生までは利用したい | 4. 4年生までは利用したい | |
| 5. 5年生までは利用したい | 6. 6年生までは利用したい | |
| 7. 利用する予定はない | | |

問 27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、〔 〕内に「(例) 09時～18時」のように24時間制でご記入ください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------------------------|
| 1. 1年生までは利用したい | 2. 2年生までは利用したい | } 利用したい時間帯
〔 〕時から
〔 〕時まで |
| 3. 3年生までは利用したい | 4. 4年生までは利用したい | |
| 5. 5年生までは利用したい | 6. 6年生までは利用したい | |
| 7. 利用する予定はない | | |

すべての方に、育児休業や短時間勤務制など
家庭と職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 病名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方は、1～14の中からその理由の番号をご記入ください。(ひとり親の場合、母親・父親いずれかにご記入ください)

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 妊娠・出産に関わらず就労していなかった	1. 就労していなかった
2. 就労形態 (パートなど) により、育児休業制度がないため退職した	2. 就労形態 (パートなど) により、育児休業制度がないため退職した
3. 育児休業を取得せずに退職した	3. 育児休業を取得せずに退職した
4. 取得した (取得中である)	4. 取得した (取得中である)
5. 取得していない	5. 取得していない
取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)	取得していない理由 (下から番号を選んで記入ください) (いくつでも)
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後)に仕事に早く復帰したかった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	6. 収入減となり、経済的に不安があった
7. 保育所 (園) などに預けることができた	8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)	
12. 育児休業を取得できることを知らなかった	
13. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得出来ることを知らず、退職した	
14. その他 ()	

問 28-1 子どもが原則 1 歳 (保育所などでの保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長 2 歳) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業などの (法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険及び厚生年金保険料の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 28-2 問 28 で「4. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 29へお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 問 28-3へ
	2. 現在も育児休業中である 問 29へ
	3. 育児休業中に離職した 問 28-3へ
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 問 28-3へ
	2. 現在も育児休業中である 問 29へ
	3. 育児休業中に離職した 問 29へ

問 28-3 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所などの入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。いずれか 1 つに○をつけてください。

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

問 28-4 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何カ月のごときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、希望する職場復帰は、お子さんが何歳何カ月の時でしたか。[] 内に数字でご記入ください。

(1) 母親	実際の取得期間 [] 歳 [] カ月	希望 [] 歳 [] カ月
(2) 父親	実際の取得期間 [] 歳 [] カ月	希望 [] 歳 [] カ月

問 28-5 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。お勤め先に、育児のために 3 歳まで休職を取得できる制度があった場合、お子さんが何歳何カ月の時まで取得するのが理想ですか。[] 内に数字でご記入ください。

(1) 母親	希望どおり取得した / [] 歳 [] カ月
(2) 父親	希望どおり取得した / [] 歳 [] カ月

問 28-6 問 28-4 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。希望の時期に職場復帰しなかつた理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所などに入らため	2. 配偶者や家族の希望があつたため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があつたため	
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	
5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため	
6. 育児代員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかつたため	
7. 子どもの教育や発達のため	8. 子育てによる身体の疲れやストレスがあつたため
9. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所などに入らため	2. 配偶者や家族の希望があつたため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があつたため	
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	
5. 職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため	
6. 育児代員の確保が難しく、早く復帰せざるを得なかつたため	
7. 子どもの教育や発達のため	8. 子育てによる身体の疲れやストレスがあつたため
9. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育所などに入らなかつたため	
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかつたため	
3. 保育所などを利用することに不安や心配があつたため	
4. 子どもという時間や子育てを楽しみたいため	
5. 配偶者や家族の希望があつたため	6. 職場の受け入れ態勢が整ってなかつたため
7. 子どもをみてくれる人がいなかつたため	
8. その他 ()	

②父親

1. 希望する保育所などに入らなかつたため	
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなかつたため	
3. 保育所などを利用することに不安や心配があつたため	
4. 子どもという時間や子育てを楽しみたいため	
5. 配偶者や家族の希望があつたため	6. 職場の受け入れ態勢が整ってなかつたため
7. 子どもをみてくれる人がいなかつたため	
8. その他 ()	

問 28-7 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 短時間勤務制度を利用した	2. 短時間勤務制度を利用しなかつた
(2) 父親	
1. 短時間勤務制度を利用した	2. 短時間勤務制度を利用しなかつた

問 28-8 問 28-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかつた」に○をつけた方にかがいます。短時間勤務を利用しなかつた理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があつた	
2. 仕事が忙しかつた	
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦くなる	
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	
6. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかつた	
7. 職場に短時間勤務制度がなかつた（職業別則に定めがなかつた）	
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかつた	
9. 必要性がなかつた	
10. その他 ()	

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえないなど、制度を利用する必要がなかった
7. 職場に短時間勤務制度がなかった（職業規則に定めがなかった）
8. 短時間勤務制度を利用できなかった
9. 必要性がなかった
10. その他（

問 29 最後に、子育てに対する思いやご意見、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご返函ください。

2 小学生の調査票

＜調査票の回答方法について＞

回答方法はいずれか一方を選んでください。紙とインターネットの両方とも回答する必要はありません。双方に回答された場合は、一方の回答は無効になります。

1. 郵送で回答される場合

- ①この調査票にご回答の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてください。
- ②お名前や住所は書かずに、**11月24日（金）**までにポストへ投函してください。

2. インターネットで回答される場合

- インターネット回答期限：**11月24日（金）23:59**まで
- ①本調査専用サイトへアクセス

URL：https://tsurvey.jp/matsuyama_syougakusei



- ②ログイン画面が表示されたら、下記に記載のログインID（英数字6ケタ）を入力して、「続ける」ボタンを押してください。

ログインID

※ログインIDは重複回答を防ぐためのもので、個人が特定されることはありません。

- ③画面の案内に沿って回答し、最後に「送信する」ボタンを押してください。

※インターネット回答は、1回限りです。回答を送信されるとその後の修正は原則できませんのでご注意ください。

アンケートの中断、再開する場合は、以下の手順に従って行ってください。

- アンケートを中断する場合
「あとで続きをします」ボタンを押すと、これまでの回答が保存され、中断することかできます。スマホの方は、右上のアイコンをクリックすると「あとで続きをします」ボタンが表示されます。
- アンケートを再開する場合
ログイン画面にアクセスしてIDを入力してください。
アンケートの回答を再開し、最後に、上記③と同様の手順で、回答を送信してください。

＜ご回答にあたってのお願い＞

1. 特定の指定がある場合を除き、アンケートには、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. アンケートには、皆さまのお名前を回答していただく欄はありません。（無記名によるアンケート調査）密着なご意見・ご要望をお聞かせください。
3. 紙で回答する際は、黒または青のボールペン、黒い鉛筆などではっきりとご記入ください。修正される場合は、二重線と訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。
4. 回答方法には、選択肢の中から選んでいただく場合に○印をつけていただく場合と、【 】や表内に○印並びに数字を回答していただく場合があります。
5. 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数が設問によって異なりますので、ご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後にある（ ）に具体的な内容をご回答ください。
6. 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。（設問は問22まであります）
7. 設問の中にある各事業等の内容が不明の場合は、別紙「松山市の子育て支援サービス」を参考にし、ご回答ください。

小学校児童のいる世帯用

「松山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力をお願いします～

皆さまには、日頃から子ども施策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。松山市では、教育・保育や地域子育て支援事業などを計画的に推進するため、「松山市子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。

今回、2025年度（令和7年度）からの次期計画に向けた基礎資料とするため、市民の皆さまの子ども・子育てに関するご意見・ご要望・ご意見などを把握するアンケート調査を前回に引き続き実施することにしました。

皆さまのご意見が、今後の松山市の子ども施策を推進する上で、大変重要な資料になりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



令和5年10月
松山市

＜このアンケート調査について＞

1. この調査は、市内にお住まいの小学校就学前（平成29年4月2日～令和5年4月1日生まれ）のお子さんと小学校に通われているお子さん（平成25年4月2日～平成29年4月1日生まれ）の中から、無作為で各3,000人（合計約6,000人）を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
2. ご回答いただいた調査票は、松山市及び委託業者（株式会社 松山支店）のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい、紛失などのないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
3. ご回答いただいた内容（施設やサービスの利用状況・利用希望など）が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

お手数ですが、**11月24日（金）**までに、インターネットでの回答、または同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 子ども家庭部 こどもえがお課

〒790-8571 松山市二番町四丁目7-2
電話：089-948-6039 FAX：089-934-1822
E-mail kodomado@city.matsuyama.ehime.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間にお問い合わせをお願いします。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 死名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからかた關係でお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 母親 3. 父親
4. 祖父母 5. 学校 6. その他（ ）

問7 死名のお子さんの子育て（教育を含む）に最も影響すると思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 学校
4. 児童クラブ 5. 習い事（塾など）
6. その他（ ）

問8 日頃、死名のお子さんをおみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母などの親族におみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母などの親族におみてもらえる
3. 日常的に子どもをおみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない
- 問8-1へ
問8-2へ
問9へ

問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母などの親族にお子さんをおみてもらううえで、心配なことや不安なことについてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である
4. 祖父母等の親族に経済的な負担をかけることが心配である
5. 自分の子どものことで、負担をかけていることが気になる
6. 子どもの教育や発達にとつてふさわしいかわり方・環境であるか気になる
7. その他（ ）

問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをおみてもらううえで、心配なことや不安なことについてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをおみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 友人・知人に経済的な負担をかけることが心配である
5. 自分の子どものことで、負担をかけていることが気になる
6. 子どもの教育や発達にとつてふさわしいかわり方・環境であるか気になる
7. その他（ ）

問9 死名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ▶ 問9-1へ 2. いない/ない ▶ 問10へ

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入不要】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

(2) -1 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
〔 〕内に数字でご記入ください

1週当たり 【 】日 1日当たり 【 】時間

(2) -2 (2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば「翌日1時に帰宅される場合は”25時”とご記入ください)
〔 〕内に数字でご記入ください
なお、在宅ワークなど、通勤時間がない場合は、「通勤時間がない」に○をつけてください。

1. 通勤時間がある ▶ 家を出る時刻【 】時頃 ～ 帰宅時刻【 】時頃
2. 通勤時間がない

問11 問10の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入不要】

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入不要】

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、今のところ実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイトなど(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問10の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけてた方にかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、「2.」「3.」を選択した場合、「希望する就労形態」についても記入ください。なお、複数の子どもがいる場合は、その子どもの状況を考慮して、死なのお子さんの年齢を記載してください。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、死なのお子さんが【 】歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 「希望する就労形態」
 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
 →1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間
 ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要】

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、死なのお子さんが【 】歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 「希望する就労形態」
 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイトなど(「ア」以外)
 →1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間
 ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問13 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを教えてください。①～⑳の事業ごとに、A～C欄のそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

また、①～⑳の事業で、行政に対して、重点的に取組みを期待するものについてD欄に○を3つまでつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。※地域の子育て支援事業については別紙「松山市の子育て支援サービス」をご覧ください。

	A	B	C	D
	知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい(継続利用も含む)	重点的な取組みを期待
①	はい	いいえ	はい	いいえ
②	はい	いいえ	はい	いいえ
③	はい	いいえ	はい	いいえ
④	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫	はい	いいえ	はい	いいえ
⑬	はい	いいえ	はい	いいえ
⑭	はい	いいえ	はい	いいえ
⑮	はい	いいえ	はい	いいえ
⑯	はい	いいえ	はい	いいえ
⑰	はい	いいえ	はい	いいえ
⑱	はい	いいえ	はい	いいえ
⑲	はい	いいえ	はい	いいえ
⑳	はい	いいえ	はい	いいえ
㉑	はい	いいえ	はい	いいえ
㉒	はい	いいえ	はい	いいえ
㉓	はい	いいえ	はい	いいえ
㉔	はい	いいえ	はい	いいえ
㉕	はい	いいえ	はい	いいえ
㉖	はい	いいえ	はい	いいえ
㉗	はい	いいえ	はい	いいえ

問 13-1 問 13 で、下記の事業 B 欄の「これまでに利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問 13-2 へお進みください)
現在、利用している事業のおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

㉗	子育て支援センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉘	児童館・児童センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉙	障がい児等療育支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉚	利用者支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉛	子育てひろば	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉜	親子ふれあいタイム	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉝	ファミリー・サポート・センター事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉞	一時預かり事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉟	延長保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊱	病児・病後児保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊲	シヨートステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊳	トワイライトステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㊴	養育支援訪問事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問 13-2 問 13 で、下記の事業 C 欄の「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。(すべて「いいえ」を選んだ方は、問 14 へお進みください)
今後利用したい事業のおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

㉑	児童館・児童センター	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉒	障がい児等療育支援事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉓	病児・病後児保育事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉔	シヨートステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉕	トワイライトステイ事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回
㉖	養育支援訪問事業	1. 週間当たり【 】回 または 1カ月当たり【 】回

問 14 お子さんの子育てに関して、松山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1.	育児サークルなどが継続的に利用できる場所がほしい
2.	児童館など親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい
3.	子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい
4.	子どもについての情報が得られる場や学べる機会がほしい
5.	児童クラブや児童館など、放課後に子どもが過ごせる場所を増やしてほしい
6.	学校や児童クラブなどに係る費用負担を軽減してほしい
7.	学校や児童クラブ以外で、子どもが通え、子どもだけで過ごせる場所を増やしてほしい
8.	安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
9.	夏の暑い時期や冬の寒い時期など、快適に遊べる室内公園を整備してほしい
10.	子育てや子どもの発達などについて気軽に相談できる場所がほしい
11.	子育てについての情報を気軽に入手できるよう SNS など発信してほしい
12.	児童虐待やいじめ、不登校などへの対策や支援を充実してほしい
13.	多子世帯への支援を充実してほしい
14.	障がいのある子どもが地域で安心して生活できる環境や支援を整備してほしい
15.	インクルーシブ保育や教育への充実や教育への充実や市民の理解を広めてほしい
16.	仕事と子育てが両立できるよう働き方の改善などを広く啓発してほしい
17.	バウ向けの育児が学べる機会がほしい
18.	子ども自身の声を聴いてほしい
19.	その他 ()

問 22-4 今住んでいる近くに、遊び場が多いですか。当てはまるものを1つ選んで、その番号に○をつけてください。

1. 多い	2. どちらともいえない
3. 公園などはあるが遊びができない	4. 少ない

問 22-5 家の近くにあつたらよいと思つて遊び場などはありますか。当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. ジャンプジムやブランコなどの遊具がある公園
2. 仲間づくりのためのサークルやクラブ活動ができるところ
3. ホール遊びができるところ
4. 子どもが放課後などに集まって、自由に活動などができるところ
5. いろいろな本などを読むことができるところ
6. 遊ぶ道具があり、遊び方を教えてくれる先生のいるところ
7. 学年が違つて友達どうしが交流できるところ
8. 自分の悩みなどを聞いて相談のつてくれるところ
9. その他 ()
10. 特になし

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

3 子育て支援サービス一覧

松山市の子育て支援サービス

【地域子育て支援事業等】 ※令和5年4月1日時点



マタニティライフの過ごし方【オンライン講座】 パパ・ママのための教室

マタニティライフの過ごし方は、産前・産後の過ごし方や準備、育児等についての基本知識を学び、不安の解消と同時に妊婦間の交流の場とする教室です。
パパ・ママのための教室は、沐浴等育児の実習を通して夫婦で育児の知識を学ぶとともに、親になるための心得を学習します。

○実施場所 松山市保健所・松山市保健センター南部分室



産後ケア事業

産婦と生後12カ月頃までの乳児で、産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない方に、助産師等が心身のケアを行います。

まつこ

主に就学前までの子育て家庭を対象とした、子育てに役立つ情報をまとめた冊子です。市役所や支所で配布しています。

保健所・保健センターの相談事業

妊婦一般健康診査や乳児一般健康診査、1歳6カ月児健康診査、3歳児健康診査等に関する情報及び健康相談や栄養相談を実施しています。

こんには赤ちゃん訪問

生後4カ月未満の乳児がいるすべてのご家庭を松山市母子保健推進員や保健師等が訪問しています。

離乳食講座

妊婦から生後7カ月未満の乳児の保護者を対象に、離乳食の進め方や食材の選び方など成長に応じた食事の基礎を学びます。

子育て支援センター

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言、その他の援助を行います。地域の子育て支援機能の充実、子育ての不安感の緩和等を図り、子どもの健やかな育ちを支援する事業です。

○施設名 (50音順)
公立保育所：栗井、石井、久米、道後、平井、松山、味生
私立保育所：あさひ、えひめ乳児、高木、のぞみ、ひよこ、未来
認定こども園：愛隣、和泉、福角、星岡
地域型保育事業：すまいる



ほっとHOTひろば

子育て中の親子が気軽に利用できる遊び場で、子育てについての相談や情報提供、育児講話などを行っています。

○実施場所 松山市保健所

児童館・児童センター

子どもの健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、子どもに健全な遊びを提供する施設です。子どもたちが自由に來館し、友だちと楽しく遊ぶことができます。

○施設名 (50音順)
新玉児童館、久米児童館、中央児童センター、南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館、北条児童センター、味生児童館

障がい児等療育支援事業

発達の違いや障がいがある子ども及び保護者に対して、相談や療育を通して、発達支援や子育て支援を行います。

こどもの相談室 ふらっと

発達の違いや障がいのある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、助言をしたり、適切な支援・サービスにつながります。

子ども総合相談/子ども子育て・DVらいん相談@まつやま

子育てや教育など、18歳までの子どもに関するさまざまな相談をすることができます。
また、毎週、月・木・土の17時から21時まで、LINEでの相談も行っていきます。
(相談の入力は24時間365日受け付けています)

○実施場所 松山市薬山町(松山市青少年センター内)



利用者支援事業

教育・保育・保健その他の子育て支援の情報提供や、必要に応じ、相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

○設置場所
松山市役所別館1階 福祉・子育て相談窓口内、松山市立久米保育園 地域子育て支援センター内
すくすく・サポート(市役所・保健所・南部・北条・中島)、子育てひろば「くーふぁん」

子育てひろば

子育て中の親子(主に乳幼児)がいつでも気軽に参加でき、打ち解けた雰囲気の中で交流したり、相談したりすることができる場を提供しています。

○施設名 (50音順)
カタリナ子育てひろば「ほけっと」、子育てひろば「くーふぁん」、
子育てひろば「くりっぶ」、子育てひろば「ToitToit」、
しのめ広場「たんぼぼ」、松山市子育て支援相談室「まっとHOTひろば」



親子ふれあいタイム

児童館・児童センターの平日午前中に、子育て中の親子(乳幼児)同士の交流スペースの提供や子育て相談、遊びを通してふれあい活動などを行っています。

○施設名 (50音順)
新玉児童館、久米児童館、中央児童センター、南部児童センター、畑寺児童館、久枝児童館、北条児童センター、味生児童館

幼稚園の子育て支援事業

各幼稚園で独自に行っている、子育て支援事業です。

ファミリー・サポート・センター事業

児童の病かり等の援助を受けること（依頼会員）と、援助を行うことを希望する方（提供会員）との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

- 利用条件
 - ・6カ月から小学6年生までの子どもがいる方。
 - ・市内に居住または勤務（在学）していること。
- 利用料 1時間当たり 700円～900円
- 実施主体 まつやまファミリー・サポート・センター（松山市男女共同参画推進センター104号スズ1内）



一時預かり事業

急な用事や短期のパートタイム就労のほか、リフレッシュしたい時などに、保育所などの施設で子どもを預かる事業です。新制度の適用を受ける幼稚園や認定こども園の幼稚園機能部分（1号認定）の在園児で、教育時間の前後や、土曜日や長期休業中などに預かる事業も含まれます。利用料は、市立幼稚園、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

延長保育事業

保護者の仕事や家庭の状況により、通常の保育時間を超えて保育する事業です。利用料は、公立保育所等では、市の例規で定められた金額になります。私立施設では、各施設が定めた金額になります。

病児・病後児保育事業

病気や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、実施施設で預かる事業です。

放課後子ども教室

地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを実施する取組です。保護者の就労の有無に関わらず利用できます。

○実施場所（50音順）

- 浅海小学校区「浅海オレンジっ子クラブ」
- 新玉小学校区「新玉陽だまり教室」
- 粟井小学校区「粟井っ子クラブ」
- 石井小学校区「石井小学校区子ども教室」
- 小野小学校区「小野子ども教室」
- 桑原小学校区「桑原放課後子ども教室」
- 河野小学校区「ひもし子ども教室」
- 興尾島小学校区「興尾島子ども教室」
- 五明小学校区「五明っ子クラブ」
- 坂本小学校区「坂本放課後子ども教室きららクラブ」
- さくら小学校区「さくら子ども教室」
- 瀬戸小学校区「いとすき教室」
- 生石小学校区「生石子どもいきいき教室」
- 茶臼小学校区「わくわくオーロラろぼ」
- たちばな小学校区「たちばな小放課後子ども教室」
- 立岩小学校区「立岩っ子クラブ」
- 中島小学校区「中島子ども教室」
- 難波小学校区「難波子ども教室」
- 番町小学校区「番町放課後子ども教室」
- 久枝小学校区「久枝放課後子ども教室」
- 福音小学校区「ふくふくチャレンジ教室」
- 双葉小学校区「ふたば放課後子ども教室」
- 北条小学校区「陣早あすなろ会」
- 堀江小学校区「堀江っ子チャレンジ教室」
- 正岡小学校区「正岡元気っ子クラブ」
- 宮前小学校区「宮前子ども教室」
- 八幡小学校区「八つまいき八幡 キッズ教室」
- 雄那小学校区「雄那っ子クラブ」
- 和氣小学校区「和氣あいあい教室」

○利用料 基本無料。傷害保険料（年間800円程度）、別途教材費等が必要な場合があります。

放課後児童クラブ

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場として専用施設で預かります。

- 施設数 市内124か所

障がい児支援施設（放課後等児童デイサービス事業など）

障がいのある児童が通園し、生活能力向上のための訓練や療育を受ける施設です。

休日子どもカレッジ

長期休暇中に保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、愛媛県や大学等と連携し、「生活の場」と「体験を通して遊び・学び」を提供しています。

子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

保護者が、病気や出産、冠婚葬祭その他の理由により児童の養育が困難となった場合に、児童養護施設等で養育・保護を行います。

- 施設等名
 - 愛媛県立愛媛母子生活支援センター、愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、松山希望愛の家、ファミリーホーム、里親宅

○利用料

- 【2歳未満児】課税世帯：日額5,350円 非課税世帯：日額1,100円
- 【2歳以上児】課税世帯：日額2,750円 非課税世帯：日額1,000円

子育て短期支援事業（トワイライトステイ事業）

保護者の仕事等により、平日の夜間又は休日に養育を必要とする児童を必要とする児童を専用施設等で預かります。

○施設等名

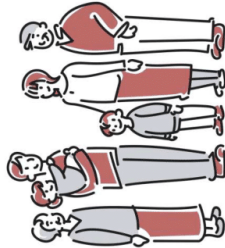
- 愛媛県立愛媛母子生活支援センター、愛媛慈恵会、三愛園、親和園、松山乳児院、松山希望愛の家、ファミリーホーム、里親宅

○利用料

- 【夜間預かり】課税世帯：日額750円 非課税世帯：日額300円
- 【休日預かり】課税世帯：日額1,350円 非課税世帯：日額350円

養育支援訪問事業

養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための訪問支援事業です。



【教育・保育施設等】 ※令和5年4月1日時点

幼児教育・保育の無償化により、幼稚園、認定こども園、保育所などを利用する3歳から5歳児クラスの子どもの保育料が無償化の対象となります。

認定こども園

幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額となります。



幼稚園

小学校以降の教育の基礎をつくるための、幼児期の教育を行う施設です。子ども・子育て支援新制度の適用を受けると、従来の私学助成の園があります。保育料は、新制度の適用を受ける園は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額となります。私学助成の園は、各園が定めた金額となります。



保育所

仕事や病気などのため、家庭で保育できない保護者に代わって保育を行う施設です。保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額となります。



地域型保育事業（小規模保育等）

3歳未満の子どもを対象とした、概ね19人以下の小規模な施設で保育する事業です。
（小規模保育事業、事業所内保育事業、家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業）
保育料は、世帯の収入に応じた、市が定めた金額となります。



企業主導型保育事業

企業が設置した、従業員の子どもを保育する認可外保育施設です。地域の子ども（地域枠）の利用ができる施設もあります。利用料は、各保育施設が定めた金額となります。



地域保育所（認可外保育施設）

松山市に届出をしている認可外保育施設等です。利用料は、各保育施設が定めた金額となります。この調査では、企業主導型保育事業とページナンバーは除きます。



令和5年度
「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」
結果報告書

2024（令和6）年3月発行

発行 松山市 子ども家庭部 子どもえがお課
住所 〒790-8571
愛媛県松山市二番町四丁目7番地2
電話 089-948-6039
E-mail kodomoegao@city.matsuyama.ehime.jp